

A watercolor illustration of a field of flowers. The background is a light blue sky with a dark green, textured foliage area in the top left corner. In the foreground, there are several flowers, including a large pink flower with a yellow center and a smaller pink flower. The bottom of the image is filled with a dense field of pink and red flowers. The overall style is soft and artistic.

2024

学林舎教材カタログ

<https://www.gakurin.co.jp>

学林舎が伝えたいこと

デジタルとアナログの共存を目指して

新型コロナウイルスの影響で、学習方法はアナログからデジタルへの移行が進んだ。

しかし、学習評価はまだ主にアナログな方法が使われている。入試などの大きなテストでは、記述力を求めるためにはアナログな方法が必要だ。現在の子どもたちはデジタルな活動に没頭しており、日本社会全体もデジタル化に向かって進んでいる。

現在のデジタル学習の効果に疑問を感じる理由は、「考える力」と「表現する力」を育てるのは難しいと考えているからです。デジタル学習では、選択肢が多くても問題の本質を自己表現として獲得することが難しいと思います。

しかし、デジタルツールを使うことで、自己表現の機会が広がる。例えば ZOOM を使って意見を発表したり議論に参加したりすることができる。デジタルは利点も欠点もある。

利点は学習の幅が広がり情報に触れられること、コミュニケーションや協働の機会が増えること。欠点は情報の選別能力や集中力の低下、情報の氾濫などの課題。自己学習の能力が求められるため、自己管理や自己指導力も重要です。

デジタル学習は今後ますます重要な役割を果たしていくことは間違いありません。

しかし、アナログな学習方法も重要であり、学習の目的や内容に応じて適切に使い分ける必要があります。どちらの方法も長所と短所がありますが、両方を組み合わせて活用することで、より効果的な学習環境を構築することが学習現場に求められます。

学林舎は、学力評価の出口であるテストのデジタル化が進まない現在において、反復トレーニングなどの学習以外でのデジタル化は、学習効果が見込めないため、教材のデジタル化はおこないません。

実績を求められる進学塾などでは、現在もアナログ学習が中心です。これは、受験がアナログだからです。知識力、読解力、記述力の練習が必要なのです。また、アナログ教材には、手書きで解答をすることで脳に刺激を与え、記憶力や思考力の向上につながるという利点もあります。

しかし、現在の日本は円安の影響で輸入に頼っているため、物価高騰が起きています。そのため、印刷費や輸送費用が日々変動しており、経済的な負担も増えています。このような状況の中で、学林舎ではコスト削減のため、一部の教材においては、教材データ(PDF)を提供し、タブレットなどのデバイスに表示させてノートに解答していくという方法を提案いたします。

デジタルデータを提供することで、印刷費や輸送費用を削減することができます。また、デジタル教材は再利用が可能であり、学習者がいつでも必要な時にアクセスできるという利点もあります。さらに、デジタル教材はインタラクティブな要素を取り入れることができ、子どもたちはより自分のペースで学習できるようになります。

学林舎では教材の在り方について、時代に合った方法を常に考えています。デジタル教材の導入についても、学生たちの学習効果や学習スタイルに合わせて柔軟に対応しています。もし、デジタルデータを希望される場合は、ご相談ください。学林舎では、より効果的な学習方法を提案するために、常に最新の教育技術に目を向けています。

学林舎は、教材を通じて子どもたちの学力向上を支援することを使命としています。アナログ教材にこだわる一方で、デジタル教材の有効性も認識しています。学習効果を最大化するために、学林舎は常に進化し続けることをお約束します。どんな学習スタイルにも対応し、学生たちが自信を持って学び続けることができる教材を提供していきます。ご相談やご要望があれば、いつでもお気軽にお問い合わせください。

(文／学林舎 北岡)

想いを教材にのせて



小学生に必ず学習してほしい教材は

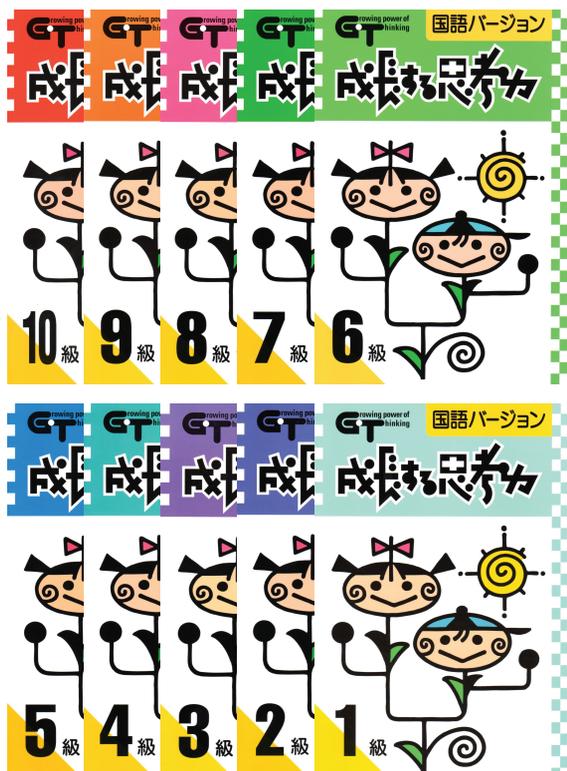
「成長する思考力GT国語シリーズ」



文章読解を積み上げることで、表現力の獲得を

成 長する思考力GTシリーズ国語は、子供たちが「しっかり読んで、要旨をまとめて書くことができるようになるための技術を身につける」ための教材です。この教材は、従来の学年枠を解体し、子供たちの目的や目標（中学入試など）に合わせて自由に学習できる方法を提供しています。つまり、子供たちは自分自身のペースで学習することができ、無学年・進級式の形式を取っています。

小学生の段階で成長する思考力GTシリーズ国語を学習することは、中・高校生での学習をワンランク上に伸ばすことができます。なぜなら、この教材は読解力や要約力を養うためのトレーニングを提供しているからです。子供たちは文章を理解し、主要なポイントを抜き出して要約することを学習することで、読解・記述力を高めることができます。



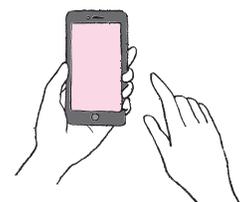
成長する思考力GTシリーズ国語は、他の教材と比較しても優れた特徴を持っています。

例えば、この教材は単に読解力を向上させるだけでなく、文章を分析し、論理的な思考力を養うことにも焦点を当てています。子供たちは文章の構造や論点を理解し、自分の意見を論理的に表現できるようになります。

成長する思考力GTシリーズ国語は、子供たちの自主性と創造性を引き出すことにも効果的です。従来の学年枠に縛られず、自分の興味や関心に合わせて学習することができるため、子供たちは自分自身の学習の主体となります。これにより、子供たちは自分の考えを自由に表現し、独自の視点で問題を解決する力を身につけることができます。

ページ見本は

成長する思考力





未来の国語力を育てる、成長する思考カシリーズGT国語

成長する思考カシリーズGT国語は、学習者にとって非常に重要な力を身につけることができる教材です。特に、日本語を母語として、自由自在に使える表現力の基盤を築くことは、他の学習領域においても大いに役立ちます。

この表現力の基盤を小学生のうちに身につけているかどうかで、将来の表現力の伸びしろが大きく変わってくると言えます。大人の皆さんも、自分自身の経験からご存知かと思います。例えば、読書や文章要約をしてこなかった場合、大人になって自分の表現力の乏しさを痛感することもあるでしょう。

実際に私もその一人であり、大人になってから様々な読書や文章要約などを通じて、読む力や書く力を身につけました。そして、いつも思うのです。「もし私が小学生時代にGT国語を学んでいたなら、もっと違った未来が待っていたのではないかと」。

だからこそ、私は自信を持って言えます。「GT国語を小学生のうちに学習してください」。

成長する思考カシリーズGT国語は、進級式タイプ(10級から1級)とテーマ別タイプ(要約・文法・読解・表現力特化)の2つのタイプで構成されています。進級式タイプでは、段階的な思考力を中心とした読解・記述・表現力強化の学習を行うことができます。

小学校低学年には、進級式タイプの10級から8級がおすすめです。これによって、基本的な国語力を築くことができます。一方、高学年には、進級式タイプの7級から5級までのコースがおすすめです。さらに、文法力、要約力、表現力特化の学習で国語力の定着を目指すことができます。

中学入試を考えている場合は、小学校5年生までに進級式タイプの10級から5級までの学習を終了していただくことをお勧めします。そして、4級から1級、要約力、文法力、読解力、表現力特化を6年生で加えることによって、中学入試の上位校に対応する国語力を身につけることができます。

成長する思考カシリーズGT国語は、子どもたちの国語力を向上させるための強力なサポート教材です。進級式タイプとテーマ別タイプの両方を活用しながら、子どもたちの興味やニーズに合わせた学習を進めていくことで、より充実した国語力を身につけることができます。ぜひ成長する思考カシリーズGT国語を取り入れて、子どもたちの学習をサポートしましょう。



「成長する思考カシリーズGT国語」

- 進級式タイプとテーマ別タイプの2つのタイプで、段階的な思考力を中心とした学習ができます。
- 小学校低学年から高学年まで、幅広い学年に対応しています。
- 文法力、要約力、表現力特化の学習で国語力の定着を目指せます。
- 中学入試にも対応し、上位校に向けた国語力を身につけることができます。

想いを教材にのせて



小学生に必ず学習してほしい教材は

「成長する思考力GT算数シリーズ」



問題読解を積み上げることで、算数力の獲得を

成 成長する思考力GT算数シリーズは、子どもたちの論理力アップをサポートするために開発された算数教材です。その秘訣は「考える学習＝問題読解の積み上げ」にあります。問題読解を育むために、知識のみならず、観察・発見・飛躍という4つの切り口から思考力、判断力、表現力をテーマに問題が構成されています。小学校低学年から中学入試向けのこの教材は、算数の基礎をしっかりと固めつつ、クリティカルシンキングや論理的思考を身に付けるのに最適です。

学習効果に関して、成長する思考力GT算数シリーズは、子どもたちが自ら考えて解決策を見つける力を育てることができます。この教材を使うことで、論理的思考力や判断力が向上し、問題解決のプロセスを通じて、自信や成就感を得ることが期待できます。



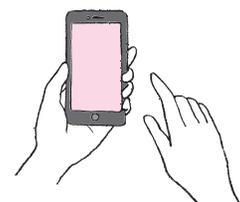
成長する思考力GT算数シリーズ算数は、中学入試向けの基礎教材になるため、進学塾では、小学校5年生までに5級を終了させて、4級から1級に取り組ませています。そのため、家庭学習用の教材としては、最適です。また、小学校の授業時間外にも活用されています。教科書では、できない思考力トレーニングを行うことができます。

また、高校に進学して、理数を選択する場合、成長する思考力GT算数シリーズを小学生のうちに学習したかしていないかで、大きな差があると学習現場から報告されています。

成長する思考力GTシリーズ算数は、子どもたちの算数力向上にとって必須の教材です。

ページ見本は

成長する思考力





成長する思考カシリーズ GT 算数で、実践的な算数スキルを身につけよう！

小

学校では、学習現場において「表現力」というキーワードが重要視されています。これは、各科目においても表現力を養うことが求められています。特に算数においては「算数的表現力」というものが注目されていますが、一体何を指すのでしょうか？

算数的表現力は、教科書や全国学力テストなどを見ると、文章題・図形問題・資料問題などを中心に、日常生活とリンクする問題が増えてきていることがわかります。これは、単純に計算だけではなく、問題を解くための文脈や情報を読み取り、それを数学的な表現に変換する能力を身につけることを目指しています。実際には、リンクさせるのは一瞬で、次の瞬間には数字の世界だけの学問になってしまうのが算数の特徴です。しかし、算数的表現力を養うことで、日常生活や社会の中で数学を使う機会が増え、より実践的なスキルを身につけることができます。

また、算数的表現力を養うためには、反復的な計算問題だけではなく、問題解決や論理的思考を重視した学習が必要です。そこで、「成長する思考カシリーズGT算数」を発刊しました。この教材は、計算の反復問題やパターン学習を取り入れず、文部科学省が求める算数的表現力（文章題・図形問題・資料問題など）を身につけることを目指しています。また、中学入試にも対応した問題群も用意されており、反復ではなく「算数知」の獲得に焦点を当てています。つまり、この教材は、算数の基礎レベルを高めるために開発されたものであり、論理力や思考力の養成にも効果的な教材です。

算数的表現力は、単なる計算の反復ではなく、日常生活や社会で数学を活用する能力を身につけるための重要なスキルです。そのためには、問題解決や論理的思考を重視した学習が必要です。幸いにも、成長する思考カシリーズGT算数という教材が存在し、この教材を通じて算数的表現力を高めることができます。これにより、子どもたちはより実践的な数学のスキルを身につけ、将来の様々な場面で活用することができます。算数的表現力の重要性を理解し、適切な学習教材を選ぶことが、子どもたちの学習の基盤を作る上で非常に重要です。

算数は子どもたちにとって数字と計算の学問だと思われがちですが、実はそれだけではありません。もちろん、数字や計算も重要な要素ですが、それ以上に大切なのは数字を読み取る力です。例えば、グラフや表を見てその意味を理解したり、日常生活で数字による情報を解釈したりする能力が求められます。

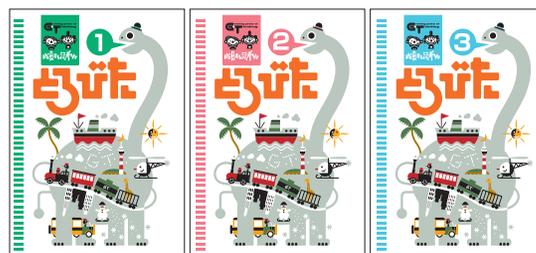
さらに、算数は単なる計算問題を繰り返すだけの教科ではありません。むしろ、計算に関連する論理的思考や問題解決能力を養うことが求められます。数字を自分の論理や思考にどうつなげていくかが重要なのです。例えば、与えられた情報から必要な計算式を導き出したり、与えられた問題を解決するための戦略を考えたりすることが求められます。



「成長する思考カシリーズGT算数」

- 算数的表現力(文章題・図形問題・資料問題など)を身につけることを目指しています。
- 反復問題やパターン学習ではなく、論理力や思考力の養成に焦点を当てています。
- 中学入試にも対応した問題群(特殊算など)が用意されています。
- 算数の基礎レベルを高めるために開発された教材です。

想いを教材にのせて



小学校入学前に必ず学習してほしい教材は

「成長する思考力GTとろびた」



考えることを重視した問題定義

とろびたの最大の特徴は、生活習慣・教養といったものをテーマに「考えること」に重点をおいた教材であることです。とろびたは、子どもたちが自分の経験や環境と照らし合わせて問題を考える機会を提供します。とろびたを通して、子どもたちは単なる知識の詰め込みではなく、考える力を養うことができます。

とろびたを通して子どもたちは、考えることの楽しさに出会うことができます。問題解決や意見交換を通じて、自分の考えを深めることができるため、知的好奇心や創造性を育むことができます。また、他の子どもたちと一緒に考えることで、異なる視点や意見を取り入れることができるため、柔軟な思考力を養うこともできます。とろびたは他の教材と比較しても、子どもたちの成長に大きな影響を与える可能性があります。他の教材ではあまり触れられないようなテーマや問題に取り組むことで、子どもたちの思考力や問題解決能力を伸ばすことができます。また、他の子どもたちとの意見交換やディスカッションを通じて、コミュニケーション能力も向上させることができるでしょう。

たいさかい **ことばづくりのせかい**
1にちのすこしかた

(1) 下の絵はひろしくんのある1にちをえがいたものです。この絵はあきーひるーよるのじゅんにならんでいません。ひろしくんの1にちをあきからじゅんにならべかえましょう。

○→○→○→○→○→○→○

かたづくりのせかい
あそびあそび

(1) 下の絵にあるものをかたごけでかたごけし、またかたごけのあそびあそびのあそびあそびをしよう。また、かたごけのあそびあそびのあそびあそびをしよう。

あそびあそびのあそびあそびをしよう。

ことばづくりのせかい
すこくあそび

あそびあそびのあそびあそびをしよう。あそびあそびのあそびあそびをしよう。あそびあそびのあそびあそびをしよう。

あそびあそびのあそびあそびをしよう。

あそびあそびのあそびあそびをしよう。

あそびあそびのあそびあそびをしよう。

あそびあそびのあそびあそびをしよう。

あそびあそびのあそびあそびをしよう。

あそびあそびのあそびあそびをしよう。

ページ見本は

とろびた



想いを教材にのせて



小学校入学前に必ず学習してほしい教材は



「ひらがな・さんすうのせかい」

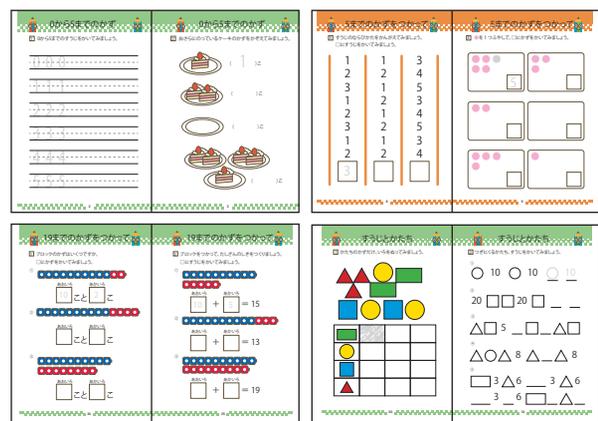
 線をなぞる、色をぬる、ひらがなを書く

ひらがなのせかいは、子供たちが楽しく学習できる教材です。このシリーズでは、ひらがなの書き方やカタカナ、一文のなぞり書き、絵の色ぬり、線や形をなぞるといった様々な活動が盛り込まれています。

この教材の特徴は、学習の基礎である「読んで、考えて書く」というスキルに特化していることです。子供たちは、問かけ問題を通じて自分の考えを言葉にする練習をすることができます。また、なぞり書きや色ぬりを通じて手先の動きを磨きながら、ひらがなやカタカナの形を覚えることができます。子どもたちの成長をサポートするために、ぜひこの教材を試してみてください。



 かずの導入からたしざん・ひきざん



さんすうのせかいは、アメリカの幼稚園の学習カリキュラムを基盤にしています。このカリキュラムでは、数の導入から始めて、たしざんやひきざん、そしてかたちなどの問題を通じて算数の学習を進めていきます。算数を学ぶ前に、この導入教材を使って基礎を固めることが大切です。算数は、日常生活でもよく使われる重要なスキルです。例えば、お買い物の際に値段を計算したり、時間を計算してスケジュールを組んだりするときに算数の知識が必要です。また、科学や技術の分野でも算数の概念が活用されています。そのため、幼少期から算数の基礎を身につけることは、将来の学習や職業においても大切です。

ページ見本は

ひらがなのせかい さんすうのせかい





未就学年、小学校低学年で学習することの習慣づけ

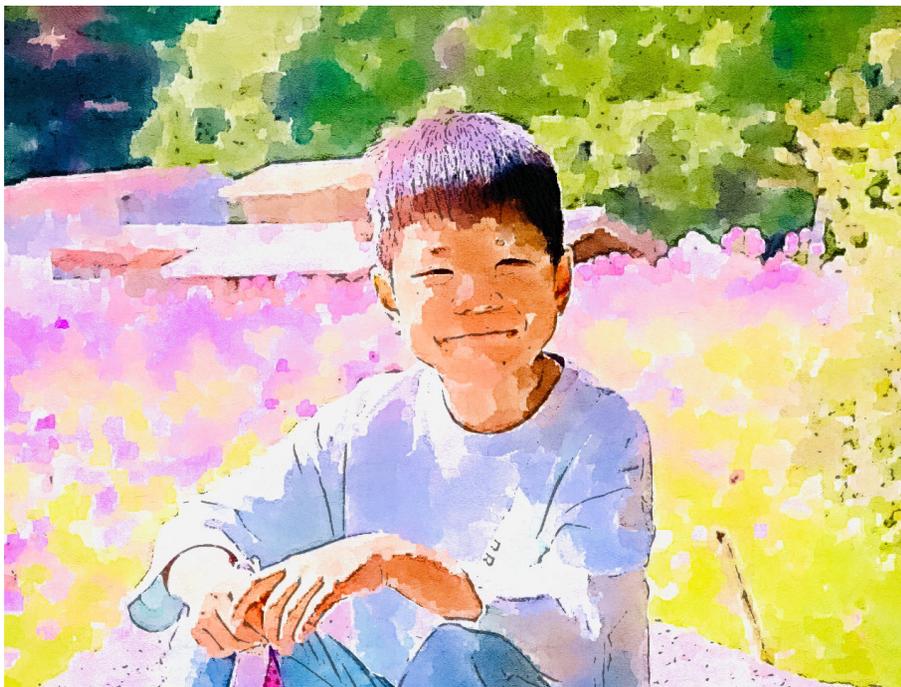
未 就学児童や小学校低学年の子どもたちに学習を指導する際に、一番重要なポイントは「学習することの習慣づけ」ができるかどうかです。多くの子どもたちは、自分に興味関心のあることに対しては、集中して取り組むことができます。例えば、好きなキャラクターやおもちゃに関する学習などは、30分でも1時間でも没頭して取り組むことがあります。しかし、興味のないことに対しては、わずか5分も持ちません。

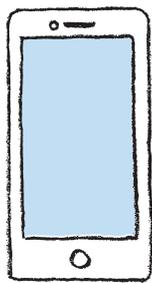
このため、「学習することの習慣づけ」をするためには、指導者が最初のうちはマンツーマンで指導する必要があります。一緒に考えたり、問題に取り組んだりすることが求められます。また、子どもが解いた問題に対しては、○などのマークを付けたり、指導することも重要です。子どもたちは自分の成果を認められることで、学習することに対する自信をつけることができます。

学習のレベルがある程度上がってきたら、1ページごとに指導をすることも可能になります。また、複数の問題をまとめて取り組むこともできます。このように段階的に指導方法を変えていくことで、子どもたちの学習効果を最大限に引き出すことができます。

特に最初の3ヶ月は、できる限り毎日学習することをおすすめします。学習することが習慣づいていくためには、継続的な取り組みが重要です。毎日の学習を習慣づけることで、子どもたちは自然と学習することに対する意欲を持つようになります。

最後に、学習指導は単に知識を与えるだけではありません。子どもたちが主体的に考え、問題解決能力や創造力を育むことも重要です。学習することの習慣づけを通じて、子どもたちの成長を支援しましょう。





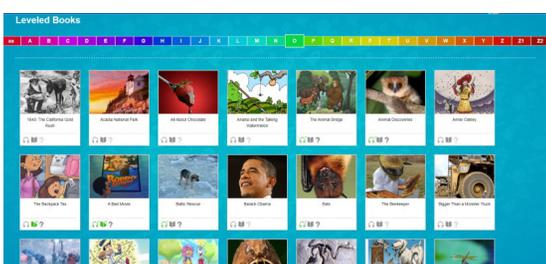
インターナショナルスクールの80%以上が使う副教材

「Raz-Kids (Raz-Plus)」



リスニングしながら読めるデジタル書籍

無料トライアルでお試し体験



Raz-Kids (Raz-Plus) は、インターネットを通じて利用できるデジタル書籍です。このプラットフォームは、アメリカの小学校を中心に、アジア各国やトルコなどの学校でも広く活用されています。その理由は、リスニングしながら読むことができるという便利さにあります。

Raz-Kidsの操作は非常に簡単です。ログイン画面でIDとパスワードを入力するだけで、パソコン、スマートフォン、タブレットなどから簡単に閲覧できます。特にスマートフォンやタブレットをお持ちの方は、専用の無料アプリをダウンロードすることで、より便利に利用することができます。iPhoneやiPod Touch、Androidなど、さまざまなデバイスに対応しています。

学林舎では、Raz-Kidsの利用方法も幅広く提供しています。教室用のアカウントを一括で購入することもできますし、生徒一人ひとりにアカウントを販売することも可能です。また、購入前には無料トライアル（10日間程度）ご利用いただけます。トライアル期間中にじっくりと利用してみて、その後に正規版（1年間利用）に変更することもできます。このシステムにより、利用者は安心して購入することができます。

日本でも、中学校や高校、塾などでRaz-Kidsの利用者が増えてきています。その理由は、このプラットフォームが英語学習に非常に効果的だからです。リスニングと読解を同時に行うことで、英語の理解力を向上させることができます。学林舎のホームページでは、無料体験の申し込みフォームを用意していますので、ぜひこの機会にRaz-Kidsを試してみてください。英語学習の効果を実感していただけるはずです。

無料トライアルは

Raz-Kids 学林舎





求める英語力<アメリカの高校生レベル>

私たちが子どもに求めている英語力は、母語である日本語と同じように使えることです。つまり、アメリカの高校生のレベルに到達することが理想とされています。この目標を達成するためには、英語を母語とする国の学校教育や学習方法を取り入れるのが一番の近道と言えます。

しかし、現在の公立中学・高校の英語学習では、私たちが求める英語力とは大きな差があります。実際、高校の英語教科書のレベルは、アメリカの小学校低学年レベルの英語に相当します。このような格差を埋めるためには、アメリカの中学生や高校生のレベルに合わせた英語学習を早い段階から始める必要があります。

問題なのは、アメリカの教科書や教材を使用して指導できる先生が日本国内には少ないということです。インターナショナルスクールやバイリンガルスクールでは、アメリカの教材を使用して指導されていますが、英語に特化した日本の学校では、そのような環境や資材を提供できる学校はほとんどありません。

近年では「英語は英語で読み書きし、考える」という考え方が広まってきています。そのため、従来の試験対策に偏った英語学習から、言葉としての英語学習に環境や指導方法が変化してきています。社会のグローバル化が進んでいる現代において、単に試験のための英語力やシチュエーション英会話だけではなく、英語での表現力が求められているのです。

そのためには、英語を学習するだけではなく、英語で学習することが重要です。学林舎では、多読用のデジタル教材であるRaz-Kidsを提供しています。この教材はアメリカの小学校のレベルに相当し、800冊以上から2,000冊以上の本を読むことができます。そのため、学校の副教材としても利用されています。

このように、英語学習は従来の試験対策から言葉としての英語力を身につけることに焦点が移ってきています。アメリカの教材や学習方法を取り入れることで、子どもたちが母語である日本語と同じように英語を自由に使うことができるようになるのです。



想いを教材にのせて

ゼロからはじめる英語導入教材

「英語ジュニアワークノートシリーズ」



英語ジュニアワークノートは、約350語の英単語を学ぶことができる素晴らしい学習教材です。この教材を通じて、中学の文法単元でよく使われる単語について学んでいきます。例えば、「be動詞」や「一般動詞」、「代名詞」、「疑問文・否定文」、「3人称・単数・現在」などの規則を学ぶことができます。

英語ジュニアワークノートは、英語の導入教材として非常に効果的です。初めて英語に触れる子供たちにとって、ワークノートを通じて楽しく学ぶことは、英語への興味を高める一助となるでしょう。そして、基本的な単語や文法をしっかりと身につけることで、将来的な語学力の基盤を築くことができます。



中学数学教材はコレ！

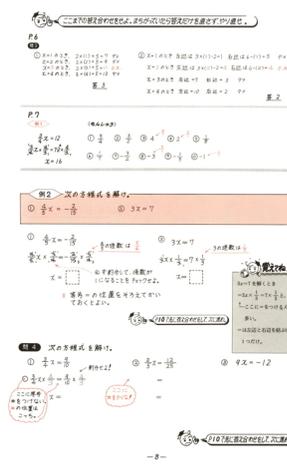


- ・ 正負の数
- ・ 文字と式
- ・ 1次方程式
- ・ 関数と比例
- ・ 平面・空間図形
- ・ 不等式
- ・ 統計
- ・ 式の計算
- ・ 連立方程式
- ・ 1次関数
- ・ 平行と合同
- ・ 平行四辺形
- ・ 確率
- ・ 多項式
- ・ 平方根
- ・ 2次方程式
- ・ 2次関数
- ・ 相似な図形
- ・ 円
- ・ 三平方の定理
- ・ 図形と計量

日本の数学者で遠山啓（1909年8月21日 - 1979年9月11日）さんという方がいました。遠山さんの言葉に「算数のがんらいいちばんやさしい教科である。なぜなら、それはごく少数の単純な原則から組み立てられているからである。その少数の原理を徹底的に理解するまで、ゆっくり時間をかけておしえればよいのである。」例えば、分数とその計算の意味が「わかる」ということは、分数が現実世界においてどう使われるかを理解することです。遠山さんは、この意味づけをしないで、計算練習ばかりすることは「計算ができる」というだけで、「わかる」ということにはつながらないと考えています。まずは、「わかる」ことを大切に考え、そのあとに「できる」ようになるのが本来の学びといえます。

遠山さんの考えを色濃く反映したのが「数学単元別」教材です。制作者である（故）北岡輝紀の書棚には遠山さんの水道方式、量の概念などにかかわる書籍が数多くあります。数学単元別が誕生したのは約40年前です。

数学単元別の特徴は子どもに「わかる」を実感させるための教材です。そのため、制作にあたっては何度も多くの子どもに数学単元別を学習してもらい、子どもから「わからない」という言葉がでないまで手直しが繰り返された教材です。私も当時、小学校6年でしたので何度も実験用の数学単元別を学習した記憶があります。そのため、先行学習で数学単元別をしていたので、中学数学の授業が良く分かったという記憶があります。コロナの影響により学習の遅れなどが心配されていますが、数学単元別を使っている学習現場では「より先行に、より復習に使える」といった声をお聞きします。数学単元別を使うことによって、受動的学習から能動的学習に学習方法が変わればと願っています。指導者が教えるまで、待つという学習方法からの脱却が求められます。



ページ見本は **数学単元別**



【開始級判定テストの使い方】

*コピーしてご利用ください。

成長する思考力（GT）シリーズ国語は、基本的には10級から開始します。この開始級判定テストは、小学5年生以上で、ある程度の学力がある場合にのみ使用して下さい。

したがって、このテストは7級～5級の判定テストになっています。小学低学年および小学4年生の場合は、10級から行ってください。

各判定テストの時間は20分。制限時間をお守りください。7級から順にテストを行ってください。

7級判定テスト	満点(50点)のみ6級判定テストを行います。
40点以上	7級から開始します。
10点以上40点未満	8級から開始します。
10点未満	10級から開始します。

6級判定テスト	満点(50点)のみ5級判定テストを行います。
40点以上	6級から開始します。
40点未満	7級から開始します。

5級判定テスト	40点以上5級から開始します。
	40点未満6級から開始します。

成長する
思考力
GT
国語
7級
開始級
判定テスト

学年

名前

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

おじいさんは考えたすえ、ある時ケメトスをそばによんで、今までかくしていたことを話してきかせました。

「ケメトスや、わしの言うことをよく聞くがよい。……お前が生まれる時に、わしは庭に出ていた。空一面に星がかがやいている晩だった。お前が無事に生まれるようにと心でのりながら、ぼんやり空を見上げていた。『すると、ひとときわ強く光っている星がわしの目にとまった。しばらくすると、その星がすーっと流れて、またたくまに消え失せてしまった。ちょうどその時に、家の中から、お前の産声が聞こえてきたのだ。』

わしには、そのことがいつまでもわすれられない。星が流れるのは、ことにひとときわかがやいている星が流れるのは、悪い知らせなのだ。お前が生まれる時に星が流れたのは、お前の運命がよくないという知らせだ。

だが、運命というものは、ある点まで自分の手でこしらえ直すことが出来る。わしのように老人になると、①そのことがはつきりわかるのだ。自分の運命を自分の手でよくしてゆくことが、人間の一番大切な仕事なのだ。

よいか、ケメトスや、お前はあまりよくない運命をもっているようだから、それをよくしようと努めなければいけない。さもないと、お前の終わりはきつと悪い。わかったか、ケ

メトスや。」

ケメトスは何とも答えなくて、ただうなずいてみせました。おじいさんのようすがいつになくきわめて真剣なのに、すっかりけおされてしまっていました。

A ケメトスには、おじいさんの言ったことがよくわかりませんでした。ただ、自分の生まれた時に星が流れたということだけが、はつきり頭にはいりました。そして②そのことを考えると、何だかうれしいような力強いような気がしました。

(豊島与志雄「彗星の話」より)

問一 文中の会話文は、だれがだれに話しているのですか。

問二 文中の『するとく聞こえてきたのだ。』をまとめていいかえている部分を文中からぬき出して十五字以内で答えなさい。

問三 ——線①、②の「その」とは何を指していますか。文中の言葉をぬき出して答えなさい。

問四 A にあてはまるつなぎ言葉をアウから選んで記号で答えなさい。

ア そして イ けれども ウなぜなら

問五 おじいさんは、人間の一番大切な仕事はどんなことだと言っていますか。文中からぬき出して二十字以内で答えなさい。

成長する
思考力

GT
国語
6級

開始級
判定テスト

学年

名前

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

ひとくちに慈悲ぶかい人といえは、だれにでもものをやる人、だれのいうことをも直ぐ聞き入れてやる人、何事も他人のためにことわれない人、こうきめてしまうのが普通でしょう。それはそうにちがいないでしょう、

それが①慈悲ぶかい人の他人に対する原則ですから。

しかし、②原則というのは結局原則であります。ものごとがすべて、原則どおり単純に行つてすむのなら世の中は案外やさしいものです。お医者でも原則通りですべて病人が都合よく処理出来るなら、どのお医者でもみな病理学研究室に閉じこもつておれば世話はありません。なにも、面倒な③臨床学など習つて実地研究の何年間など費やす必要は無いわけです。ところが、その必要がある。ありませんとも、そこが臨機応変、仏教のいわゆる、「時(時)、処(場所)、位(立場)」に適用する方法において原則を実地に応用しなければなりません。

本当の慈悲とは、ここに本当にものをあたえるに適当な事情を持つ人がある。その時、その人に適当な程のものをあたえる。④それが本当の慈悲であります。ここに⑤一人のなまけ者があつて、それが口を上手にしてすがつて来たとする。その口上手に乗ぜられ、ものをやったとする。それは慈悲に似て非なる

ものであります。おだてに乗つた、うかつもののおろかな所行です。そんな時、ものをやる代わりに、そのなまけ者のお上手者の頬に平手の一つも見まつてやる。いましめになり発憤剤になるかもしれません。その方が本当の慈悲です。(岡本かの子「慈悲」より)

問一 —— 線①「慈悲ぶかい人の他人に対する原則」とは何を指していますか。文中の言葉を使って、箇条書きで三つ答えなさい。

問二 —— 線②「原則」というのは結局原則であります」とは作者のどんな気持ちを表していますか。ア～ウから選んで記号で答えなさい。

ア 現実には原則通りになつていっているものだ。
イ 現実を原則に適するようにしたい。
ウ 現実には原則通りにいかないものだ。

問三 —— 線③「臨床学」とはどんな学問ですか。文中の中から漢字四字をぬき出して答えなさい。

問四 —— 線④「それ」は何を指していますか。文中の言葉を使って四十字以内で答えなさい。

問五 —— 線⑤「一人のなまけ者があつて、それが口を上手にしてすがつて来たとする」の場合、筆者はどうすることが本当の慈悲だといっていますか。文中の言葉を使って四十字以内でまとめなさい。

10点 問五	15点 問四	5点 問二	5点×3 問一																																																														
<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>																															<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>																															5点 問三	③	②	①
5点																																																																	
				<table border="1"> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> </table>																																																													
<table border="1"> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> </table>																																																																	
<table border="1"> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> </table>																																																																	
<table border="1"> <tr><td></td></tr> </table>																																																																	
<table border="1"> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> </table>																																																																	
<table border="1"> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> </table>																																																																	
<table border="1"> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> </table>																																																																	
<table border="1"> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> </table>																																																																	

成長する
思考力
GT
国語
5級
開始級
判定テスト

学年
名前

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

どこかへ旅行がしてみたくなる。しかし別にどこというきまったあてがない。そういう時に旅行案内記の類をあけて見ると、あるいは海浜、あるいは山間の湖水、あるいは温泉といったように、行くべき所がさまざま有りすぎるほどある。

A まずかりに温泉なら温泉ときめて、温泉の部を少し詳しく見て行くと、各温泉の水質や効能、周囲の形勝名所旧跡などのだいたいがざっとわかる。

B もう少し詳しく具体的な事が知りたくなつて、今度は温泉専門の案内書を捜し出して読んでみる。

C まずぼんやりとおおよその見当がついて来るが、いくら詳細な案内記を丁寧に読んでみたところで、結局ほんとうのところは自分で行って見なければわかるはずはない。もしもそれがわかるようならば、うちで書物だけ読んでいればわざわざ出かける必要はないと言ってもいい。

D 念のためにいろいろの人の話を聞いてみても、人によってかなり言う事がちがっていて、だれのオーソリテイを信じていいかわからなくなってしまう。それでさんざんに調べた最後には、つまりいいかげんに、賽でも投げると同じような偶然な機縁によつて目的の地をどうにかきめるほかはない。

① こういうやり方は言わばアカデミックなオーソドックスなやり方であると言われる。これは多くの人々にとって最も安全な方法で

あつて、こうすればめつたに大きな失望やとんでもない違算を生ずる心配が少ない。そして主要な名所旧跡をうっかり見落とす気がつかない。

しかし前の安全な方法にも短所はある。読んだ案内書や聞いた人の話が、いつまでも頭の中に巣くつていて、それが自分の目をかくし耳をおおう。それがためにせっかくわざわざ出かけて来た自分自身は言わば行李の中にも押しこめられたような形になり、結局案内記や話した人が湯にはいったり見物したり享樂したりすると同じような事になる、こういうふうになりたがる恐れがある。もちろんこれは案内書や教えた人の罪ではない。

(寺田寅彦「案内者」より 一部改編)

問一 A D にあてはまるつなぎ言葉をアから選んで、記号で答えなさい。

ア そうすると イ そこで ウ 次には
エ しかし オ ところで

問二 線①「こういうやり方」とありますがどんなやりかたですか。四十字以内でまとめなさい。

問三 線②「それ」は何を指していますか。

問四 線③「行李の中にも押しこめられたような形になり」とはどんな形になることをいっていますか。四十字以内で簡単にまとめなさい。

15 点 問 四	5 点 問 三	10 点 問 二	5 点 × 4 問 一																																																																					
<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>																																<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>																															<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td></td></tr> <tr><td>B</td></tr> <tr><td></td></tr> <tr><td>C</td></tr> <tr><td></td></tr> <tr><td>D</td></tr> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> </table>	A		B		C		D		
A																																																																								
B																																																																								
C																																																																								
D																																																																								
<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>								<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>							<table border="1"> <tr><td></td></tr> </table>																																																									

成長する
思考力
GT
国語
開始級
判定テスト
解答

注意

「文中の言葉を使って・・・」「・・・まとめなさい」という問いの解答は、採点者の判断で途中点をあげてください。

7 級解答

問一 (配点 10点)

だれが **おじいさん** だれに **ケメトス**

問二 (配点 10点)

お前が生まれる時に星が流れた

問三 (配点 5点×2)

- ① 運命というものは、ある点まで自分の手でこしらえ直すことが出来る
- ② 自分の生まれた時に星が流れた

問四 (配点 5点)

イ

問五 (配点 15点)

自分の運命を自分の手でよくしてゆく

こと

- ③ 何事も他人のためにことわれないこと

問二 (配点 5点)

ウ

問三 (配点 5点)

実地研究

問四 (配点 15点)

本当にものをあたえるに適切な事情を持つ人に適当な程のものをあたえること

問五 (配点 10点)

ものをやる代わりに、そのなまけ者のお上手者の頬に平手の一つも見まってること

五級解答

問一 (配点 5点×4)

A イ B エ C ア D ウ

問二 (配点 10点) 解答例

旅行案内記の類や人の話を聞いたりして、温泉や形勝名所旧跡などを調べる(やり方)

問三 (配点 5点)

読んだ案内書や聞いた人の話

問四 (配点 15点) 解答例

旅行案内記に書かれていることや話した人がしたことと同じことしかしなくなること

6 級解答

問一 (配点 5点×3)

- ① だれにでもものをやること
- ② だれのいうことをも直ぐ聞き入れてやること

△学習するみなさんへ▽

「思考力」とは文章を読んで、意味を理解し（文章を分析する力）、それをまとめて表現する（構想する力）ことをいいます。

学習のねらい

この級では「思考力」の基礎となる「考える」「想像する」が自然に身につくように、次のことを目標に学習を進めましょう。

- ① 「文のしくみ」では、正しいことばの使いかたを学び、ふだん使っていることばをもう一度みなおしましょう。
- ② 「一文を見て」では、「だれが」「いつ」「どこで」「なにを」「どのように」「どうした」のかを答える学習をしましょう。
- ③ 「絵を見て」では、「想像する」ことを楽しみながら、文のつくりかたを学びましょう。
- ④ 「文しようを見て」では、作者の言いたいことや気持ちを考えましょう。

注意

①～④の力を身につけるためには集中力が必要です。各回1時間を目安に学習しましょう。

このワークブックは、持続力を養うために、目次に対応して60回で完成する楽しい絵が裏表紙についています。目次タイトルが終わるごとに別紙のシートから1コマずつシールをとって裏表紙の同じタイトルのところにはっていきましょう。

★ ★ ★ 目次 ★ ★ ★

第1回	文のしくみ……………	1	第6回	文のしくみ……………	22	第11回	作文を見て……………	44
	一文を見て……………	2		一文を見て……………	23		ものがたり文を見て……………	45
	絵を見て……………	3		絵を見て……………	24		せつめい文を見て……………	46
	文しようを見て……………	4		作文を見て……………	25		詩を見て……………	47
第2回	文のしくみ……………	5	あたまたいそう(2)	文のしくみ……………	26	第12回	作文を見て……………	48
	一文を見て……………	6		一文を見て……………	27		ものがたり文を見て……………	49
	絵を見て……………	7		一文を見て……………	28		せつめい文を見て……………	50
	文しようを見て……………	8		絵を見て……………	29		詩を見て……………	51
第3回	文のしくみ……………	9	作文を見て……………	文のしくみ……………	30	あたまたいそう(4)	文のしくみ……………	52
	一文を見て……………	10		一文を見て……………	31	第13回	作文を見て……………	53
	絵を見て……………	11		絵を見て……………	32		ものがたり文を見て……………	54
	ものがたり文を見て……………	12		詩を見て……………	33		せつめい文を見て……………	55
	あたまたいそう(1)	13		詩を見て……………	34		詩を見て……………	56
第4回	文のしくみ……………	14	第9回	文のしくみ……………	35	第14回	作文を見て……………	57
	一文を見て……………	15		一文を見て……………	36		いろいろな文を見て……………	58
	絵を見て……………	16		絵を見て……………	37		せつめい文を見て……………	59
	せつめい文を見て……………	17		せつめい文を見て……………	38		詩を見て……………	60
第5回	文のしくみ……………	18	あたまたいそう(3)	文のしくみ……………	39	第15回	作文を見て……………	61
	一文を見て……………	19		一文を見て……………	40		いろいろな文を見て……………	62
	絵を見て……………	20		詩を見て……………	41		せつめい文を見て……………	63
	詩を見て……………	21		絵を見て……………	42		詩を見て……………	64



第1回

文のつみ

日分分
月時時

■ それぞれの といに 答えなさい。

(1) つぎの に あてはまる ことばを あとの から えらんで、書き入れなさい。

① きりんの は 長い。

② チューリップの 花が 。

③ 口を あける。

④ で 千羽づるを おった。

くび さいた はしった おおきく みじかく
おりがみ てつぼう き

(2) つぎの に あてはまる 文字を 下から えらんで、線で むすびなさい。

(れい) みかんと バナナを もらいました。

① 八時に 家 出て 学校に 行きます。

② 電車が ホーム 入って きた。

③ 紙 おもちやの 家を作った。

(3) つぎの に あてはまる 文字を 下の () から えらんで、書き入れなさい。

① 姉さんは わたし せが 高い。

② どうぶつえんには ゾウ ライオンが います。

③ バスには たくさんの ぎせき あります。

(4) つぎの に あてはまる 文字を 書き入れなさい。

① お母さん 作って くれた カバンです。

② つみ木 大きい はしを つくった。

③ 山を きりひらいて どうろ つくる。



第1回

一文を見て

日分分
月時時

三 それぞれの といに 答えなさい。

A つぎの 文を 読んで、 [] に あてはまる ことば を [] から えらんで、書き入れなさい。

けんたくんは きのう 友だちと こうえんで やきゆうを しました。

(1) ^ 「だれが」を答えるV

友だちと やきゆうを したのは、 [] です。

(2) ^ 「どこで」を答えるV

けんたくんは [] で やきゆうを しました。

(3) ^ 「何を」を答えるV

けんたくんは 友だちと [] を しました。

- がつこう やきゆう こうえん
- けんたくん たけしくん サッカー

B つぎの 文を 読んで、あとの といに 答えなさい。

おうさまが 広い くさはらで ぐうぐう おひるねを しています。

(1) おひるねを して いるのは、だれですか。

[] が して います。

(2) おうさまは どこで おひるねを して いますか。

[] で して います。

(3) おうさまは どんなふうにおひるねを して いますか。

[] おひるねを して います。

C つぎの 文を 読んで、 [] に あてはまる ことば を 書き入れなさい。

ぼくは おとうとに おもしろい 本を 買った。

(1) [] が 本を 買った。

(2) ぼくが [] の ために 買った 本は [] 。

[] 。



第1回

文しょうを見て

日 分
時 時

四 つぎの 文しょうを 読んで、あとの といに 答えなさい。

A

たかしが きのうの ゆうがた あそびに きました。
 こうえんへ 行って サッカーの ボールを けて
 あそびました。

(1) 〆「だれが」を答えるV

だれが あそびに きましたか。 たかしですか、それと
 も ひろしですか。

が あそびに きました。

(2) 〆「いつ」を答えるV

いつ あそびに きましたか。 あさですか、それとも ゆ
 うがたですか。

きのうの [] です。

(3) 〆「どこへ」を答えるV

どこへ いきましたか。 こうえんですか、それとも ゆう
 えんちですか。

へ いきました。

(4) 〆「何を」を答えるV

なにを けて あそびましたか。 ボールですか、それと
 も あきかんですか。

を けて あそびました。

B

日曜日にちようびに うみへ おとうさんと つりに いきました。
 注 あじが たくさん つれました。 家へ かえって お
 かあさんが りょうりしました。そして みんなで た
 べました。
 注 あじ…魚さかなのなまえ

(1) だれと つりに いきましたか。

[] と つりに いきました。

(2) どこへ つりに いきましたか。

[] へ つりに いきました。

(3) 何が つれましたか。

[] が つれました。

△学習するみなさんへ▽

「思考力」とは文章を読んで、意味を理解し（文章を分析する力）、それをまとめて表現する（構想する力）ことをいいます。

学習のねらい

この級では「思考力」の基礎となる「考える」「想像する」が自然に身につくように、次のことを目標に学習を進めましょう。

- ① 「文のしくみ」では、正しいことばの使いかたを学び、ふだん使っていることばをもう一度見直しましょう。
- ② 「絵を見て」では、「想像する」ことを楽しみながら、文のつくりかたを学びましょう。
- ③ いろいろな文章を見て、作者の言いたいことや気持ちを表せるようになりましょう。

注意

①～③の力を身につけるためには集中力が必要です。各回1時間を目安に学習しましょう。

このワークブックは、持続力を養うために、目次に対応して64回で完成する楽しい絵が裏表紙についています。目次タイトルが終わるごとに別紙のシートから1コマずつシールをとって裏表紙の同じタイトルのところにはっていきましょう。

★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★

第1回	文のしくみ……………1	第7回	文のしくみ……………28	第13回	生活文を見て(1)……………55
	絵を見て……………2		絵を見て……………29		生活文を見て(2)……………56
	生活文を見て(1)……………3		生活文を見て(1)……………30		ものがたり文を見て(1)……………57
	生活文を見て(2)……………4		生活文を見て(2)……………31		ものがたり文を見て(2)……………58
第2回	文のしくみ……………5	第8回	文のしくみ……………32	第14回	説明文を見て(1)……………59
	絵を見て……………6		絵を見て……………33		説明文を見て(2)……………60
	生活文を見て(1)……………7		ものがたり文を見て(1)……………34		詩を見て(1)……………61
	生活文を見て(2)……………8		ものがたり文を見て(2)……………35		詩を見て(2)……………62
第3回	あたまたいそう(1)……………9	第9回	あたまたいそう(4)……………36	第15回	あたまたいそう(7)……………63
	文のしくみ……………10		文のしくみ……………37		生活文を見て……………64
	絵を見て……………11		絵を見て……………38		ものがたり文を見て……………65
	ものがたり文を見て(1)……………12		説明文を見て(1)……………39		説明文を見て……………66
	ものがたり文を見て(2)……………13		説明文を見て(2)……………40		詩を見て……………67
第4回	文のしくみ……………14	第10回	文のしくみ……………41	第16回	生活文を見て……………68
	絵を見て……………15		絵を見て……………42		ものがたり文を見て……………69
	説明文を見て(1)……………16		詩を見て(1)……………43		説明文を見て……………70
	説明文を見て(2)……………17		詩を見て(2)……………44		詩を見て……………71
第5回	あたまたいそう(2)……………18		あたまたいそう(5)……………45		あたまたいそう(8)……………72
	文のしくみ……………19	第11回	生活文を見て(1)……………46		
	絵を見て……………20		生活文を見て(2)……………47		
	詩を見て(1)……………21		ものがたり文を見て(1)……………48		
	詩を見て(2)……………22		ものがたり文を見て(2)……………49		
第6回	文のしくみ……………23	第12回	説明文を見て(1)……………50		
	絵を見て……………24		説明文を見て(2)……………51		
	生活文を見て(1)……………25		詩を見て(1)……………52		
	生活文を見て(2)……………26		詩を見て(2)……………53		
	あたまたいそう(3)……………27		あたまたいそう(6)……………54		



■ それぞれの問いに答えなさい。

(1) 次の文の にあてはまることばを から選んで、書き入れなさい。

① 弟のるす中に、弟のビー玉を、 かりて遊あそびました。

② 母が入れたミルクを 飲のんだ子ねこは、すやすやとねている。

③ 雪がとけた五月に、りんごの木はいつせいに花をひらかせる。

こっそり すっかり たつぷり

(2) てきとうな文になるよう「ア、イ」のいずれかを選んで記号に○をつけなさい。

① ききのこやくだものがどどっさり「ア 深ふかい イとれる」秋あきになった。

② 日がくれたのに、弟はまだなわとびを「ア している
イ 終おえた」。

(3) 次の文はどちらが正しい言い方でしょうか。正しい方の()に○を書き入れなさい。

① () 妹もできるさか上がりを、ぼくはなぜできるのだらう。

() 妹もできるさか上がりを、ぼくはなぜできないのだらう。

② () もし強い風がふいたので、この橋はわたれなくなりなります。

() もし強い風がふいたら、この橋はわたれなくなりなります。

(4) 次の文の にあてはまることばを書き入れなさい。

① そうじ当番がつかいとは、**少しも思** 。

② たぶん母は、妹が行くのを知 ない 。

③ 父の仕事場には、妹は**決して**近よ 。



第1回

絵を見て

日 分
時 時

二 次の絵を見て、問いに答えなさい。



(1) 次の「」のことは使^{つか}って、①～④の絵を説明^{せつめい}しなさい。「」、「」を入れて文をつくること

① 「ふっている 雨」

② 「テレビ 家 男の子」

③ 「サッカー 男の子たち 試合^{しあい} 雨」

④ 「太陽^{たいよう} 顔 雲」

(2) ①のあとに②、④が起^おこったことを表^{あらわ}しています。
にあてはまることばを書き入れ、文を完成^{かんせい}させなさい。

① ↓ ② ので、

家で 。

① ↓ ④ 、太陽が

。

(3) ①と④の絵の の部分^{ぶぶん}に、てきとうな絵を書き入れなさい。



第1回

生活文を見て

(1)

日 分
時 時

三

次の文章しやうを読んで、あとの問いに答えなさい。

馬かぞくの家族が、牧場ぼくじやうを走っています。広い牧場で、みんなれんしゆうで走る練習をしています。真まつ黒な毛なみで、体も大きく、力強く、子馬に走り方を教えているようです。しっぽを①せんすのように広げて、ふり返かえりながら、「②こっちだよ。はぐれないように、みんなついておいで。」

と、はげましているように見えます。

うす茶色の毛なみの太った馬は、お母さんです。お母さん馬は、子どもたちを守りながら、後ろから走っていくのです。

(1) A にあてはまることばをア〜ウから選んで、記号で答

えなさい。

ア つまり イ きつと ウ もつと

()

(2) 次の文の にあてはまることばを書き入れなさい。

うす茶色の毛なみの太った馬は、 馬です。

(3) 馬の家族はどこで走る練習をしていますか。文中からてきとうな二字のじゆく語をぬき出しなさい。

(4) — 線①「せんすのように」見えるのは何ですか。

(5) どの馬が — 線②のことばを言ったように見えるのですか。

(6) この文章は、何について書かれたものですか。次の にあてはまることばを書き入れなさい。 の 馬

(7) この文章を次のようにまとめました。 にあてはまることばを文中からぬき出し、まとめ文を完成させなさい。

お父さん馬が を走り、お母さん馬は

を守りながら、後ろから走っています。



第1回

生活文を見て (2)

日 分 分
月 時 時

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

わたしたちの家にはたいていたたみがあります。たたみは、冬はあたたかく、夏はずずしく感じられますが、わたしたちのくらしにすっかりなじんでいるこのたたみが何からできているのか、考えたことがありますか。たたみは、たたみ表と床からできています。たたみ表は、日本の国内では主に熊本県でとれるいぐさのくきを織おって作ります。そして床は、いねのくきをほした物もの、**A**、わらをあつくならべておし固かため、あんで作ります。わらは、たたみの床に使つかわれるだけではありません。そのまま使つかわれたり、いろいろな物ものに加工かこうして使つかわれたりしています。

- (1) **A** にあてはまることばをア〜ウから選んで、記号で答えなさい。
- ア しかし イ そして ウ つまり

() ()

- (2) たたみ表は主にどこでとれる何を織おって作つくっていますか。文中からぬき出しなさい。

_____ でとれる _____ の _____

- (3) わらとはどんな物ですか。文中から十字でぬき出しなさい。

- (4) この文章は、何について書かれたものですか。文中から三字でぬき出しなさい。

- (5) この文章を次のようにまとめました。_____ にあてはまることばを文中からぬき出し、まとめ文を完成させなさい。

たたみは _____ と _____ からできています。たた

み表は _____ のくきからできています。床は _____

のくきをほした _____ からできています。

〈学習するみなさんへ〉

「思考力」とは文章を読んで、意味を理解し（文章を分析する力）、それをまとめて表現する（構想する力）ことをいいます。

学習のねらい

この級では文章をまとめて表現できるように、次のことを目標に学習を進めましょう。

- ① 「文のしくみ」では、正しいことばの使いかたを学び、ふだん使っていることばをもう一度見直しましょう。
- ② 「絵を見て」では、「想像する」ことを楽しみながら、文のつくりかたを学びましょう。
- ③ いろいろな文章を見て、作者の言いたいことや気持ちを考えましょう。

注意

①～③の力を身につけるためには集中力が必要です。各回1時間を目安に学習しましょう。

このワークブックは、持続力を養うために、目次に対応して64回で完成する楽しい絵が裏表紙についています。目次タイトルが終わるごとに別紙のシートから1コマずつシールをとって裏表紙の同じタイトルのところにはっていきましましょう。

★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★

第1回	文のしくみ……………1	第7回	文のしくみ……………25	第13回	随筆文を見て……………49
	絵を見て……………2		絵を見て……………26		物語文を見て……………50
	生活文を見て(1)……………3		随筆文を見て(1)……………27		説明文を見て……………51
	生活文を見て(2)……………4		随筆文を見て(2)……………28		俳句と説明文を見て……………52
第2回	文のしくみ……………5	第8回	文のしくみ……………29	第14回	随筆文を見て……………53
	絵を見て……………6		絵を見て……………30		物語文を見て……………54
	生活文を見て(1)……………7		物語文を見て(1)……………31		説明文を見て……………55
	生活文を見て(2)……………8		物語文を見て(2)……………32		詩を見て……………56
第3回	文のしくみ……………9	第9回	文のしくみ……………33	第15回	随筆文を見て……………57
	絵を見て……………10		絵を見て……………34		物語文を見て……………58
	物語文を見て(1)……………11		説明文を見て(1)……………35		説明文を見て……………59
	物語文を見て(2)……………12		説明文を見て(2)……………36		詩を見て……………60
第4回	文のしくみ……………13	第10回	文のしくみ……………37	第16回	随筆文を見て……………61
	絵を見て……………14		絵を見て……………38		物語文を見て……………62
	随筆文を見て……………15		詩を見て……………39		説明文を見て……………63
	説明文を見て……………16		短歌俳句と韻文を見て……………40		短歌と説明文を見て……………64
第5回	文のしくみ……………17	第11回	生活文を見て……………41		
	絵を見て……………18		随筆文を見て……………42		
	詩を見て(1)……………19		物語文を見て(1)……………43		
	詩を見て(2)……………20		物語文を見て(2)……………44		
第6回	文のしくみ……………21	第12回	説明文を見て(1)……………45		
	絵を見て……………22		説明文を見て(2)……………46		
	随筆文を見て(1)……………23		詩を見て(1)……………47		
	随筆文を見て(2)……………24		詩を見て(2)……………48		



一 それぞれの問いに答えなさい。

(1) 次の () に適当な漢字を「 」から選んで、書き入れなさい。

① 「飼う 買う 交う」

ア 発売されたばかりの本を ()。

イ 学校でウサギとニワトリを ()。

② 「映す 移す 写す」

ア バスの時刻表を手帳に書き ()。

イ 植木鉢を日向に ()。

(2) 次の () に同じ読み方の漢字二字を書き入れなさい。

① ほけん

火災 () をかける。

けがをしたので、 () 室に行く。

② さいげん

会議が () なく続く。

ビデオで試合を () する。

③ きちよう

ホテルでは () 品をフロントに預けるようにしよう。

店の売り上げをノートに () する。

④ こうし

おじさんは大学の () をしている。

() の別なく物を大切にしよう。

(3) 次の漢字は同じ読み方をします。それぞれの漢字を使って短文をつくりなさい。

① やぶれた

破れた ()

敗れた ()

② おさめる

収める ()

修める ()

治める ()



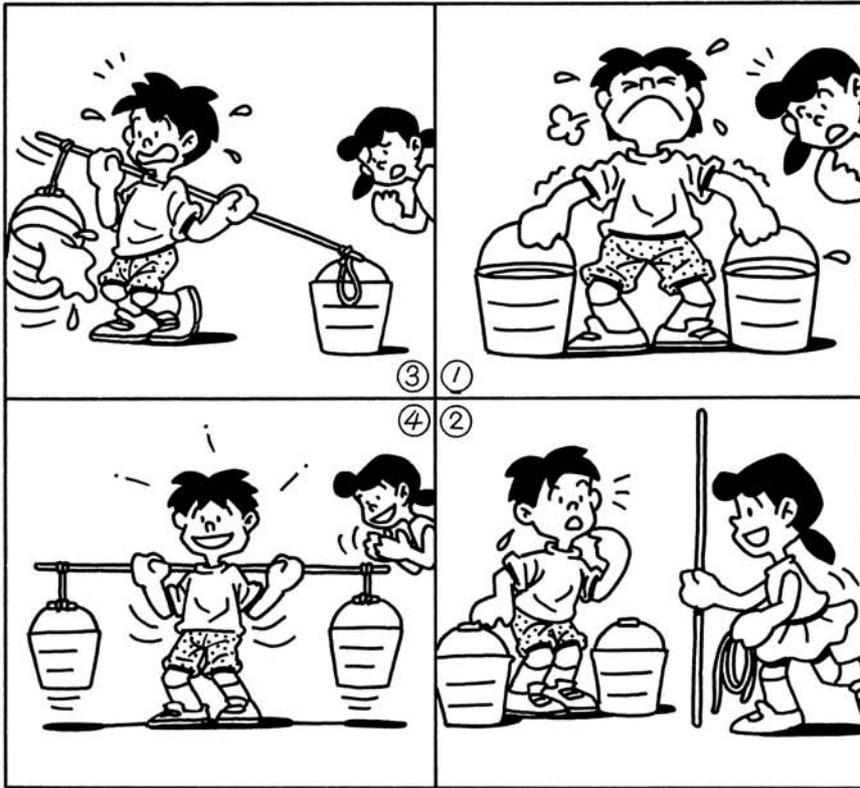
第1回

絵を見て

日 分
時 時

三

次の絵は、「てんびんのつりあい」について説明したものです。問いに答えなさい。ただし、バケツは同じぐらいの重さです。



(1) ①～④の絵を順をおって説明しなさい。

(句読点を入れて文にすること)

④ ③ ② ①

(2) 女の子がロープと棒を使うように言ったのはなぜだと思いますか。

(3) ③では片方しか持ち上がらなかったのに、④では両方が持ち上がったのはなぜですか。(句読点を入れて文にすること)



第1回

生活文を見て (1)

日 分

時 分

月 時 分

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ああ暑い。草取りなんてつまらないなあ。」

夏になると、学校の仲良し農園にも、次々に草が生え始める。草取りをしないと農園に植えている作物が育たなくなるので、いやいやながらも草取り作業だ。

雑草は後から後から生えてきて、いやな植物だ。特に、メヒシバという草は、しつこく畑に生えてくる。夏の暑いときの草取りは、メヒシバなどの雑草とわたしの戦いだ。短い時間の草取りなのに、終わったときには、もうくたくたで、どうして草なんかが生えてくるんだろう、生えてこなければいいのにと、何度思ったことだろう。

『雑草のくらし』という本を見たとき、わたしは、どうして雑草なんかを題材に本を作るのかなあと思った。A、なにかおもしろいことでも書いてあるのかもしれないと思って、読んでみることにした。

①この本は、ある空き地の五年間にわたる雑草の観察記録である。B おどろいたのは、植物の様子がとてむくわしく書かれていたことと、それを五年間もの間、ずっと観察し続けたことである。五年間、人間の手を入れずに放置しておく、毎年空き地の主になる植物が変わっていく。

わたしは、毎年雑草をぬいでしまうので、この変わり方には目を見張った。つるをいっぱいにはし、空き地一面におおいかぶさったカラスノエンドウは、子孫を増やそうと、たくさんの種子を残していつ

た。

次の年にはたくさんの芽が出るはずなのに、C 次の勢力によってその主役の座からすべり落ちた。ここに自然の力強さ、きびしさを感じた。

(1) A、C にあてはまる言葉をア～ウから選んで、それぞれ記号で答えなさい。

ア もう イ でも ウ まず

A () B () C ()

(2) 線①「この」は何を指しますか。文中から六字でぬき出しなさい。

(3) この文章では、「ほっておくと雑草はどうなる」と言っていますか。文中からぬき出しなさい。

()

(4) この文章を次のように要約しました。次の空らんにあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

わたしは、雑草の () を読み、その ()
に目を見張った。ここに ()
や () を感じた。



第1回

生活文を見て(2)

日 分 分
月 時 時

四

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

いよいよ大根をつける日です。

母がおからを買ってきました。ざらめをにて冷ましたのを、おからに混ぜました。それから、やわらかい生の柿かきをつぶして混ぜました。五個入れました。①「これ」がおいしくするひみつかなど思いました。これを三十分ぐらい置いてからかき混ぜると、おからがぬるぬるしました。これで大根をつけられます。

〔A〕、たるをあらって塩を量りました。塩は六百グラムです。大根は十七キログラム、おからは四キログラム、ざらめは八百グラムです。

たるの中にビニルをしいて、おからを下にぬりました。〔B〕、大根を一列にならべて塩を少しふりかけて、おからをぬりました。これをくり返して半分ぐらいつけたら、ふりかける塩の量を多くしました。上に多くかけると塩が下に下がっていつて、水分が出て〔C〕よくなるそうです。上のほうになったら、おからもたくさんぬりつけて、大根が見えなくなるほどでした。そして、ビニルをかぶせてふたをして、もう一たる作ったのを重石代わりに重ねて、上のほうのたるには重い石を乗せました。

「昔は大根にさとうなんか入れないで、ぬかに柿の皮を入れて、塩は今の倍も入れたんだよ。そうしないと、冷ぞう庫もハウスもないからすっぱくなるので、塩からくして食べたんだよ。」と教えてくれました。

わたしは、大根をおいしくつけることは、ふつうのさとうではなく、ざらめを入れることと、おからに柿を入れることだと思いました。

(1) 〔A〕～〔C〕にあてはまる言葉をア～ウから選んで、それぞれ記号で答えなさい。

ア ちようど イ そして ウ まず

(2) 線①「これ」は何を指しますか。

A () B () C ()

(3) この文章は四つの内容の段落だんらくに分けることができます。次の段落の初めの三字をぬき出しなさい。(句読点や符号はふくまない)

第二段落	<input type="text"/>	<input type="text"/>	第三段落	<input type="text"/>	<input type="text"/>
第四段落	<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>

(4) この文章で、「昔は塩をたくさん入れた」のはなぜだと言っていますか。文中から一文をぬき出し、初めの五字を書きなさい。

(5) この文章を次のように要約しました。空らんにあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

わたしは、母が () をつけるのを見て、おいしくつけることは、 () を入れた () () を入れることだと思った。

〈学習するみなさんへ〉

この教材は、社会で起こっているできごとに関心をもち、そのできごとについて考え、要約します。要約することを通じて、表現力を育むことを一番の目的としています。一般的な教材のように○×で評価する教材ではありません。評価基準を次の4つに設定します。S・Aを目指して学習を進めましょう。

- S とてもよくできている。(解答例と同じか、ほぼ近いことが書けている。)
- A よくできている。(意味のとれる文が書けているが、ポイントとなる語や内容がぬけている。)
- B がんばっている。(文の内容が読み取りにくく、ポイントがずれてはいるが、何とか文を書こうとする努力が見られ、完成させている。)
- C もう少しがんばろう。(何も書いていない。あるいは、文が完成せず、途中で終わっている。)

〈学習ポイント〉

- ・要約力・表現力を身につけるためには集中力が必要です。1ページ10〜20分を目安に学習しましょう。
- ・自分の書いた文章をもう一度、読み直す習慣を身につけましょう。
- ・わからない言葉は辞書などで調べましょう。

△目次▽

第1回 野生生物があぶない	第5回 福祉問題
絵を見て・・・	絵を見て・・・
資料を見て・・・	資料を見て・・・
要約する・・・	要約する・・・
表現する・・・	表現する・・・
1	17
第2回 エネルギー問題	第6回 人口問題
絵を見て・・・	絵を見て・・・
資料を見て・・・	資料を見て・・・
要約する・・・	要約する・・・
表現する・・・	表現する・・・
2	21
第3回 食料と水の問題	第7回 環境問題
絵を見て・・・	絵を見て・・・
資料を見て・・・	資料を見て・・・
要約する・・・	要約する・・・
表現する・・・	表現する・・・
3	25
第4回 日本の農林水産業	第8回 税金について
絵を見て・・・	絵を見て・・・
資料を見て・・・	資料を見て・・・
要約する・・・	要約する・・・
表現する・・・	表現する・・・
4	29

第1回

野生生物があぶない

日 分
月 時 分

次の文を読んで、あとの質問に絵を見て答えましょう。

初回は「野生生物があぶない」というテーマで学習をすすめていきます。一言で「野生生物」と言っても、地球上にはさまざまな種類の生物が住んでいます。わたしたち人間などのほ乳類、トカゲやヘビなどは虫類、ハトやカラスなどの鳥類、カエルなどの両生類、タイやヒラメなどの魚類、カブトムシやチョウなどの昆虫、植物もいけば、微生物や細菌も生物です。地球は「野生生物の宝庫」と言ってもよいでしょう。しかし、その野生生物が今、危険な状況におちいついています。一体、何が起きているのでしょうか。

- (1) 次の絵はどのようなことを表していますか。「人類」、「生活」、「便利」、「環境」という言葉を使って書きましょう。



Blank writing area with vertical dashed lines for the first question.

- (2) 次の絵はどのようなことを表していますか。「森林」、「すみか」という言葉を使って書きましょう。



Blank writing area with vertical dashed lines for the second question.

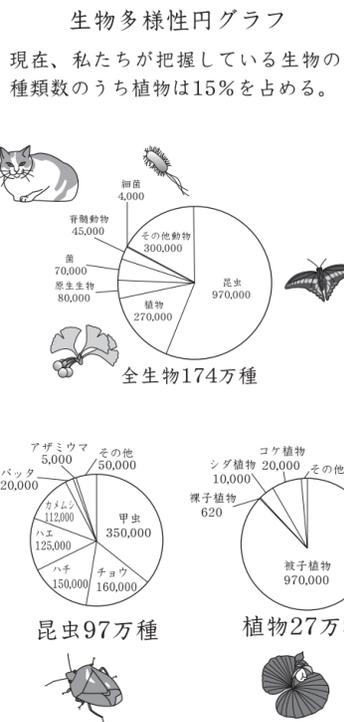
第1回

野生生物があふない 資料を見て

日時
月時 分

資料を見て、あとの質問に答えましょう。

(1) 次の資料は、地球上にいる生物の数を示したものです。この資料を見て、わかることを二つ、一つは昆虫について、一つは植物について書きましょう。



Blank writing area for question (1).

(2) 次の資料は、「日本における絶滅のおそれのある野生生物数」を表したものです。「絶滅」と「絶滅のおそれのある種」の合計数を計算して書きこんだうえで、資料からわかることを書きましょう。

	絶滅	野生絶滅	絶滅のおそれのある種
動物	47	3	1338
ほ乳類	7	—	34
鳥類	14	1	97
は虫類	—	—	36
両生類	—	—	22
魚類	3	1	167
昆虫類	4	—	358
貝類	19	—	563
その他	—	1	61
植物など	66	12	2259
合計		15	

（「日本国勢図会2013/14」より作成）

Blank writing area for question (2).

第1回

野生生物があふない 要約する

日時
月時 分

(1) 次の文章を百二十字以内で要約しましょう。

「レッドリスト」という言葉を聞いたことがありますか。「レッドリスト」とは、絶滅のおそれのある野生生物の名前を集めた表です。IUCN(国際自然保護連盟)という組織が、世界中の絶滅の危機にある動物を選び、「レッドリスト」を作成しています。「絶滅する」ということは、「すっかりほろびて絶えてしまう」ということを意味しています。つまり、ある野生生物が地球上からまったく消えてしまうことです。

「レッドリスト」には現在、約二万種の野生生物がのせられています。人類は、ほ乳類に分類されますが、レッドリストに登録されているほ乳類は約一一五〇種です。これまでに存在が認められているほ乳類が約五五〇〇種なので、今、生きているほ乳類の約五分の一が絶滅の危機にあるといえます。

Blank grid for question (1) summary.

(2) 次の文章を百二十字以内で要約しましょう。

約二万種もの野生生物が絶滅の危機にある理由の大部分は人間の活動によるものです。人間は肉や毛皮、角や象牙を得るために、多くの野生生物を獲ってきました。また、木材を得るために木を切り過ぎるなどして、野生生物の住む場所をうばってしまいました。外来種が増えすぎたことも一つの原因です。人間がペットなどとして持ちこんできた外国の動物たちが、捨てられたり、逃げ出したりして野生で繁殖したため、もともとその国にいた種類の生物が住めなくなりまし。人間が豊かな生活を求めて、エネルギーを大量に消費したために起こっている地球温暖化や酸性雨などの環境破壊の問題も、もちろん、野生生物を絶滅の危機に追いやっていく大きな要因です。

生き物は「食う・食われる」の関係で互いに影響を及ぼし合っています。ある種が絶滅すると、今まで「食う・食われる」の関係にあった動物たちが次々と影響を受けて、絶滅していきます。

Blank grid for question (2) summary.

第1回 野生生物があぶない 表現する

月 日
時 分

次の会話を読みましょう。



「今、多くの野生生物が絶滅の危機にあることがよくわかったわ。」



「地球には、約一七五万種類の生き物がいて、お互いにつながりをもって暮らしているんだ。だから、ある種類の生き物が絶滅するということは、大きな問題なんだ。」



「絶滅の危険がある野生生物を守るために、どうすればいいのかな？」



「ぼくがまとめてきたものがあるから、見て。」

野生生物を守るために、日常生活でできること。

1 省エネにつとめる

電気やガス、水道の使いすぎは、地球温暖化の原因になる。地球温暖化が進むと、環境が変わり、影響を受ける生物も多い。

2 むだなものをなくす

たとえば、紙のむだづかいは、野生生物が住む森林破壊につながる。物を大切に使うことを心がける。

3 ゴミを減らす

ゴミは最終的には、土の中や海など、地球のどこかに捨てることになる。ゴミ捨て場のまわりは、環境が変わってしまい、野生生物が住みづらくなる。



「野生生物を守るために、わたしたちにもできそうなことがいっぱいあるわね。」



「ぼくたちみんなが協力することで、地球の環境がよくなって、野生生物も住みやすくなると思うよ。」



「地球は、地球に住む生物みんなのものであることを考えなければならぬのよね。」

今回の学習を通じて、あなたの考えたことを自由に書きましょう。

Blank writing area for the first page.

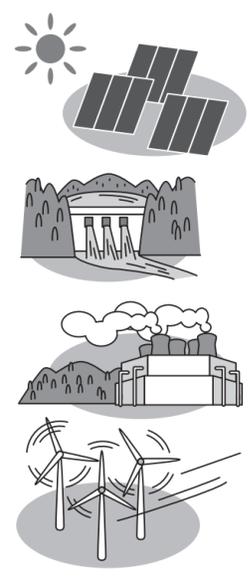
第2回 エネルギー問題 絵を見て

月 日
時 分

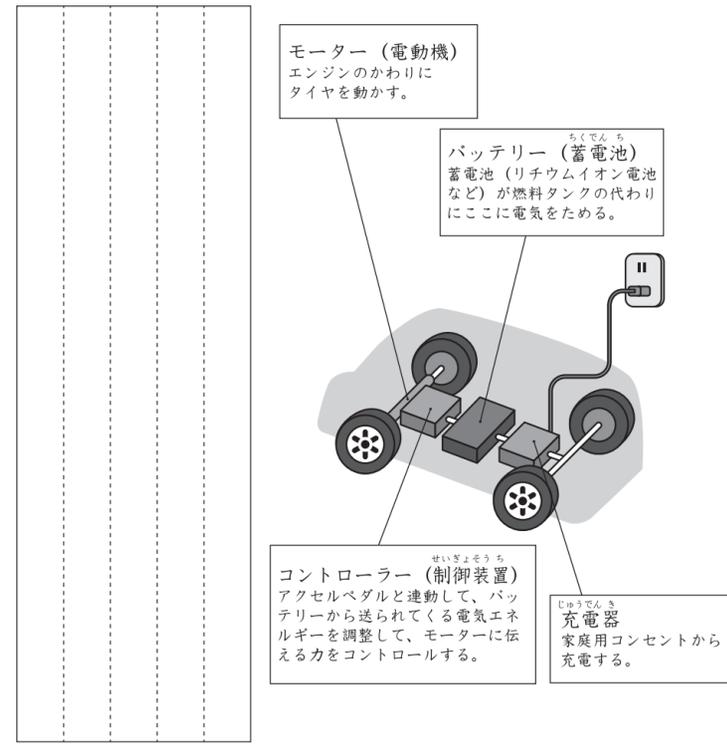
次の文を読んで、あとの質問に絵を見て答えましょう。

今回は「エネルギー問題」について学習します。「エネルギー」という言葉を聞いて、どんなものを想像しますか。「電気」、「石炭」、「石油」。最近では、太陽のエネルギーがいろいろと話題になっていますね。エネルギーは、わたしたちの生活に欠かすことのできないものですが、「石炭」や「石油」、「天然ガス」など、わたしたちが今たよりになっているエネルギーには限りがあつて、あと数十年でなくなってしまうと言われています。このようなエネルギーに代わる「新エネルギー」の開発が急がれています。

(1) 次の絵は今、開発がすすめられている新エネルギーを示したものです。どのようなエネルギーの開発がすすめられているか、そのエネルギーの特徴を考えて、書きましょう。



(2) 次の絵は電気自動車のしくみを表したものです。絵からわかる電気自動車のしくみを説明しましょう。



成長する思考力国語バージョン

growing power of thinking
要約力特化

解答例と評価基準

【答え合わせをするにあたっての注意】

この教材は、子どもたちが社会に起こっているできごとに関心を持ち、そのできごとについて、どのように考えるかを文章にすることを通じて、**子どもたちの生きる力を育むことを一番の目的**としています。そのため、評価基準を次の4つに設定します。

- S とてもよくできている。
- A よくできている。
- B がんばっている。
- C もう少しがんばろう。

それぞれの基準は、次のようになります。

- S 解答例と同じか、ほぼ近いことがポイントを押さえて書けている。
- A 意味のとれる文が書けているが、ポイントとなる語や内容がぬけている。
- B 文の内容が読み取りにくく、ポイントがずれてはいるが、何とか文を書こうとする努力が見られ、完成させている。
- C 何も書いていない。あるいは、文が完成せず、途中で終わっている。

各回、【解答例】【評価基準】を示しています。【解答例】では、キーワードになる文字を**赤字**にしています。このキーワードが入っているかを参考に【評価基準】を読んでいただき、S〜Cの評価をしてください。

- 【学習時間について】
この教材は、4つのテーマに分かれています。各テーマの想定時間は次のようになっています。
- 1 絵を見て (10分〜15分)
 - 2 資料を見て (10分〜15分)
 - 3 要約する (15分〜20分)
 - 4 表現する (15分〜20分)
- 時間に関しては、あくまでも目安です。学習者の状況に応じて、時間は決めてください。(例えば、「1回の学習で1テーマだけ学習」など。)
- 第1回 野生生物があぶない 絵を見て 1ページ**
- 【解答例】
- (1) **人類**は、**生活**を豊かで**便利**にするために、地球の**環境**をよこしている。
 - (2) 木が切り倒されて**森林**がなくなると、多くの**生物**が**すみか**をうばわれる。

【評価基準】

絵を見て、わかったことを文章で表すという課題です。

- (1) S キーワードを使って「人類が自分たちのために地球の環境をよこしている」という内容が書けていれば、「S」評価とする。
- A 「人類は環境をよこしている」「人類は自分勝手なことをしている」など、「S」評価の内容に言葉が足りない場合。
- B 「工場からけむりが出ている」「自動車から排気ガスを出している」など、キーワードが欠落し、絵の一部を見たまに説明している場合。
- C 「工場のけむりや排気ガス」など、文が完結していない、あるいは何も書けていない。

- (2) S キーワードを使って「森林がなくなると、多くの生物がすみかを失う」という内容が書かれていれば「S」評価とする。
- A 「森林は生物にとって大切だ」など、内容は合っているが、すべてのキーワードが使われず、S評価に少し言葉が足りない場合は「A」評価とする。
- B 「動物がこまっている」など、表現はつたないが、絵の内容の一部が説明されている場合は「B」評価とする。
- C 「森林と生物」など、主語がなく文が成立していない場合や何も書けていない場合は「C」評価とする。

第1回 野生生物があぶない 資料を見て 2ページ

【解答例】

- (1) ・植物の中で最も種類が多いのは被子植物で二十三万五千種いる。
 ・動物の中で最も種類が多いのは昆虫で、その中でも最も種類が多いのは甲虫である。

- (2) 絶滅種 113 絶滅のおそれのある種 3597
 日本ではすでに百種類以上の生物が絶滅をし、今後、絶滅のおそれのある生物が約三千六百種もいる。

【評価基準】

資料から読み取れることを文章で表すという課題です。

- (1) S 解答例のように、三つのグラフの関連性を読み取って、資料から読み取れる特徴的な内容が二つ正確に書かれていれば、「S」評価とする。
- A グラフの内容を読み取って書いているが、例えば、「シダ植物は一万種である」「甲虫は三十五万種もいる」など、内容が細かく、広い視点で見られていない場合は「A」評価とする。
- B グラフの内容を書こうとしているが、正確に読み取れていない場合や、文の意味が取りづらい場合。あるいは「昆虫が多い」など、表現がままたである場合。
- C 「動物と植物のグラフ」「たくさんの昆虫」など、文が完結していない、あるいは何も書けていない。
- (2) S 解答例のように、表に書かれている内容について、正しい数値を示しながら書かれていれば「S」評価とする。

- (2) S 「野生生物が絶滅の危機にある大部分は人間の活動による」という記述が一つ目の評価基準である。次に、その内容を簡潔にまとめていることも基準になる。「ある種の生物の絶滅が別の種の絶滅をもひきおこす」という内容については、かなり難しいので、なくても「S」評価をあたえてよい。
- A 「S」基準の内容のうち、どちらか一つしか書かれていない場合。両方の内容にふれようとしているが、文章が論理的にまとめられていない場合。
- B 一生懸命書いてはいるが、文章の意味がほとんどとれない場合。字数が五十字未満で、書かれている内容がうすい場合。
- C 文章として成り立っていない場合、字数が三十字未満で、やる気が感じられない場合、何も書けていない場合は「C」評価となる。

第1回 野生生物があぶない 表現する 4ページ

【解答例】

野生生物について学習し、わたしは非常にたくさん野生生物が絶滅の危機にあることを知って、とてもおどろきました。そして、多くの野生生物が絶滅の危機にある理由が人間の活動によるものだと知って、残念に思いました。だから、わたしは野生生物を守るために、できることをやっていきたいと思っています。地球の温暖化をくいとめるために省エネにつとめることや、むだなものをなくすこと、ゴミを減らすことは、心がけしだいできることだと思うので、実行していこうと思います。

【評価基準】

最後の課題は、今回の学習を通じて考えたことを書くというものです。

- S 自分の考えを書くのだから、子どもが素直な気持ちで書いたものができるだけ高い評価をしてあげるようにする。テーマにそつたもので、読み取れる内容が書かれていれば「S」評価となる。
- A まとまった量を書き、一生懸命書いていることが感じられるが、内容がテーマにずれている場合、意味が取りづらい場合は「A」評価である。
- B 書かれている文字数が少なめで、内容がうすいが、一応は作文として成り立っている場合。多くの文字数は書いているものの、文章の内容がほとんど読み取れない場合は「B」評価となる。
- C 内容がうすくて、書こうという意欲が見られない、文章が完結していない、何も書けていない場合は「C」評価である。

- A 「日本では、多くの生物が絶滅し、今後絶滅の危険がある生物も多い」など、正しいことは書いているが、数値が示されていない場合。
- B 表の内容を書こうとしているが、正確に読み取れていない場合や、文の意味が取りづらい場合。「絶滅した生物が多い」など、内容がうすい場合。
- C 「絶滅した生物」「絶滅の危険がある生物」など、文が完結していない、あるいは何も書けていない場合。

第1回 野生生物があぶない 要約する 3ページ

【解答例】

- (1) レッドリストは、IUCNという組織が、世界中で絶滅の危険がある生物を選んで示したものである。レッドリストには、約二万種の野生生物がのせられており、人類も属するほ乳類では、今、生きているなかの約五分の一が絶滅の危機にある。(百十字)

- (2) 野生生物が絶滅の危機にある理由の大部分は人間の活動によるものである。多くの野生生物をとつたこと、野生生物の住む場所をうばつたこと、人間が地球環境を悪くしたなどがその理由である。また、ある種の生物の絶滅は別の種の生物の絶滅をもひきおこす。(百二十字)

【評価基準】

まとまった文章を指定字数内で要約するという課題です。

- (1) S 「レッドリスト」「IUCN」という名称を用いて、レッドリストがどのようなかを説明されていることが一つ目の評価の基準。次に約二万種の野生生物がのっていること、ほ乳類についての記述があることが二つ目の基準で、これらがある程度示されていれば、「S」評価となる。
- A 「S」基準の内容のうち、どちらか一方しか書かれていない場合。両方のことは書かれているが、文章がわかりづらい、数値が欠落している場合。
- B 一生懸命書いてはいるが、文章の意味がほとんどとれない場合。字数が五十字未満で、書かれている内容がうすい場合。
- C 文章として成り立っていない場合。字数が三十字未満で、やる気が感じられない場合。

第2回 エネルギー問題 絵を見て 5ページ

【解答例】

- (1) 今は、太陽光や水、風、地熱など、限りのない自然エネルギーを利用した発電の開発がすすめられている。

- (2) 充電器によって家庭用コンセントから充電された電気は、バッテリーのために、コントローラーで調整されたあとタイヤを動かすモーターに送られる。

【評価基準】

絵を見て、わかったことを文章で表すという課題です。

- (1) S 「太陽光」「水」「風」「地熱」のうち三つ以上が書かれていれば「S」評価とする。「限りのない自然エネルギー」という言葉はなくても可とする。
- A 「自然のエネルギーが利用されている」など、表記がおおまかであるが、正しいことが書かれていれば「A」評価。
- B 「いろいろな発電がある」のように、文は完結しているが、ポイントがずれている場合は「B」評価。
- C 「太陽光発電」「水の利用」など、文が成り立っていないもの、何も書けていないものは「C」評価。
- (2) S 「充電器」「バッテリー」「コントローラー」「モーター」という言葉がふくまれていて、それぞれの関係について、ある程度説明されている「S」評価。
- A 「S」評価に必要な四つの言葉のうち二つか三つを使い、電気自動車について、ある程度説明されていれば「A」評価。
- B 「S」評価に必要な言葉のうち一つしか使われておらず、説明が部分的なものは「B」評価。
- C 説明が論理的でなく意味が伝わらないもの、何も書けていないものは「C」評価。

〈学習するみなさんへ〉

「文法」と聞けば、みなさんは「難しいだろうな」と思うでしょう。しかし、基本をおさえて学習すれば、文法の理解は可能です。このテキストは、小学校でおさえておきたい文法事項を中心に、言葉の知識、文作り、読解問題を総合的に学習できる構成になっています。各回の構成と学習時間の目安は次のようになっています。

文法を理解しよう！

各回のテーマである文法を学ぶページです。各回の文法に関する説明を読み、問題を解いて理解を確認します。学習目安時間 十分～十五分。

言葉の知識を広げよう！

「言葉集め」のほか、熟語の組み立て・同意語・反意語・四字熟語・同音異義語・同訓異字・慣用句など、言葉の知識を深めるための問題を集めています。学習目安時間 十五分～二十分。

文を作ってみよう！

テーマとなっている文法を中心に、短文やまとまりのある文章を書く、作文力を養成するコーナーです。学習目安時間 十分～十五分。

理解をたしかめよう！

各回で習った文法や言葉の知識を中心に、長文問題を解いていきます。学習目安時間 十分～十五分。

このテキストで学ぶのは、文法・言語の次の項目です。

- ①主語と述語 ②修飾語 ③品詞の種類 ④名詞・動詞 ⑤連体詞・接続詞
- ⑥助動詞 ⑦敬語 ⑧表現技法 ⑨熟語の組み立て ⑩同意語と反意語
- ⑪四字熟語 ⑫同音異義語 ⑬慣用句 ⑭同訓異字

テキストをやり終えたときには、国語に対する意識が高まり、これからの国語学習により効果があるでしょう。

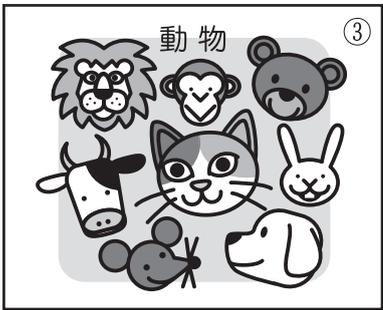
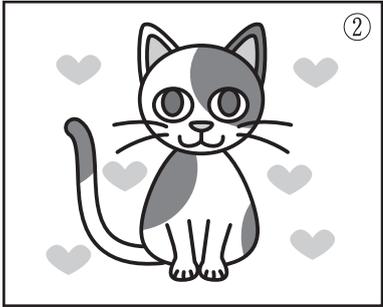
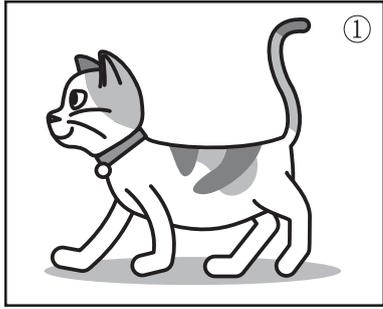
〈目次〉

第一回 主語と述語	文法を理解しよう！	言葉の知識を広げよう！	文を作ってみよう！	理解をたしかめよう！	1	2	3	4
第二回 修飾語	文法を理解しよう！	言葉の知識を広げよう！	文を作ってみよう！	理解をたしかめよう！	5	6	7	8
第三回 品詞の種類	文法を理解しよう！	言葉の知識を広げよう！	文を作ってみよう！	理解をたしかめよう！	9	10	11	12
第四回 名詞・動詞	文法を理解しよう！	言葉の知識を広げよう！	文を作ってみよう！	理解をたしかめよう！	13	14	15	16
第五回 連体詞・接続詞	文法を理解しよう！	言葉の知識を広げよう！	文を作ってみよう！	理解をたしかめよう！	17	18	19	20
第六回 助動詞	文法を理解しよう！	言葉の知識を広げよう！	文を作ってみよう！	理解をたしかめよう！	21	22	23	24
第七回 敬語1	文法を理解しよう！	言葉の知識を広げよう！	文を作ってみよう！	理解をたしかめよう！	25	26	27	28
第八回 敬語2	文法を理解しよう！	言葉の知識を広げよう！	文を作ってみよう！	理解をたしかめよう！	29	30	31	32
第九回 表現技法1	文法を理解しよう！	言葉の知識を広げよう！	文を作ってみよう！	理解をたしかめよう！	33	34	35	36
第十回 表現技法2	文法を理解しよう！	言葉の知識を広げよう！	文を作ってみよう！	理解をたしかめよう！	37	38	39	40

第一回

主語と述語 文法を理解しよう！

次の三つの絵を見てください。どんなことを表していると思いますか。



たとえば、それぞれ次のような文が考えられます。

① ネコが歩く。 ② ネコはかわいい。 ③ ネコは動物だ。
文は、説明のものになる言葉（主語）と、主語を説明する言葉（述語）を中心になり立っています。

①の文では、主語が「ネコが」、述語が「歩く」です。同じように、②の文の主語は「ネコは」、述語は「かわいい」、③の文の主語は「ネコは」、述語は「動物だ」です。

文には三つの基本文型があります。それでは、三つの文は、どんな組み立てでできているでしょうか。

- ① ネコが（何が） 歩く（どうする）。
- ② ネコは（何は） かわいい（どんなだ）。
- ③ ネコは（何は） 動物だ（何だ）。

このように三つの基本文型は、「何がどうする」、「何はどんなだ」、「何は何だ」という形になります。

それでは、例題で基本文型について、確かめてみましょう。

問一

次の①～⑩の文が、「何がどうする」の文型ならばアと、「何はどんなだ」の文型ならばイと、「何は何だ」の文型ならばウと答えましょう。

- ① この時計は古い。（ ）
- ② わたしの父は小学校の先生です。（ ）
- ③ ぼくは友達と公園で遊んだ。（ ）
- ④ 庭の花がくれました。（ ）
- ⑤ あれはおじさんの家です。（ ）
- ⑥ あの山はとてもけわしい。（ ）
- ⑦ 冬には雪がたくさん降る。（ ）
- ⑧ きょう見た絵はともきれいだっただ。（ ）
- ⑨ この動物園にはパンダがいます。（ ）
- ⑩ これはわたしのかばんです。（ ）

問二

次の①～⑥の文の中から、それぞれ主語と述語をぬき出しましょう。

- ① 米は 日本人の 主食です。
主語（ ） 述語（ ）
- ② さくらの 花が きれいに さきます。
主語（ ） 述語（ ）
- ③ とても 大きな 音が 聞こえました。
主語（ ） 述語（ ）
- ④ ぼくの 兄は サッカーの 選手だ。
主語（ ） 述語（ ）
- ⑤ わたしの 学校の 校庭は とても 広い。
主語（ ） 述語（ ）
- ⑥ かわいい 元気な 男の子が 生まれました。
主語（ ） 述語（ ）

第一回

主語と述語

言葉の知識を広げよう!

1 言葉を思い出して書こう!

わたしたちの身のまわりにあるものには、すべて名前がついています。町に出かけていくと、「公園」や「病院」など、いろいろな場所や建物がありますね。それでは、町にある場所や建物を思い出して、その名前をできるだけたくさん書いてみましょう。

公園						
病院						

2 熟語の組み立て

漢字を二字以上組み合わせ、別の意味を表した言葉を「熟語」といいます。熟語には、いくつかの種類の組み立てがあります。その主なものを見てみましょう。

- (1) 似た意味の漢字を重ねて、意味を強めたり広めたりする熟語。
寒冷：「寒い」と「冷たい」という、似た意味の漢字を重ねています。
- (2) 反対の意味の漢字を重ねて、両方の意味を表す熟語。
明暗：「明るい」と「暗い」という、反対の意味の漢字を重ねています。

(3) 先にある漢字が後の漢字をかざったり、説明したりする熟語。

親友：「親しい友だち」という意味を表し、「親」という漢字がど
ういう「友」なのかを説明している。

(4) 先に動詞を置き、後に目的となる漢字をつける熟語。

作文：「文を作る」という意味を表し、「文」が「作」という漢字
の目的になっている。

(5) 先の漢字が主語、後の漢字が述語の関係になっている熟語。

市立：「市が立てた」という意味を表し、「市」が主語に、「立」が
述語になっている。

(6) 先に「未・不・非・無」をつけて、後の漢字の意味を打ち消す熟語。

無力：「力が無い」という意味を表し、「無」が「力」の意味を打
ち消している。

次の①～⑩の熟語は後のア～カのどの組み立てですか。それぞれ選び、
記号で答えなさい。

① 習字（ ） ② 人造（ ） ③ 遠近（ ）

④ 未開（ ） ⑤ 増加（ ） ⑥ 水底（ ）

⑦ 無料（ ） ⑧ 寒暑（ ） ⑨ 教育（ ）

⑩ 校歌（ ）

ア 似た意味の漢字を重ねて、意味を強めたり広めたりする熟語。

イ 反対の意味の漢字を重ねて、両方の意味を表す熟語。

ウ 先にある漢字が後の漢字をかざったり、説明したりする熟語。

エ 先に動詞を置き、後に目的となる漢字をつける熟語。

オ 先の漢字が主語、後の漢字が述語の関係になっている熟語。

カ 先の漢字が後の漢字の意味を打ち消す熟語。

第一回

主語と述語 文を作ってみよう！

主語と述語は、文の基本となるものです。文を作る練習をしてみましよう。

1 「何がどうする」の文を作りましょう。

(1) 次の にあてはまる言葉を考えて、例にならつて、文をつ作りましよう。

は、昨日 。

(例) わたしの弟は、昨日公園でどんぐりを拾いました。

(2) 次の にあてはまる言葉を考えて、例にならつて、文をつ作りましよう。

は、来週 。

(例) ぼくの家族は、来週北海道へ旅行します。

2 「何はどんなだ」の文を作りましよう。

例にならつて、次の主語がどのようなものであるかを説明する文を作りますましよう。

(例) 桜の花

桜の花はとてもきれいです。

(1) この山

(2) イルカ

3 「何は何だ」の文を作りましよう。

例にならつて、次の主語が何であるかを説明する文を作りましよう。

(例) ソウ

ソウは耳が大きい動物です。

(1) あの建物

(2) 桃太郎

第一回

主語と述語 理解をたしかめよう!

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

正月といえは、何を思いうかべますか。年賀状、初もうで、門松、やっぱりお年玉でしょうか。

正月に欠かせないものの一つに、おせち料理があります。①おせち料理は、正月に食べるお祝いの料理です。おせち料理は、めでたいことを重ねるといふ願いをこめ、重箱につめて、基本は四段に重ねます。

おせち料理につめられている料理には、それぞれ意味があることを知っていますか。まずは②黒豆です。黒豆には、「一年中まめに働き、まめに暮らすことができるように」といふ願いがこめられています。数の子にはたくさんのお卵があることから、子孫繁栄を願う気持ちがかめられています。海老には、腰が曲がるまで丈夫に生きるといふ願いがこめられ、海老の赤色は、魔よけの色だとも言われています。昆布巻きは「よろこぶ」の語呂合わせから、祝いの席には欠かせない料理です。きんとんは、「金団」と書き、その色から富を得る縁起物とされています。

おせち料理は、五節句の料理の一つで、平安時代に宮中で行なわれていた「お節供」の行事に由来しています。「お節供」とは、季節の変わり目に、神にお供えをし、宴を開く宮中行事でした。江戸時代に、江戸の庶民がこの宮中行事を③生活に取り入れたことをきっかけに、全国的におせち料理の風習が広まりました。



(1) 線部①の文の主語と述語を答えなさい。

主語

述語

(2) 線部②「黒豆」、線部③「生活」は後のア〜カのどの組み合わせの熟語ですか。それぞれ選び、記号で答えなさい。

黒豆

生活

- ア 似た意味の漢字を重ねて、意味を強めたり広めたりする熟語。
- イ 反対の意味の漢字を重ねて、両方の意味を表す熟語。
- ウ 先にある漢字が後の漢字をかざったり、説明したりする熟語。
- エ 先に動詞を置き、後に目的となる漢字をつける熟語。
- オ 先の漢字が主語、後の漢字が述語の関係になっている熟語。
- カ 先の漢字が後の漢字の意味を打ち消す熟語。

(3) おせち料理の「海老」には、どのような意味がかめられていますか。わかりやすく説明しなさい。

解答と解説

この教材は、小学生が覚えておくべき国語の文法を中心として、四つのコーナーからなっています。それぞれのコーナーの答え合わせのときには、次の点に注意してください。

文法を理解しよう！

各回のテーマである文法を学ぶページです。各回の文法に関する問題の答え合わせが中心です。間違った問題は解説を読んで、確認させるようにしてください。

言葉の知識を広げよう！

「言葉集め」のほか、熟語の組み立て・同意語・反意語・四字熟語・同音異義語・同訓異字・慣用句など、言葉の知識を深めるための問題を集めています。「言葉集め」では、解答例にある語が出ていない場合には教えてあげてください。言葉に関する問題では、間違ったものは覚え直させるようにしてください。

文を作ってみよう！

テーマとなっている文法を中心に、短文やまとまりのある文を書く、作文力を養成するコーナーです。子どもが書いた文や文章が指示に合ったものかどうかを確認して、評価してください。

理解をたしかめよう！

各回で習った文法や言葉の知識を中心に、長文問題を解いていきます。間違った問題が多い場合は、解説を読ませてから、もう一度長文を読み直させるようにしてください。

第一回

主語と述語 文法を理解しよう！

1ページ

問一

- ① イ ② ウ ③ ア ④ ア ⑤ ウ ⑥ イ ⑦ ア ⑧ イ
⑨ ア ⑩ ウ

解説

- ① 主語は「時計は」で、述語は「古い」です。
② 主語は「父は」で、述語は「先生です」です。
③ 主語は「ぼくは」で、述語は「遊んだ」です。
④ 主語は「花が」で、述語は「かれました」です。
⑤ 主語は「あれは」で、述語は「家です」です。
⑥ 主語は「山は」で、述語は「けわしい」です。
⑦ 主語は「雪が」で、述語は「降る」です。
⑧ 主語は「絵は」で、述語は「きれいだった」です。
⑨ 主語は「パンダが」で、述語は「います」です。
⑩ 主語は「これは」で、述語は「かばんです」です。

問二

- ① 主語 米は 述語 主食です
② 主語 花が 述語 さきます
③ 主語 音が 述語 聞こえました
④ 主語 兄は 述語 選手だ
⑤ 主語 校庭は 述語 広い
⑥ 主語 男の子が 述語 生まれました

解説

- ① 「米は主食です」とつながり、「何は何だ」の文です。
- ② 「花がさいています」とつながり、「何がどうする」の文です。
- ③ 「音が聞こえました」とつながり、「何がどうする」の文です。
- ④ 「兄は選手だ」とつながり、「何は何だ」の文です。
- ⑤ 「校庭は広い」とつながり、「何はどんなだ」の文です。
- ⑥ 「男の子が生まれました」とつながり、「何がどうする」の文です。

第一回

主語と述語

言葉の知識を広げよう！

2 ページ

1 言葉を思い出して書こう！

(公園)、(病院)、駅、市役所、警察署、消防署、スーパーマーケット、デパート、コンビニエンスストア、ドラッグストア、神社、教会、マンション、市場、小学校、中学校、高校、大学、幼稚園、保育園、動物園、水族館、図書館、博物館、野球場、競技場、スポーツセンター、ジム、カラオケ店、パチンコ店、居酒屋、焼き肉店、ファミリーレストラン、レンタルビデオ店、書店、墓地、結婚式場、葬儀場、プール、映画館、ゲームセンター、保健所など。

2 熟語の組み立て

- ① エ ② オ ③ イ ④ カ ⑤ ア ⑥ ウ ⑦ カ ⑧ イ
- ⑨ ア ⑩ ウ

解説

- ① 「字を習う」という意味を表し、「字」が「習」という動詞の目的になっています。
- ② 「人が造った」という意味を表し、「人」が主語に、「造」が述語になっています。

③ 「遠い」と「近い」という、反対の意味の漢字を重ねています。

④ 「開けていない」という意味を表し、「未」が「開」という意味を打ち消しています。

⑤ 「増える」と「加わる」という、似た意味の漢字を重ねています。

⑥ 「水の底」という意味を表し、「水」という漢字が何の「底」であるのかを説明しています。

⑦ 「料金が無い」という意味を表し、「無」が「料(金)」という意味を打ち消しています。

⑧ 「寒い」と「暑い」という、反対の意味の漢字を重ねています。

⑨ 「教える」と「育てる」という、似た意味の漢字を重ねています。

⑩ 「学校の歌」という意味を表し、「校」という漢字がどんな「歌」であるのかを説明しています。

第一回

主語と述語 文を作ってみよう！

3 ページ

1 (例)

(1) わたしは、昨日友だちと野球をしました。

ぼくの犬は、昨日ボールを拾ってきました。

ぼくの好きなサッカーチームは、昨日勝ちました。

(2) あなたは、来週何をしますか。

ぼくは、来週富士山に登るでしょう。

この店は、来週水曜日に休みます。

2 (例)

(1) この山はとてもきれいです。

(2) イルカはとてもかしこいです。

解説

- ① 「米は主食です」とつながり、「何は何だ」の文です。
- ② 「花がさいています」とつながり、「何がどうする」の文です。
- ③ 「音が聞こえました」とつながり、「何がどうする」の文です。
- ④ 「兄は選手だ」とつながり、「何は何だ」の文です。
- ⑤ 「校庭は広い」とつながり、「何はどんなだ」の文です。
- ⑥ 「男の子が生まれました」とつながり、「何がどうする」の文です。

第一回

主語と述語

言葉の知識を広げよう！

2 ページ

1 言葉を思い出して書こう！

(公園)、(病院)、駅、市役所、警察署、消防署、スーパーマーケット、デパート、コンビニエンスストア、ドラッグストア、神社、教会、マンション、市場、小学校、中学校、高校、大学、幼稚園、保育園、動物園、水族館、図書館、博物館、野球場、競技場、スポーツセンター、ジム、カラオケ店、パチンコ店、居酒屋、焼き肉店、ファミリーレストラン、レンタルビデオ店、書店、墓地、結婚式場、葬儀場、プール、映画館、ゲームセンター、保健所など。

2 熟語の組み立て

- ① エ ② オ ③ イ ④ カ ⑤ ア ⑥ ウ ⑦ カ ⑧ イ
- ⑨ ア ⑩ ウ

解説

- ① 「字を習う」という意味を表し、「字」が「習」という動詞の目的になっています。
- ② 「人が造った」という意味を表し、「人」が主語に、「造」が述語になっています。

③ 「遠い」と「近い」という、反対の意味の漢字を重ねています。

④ 「開けていない」という意味を表し、「未」が「開」という意味を打ち消しています。

⑤ 「増える」と「加わる」という、似た意味の漢字を重ねています。

⑥ 「水の底」という意味を表し、「水」という漢字が何の「底」であるのかを説明しています。

⑦ 「料金が無い」という意味を表し、「無」が「料(金)」という意味を打ち消しています。

⑧ 「寒い」と「暑い」という、反対の意味の漢字を重ねています。

⑨ 「教える」と「育てる」という、似た意味の漢字を重ねています。

⑩ 「学校の歌」という意味を表し、「校」という漢字がどんな「歌」であるのかを説明しています。

第一回

主語と述語 文を作ってみよう！

3 ページ

1 (例)

(1) わたしは、昨日友だちと野球をしました。

ぼくの犬は、昨日ボールを拾ってきました。

ぼくの好きなサッカーチームは、昨日勝ちました。

(2) あなたは、来週何をしますか。

ぼくは、来週富士山に登るでしょう。

この店は、来週水曜日に休みます。

2 (例)

(1) この山はとてもけわしいです。

(2) イルカはとてもかしこいです。

〈学習するみなさんへ〉

この教材は、社会で起こっているできごとに関心を持ち、そのできごとについて考え、要約します。要約することを通じて、表現力を育むことを一番の目的としています。一般的な教材のように○×で評価する教材ではありません。評価基準を次の4つに設定します。S・Aを目指して学習を進めましょう。

S とてもよくできている。(まとまりのある文章で自分の考えがしっかり書けている。)

A よくできている。(わかりやすい文章で書かれているが、自分の考えなどの記述が少し足りない。)

B がんばっている。(文章を書こうとする気持ちは感じられるが、意味が少しとりづらく、自分の考えが書けていない。)

C もう少しがんばろう。(次はとにかく考えて、何かを書いてみようとする気持ちを持つようにしてほしい。)

〈学習ポイント〉

・表現力を身につけるためには集中力が必要です。

1 ページ10～20分を目安に学習しましょう。

・自分の書いた文章をもう一度、読み直す習慣を身につけましょう。

・わからない言葉は辞書などで調べましょう。

〈目次〉

第1回	食料問題について考える	3
第2回	自然のバランスについて考える	7
第3回	高齢社会について考える	11
第4回	日本の農業について考える	15
第5回	自然災害について考える	19
第6回	観光産業について考える	23
第7回	差別のない社会について考える	27
第8回	ネット社会について考える	31
第9回	森林のはたらきと保護について考える	35
第10回	地域活性化について考える	39

第1回 食料問題について考える

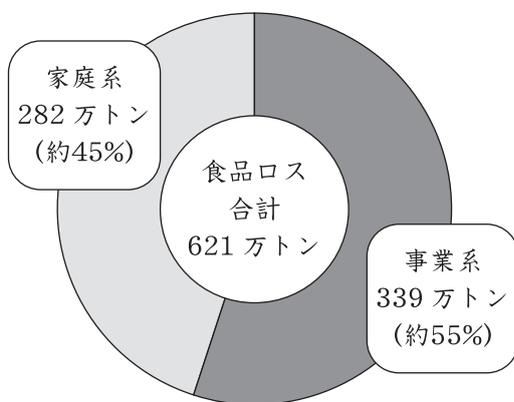
月 日
時 分 ~ 時 分

1 家庭での食品ロスについて知ろう！

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことをいいます。

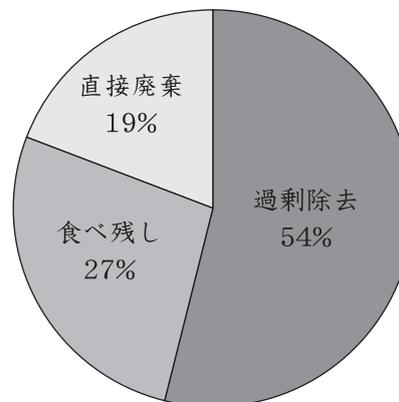
日本では、食べられるのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」は 2014 年には 621 万トンもありました。これは、^①同じ年の世界全体の食料援助量（約 320 万トン）と比べると、その多さがわかります。

グラフ1 国内の食品ロスの内訳



グラフ2 家庭での食品ロスの内訳

消費者庁資料より作成



グラフ1 を見てください。これは、国内の食品ロスの内訳を示したものです。621 万トンの食品ロスのうち、家庭で出る食品ロスは 282 万トンで、全体の約 45% をしめています。

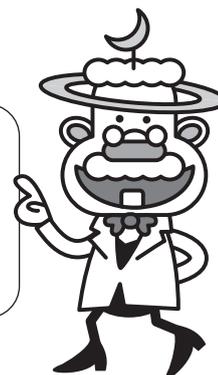
グラフ2 は、家庭での食品ロスの内訳を示しています。グラフにある「^②過剰除去」「^③食べ残し」「^④直接廃棄」は、それぞれ、次の場合を示しています。

過剰除去…食べられる部分まで、過剰に除去して廃棄すること。たとえば、野菜の皮を厚くむきすぎたり、脂身の部分を調理せずに捨ててしまったりすることです。

食べ残し…食事として提供されたが、料理を作りすぎたり、好ききらいをして残したりして捨ててしまうことです。

直接廃棄…賞味期限、消費期限が来て、冷蔵庫などに入れられたまま調理されずに直接捨てられてしまうことです。

こんなにもたくさんの食品がムダに捨てられているんだね。家庭から出る食品ロスは、^③くふうしたら減らすことができるんじゃないかな？



2 質問に答えて、食品ロスについてくわしく考えてみよう！

- (1) 下線部①について、2014年の日本の食品ロスの総量は、同じ年の世界全体の食料援助量の何倍になりますか。ただし、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までの数値で答えなさい。

約（ ）倍

- (2) (1) で答えた数値を知って、どのようなことを思いますか。思いついたことを書きなさい。

()

- (3) 下線部②について、2014年の食品ロスのうち、家庭での食べ残しとして捨てられた量は何万トンになりますか。ただし、小数点第1位を四捨五入して、整数で答えなさい。

約（ ）万トン

- (4) あなたには好ききらいをする食べ物がありますか。（ はい ・ いいえ ）

- (5) (4) で「はい」と答えた人は、好ききらいをなくすように努力していれば、そのことを書きなさい。努力をしていなければ、好ききらいをすることをどのように考えているか書きなさい。「いいえ」と答えた人は、好ききらいをすることをどのように考えているか書きなさい。

()

- (6) 下線部③について、家庭での食品ロスを減らすためのくふうとして考えられることを1つ書きなさい。「過剰除去」「食べ残し」「直接廃棄」のどれについて書いてもかまいません。

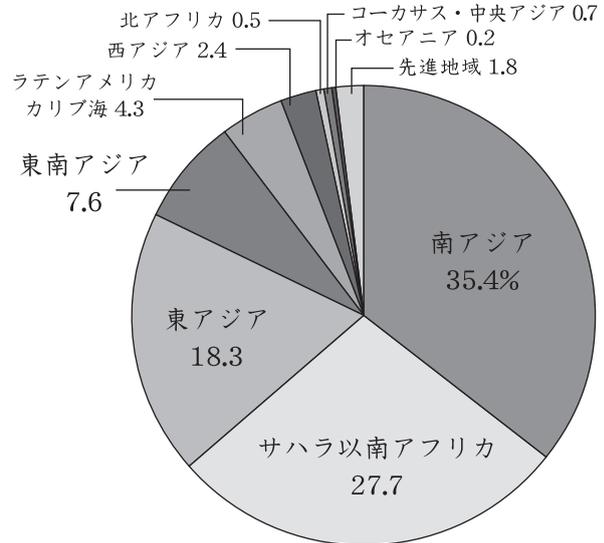
()

3 世界の飢餓問題について知ろう！

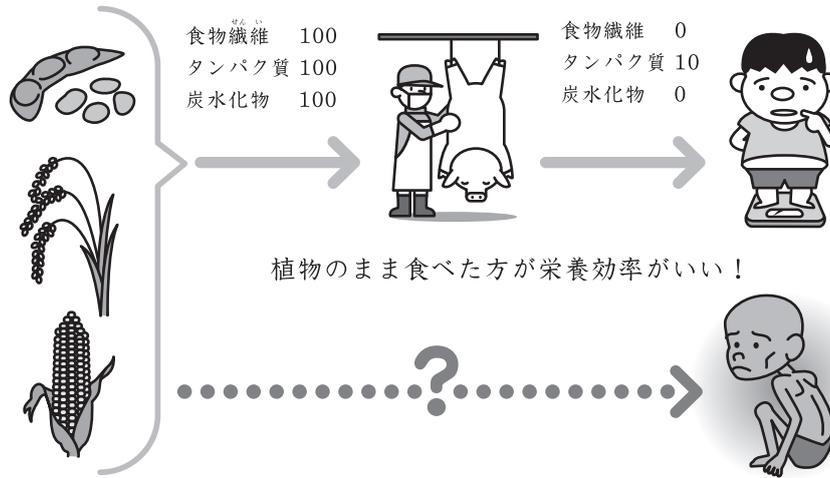
世界では7億9500万人の人々が飢餓で苦しんでいます（2015年）。2015年の世界人口が約73億人だったので、①世界の約9人に1人の人が食べるものが十分になくて苦しんでいるということになります。今、世界では毎日10万人もの人が餓死をしています。そして5秒に1人、10歳未満の子どもが餓死しています。食べられない人の数や割合を地域別に見ると、アフリカやアジアが特に深刻です。

実は、毎年、世界では全人口に必要な量の約2倍分の穀物が生産されています。それでは、どうして飢餓の問題が起こるのでしょうか？ 毎年、生産されている穀物のうち、約6割は家畜のえさとして使われています。家畜を早く太らせるために、必要以上のえさが与えられているのです。

②1人分の肉が生産されるために、6人分の穀物が消費されていることになります。裕福な国では、肉を食べすぎて太る人がある一方、アフリカやアジアの子どもたちは食べるものがなく、大切な命を失っているのです。



国連WFP資料より作成



*イラストはイメージです。

4 質問に答えて、飢餓問題についてくわしく考えてみよう！

(1) 下線部①について、あなたの仲の良い友だちの名前を9人書きなさい。

() () ()

() () ()

() () ()

(2) (1) で書いた友だちの1人がもし食べるものがなくて苦しんでいるとするなら、あなたはそのことをどのように考えますか。あなたの思いを自由に書きなさい。

()

(3) 下線部②について、あなたはどのように考えますか。あなたの思いを自由に書きなさい。

()

5 世界の食料問題について、あなたの考えを書いてみよう！

今回の「食品ロス」と「世界の飢餓問題」で学んだことをもとに、あなたが考えたことを、150字以上200字以内で自由に書きなさい。

第2回 自然のバランスについて考える

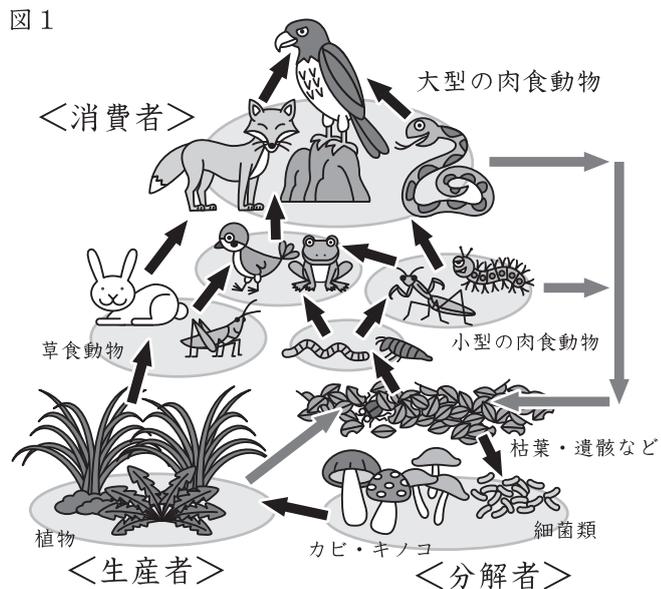
月 日
時 分 ~ 時 分

1 生態系について知ろう!

生き物は、他の生き物と「食べる・食べられる」という関係で、直接的に、あるいは間接的に関わり合いながら生きています。自然は「食べる・食べられる」の関係があってこそ成り立ち、そのバランスがくずれると、全体がこわれてしまいます。

図1を見てください。これは生態系の「食物網」を図で示したものです。生態系を構成する生き物にはそれぞれ役割があります。

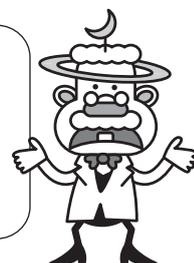
①植物は自分の体内で栄養となる有機物の糖をつくり出すことができるので「生産者」と呼ばれます。動物は「消費者」と呼ばれ、植物や他の動物を食べることで栄養を得ています。細菌やカビは「分解者」と呼ばれ、動物の死がいや糞尿、枯れてくさった植物や落ち葉を分解し、無機物にする働きをします。そして、分解者の働きで生じた無機物は、植物によって再び有機物になります。このように、「食物網」によって、物質が循環することで、自然のバランスがとられているのです。



では、消費者の中での「食べる・食べられる」の関係を見ていきましょう。草食動物である **A** は、草を食べて栄養を得ますが、**B** や肉食である小型の鳥によって食べられます。そして、**B** や小型の鳥は、タカなどの大型の肉食動物によって食べられます。カエルは **②**。

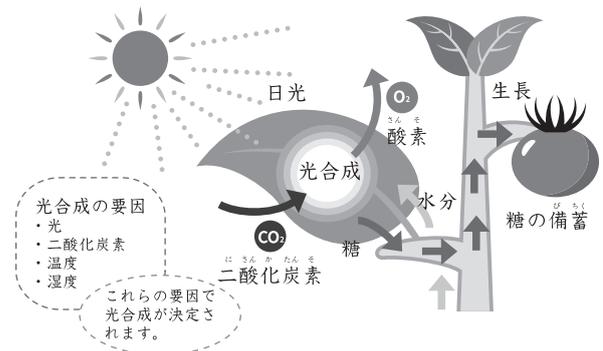
生態系は、このようにそれぞれの生き物が関係し合うことで成り立っているのですが、③気候や地形などの環境の変化、あるいは人間の活動の影響などによって、ある生き物だけが増えたり減ったりすると、その生き物と深い関わりをもつ生き物にも影響が出ます。たとえば、日本にもともとすんでいなかった生き物が原因となることもあります。このような生き物を④外来種といいます。北アメリカ生まれのブラックバスという食欲が旺盛な外来種が、日本の池や湖に放されて、もともとそこにすんでいたモツゴやタナゴなどを食べてしまい、池や湖からモツゴやタナゴがいなくなってしまうことがおこります。すると、モツゴやタナゴを食べていた肉食の魚やサギなどの鳥の数が減るようなことになります。

生態系は、生き物同士の親密な関係によって成り立っているんだね。生態系を保つためには、その関係をくずさないように注意しなければならないんだ。



2 質問に答えて、生態系についてくわしく考えてみよう!

- (1) 下線部①について、右の図は、植物が体内で有機物である糖をつくり出す光合成の働きを説明したものです。図を見て、光合成がどのように行われるのかを説明しなさい。



- (2) 図1を見て、文章中の 、 にあてはまる動物の名前を答えなさい。

A () B ()

- (3) 図1を見て、 にあてはまる言葉を書きなさい。

()

- (4) 下線部③について、気候や地形などが変化するには、どのような状況がありますか。次の〈ヒント〉を参考にして思いつくことを1つ書きなさい。

〈ヒント〉① 気温の変化 ② 伐採 ③ さばく化

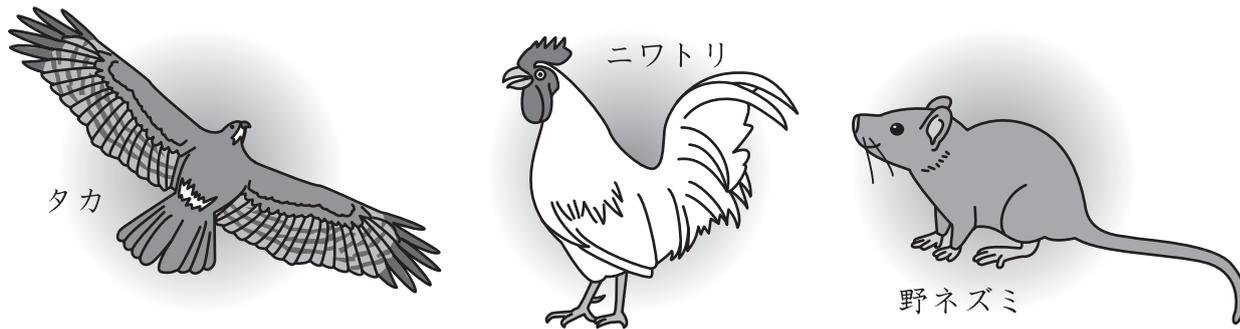
()

- (5) 下線部④について、世界自然遺産に指定されている小笠原諸島は、長い年月外の世界から隔離されていたため、諸島だけに生息する生き物が多く、「日本のガラパゴス」と呼ばれています。小笠原諸島では、観光客が島々に上陸する際、観光客のバッグやくつの裏を細かくチェックしています。このようなことが行われる理由を考えて、「外来種」という言葉を使って書きなさい。

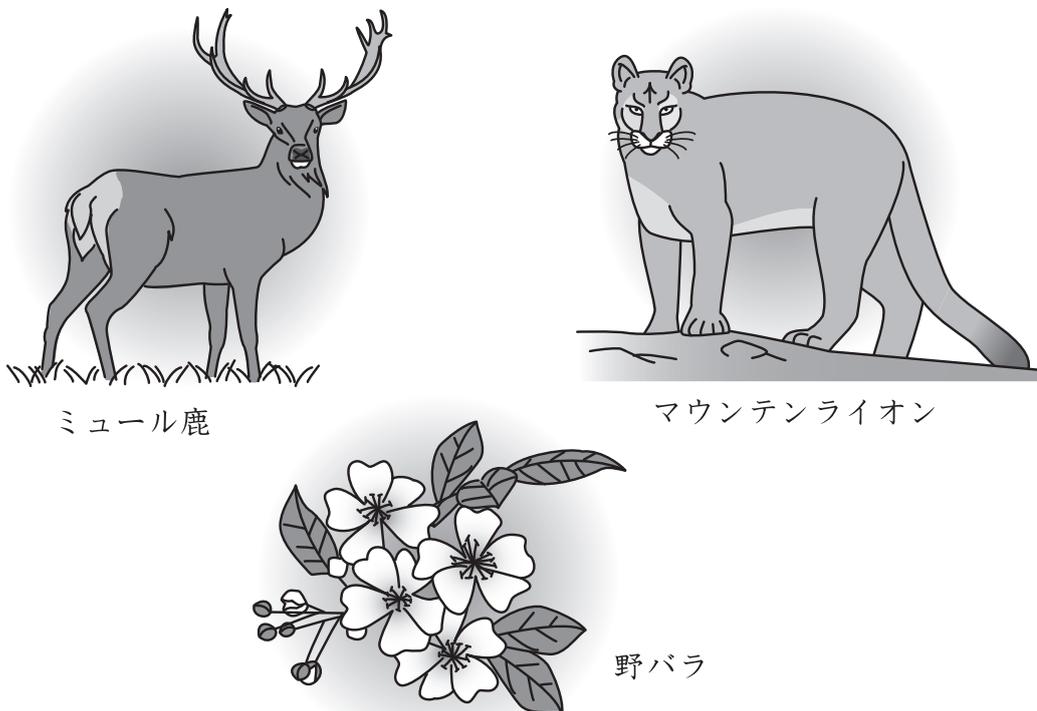
()

3 人が起こした生態系の変化について知ろう！

近年、アメリカ合衆国の農夫たちのなかに、タカが彼らのニワトリを連れ去って困っていると役所に訴えた者たちがいました。すると、役所の職員は農夫たちに、農夫たちが殺したそれぞれのタカにお金を支払うと言いました。農夫たちはすぐにタカを殺し始めました。多くのタカが殺されましたが、農夫たちはその時に、別の問題を抱えました。野ネズミの数が増え、それらが農夫たちが育てた穀物を食べつくしてしまいました。タカはニワトリだけでなく、野ネズミも食べます。彼らはニワトリよりも野ネズミを多く食べます。しかし、タカを殺した農夫たちはそのことを知りませんでした。そのようにして自然のバランスが失われました。



アメリカ合衆国のある地域には、ある種類の野バラを食べるミュール鹿しかがいます。その鹿はマウンテンライオンによって食べられます。もし、人々が遠ざかっていけば、ミュール鹿、マウンテンライオン、そして野バラの数はそれほど変化しません。



しかし、アメリカ合衆国政府は、一時、ミュール鹿を保護するために、ほとんどすべてのマウンテンライオンを殺しました。その結果、どのようなことが起こったのでしょうか？

4 質問に答えて、生態系の変化についてくわしく考えてみよう！

- (1) 下線部①について、アメリカの農夫たちが抱えた別の問題とはどのような問題ですか。わかりやすく説明しなさい。

()

- (2) 下線部②について、アメリカ合衆国政府がマウンテンライオンを殺したことで、どのようなことが起こりましたか。想像して書きなさい。

()

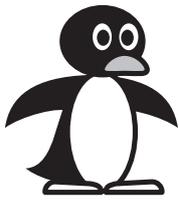
5 自然のバランスについて、あなたの考えを書いてみよう！

今回の「生態系」と「人が起こした生態系の変化」で学んだことをもとに、あなたが考えたことを、150字以上200字以内で自由に書きなさい。

うすた



1



だい1かい

だい2かい

だい3かい

だい4かい

だい5かい

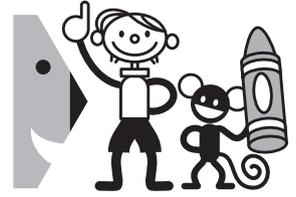
だい6かい



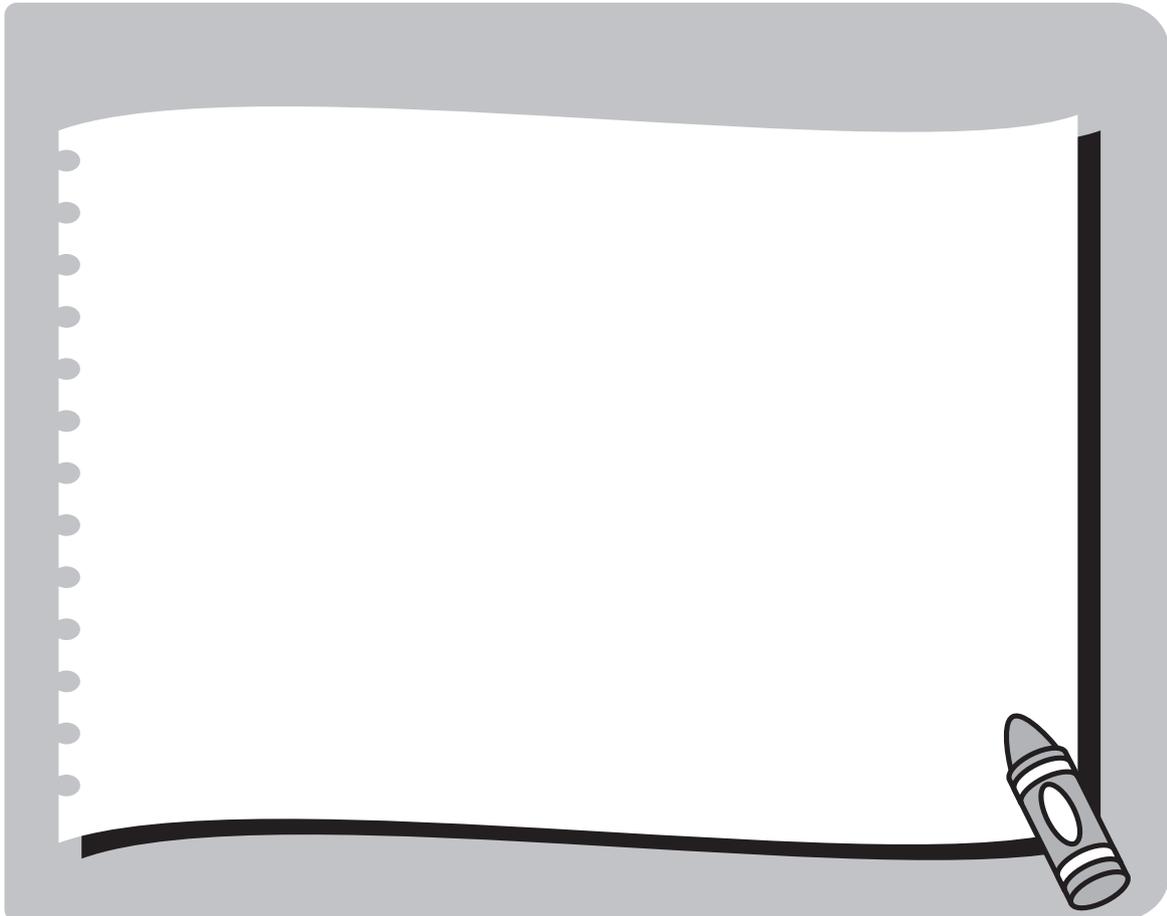
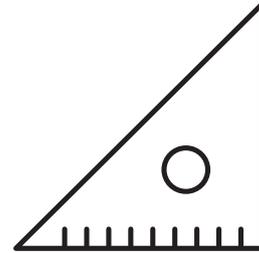
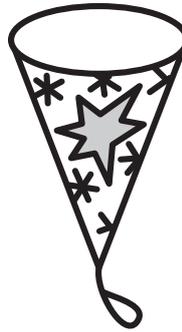
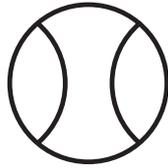
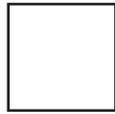
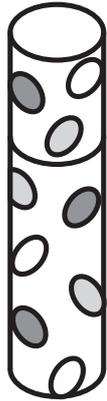


だい
1
かい

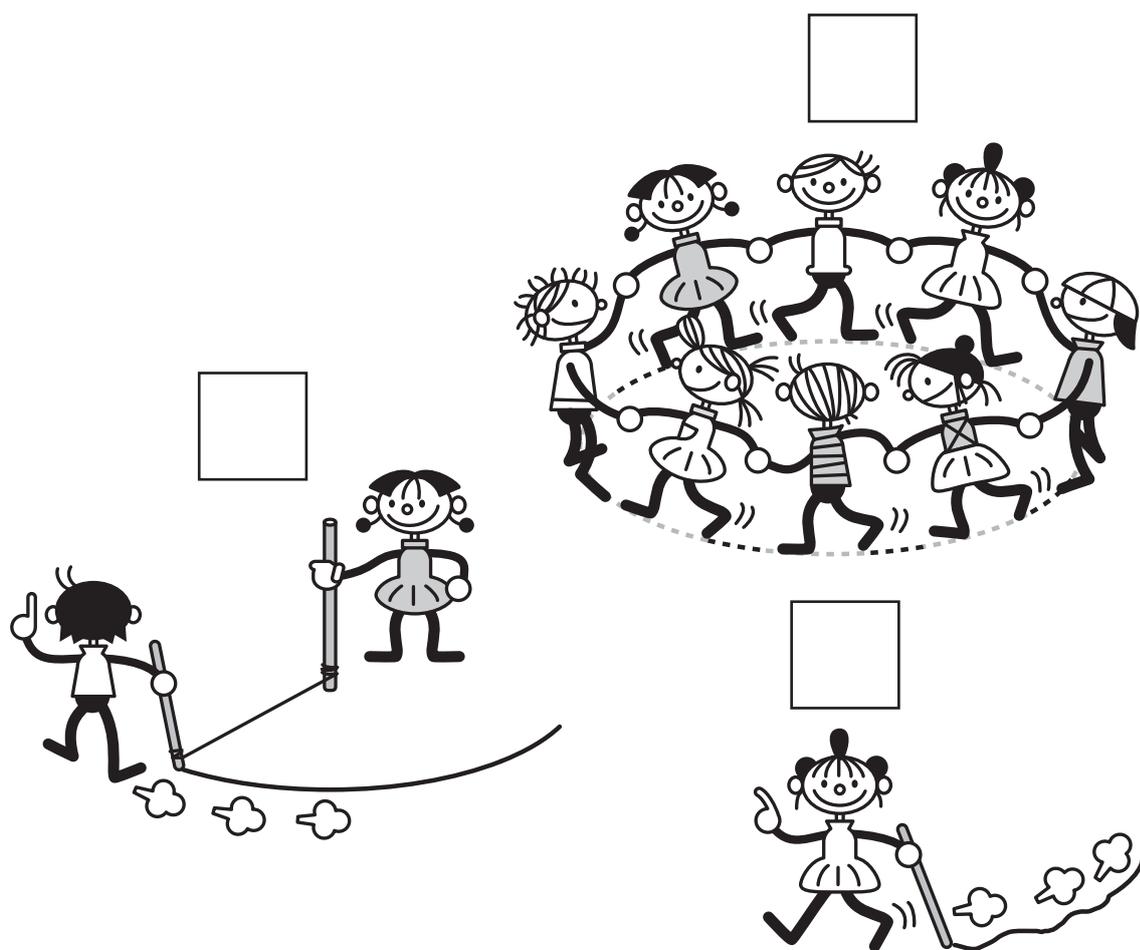
かたちづくりのせかい まるをかこう



した え
(1) 下の絵にあるものをつかってかたどったとき、まるが
かけないものに×をいれましょう。また、じっさいにみ
のまわりのものをつかって、まるをかたどってみましょう。



(2) おしくらまんじゅうをするのに、じめんにまるをかこうとおもいます。あなたならどのようにしてかきますか。あなたのかきかたに○をつけましょう。

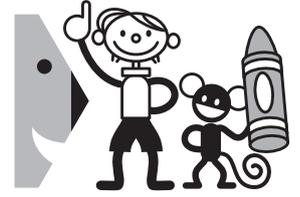


あなたがえらんだりゆうをはなしましょう。

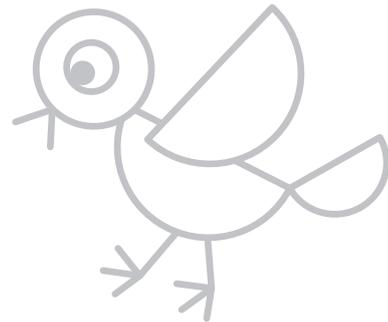
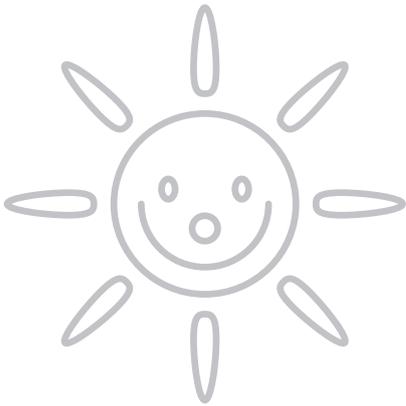
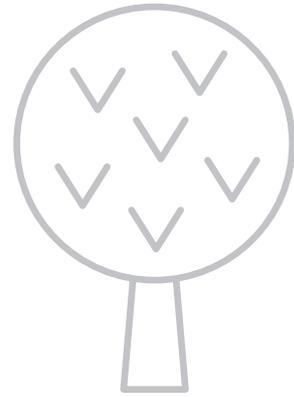
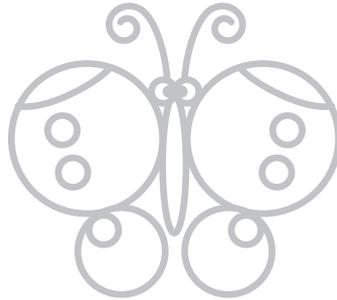
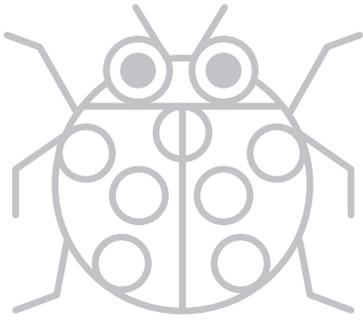


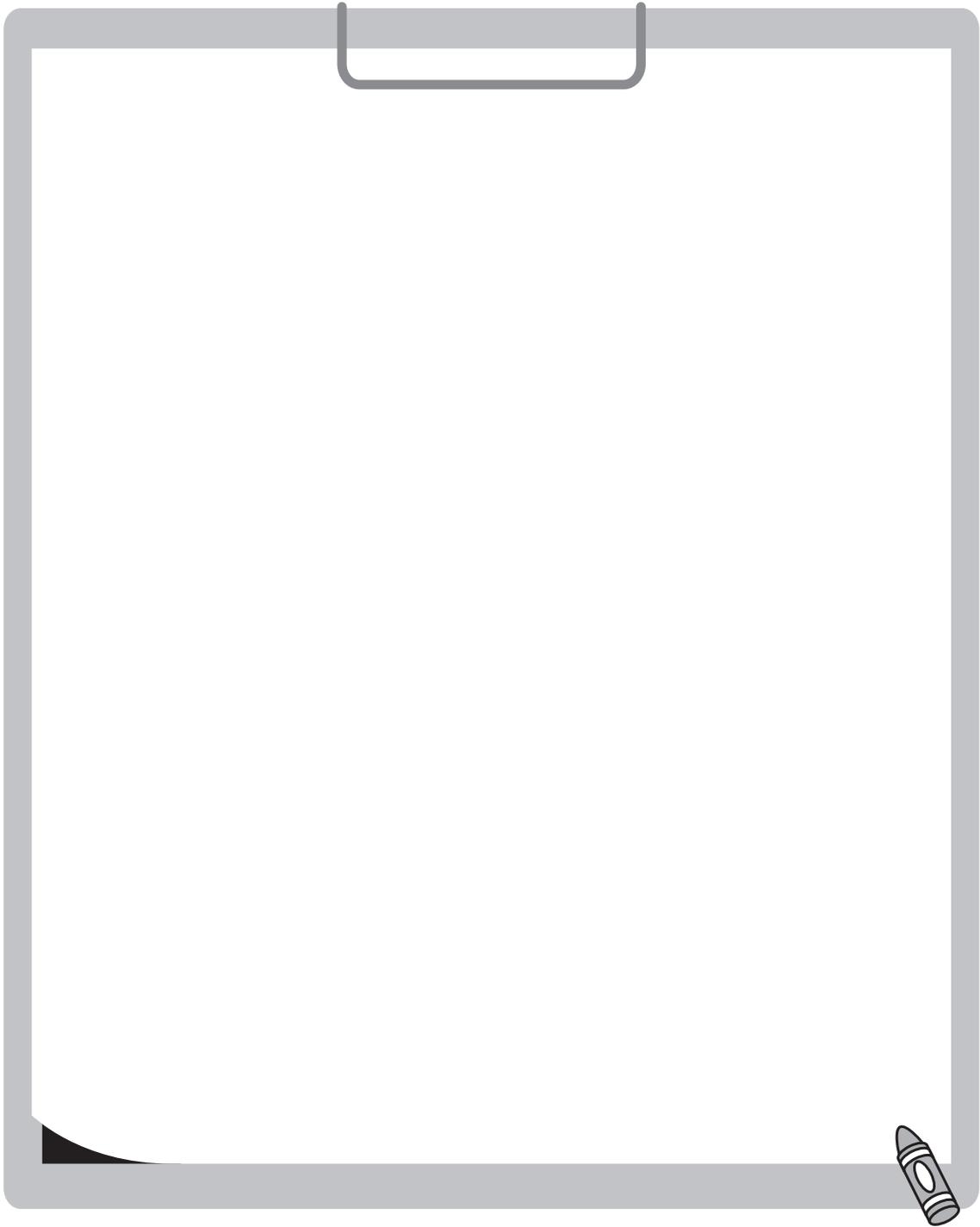
だい
1
かい

ことばづくりのせかい きせつといきもの



- (1) 下の^{した}絵^えをなぞって、まるをかくれんしゅうをしまし
う。また、つぎのページのがように、それぞれの^え絵^え
をかきこんでひとつの^え絵^えにしましう。^{おお}大き^おさ^おや^おば^おし^おも^おか
んがえてかきましよう。できあがったらいろもぬりましよう。





(2) あなたがかいた^え絵のきせつはいつごろだとおもいますか。つぎの4つのきせつのうちからえらんで、○でかこみましょう。

はる なつ あき ふゆ

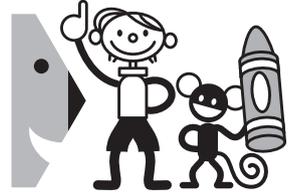


あなたがえらんだりゆうをはなしましょう。



だい
1
かい

みんなとつくるせかい もののなまえ



- (1) えみこちゃんは、「ことばづくりのせかい」でかいた
絵^えを、みんなにわかるようにせつめいしました。
□のもじをなぞって、ぶんをかんせいさせましょう。

おかのうえに^{おお}大きな き が、1ぽんたっています。

かわいい こ と り が、ピーピーとなきなが
き
ら木のまわりをとんでいます。

き ^{した}木の下には、た い よ う のひかりをあび

ようと、^{ちい}小さな1りんの は な が、ひっしにあた

まをあげてさいていました。どこからとんできたのか、

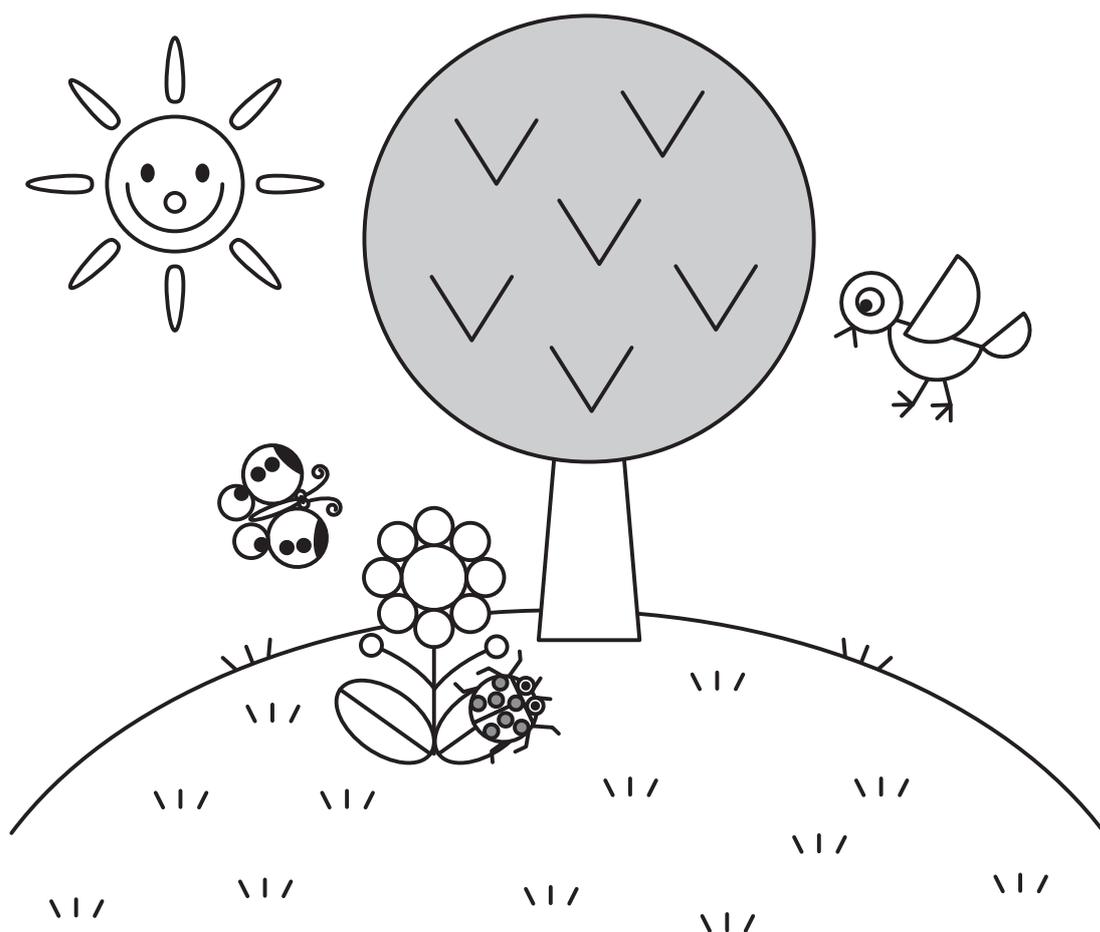
しろい も ん し ろ ち よ う が、

はなのみつをもとめてやってきました。

て ん と う む し も、はっぱのう

えでひなたぼっこをしています。

(2) 「ことばづくりのせかい」でかいた^え絵のなかに、こんちゅうが2ひきでてきます。そのこんちゅうのなまえをかきましょう。





うむた1



はじめに

このテキストは、知識を覚えるトレーニングのためのものではありません。ましてや、子どもの能力を確認する知能測定でもありません。子どもたちが学校の学習に入る前に、学習とはどんなものかを体験し、「**学びの経験のしかた**」を身に付けて欲しいと願ってつくられたものです。

子どもたちが学校に入って学ぶ様々な知識を、自分のものとして生かし、応用し、問題を解決していく力としていけるのは、学んだ知識を自分のものとして再構成していく力があってはじめて可能となります。

この学んだ知識を再構成していく力は、言葉を通して「学びの経験のしかた」を身に付けていけるかどうかにかかっているとわたしたちは考えています。

子どもたちの頭は白紙ではありません。すでに様々なものが描かれているのです。このテキストでは、子どもたちの頭にすでに描かれているものをひきだし、再び発見させ、自覚させること、さらには新しい知識とすでに持っているものとを重ね合わせて、新しい自分なりの理解をした知識を創り出させること、こうしたことをみなさまとともに進めていこうとするものです。

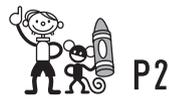
***準備するもの** ハサミ・えんぴつ・色えんぴつ（クレヨン）

もくじ

だい1かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	まるをかこう きせつといきもの もののなまえ	P 2
だい2かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	さんかくをかこう いきもののしゅるい うたをかこう	P 3
だい3かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	しかくをかこう のりもののしゅるい でんしゃごっこ	P 4
だい4かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	まるとさんかく 絵かきうた どうよう	P 5
だい5かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	さんかくとしかく くらべてみよう ものがたりのじゅんばん	P 6
だい6かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	いろいろなかたち きもちをあらわそう どんなたべものかな	P 7
<資料>	だい4かい童謡		P 8



かたちづくりのせかい まるをかこう



学習目標

- ・面としてのまるを身近なものを使って発見する。
- ・経験からまるの特徴を意識化する。

(1) ボールに×

実際のかたどりは対象物を自分で探させてかたどらせる。「かたどる」という意味を図で理解させることができなければ、実際にやってみせる。

4才～6才までの子どもは、三角定規かクラッカーに×をいれることが多い。外側をかたどることの思い込みから、三角定規の真ん中の○をかたどることが思いつかない。また、クラッカーは逆になっているため、ひっくり返すということに気づかない。ボールはまるがかたどれると考える。絵は平面上で描かれているので、概念としての球体のイメージを描くまでにはいたらないからだ。実際に、ボールでかたどれるかどうかをためさせることが必要。これによって、面としてのまるとたまとが違ふものであることを認識する。

(2) どれに○がついてもよい。

この問題は、子どもの経験によって3通りとも○がつく。なぜなら、問いは正答を求めているのではなく、「あなたの描き方」を求めているから。実際、おしくらまんじゅうをするのに少々ゆがんでいたり、でこぼこでもまったくさしつかえない。

ここでは、正しいものを教えるのではなく、子どもたちから3つの描き方をことばにして話させることが重要。そのことによって、「まるとはどんなものか」を自分の言葉として了解することができる。「まるとは輪になってできるもの」「まるとは動かない軸を中心に描くことができる」「まるは軸がなければきれいに描けない」など。



子どもたちからは、具体的に自分がどんなときにどのようにして地面にまるを描いたかを話させる。そのことによって「円」の概念が経験化されたものとして、認識される。



ことばづくりのせかい きせつといきもの



学習目標

- ・まるがかける。
- ・経験的な知識を使って、与えられた条件を構成する。

(1) どんなふうを描けばよいかわからない子どもには、7ページをお手本にさせる。

(2) すべての季節の解答がでる。

「かんがえよう」で、それぞれに理由をたずねることが重要。夏と答える場合は、花をひまわりと見ることもある。てんとう虫やちょうちょうも種類によって、春と夏以外にも見ることができる。花には名前がないので、どの季節でもよいことになる。

しかし、一般的にはこれは、春か夏の季節を答えるのが順当である。



秋や冬の答えを出した場合は、とくに子どもの具体的な経験をたずねることが重要。実際、種類によっては、ちょうちょうやてんとう虫を秋や冬に見ることができないといいきれないから。また、季節はずれは常におこっている。



みんなとつくるせかい もののなまえ



学習目標

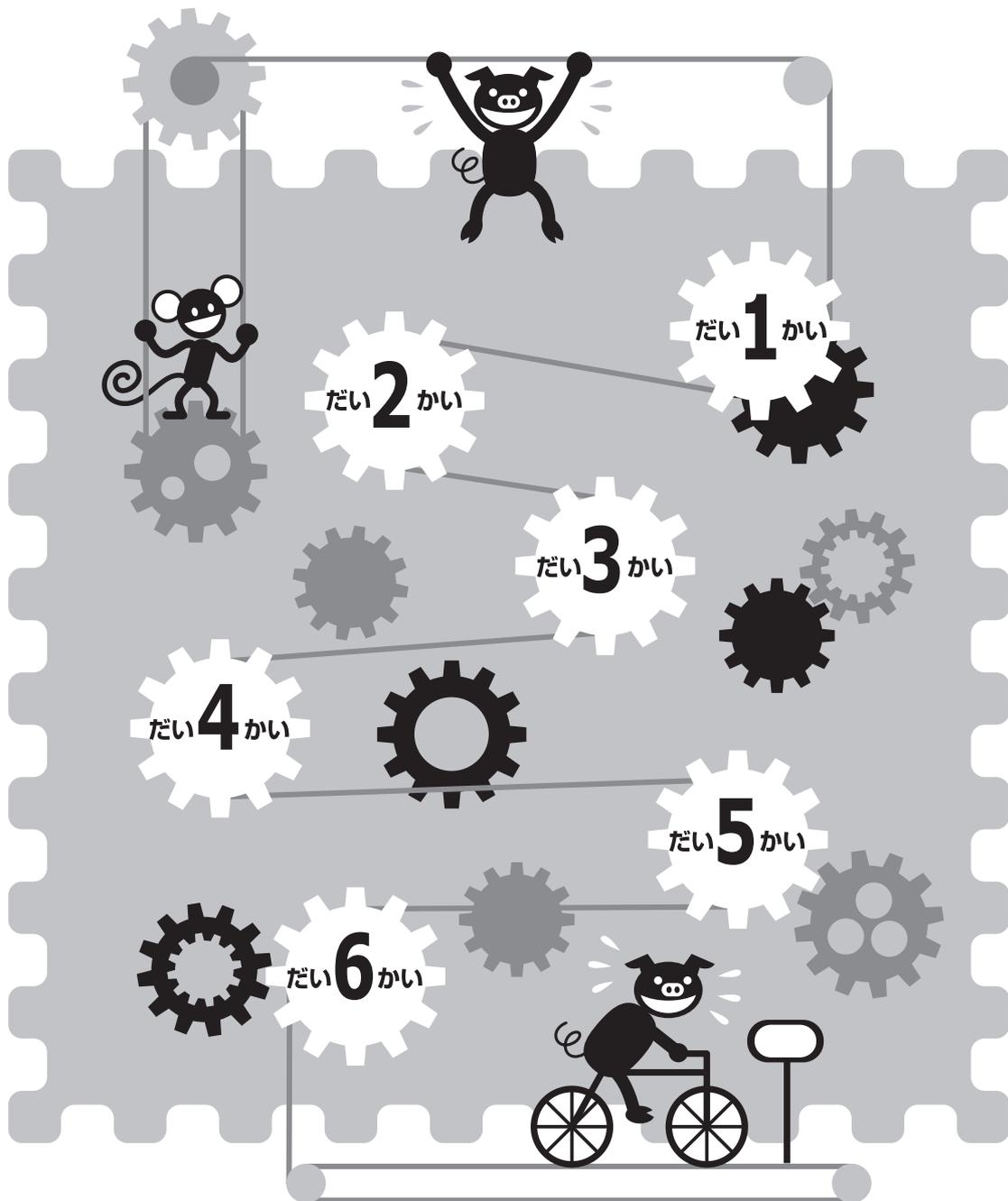
- ・ひらがなでものの名前を書く。
- ・「だれ(なに)が」を文脈から理解する。

(1) なぞり書きをしたあと、声を出して読ませる。また、前ページで自分が描いた絵について話させる。

(2) もんしろちょう てんとうむし

わからない場合は、(1)の文の中の虫の名前を探して、書くように指示する。□の数を考えないで、「ちょうちょう」「ななほしてんとうむし」という答えがでてきても、よいことにする。

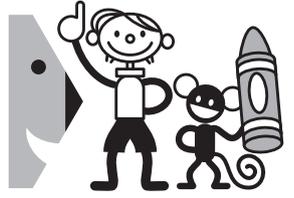
ウツタ





だい
1
かい

かたちづくりのせかい ボールのかたち



(1) 2ひきのありさんが、まるいあめとかくぎどうを、それぞれみつけました。どちらがはやくいえまではこんだでしょう。また、はやかったのはどうしてでしょう。

[] からえらんで□にかきいれましょう。

はちまきをしたありさん ひきずったから おしたから
ころがしたから ぼうしをかぶったありさん

<こたえ>

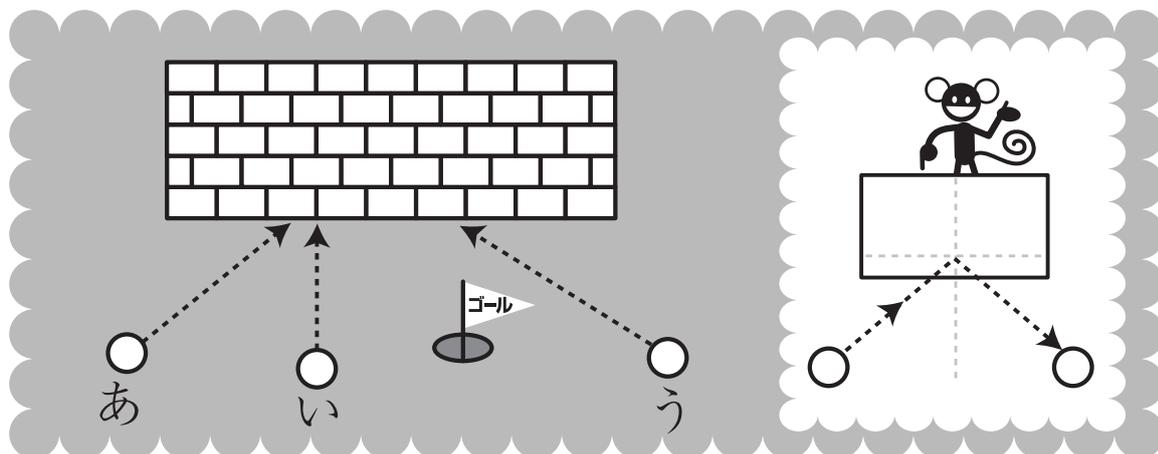
□	□	□	□	□	□	□	□
□	□	□	□	□	□	□	□

<りゆう>

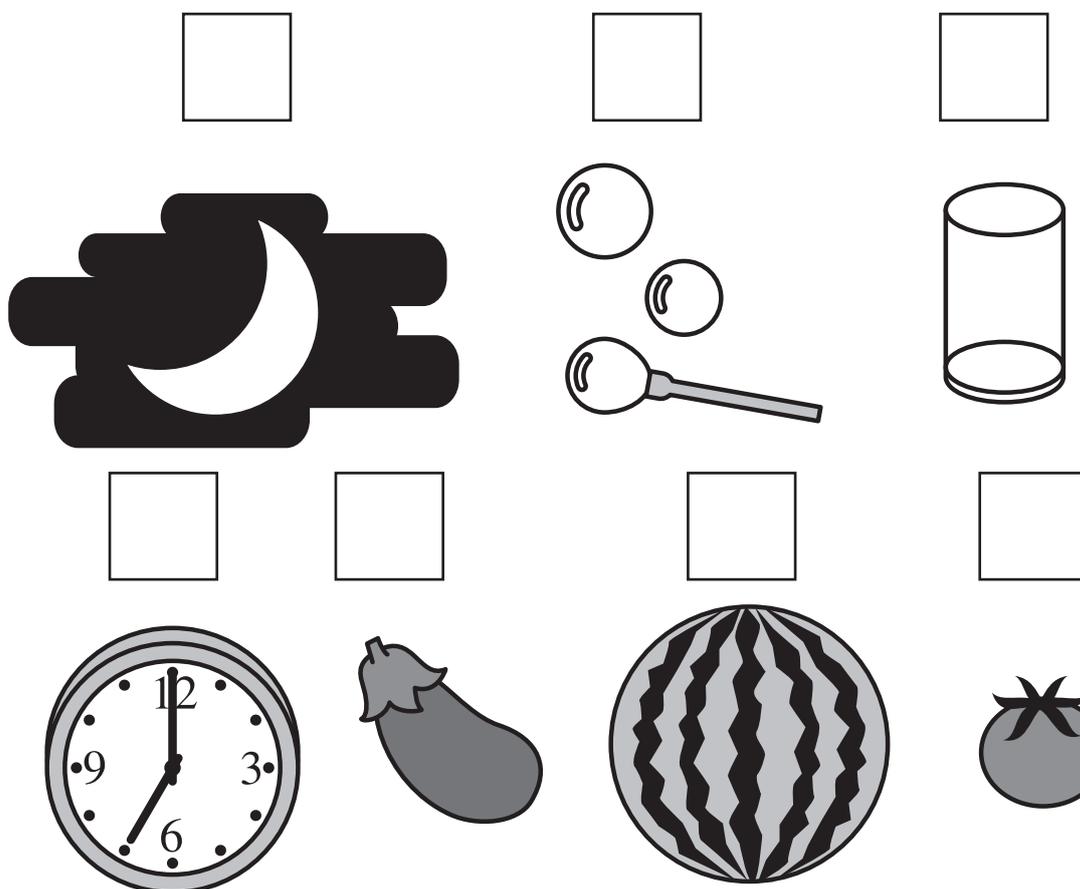
□	□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---



(2) ボールを^ず図のようないちからゴールにいれようとおもいます。あ、い、うのどのいちからければよいですか。ただしいものを○でかこみましょう。ここでは、ボールをけるとかべにあたって、みぎの^ず図のようにはねかえります。



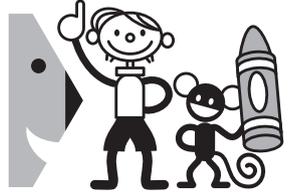
(3) ボールのようなかたちをしたものに○をつけましょう。





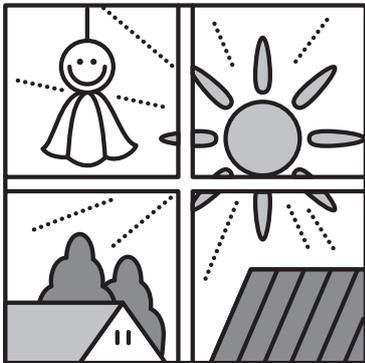
だい
1
かい

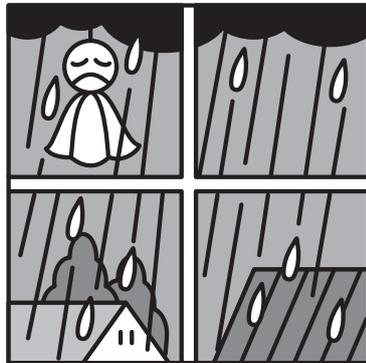
ことばづくりのせかい きもちをあらわそう



(1) えみこちゃんは、あす、かぞくでゆうえんちに行くよ
ていです。てるてるぼうずをつかってまどのそとにつる
しました。つぎのあさ、^{した}^え下の絵のようなおてんきだつた
ら、えみこちゃんはどんなきもちになるでしょう。

①～③のきもちのうち、それぞれの絵にあつたもの
^{ばんごう}番号を□にいれましょう。







- ① えみこちゃんは、とてもしんぱいしました。
- ② えみこちゃんは、たいへんがっかりしました。
- ③ えみこちゃんは、たいへんよろこびました。



あなたはどんなときにてるてるぼうずをつく
りますか。また、てるてるぼうずをつくってみ
ましょう。

(2) つぎのようようは「てるてるぼうず」です。□にあてはまることばを、[] からえらんでかきいれましよう。いろもぬりましよう。

てるてるぼうず □ □ □ □ □

あした □ □ □ に して おくれ

いつかの ゆめの □ □ の よに

□ □ □ □ きんの すず あげよ

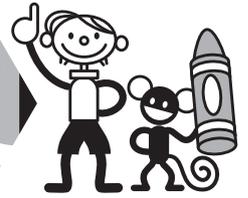
[てんき てるぼうず そら
くも はれたら あめなら]





だい
1
かい

みんなとつくるせかい なにをしているのかな



(1) えみこちゃんのかぞくでゆうえんちにいきました。かぞくはそれぞれちがったたのしみかたをしています。絵をみて、□にかぞくのなまえをかきいれましょう。



① は、ジェットコースターにのって

おおごえでさげんでいます。

② は、おばけやしきでふるえています。

③ は、うさぎににんじんをやっています。

④ と
 は、コーヒーをのんでいます。

(2) えみこちゃんのかぞくはなんにんでしょう。

また、□にあてはまることばを、[] からえらんでかきいれましょう。

かぞくのにんずうは、 にんです。

まさみちゃんは、えみこちゃんの

です。

のぼるくんは、えみこちゃんの

です。

[4 おとうと 5 おねえさん
いもうと おにいさん]



とろびた2



はじめに

このテキストは、知識を覚えるトレーニングのためのものではありません。ましてや、子どもの能力を確認する知能測定でもありません。子どもたちが学校の学習に入る前に、学習とはどんなものかを体験し、「**学びの経験のしかた**」を身に付けて欲しいと願ってつくられたものです。

子どもたちが学校に入って学ぶ様々な知識を、自分のものとして生かし、応用し、問題を解決していく力としていけるのは、学んだ知識を自分のものとして再構成していく力があってはじめて可能となります。

「とろびた1」では、**まる**や**さんかく**、**しかく**の平面的な感覚を培うことや「文字を書く」ことを経験してきました。「とろびた2」ではこれを一歩進めて、立体的な感覚を培い、「文としての言葉を書く」ことの経験を通して、子どもたちが新しい知の発見をしていくことを願っています。

***準備するもの** ハサミ・えんぴつ・色えんぴつ(クレヨン)・のり

もくじ

だい1かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	ボールのかたち きもちをあらわそう なにをしているのかな	P 2
だい2かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	いろいろなはこのかたち しよくじのよういしよう ホットケーキをつくろう	P 3
だい3かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	いろいろなはこのくみあわせ ことばはおなじ じゅんばんをかんがえよう	P 4
だい4かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	さいころであそぼう すごろくあそび だれがなにをする	P 5
だい5かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	どんな絵があらわれるかな 1にちのすごしかた まちがいさがし	P 6
だい6かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	はこをつくろう しってるかな かいものをしよう	P 7



かたちづくりのせかい ボールのかたち



学習目標

・球体の特徴を身近なものを使って発見する。

(1) はちまきをしたありさん・ころがしたから

ボールのかたちをしたものと角があるものとの違いが、了解できればよい。

(2) あ

この問題は、右の図を見て、同様のパターンを考えることができると同時に、「はねかえる」ことの意味を理解させる(ここでは、角度にこだわらない)。わからない場合には、実際にボールを使ってみる必要がある。

(3) (月) シャボン玉 スイカ (トマト)

「月」の絵は、見えている部分と実際のものと考えられるかどうかであるが、ここでは、月に○がなくてもよいとする。ただし、実際のものはまるいかどうかは確認しておく。トマトに○が入っている場合もよいとする。「ボールのようなかたち」という問いであるから、イメージに間違いはない。時計に○がついている場合は、ボールと時計の違いを実際に比べて確認させる。



ことばづくりのせかい きもちをあらわそう



学習目標

・気持ちを表す言葉の理解
・リズムから言葉をイメージする。

(1) ③ ② ①



子どもといっしょにてるてるぼうずをつくりながら、どんなどきに、てるてるぼうずを窓の外にかけるとかをたずねる。

(2) てるぼうず てんき そら はれたら

子どもといっしょに歌う。色塗りをする。



みんなとつくるせかい なにをしているのかな



学習目標

・文の主語の役割を理解する。
・家族の関係を表す言葉を再認識する。

(1) ① のぼる ② えみこ ③ まさみ ④ おとうさん おかあさん (逆でもよい)

絵をゆっくり観察させる。間違っている答えをいわずにできるまで見ていること。

(2) 5 いもうと おにいさん

まさみちゃんから見た兄弟の関係もたずねてみる。「あに」「あね」といういい方にふれるのもよい。

お願い

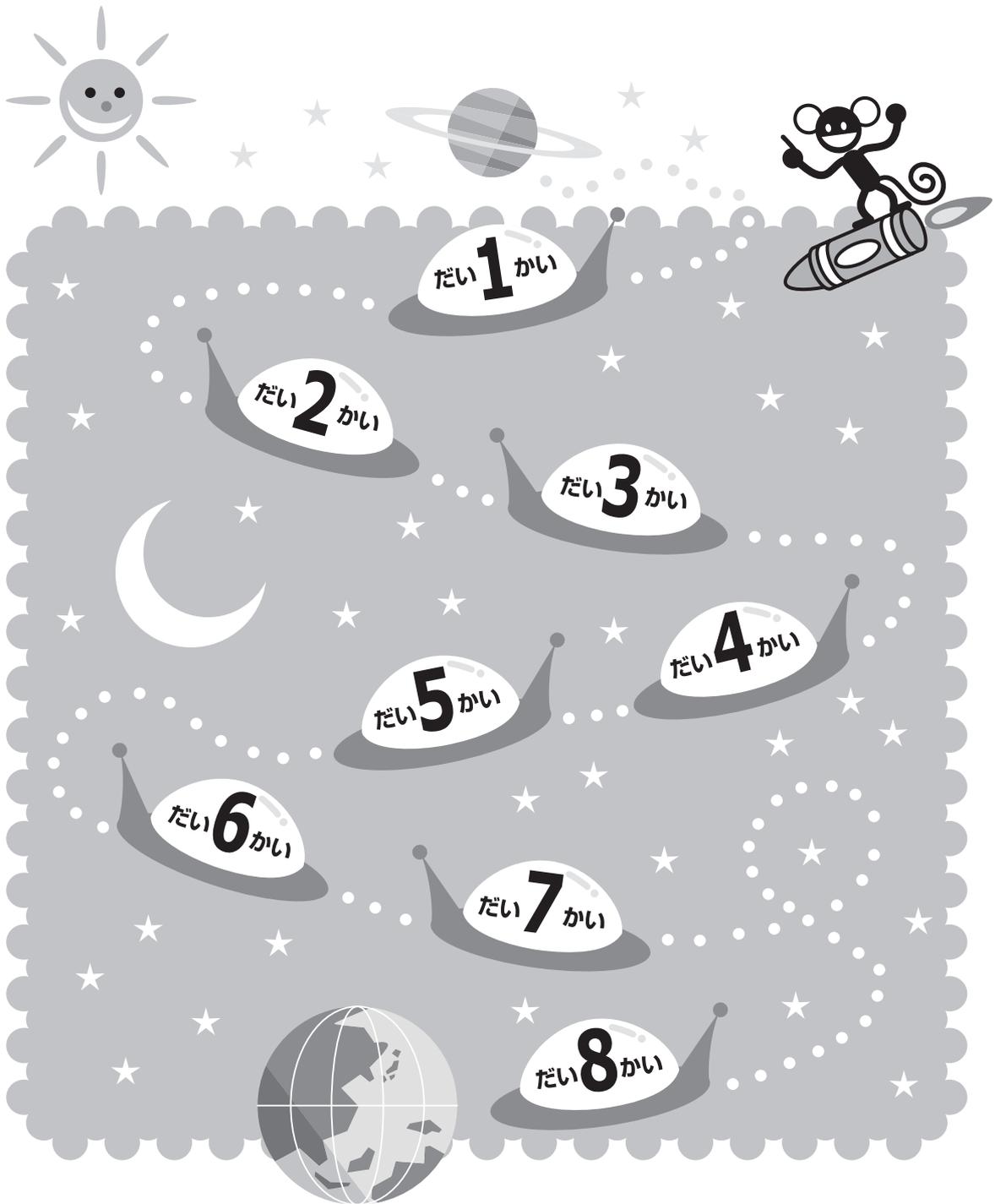
全回を通して、色塗りができるものは色塗りをさせて、楽しませてください。

また、テキスト38ページに「ひらがなのひょう」があります。利用してください。

うーた



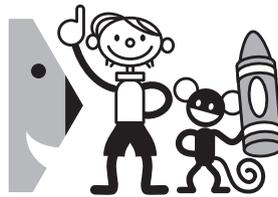
3





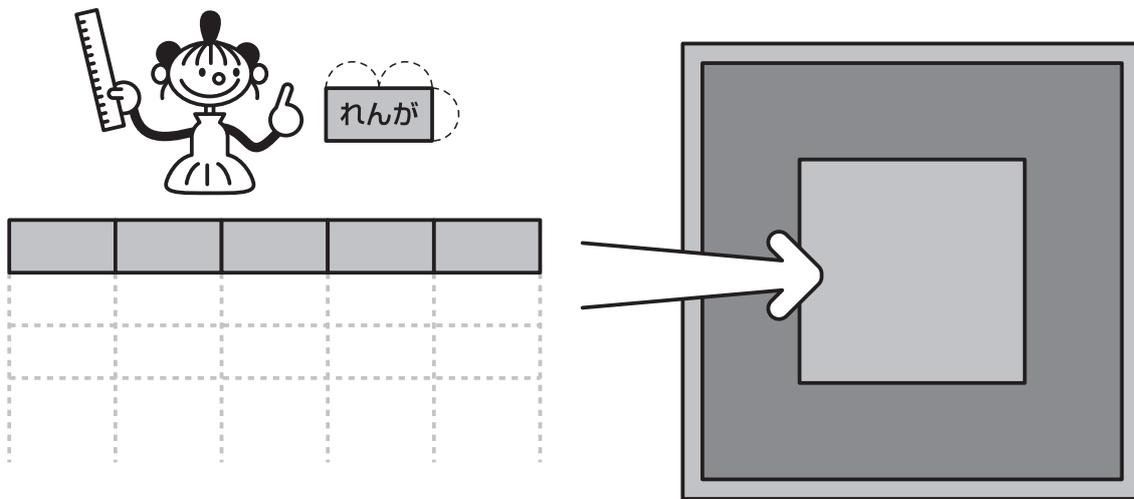
だい
1
かい

かたちづくりのせかい かだんをつくろう

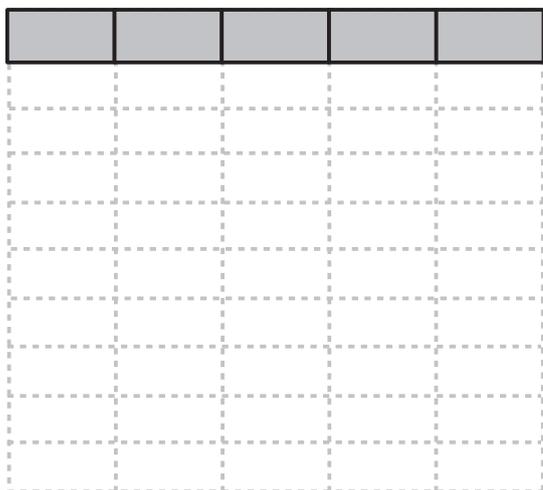


した^ず 下の図のようなかだんをつくろうとおもいます。まんなかには、れんがをしきつめて、はちうえをおきます。

ただし、れんがの^{おお}大きさは、たてのながさを2つあわせたながさが、よこのながさになります。

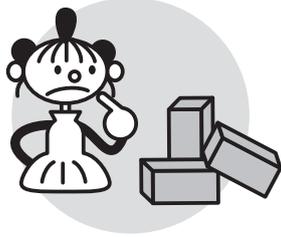


- (1) まんなかには、れんがを^{うえ}上の^ず図のように5れつにならべて、^{うえ}上からみるとましかくになるようにします。れんがは1れつに、なんこずつならべればよいでしょう。

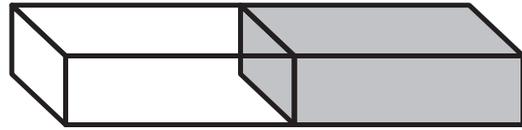


こずつ

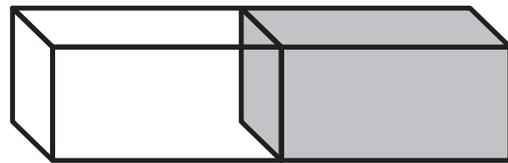
(2) かだんのまわりは、れんがでかこいます。かこいのた
 かさは、れんがのよこのながさのはんぶんになります。
 れんがをどちらおけにならべたらよいでしょう。
 ただしいもののきごうに○をつけましょう。



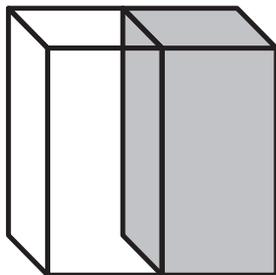
あ



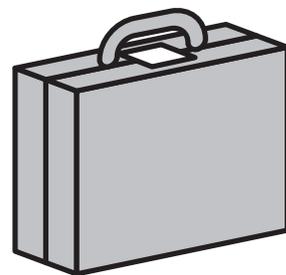
い



う



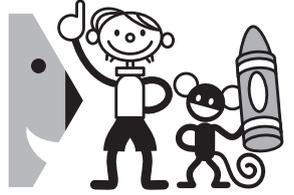
した え
 下の絵は、まよこからみると、「ましかく」
 にみえますか、それとも「ながしかく」にみえ
 ますか。



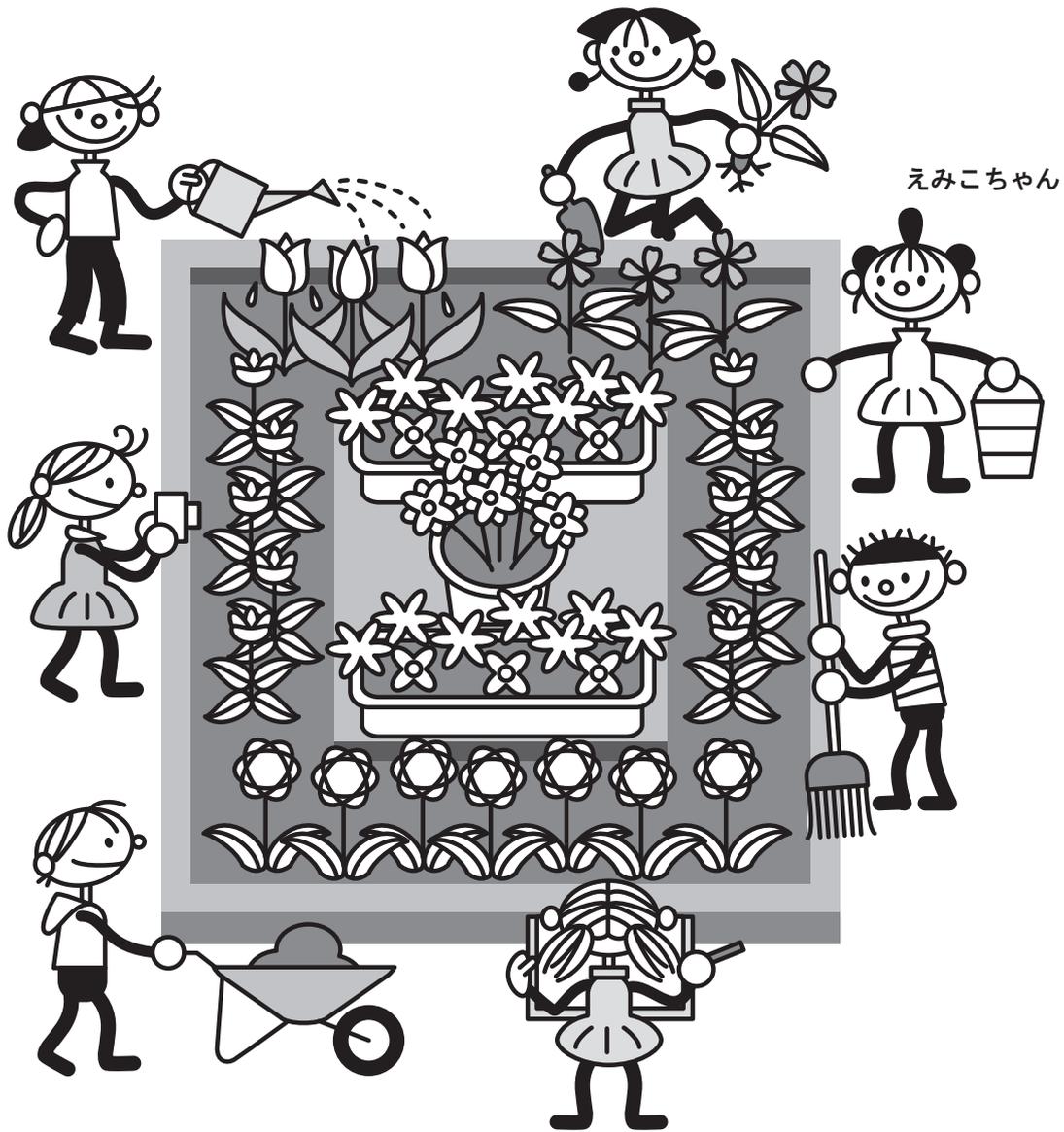


だい
1
かい

ことばづくりのせかい かだんのせわをしよう



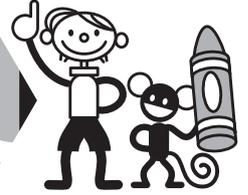
まもるくん、まゆみちゃん、よしおくん、くみこちゃん、
ゆうたくん、みちこちゃん、えみこちゃんの7にんが、かだ
んのせわをしたり、かんさつをしたりしています。





だい
1
かい

みんなとつくるせかい どんなきもちかな



した え
下の4つの絵をみて、あとのといにこたえましょう。

①



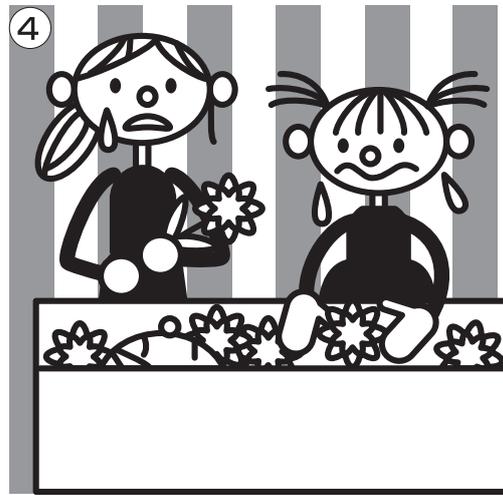
②



③



④



した え
下の絵はどんなときの絵でしょう。



(1) どんなばめんの^え絵でしょう。□にあてはまることばを、
[] からえらんでかきいれましょう。

①

②

③

④

[おそうしき おみまい ははのひ けっこんしき]

(2) ①～④のこどものきもちをあらわすことばを、 []
からえらんで□にかきいれましょう。

①

②

③

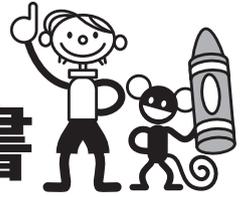
④

[かなしい かんしゃ しんぱい うれしい]



とろびた3

指導書



はじめに

このテキストは、知識を覚えるトレーニングのためのものではありません。ましてや、子どもの能力を確認する知能測定でもありません。子どもたちが学校の学習に入る前に、学習とはどんなものかを体験し、「**学びの経験のしかた**」を身に付けて欲しいと願ってつくられたものです。

子どもたちが学校に入って学ぶ様々な知識を、自分のものとして生かし、応用し、問題を解決していく力としていけるのは、学んだ知識を自分のものとして再構成していく力があってはじめて可能となります。

「とろびた2」では、**たま**や**はこ**や**さいころ**のような立体的なものの特徴を確かめることによって、平面とは異なった空間的なものの存在を子どもたちなりの理解のしかたで学んできました。また、文脈のなかで言葉を考えることの最初の一步も踏み出したことでしょう。

「とろびた3」では、「とろびた1」「とろびた2」で学んだことを生かしながら、子どもたちが一步進んだ「考える」ことのおもしろさに出会ってくれることを期待しています。

***準備するもの** ハサミ・えんぴつ・色えんぴつ(クレヨン)・のり・粘土・ヘラ・折り紙・積み木

もくじ

だい1かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	かだんをつくろう かだんのせわをしよう どんなきもちかな	P 2
だい2かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	さいころをつくろう かたちをかんさつしよう すごろくであそぼう	P 3
だい3かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	つみきあそび(1) つみきあそび(2) すいそうに水をいれよう	P 3~4
だい4かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	おりがみとはさみ おりがみであそぼう ものがたりをつくろう	P 4~5
だい5かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	かげふみあそび なにをしているのかな かげ絵でたのしもう	P 6
だい6かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	かくれんぼ だれのおうちかな じゅんばんをかんがえよう	P 6~7
だい7かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	ちょうせんしよう なかまさがし あさがおのかんさつ	P 7~8
だい8かい	かたちづくりのせかい ことばづくりのせかい みんなとつくるせかい	どんなめがはいるかな どんな絵ができるかな につきをかこう	P 8



かたちづくりのせかい かだんをつくらう



学習目標

- ・ましかくを作る。
- ・並べ方を工夫する。
- ・たて・よこ・たかさを学ぶ。

(1) 10こずつ

まず、子どもに考えさせてから、つぎの作業をする。

1. 赤鉛筆で、点線の図をできるだけ小さいましかくにくぎらせる。
2. たてとよこにましかくがいくつあるかたずねる。
全体がましかくであることを発見させる。
3. 最初の5列を基準に1列ずつに異なった色を塗らせる。列の意味を確認する。
4. 点線で書かれた1列のれんがの数を数えさせる。
ここでは、たて・よこの長さの割合で考えさせるのではなく、**視覚的にかたちを見つけさせる**。

(2) い

ただしいと思うものに○をつけさせる。必ず選んだ理由をたずねる。

<例>

- ・実際にれんがで囲っているのを見たことがある。
- ・「あ」は、低くて囲いにならない。「う」はれんががたくさんいるのでたいへんだ。

・たての長さが、よこの長さの半分だから、たての部分を高さにすればよい。

・囲いは高くなければいけないから「う」。

・ちょうどよいように思えたから。
などいろいろな理由が出てくる。この後、れんがに近い形をした積み木か箱で、たて・よこ・高さを説明したあとに実際に並べてみる。



ましかく ながしかく ながしかく
ましかくとながしかくの違いを話し合う。



ことばづくりのせかい かだんのせわをしよう



学習目標

・主体の動作を言葉で表すことを学ぶ。

- ① やって ② うえかえて ③ はいて
- ④ とって ⑤ はこんで

言葉としてはほとんどの子どもが理解できる。必ず、声を出して読ませる。その後、自分の経験を話させる。「水をやる」というより「水をあげる」というほうが子どもにはわかりやすいが、ここでは前者の言葉を学ぶ。



<例> (花の・みちこちゃんの) **絵をかいている、スケッチしている**など

絵と上の文とを比べて、文に表れていない子どもを発見させる。口頭で答えさせる。



みんなとつくるせかい どんなきもちかな



学習目標

- ・気持ちを表す言葉を学ぶ。
- ・人と人との関係を振り返る。

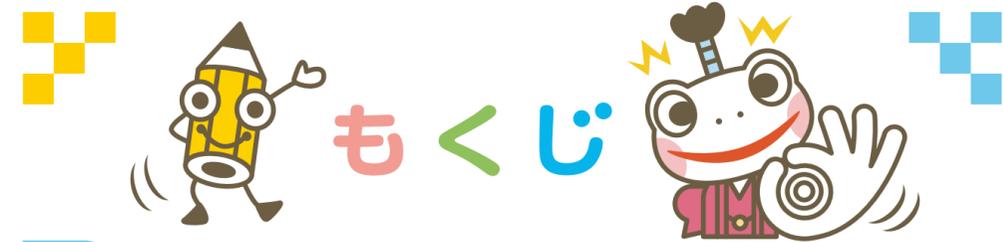
- (1) ① ははのひ ② おみまい
③ けっこんしき ④ おそうしき
- (2) ① かんしゃ ② しんぱい
③ うれしい ④ かなしい

(1) (2) をさせた後、経験があるかどうかをたずねる。経験があれば、そのときの気持ちをたずねる。必ずしも解答と同じ言葉とは限らない。その場合は、横に自分の言葉で気持ちを書かせ、同じ様な意味でもいろいろな言葉があることを理解したり、それぞれの状況で、気持ちも違うことを理解させる。例えば、実際には**かんしゃ**を「ありがとう」、結婚式などは「おめでとう」という言葉で表す。③の気持ちも、**うれしい**より「はずかしい」場合だってある。また、時間があれば、相手の気持ちも考えさせよう。



お月見

お月見にはどんなことをしたり、どんなかざりをするかなど話させる。



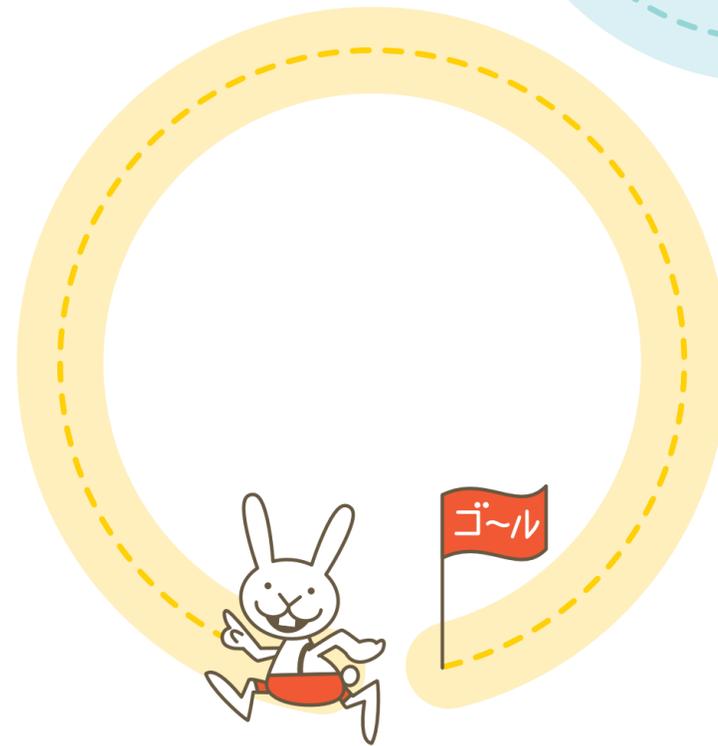
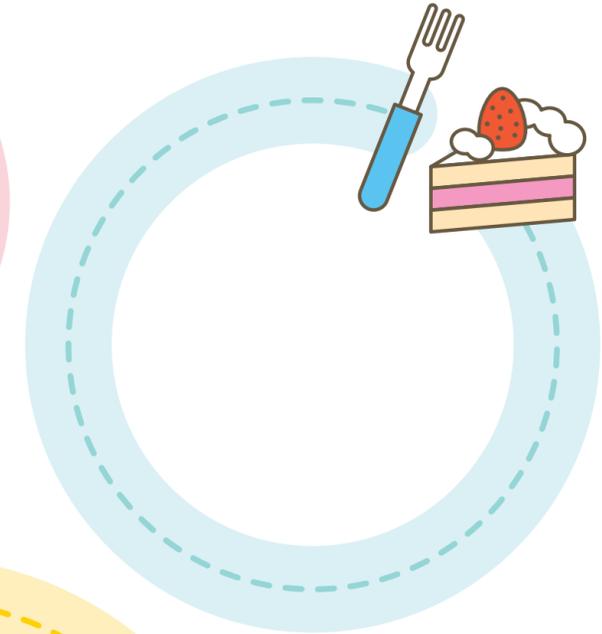
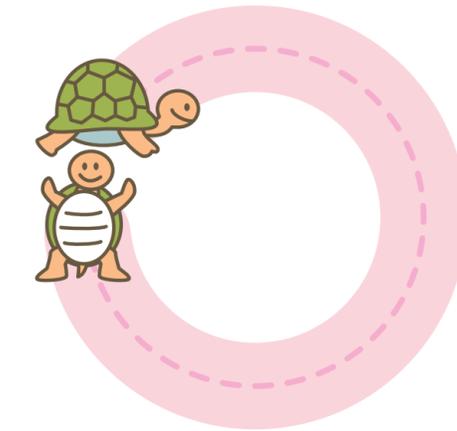
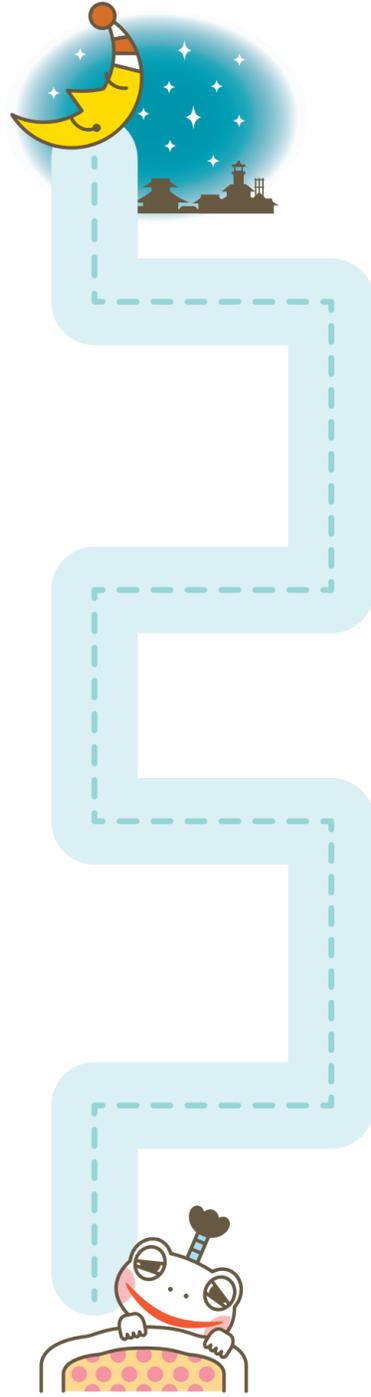
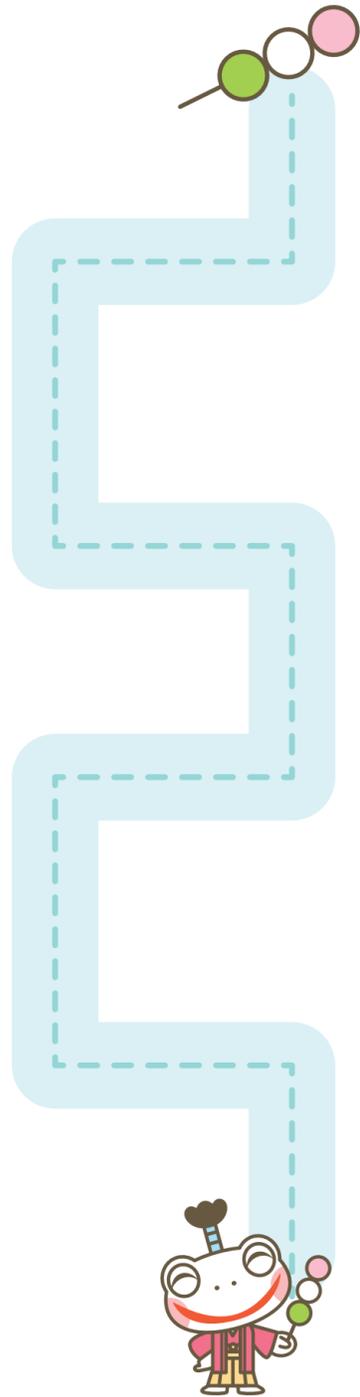
1	なぞってみよう	P2
2	せんをひいてつなげよう	P6
3	おなじえにまるをつけよう	P8
4	ちがうえにまるをつけよう	P10
5	おかあさんはどこ？	P12
6	えをなぞってかんせいさせよう	P13
7	えをかんせいさせよう	P15
8	じゅんばんをかんがえてみよう	P16
9	おおきい ちいさい	P18
10	はやい おそい	P19
11	いろをぬってみよう	P20
12	ひらがな、カタカナをなぞってみよう	P22
13	つなげよう	P70
14	しりとり	P76
15	あいさつ	P78
16	うたをうたおう	P82
	こたえのページ	P83



なぞってみよう



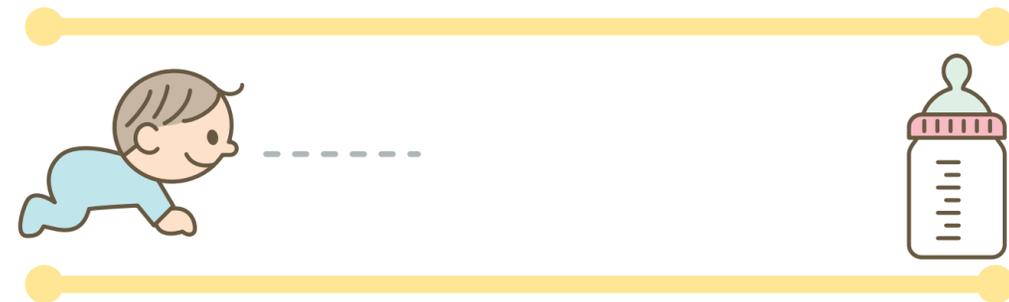
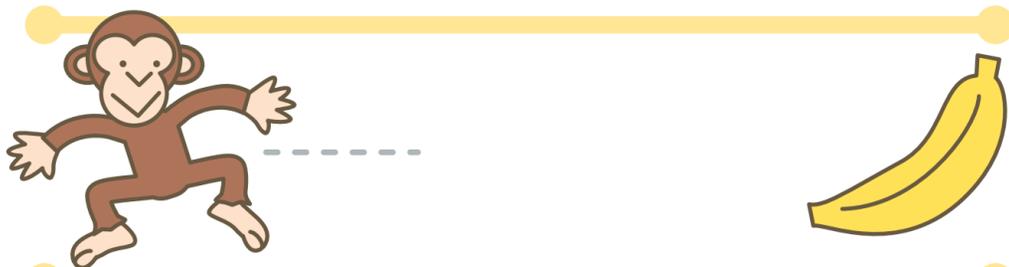
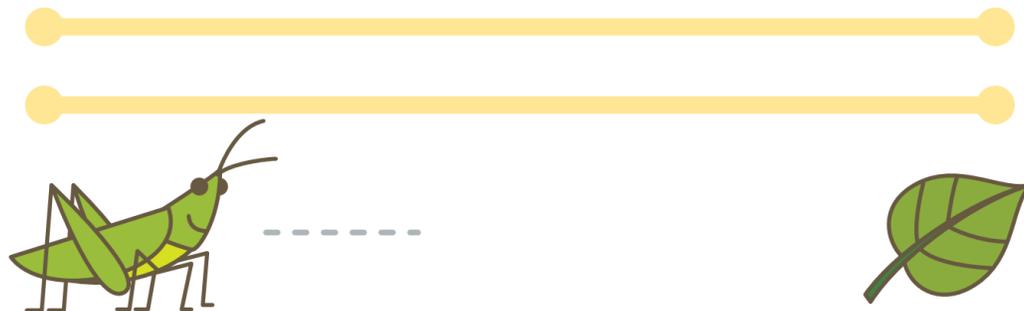
なぞってみよう





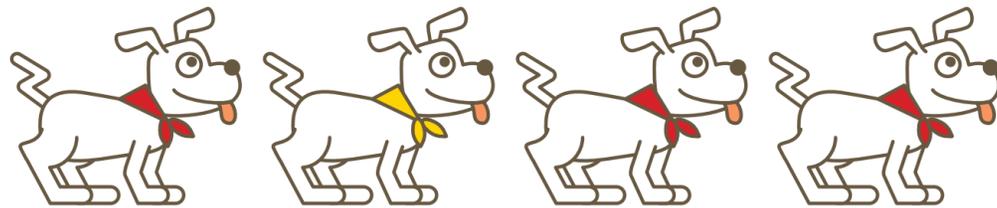
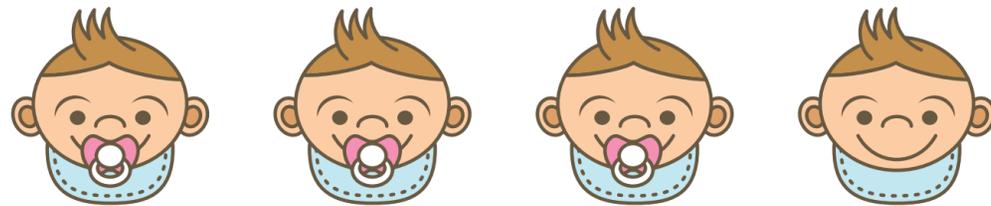
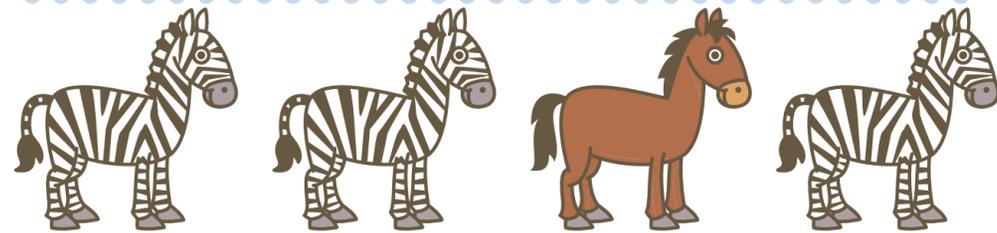
せんをひいてつなげよう

せんをひいてつなげよう

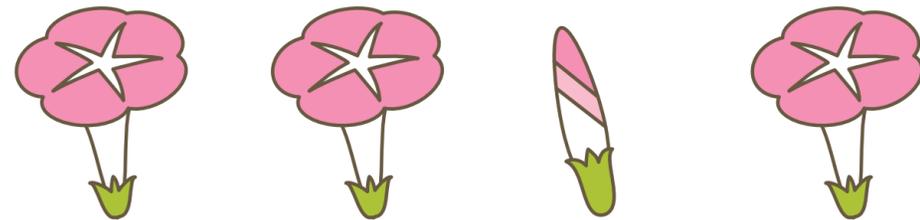
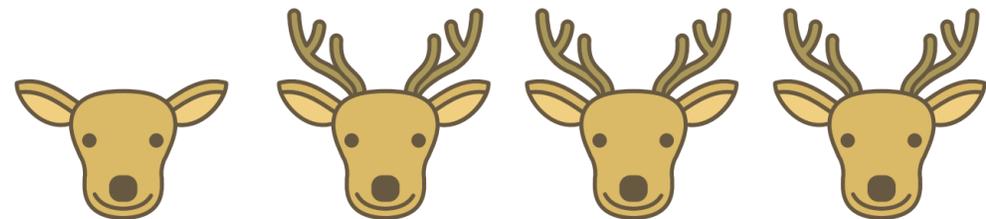
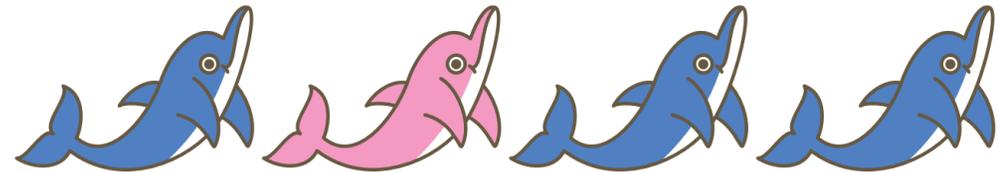
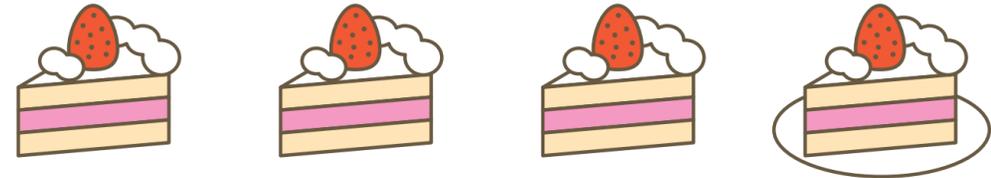




ちがうえに
まるをつけよう

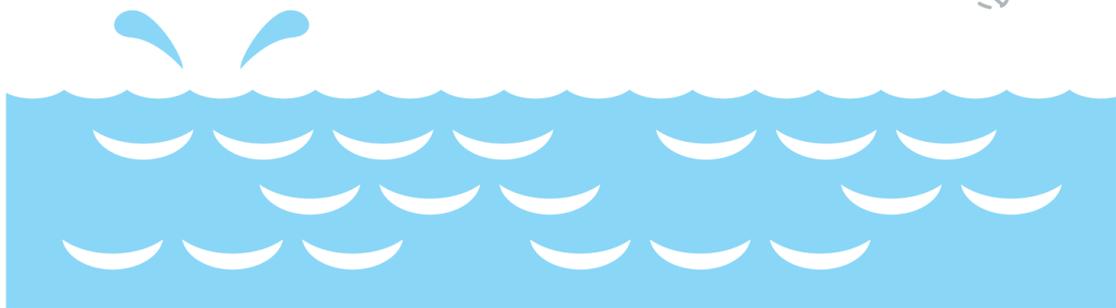


ちがうえに
まるをつけよう

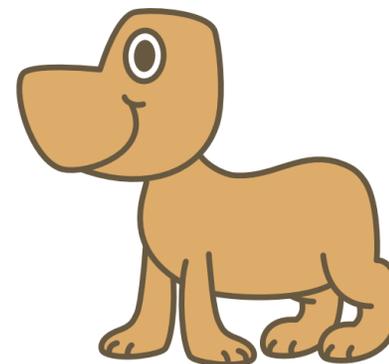
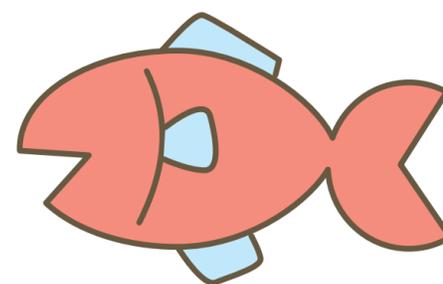
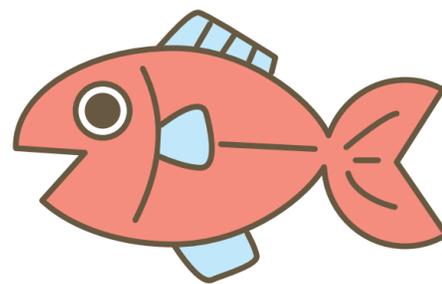




えをなぞって
かんせいさせよう



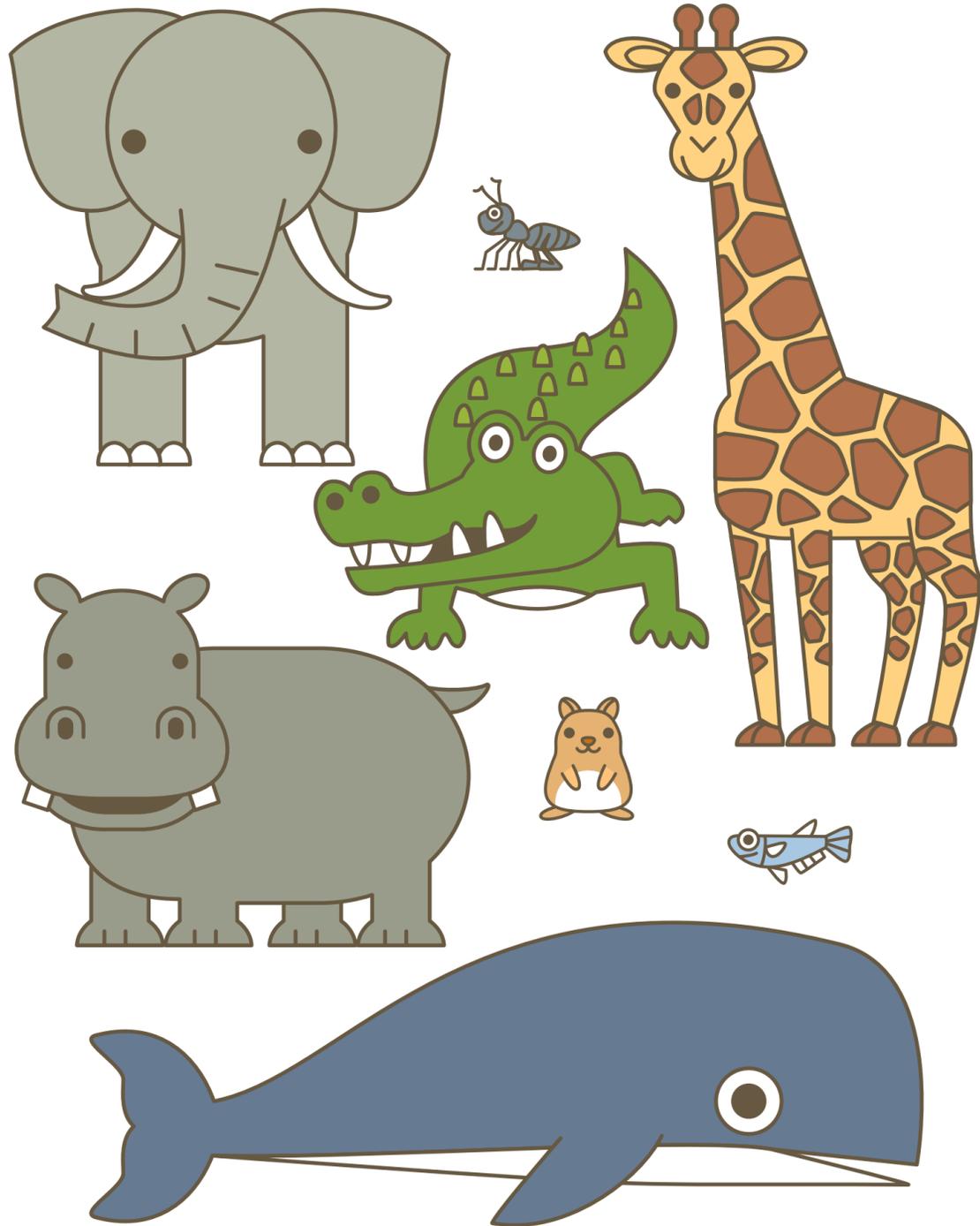
えを
かんせいさせよう





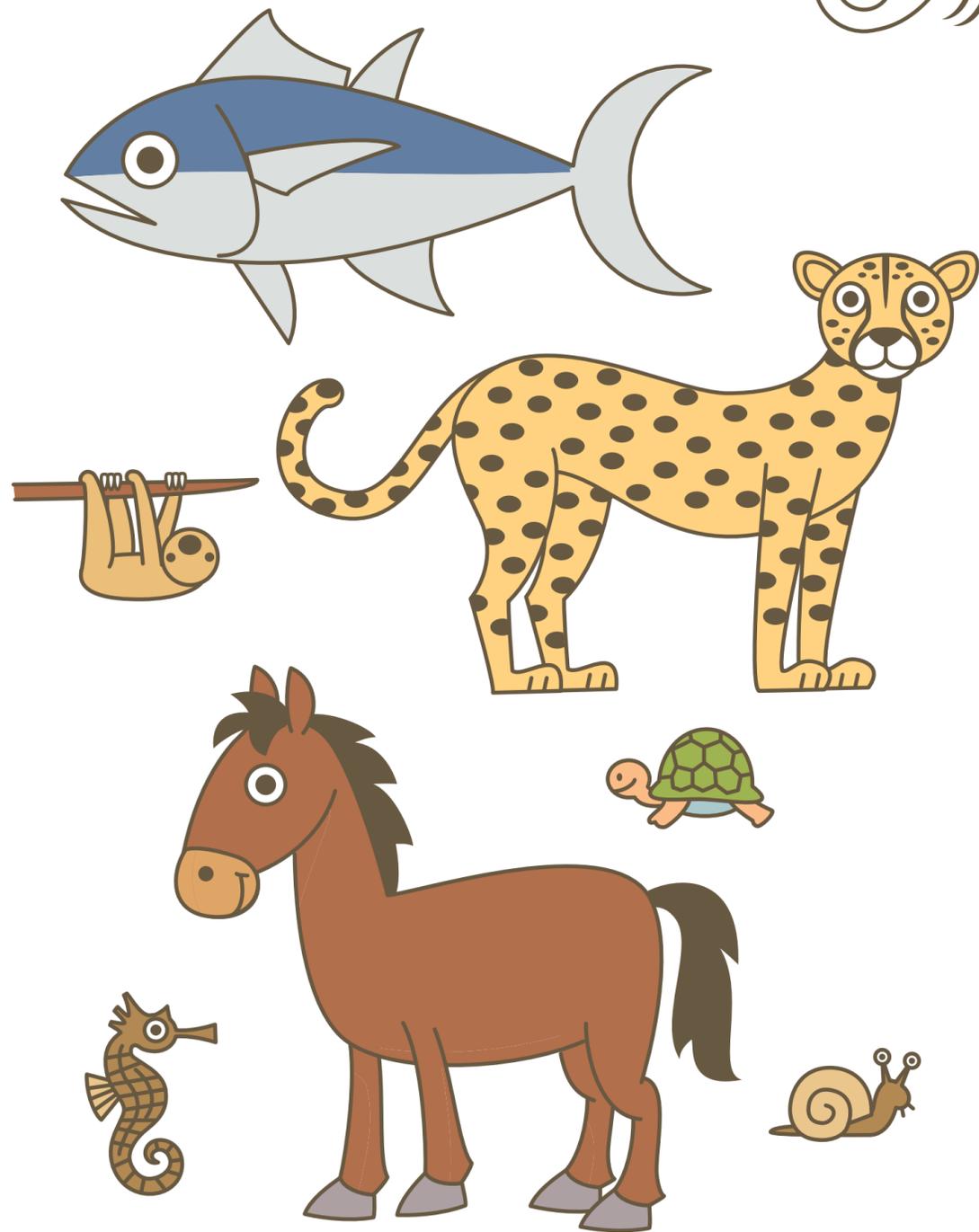
おおきい ちいさい

ちいさい、いきものに○をつけよう。

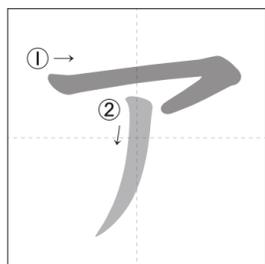
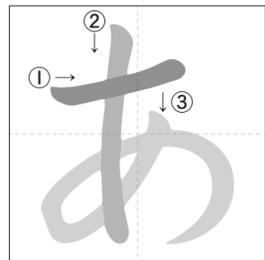


はやい おそい

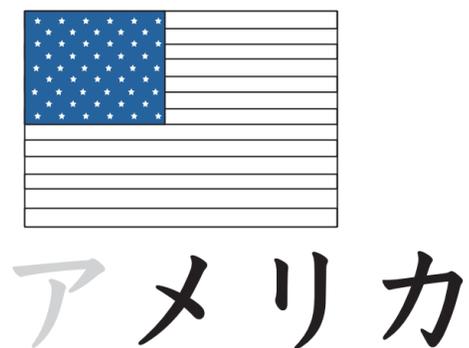
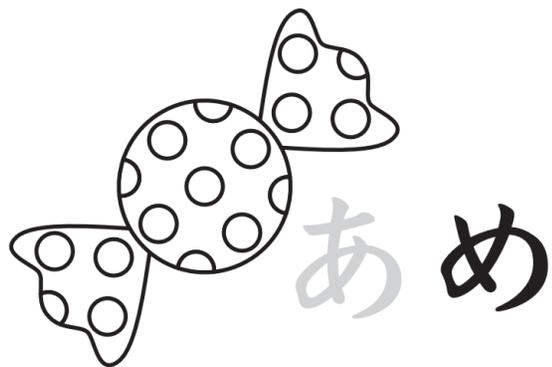
おそくうごく、いきものに○をつけよう。



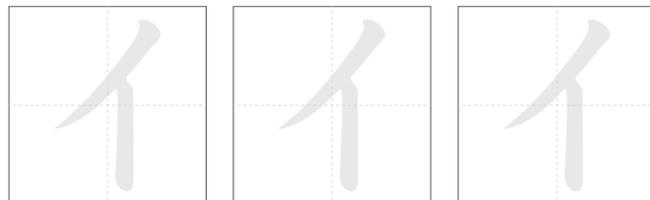
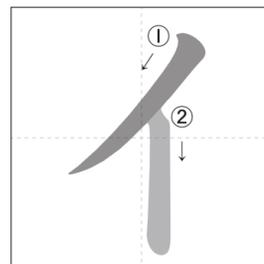
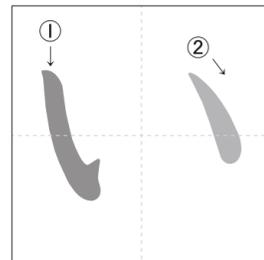
ひらがな、カタカナをなぞってみよう



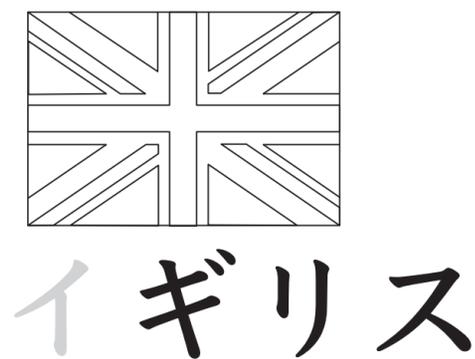
■ のもじをなぞって、えにいろをぬってみよう。



ひらがな、カタカナをなぞってみよう



■ のもじをなぞって、えにいろをぬってみよう。



GT算数「開始級判定テスト」について

この用紙を版下としてお使いください。このテストは、コピー許諾商品です。

GT算数は、基本的に全員10級から開始します。

あえてテスト対象を表示するとしたら、この判定テストの対象は中学受験のための学習をすでに始めている学習者、あるいは小学5年生以上です。

したがって、小学校4年生以下は10級を開始級として下さい。

このテストでは、基本的に部分点は設定しません。

テスト時間は、20分を想定しています。

「7級判定テスト」の結果については次の基準を参考にして下さい。

40点以下の場合は、10級を開始級に

41点以上80点未満の場合は、8級を開始級に

80点以上100点未満の場合は、7級を開始級に

100点の場合は引き続き「6級判定テスト」を

「6級判定テスト」の結果については次の基準を参考にして下さい。

55点以下の場合は、7級を開始級に

56点以上100点未満の場合は、6級を開始級に

100点の場合は引き続き「5級判定テスト」を

「5級判定テスト」の結果については次の基準を参考にして下さい。

55点以下の場合は、6級を開始級に

56点以上100点未満の場合は、5級を開始級に

100点の場合は5級あるいは4級から

成長する思考力

算数バージョン

得点

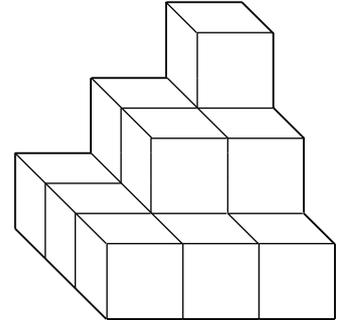
GT
 7 級判定

開始級判定テスト

学年 名前

点

1. 右の図は同じ大きさ, 同じ形のつみ木をつみ重ねたものです。
つみ木の数は, 全部でいくつありますか。



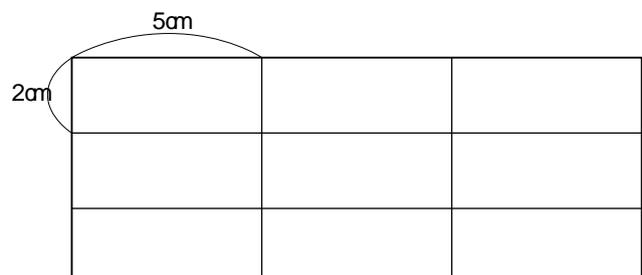
2. $\square 0$, $\square 3$, $\square 5$, $\square 7$ の4枚のカードをならべて4けたの数をつくりまます。
全部で何こできますか。

3. 90, 73, 56, ...とあるきまりにしたがって数字がならんでいます。はじめから数えて,
5番目の数を答えなさい。

4. 長さ60mの道に同じはばをあけて5本のさくらの木を植えます。木は道のりょうはしにも植えるとすれば, 木と木の間を何mにすればよいですか。

5. ある年の9月15日は金曜日でした。その年の11月23日は何曜日になりますか。

6. 右の図はたて2cm, 横5cmの長方形のカードを組み合わせたものです。大小おりまぜていくつの長方形がありますか。



7. ある駐車場の料金は1時間までが300円で、1時間をこえると30分ごとに料金が150円ずつふえます。

Aさんの車は駐車場に午前10時40分に入って、午後3時15分^{もと}に出ました。
Aさんの車の駐車料金を求めなさい。

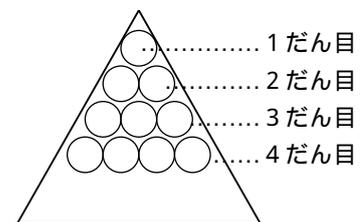
8. えんぴつ2本とノート5さつの合計金額は1300円で、えんぴつ4本とノート3さつの合計金額は1200円です。

えんぴつ1本、ノート1さつのねだんをそれぞれ求めなさい。

9. 下の図は、たて、横、ななめにならんでいる3つの数の合計がすべて同じになるようにつくられています。「あ」にあてはまる数を求めなさい。

9		8
	あ	7

10. 下の図のように、ご石を上から1だんに1こ、2だんに2こ、3だんに3こと正三角形にならべていきます。9だん目までならべたときにつかうご石の数を全部求めなさい。



GT
級

開始級判定テスト解答

- 1 . 14ㄷ 2 . 18ㄷ 3 . 22 4 . 15m
- 5 . 木曜日
- ・ 9月 は , $30 - 15 + 1$ より の こ り 16日 , 10月 は 31日 まで , 11月 23日 まで の 日 数 は , 9月 15日 から $16 + 31 + 23$ より 70日 後
 - ・ 9月 15日 は $15 \div 7$ より あ ま り 1 の 金 曜 日
 $70 \div 7 = 10$ あ ま り 0
 - ・ し た が っ て あ ま り 0 は 木 曜 日
- 6 . 36ㄷ
- ・ た て 2 cm, 横 5 cm の 長 方 形 が 9 こ
 - ・ た て 4 cm, 横 5 cm の 長 方 形 が 6 こ
 - ・ た て 6 cm, 横 5 cm の 長 方 形 が 3 こ
 - ・ た て 2 cm, 横 10cm の 長 方 形 が 6 こ
 - ・ た て 4 cm, 横 10cm の 長 方 形 が 4 こ
 - ・ た て 6 cm, 横 10cm の 長 方 形 が 2 こ
 - ・ た て 2 cm, 横 15cm の 長 方 形 が 3 こ
 - ・ た て 4 cm, 横 15cm の 長 方 形 が 2 こ
 - ・ た て 6 cm, 横 15cm の 長 方 形 が 1 こ
- 7 . 1500円
- ・ 午 前 10時 40分 から 午 前 11時 40分 まで は 300円
 - ・ 午 前 11時 40分 から 午 後 3時 15分 まで は 215分
 - ・ $215 \div 30 = 7$ あ ま り 5
 - ・ し た が っ て $300 + 150 \times (7 + 1)$ より
- 8 . えんぴつ 1本 150円 , ノート 1さつ 200円
- ・ えんぴつ の 数 を そ ろ え る 。 えんぴつ 2本 と ノート 5さつ で 1300円 な の で , えんぴつ 4本 , ノート 10さつ だ と , 1300×2 より 2600円
こ れ か ら , えんぴつ 4本 と ノート 3さつ で 1200円 を ひ く と , ノート 7さつ で 1400円 と い う こ と が わ か る 。
 - ・ $(2600 - 1200) \div (10 - 3)$ より ノート 1さつ 200円
 - ・ $(1300 - 200 \times 5) \div 2$ より えんぴつ 1本 150円
- 9 . 6
- ・ 右 下 を X と す る と , $9 + あ + X = 8 + 7 + X$, $9 + あ = 8 + 7$ より
- 10 . 45
- $(1 + 9) \times 9 \div 2$ より

成長する思考力

算数バージョン

得点

G T
6級判定

開始級判定テスト

学年 名前

点

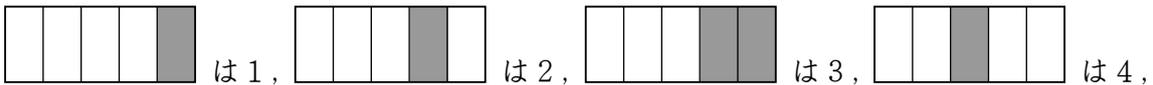
- 1 水そうに何Lかの水が入っています。この水そうに水を入れはじめていきます。入れはじめてから5分後水そうの水は40Lに、10分後には55Lになっていました。はじめ水そうには何Lの水が入っていましたか。(20点)

- 2 $\frac{1}{2}$ を1ばん目の分数として、分数が次のようになっています。9ばん目の分数を求めなさい。

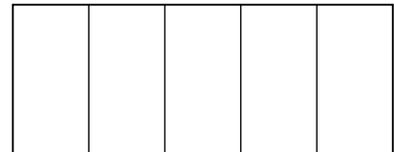
$$\frac{1}{2}, \frac{3}{5}, \frac{5}{8}, \frac{7}{11}, \dots$$

(20点)

- 3 下のように整数を表すことにします。あとの問いに答えなさい。(15点)



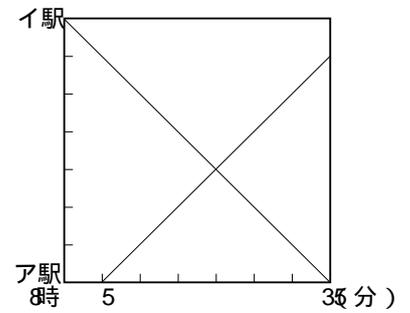
<問い> このとき、右の図に8を表すしゃ線をかき入れなさい。



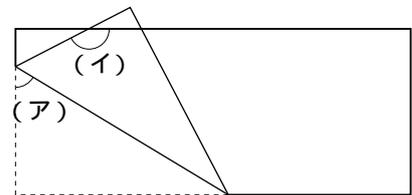
4. 右の図は、70kmはなれているア駅とイ駅の間を運行している電車の午前8時からのおよびを示しています。

イ駅を8時に出発したB電車がア駅に8時35分に着いたとき、ア駅を8時5分に出発したA電車はイ駅から10km手前の地点までできていました。

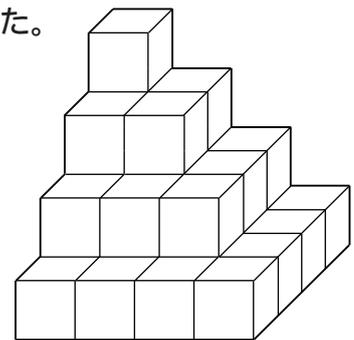
このとき、A電車とB電車がすれちがう時刻を求めなさい。(15点)



5. 長方形を右の図のように折り曲げたら、(ア)の角は 54° になりました。(イ)の角の大きさを求めなさい。(15点)



6. 1辺が2mの立方体を重ねて、図のような立体をつくりました。この立体の表面積を求めなさい。(15点)



GT

6級判定

開始級判定テスト解答

学年 名前

点

1 25 L

- ※・ $(55-40) \div (10-5)$ より1分間に3Lずつ入っている。
- ・ $3 \times 5 + \square = 40$ より

2 $\frac{17}{26}$

- ※分母の9ばん目は $3 \times 9 - 1$ より、分子の9ばん目は $2 \times 9 - 1$ より

3



※二進法（0と1だけで数を表す方法）をベースにしています。

十進法で1、2、3、4、5、6、7、8と表すところを、二進法で表すと次のようになります。

1、10、11、100、101、110、111、1000

1をかいたところに斜線を入れると、答えになります。

十進法では、9の次に位取りをして（桁を増やして）、10になりますが、二進法では、1の次に位取りをして、10とします。

たとえば、十進法では、999（3桁）→1000（4桁）

二進法では、111（3桁）→1000（4桁）のように桁が増えていきます。

4 午前8時20分

- ※・ $(70-10) \div (35-5) \times 60 = 120$, $120 \times \frac{5}{60} = 10$
- ・ $(70-10) \div (120+120) = \frac{1}{4}$ (時間) $\frac{1}{4}$ 時間=15分
- ・8時5分+15分より

5 162°

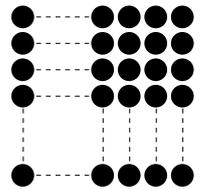
6 288cm²

成長する思考力 GT 5 級判定	算数バージョン 開始級判定テスト 学年 名前	得点 点
-------------------------------	--	-----------------

1 . 川上の A 町から川下の B 町までのきよ
 りは 120km です。船が A 町から B 町へ行
 くのに 3 時間かかり , B 町から A 町へ行
 くのに 4 時間かかります。

川の流れがないときの船の時速は何 km
 ですか。 (20 点)

2 . 下の図のように , ご石を正方形になら
 べます。まわりのご石が , 40 個あるよう
 にすると , 正方形のご石は全部で何個な
 らびますか。 (20 点)



3 . 直方体の箱があります。その表面積は
 348cm^2 で , そのうちの 1 つの面は , 面積
 が 48cm^2 , 周囲が 28cm です。その直方体
 をいくつか , 同じ向きにならべたり , 積
 んだりして立方体をつくらうと思います。
 直方体は最低いくつ必要ですか。 (15 点)

4 . みかん 3 個とりんご 3 個の 6 個のくだ
 ものを , 2 つのかごに同じ数ずつ分ける
 と , 下のように 2 通りの分け方がありま
 す。

みかん 3 個 , りんご 3 個 , なし 3 個の
 9 つのくだものを 3 つのかごに同じ数ず
 つ分けるとき , いく通りの分け方があり
 ますか。 (15 点)



5 . 6人が右の図のようなまわりテーブルについて食事をしました。そのときの自分の席について、6人は次のようにいいました。

Aは「Dのとなりにならなかった。」

Bは「Cの正面にはいなかった。」

Cは「Eのとなりにいた。」

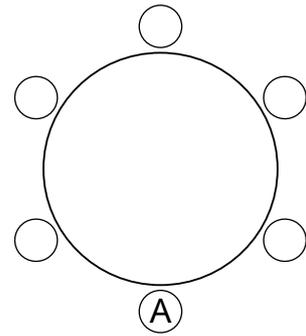
Dは「Cとは、はなれてすわった。」

Eは「Aの右どなりにいた。」

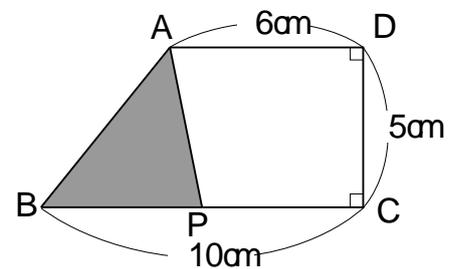
Fは「Aの正面にいなかった。」

Aは、右の図の席にすわっていました。ほかの5人はどのようにすわっていたのでしょうか。

図に記号をかき入れなさい。(15点)



6 . 右の図のような台形A B C Dがあります。点Pは点Bを出発して、点B 点C 点Dと1秒間に1 cmの速さで動きます。点Pが点Bを出発してから12秒後の三角形A B Pの面積は何 cm^2 ですか。(15点)



GT 5級

開始級判定テスト解答

1. 時速 35km

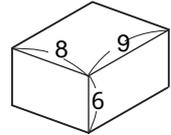
$$120 \div 3 = 40, (40 - 30) \div 2 = 5, 30 + 5 \text{ より}$$

2. 12個

$$40 \div 4 + 1 = 11, 11 \times 11 \text{ より}$$

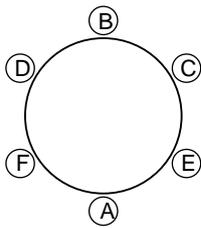
3. 864

- $28 \div 2 = 14, 48 = 6 \times 8, 348 - 48 \times 2 = 252, 252 \div 28 = 9$
- 6, 8, 9の最小公倍数は72
- $72 \div 6 = 12, 72 \div 8 = 9, 72 \div 9 = 8, 12 \times 9 \times 8$ より



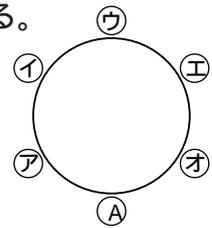
4. 10通り

- みかんが3このときは2通り, みかんが2このときは,
(み, み, り) と (み, み, な) がそれぞれ3通り。
- みかんが1このときは2通り
- よって, $2 + 3 + 3 + 2$ より

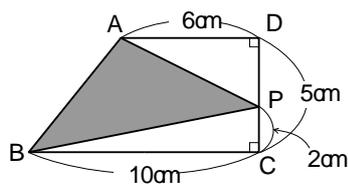


右図のようにAの左から ア, イ, ウ, エ, オとする。

- Eから, Eは オ
- Cから, Cは エ
- Aから, Dは イ
- Bから, Bは ウ
- 最後に, Fは ア



5. 21cm^2



台形 ABCDの面積は 40cm^2

- APDの面積は 9cm^2
- BCPの面積は 10cm^2
- $40 - (9 + 10)$ より

がくしゅう
〈学習するみなさんへ〉

●この教材で学習する目的

この教材では、問題文をよんで、「なにを答えることがもとめられているのか」を分析し、解答にいたりつくには「どうすればよいのか」をかんがえる学習をします。
したがって、この教材には計算練習のための問題はありません。

●いくつかの注

この教材をつかうにあたって、たいせつなことがらが2つあります。ひとつは、自分でかんがえ、解くことによって学習する「たのしさ」を発見することです。もうひとつは正しい答えをえるまでねばりつよくとりくむことです。時間がかかっても自分でやりぬくことです。「解答」や「解き方」は、問題に答えるためのいちばんさいごの方法です。そのときは、「かんがえるヒント」としてつかいましょう。

●学習のねらい

この教材は、1回分がつぎのようなくみたてでできています。

- 1 知識を広げる
新しい知識を学ぶことをとおして、算数の世界を広げることを目的としています。
- 2 観察する
1で学んだ知識をもとに、あたえられた条件をつかって、問題を解くかんがえかたを学びます。
- 3 発見する
問題を解くために、問題のなかにかくれている条件を発見することを目的としています。
- 4 飛躍する
あたえられた条件をいろいろな角度からみて、1から3で学んだことをつかいながら、問題を解くやわらかな思考力をそだてることを目的とします。

★ ★ ★ ★ ★ も く じ ★ ★ ★ ★ ★

第1回	数の世界	第9回	ふえるといくつ
1	知識を広げる……………1	1	知識を広げる……………33
2	観察する……………2	2	観察する……………34
3	発見する……………3	3	発見する……………35
4	飛躍する……………4	4	飛躍する……………36
第2回	1から9の数字	第10回	ひきざんの世界
1	知識を広げる……………5	1	知識を広げる……………37
2	観察する……………6	2	観察する……………38
3	発見する……………7	3	発見する……………39
4	飛躍する……………8	4	飛躍する……………40
第3回	くらべる	第11回	のこりはいくつ
1	知識を広げる……………9	1	知識を広げる……………41
2	観察する……………10	2	観察する……………42
3	発見する……………11	3	発見する……………43
4	飛躍する……………12	4	飛躍する……………44
第4回	あたらしい数字	第12回	ちがいはいくつ
1	知識を広げる……………13	1	知識を広げる……………45
2	観察する……………14	2	観察する……………46
3	発見する……………15	3	発見する……………47
4	飛躍する……………16	4	飛躍する……………48
第5回	あたらしい数・なんばんめ	第13回	たしざんとひきざん
1	知識を広げる……………17	1	知識を広げる……………49
2	観察する……………18	2	観察する……………50
3	発見する……………19	3	発見する……………51
4	飛躍する……………20	4	飛躍する……………52
第6回	2けたの数	第14回	いろいろなけいさん
1	知識を広げる……………21	1	知識を広げる……………53
2	観察する……………22	2	観察する……………54
3	発見する……………23	3	発見する……………55
4	飛躍する……………24	4	飛躍する……………56
第7回	たしざんの世界	第15回	くらべてみると
1	知識を広げる……………25	1	知識を広げる……………57
2	観察する……………26	2	観察する……………58
3	発見する……………27	3	発見する……………59
4	飛躍する……………28	4	飛躍する……………60
第8回	あわせていくつ	第16回	いろいろなかたち
1	知識を広げる……………29	1	知識を広げる……………61
2	観察する……………30	2	観察する……………62
3	発見する……………31	3	発見する……………63
4	飛躍する……………32	4	飛躍する……………64

1 知識を広げる

月 日 時 分 ~ 時 分

1 下の絵を見て、といに答えなさい。



(1) つぎの ア~エの —線と おなじ 数字の つかいかたをして いるものを、上の絵の ①~④から えらんで、その ばんごうを () の 中にかきなさい。

- ア ぼくは プールで 25メートル およげるよ。 ()
- イ せばんごう5ばんの せんしゅが シュートしました。 ()
- ウ こいぬが 6ぴき 生まれました。 ()
- エ きょうは 1ばんめに おふろに はいりました。 ()

(2) ①~④の絵は どんな 数字を あらわして いるのでしょうか。

□の あ~えから えらんで、() の 中にかきなさい。

- | | |
|-------|--------------------------|
| ① () | あ たかさや ながさを あらわす 数字 |
| ② () | い くべつする ための きごうを あらわす 数字 |
| ③ () | う じゅんじょを あらわす 数字 |
| ④ () | え ものが いくつ あるかを あらわす 数字 |

2 観察する

月 日
時 分 ~ 時 分

1 つぎの 文に あう 絵を ①~④から えらんで、() の 中に ばんごうを かきなさい。

(1) かごの 中に、りんごが 3こ あります。

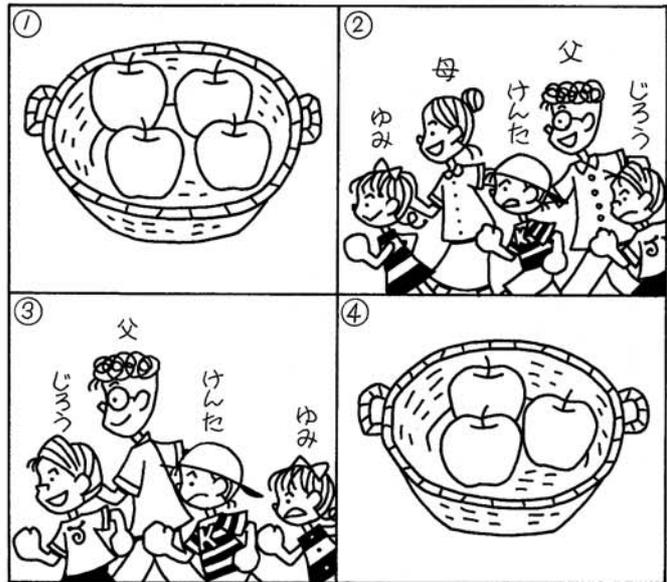
()

(2) けんたから 2ばん まえ は じろうです。

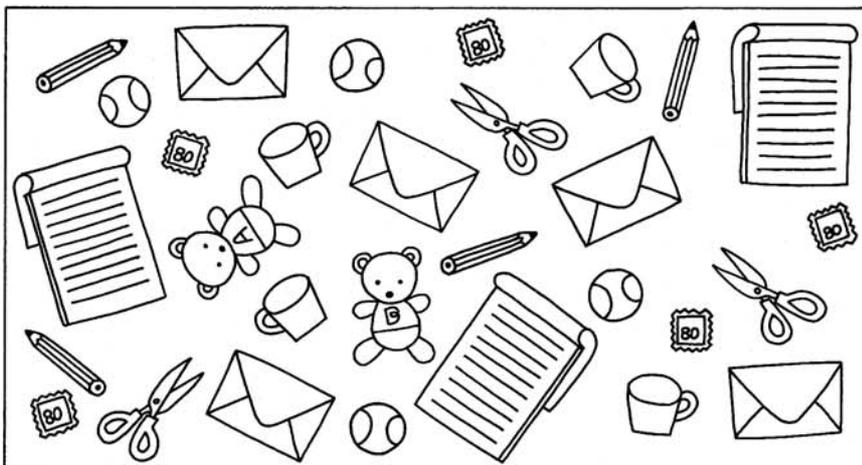
()

(3) けんたから 2ばん まえ は ゆみです。

()



2 てがみを かいて、だす ときに ひつような ものを 下の 絵の 中から 4つ みつけなさい。また、それらが 絵の 中に それぞれ いくつ あるか 数も かきなさい。



- (.)
 (.)
 (.)
 (.)



バラバラに おいて ある ものを しゅるいごとに かぞえるのは たいへん！
 しるしを つけながら かぞえると 「あれ？ これ かぞえたかな？」 なんてことは なくなるよ。
 いくつかの しゅるいの ものを かぞえる ときは、しるしを かえて みるのも いいよ。
 ○を つける もの、×を つける もの、☆の マークも いいかもね。

3 発見する

月 日 時 分 ~ 時 分

1 つぎの といに 答えなさい。

〈きれい〉 きみの かぞくは なん^{にん}人ですか。 (6) 人

(1) きみの ふでばこには えんぴつが なん^{ほん}本 ^{はい}入って いますか。
() 本

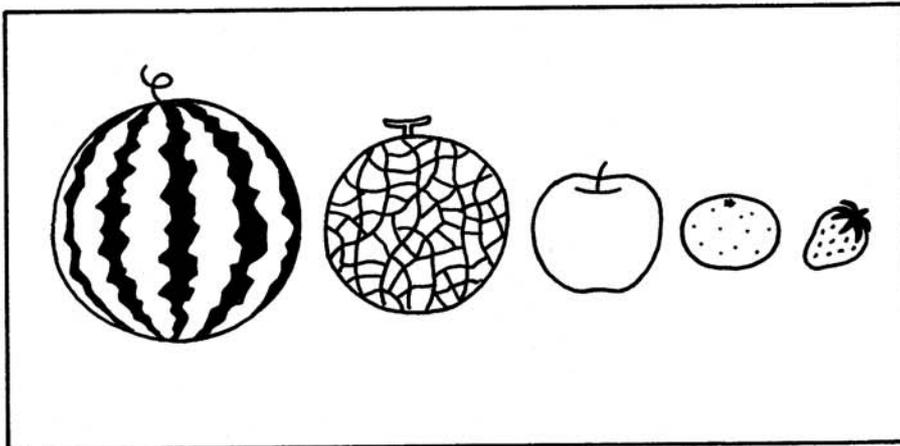
(2) きみの なまえを ひらがなで かくと、なん^{もじ}文字に なりますか。
() 文字

2 つぎの といに 答えなさい。

〈きれい〉 きみは なん^{がつ}月 なん^{にち}日 生まれですか。(9月15日生まれです。)

(1) 下の 絵の 中で きみが すきなものは なんですか。それは ^{みぎ}右 から なんばんめですか。 () , () ばんめ

(2) 下の 絵は 大きい じゅんに ならんで います。りんごは なんばんめに 大きいですか。 () ばんめ



3 つぎの といに 答えなさい。

(1) 「4本」と 答えられる もんだいの 文を つくりなさい。

()

(2) 「2ばんめ」と 答えられる もんだいの 文を つくりなさい。

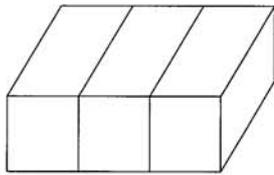
()

4 飛躍する

月 日
時 分 ~ 時 分

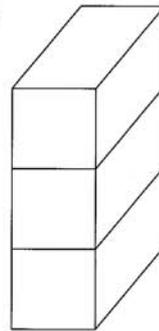
1 つみきは それぞれ いくつ ありますか。() の 中に あてはまる 数字を かき入れなさい。

(1)



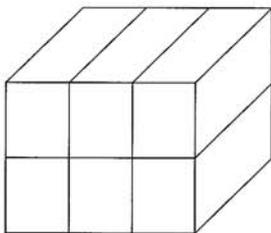
()

(2)



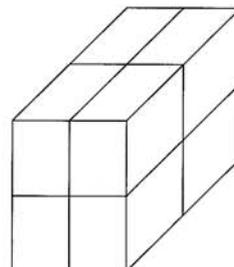
()

(3)



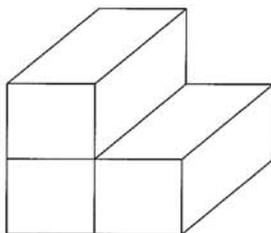
()

(4)



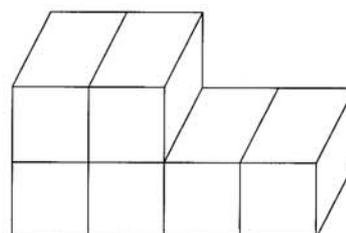
()

(5)



()

(6)



()

〈^{がくしゅう}学習するみなさんへ〉

●この教材で学習する目的

この教材では、問題文をよんで、「なにを答えることがもとめられているのか」を分析し、解答にいたりつくには「どうすればよいのか」をかんがえる学習をします。
したがって、この教材には計算練習のための問題はありません。

●いくつかの注

この教材をつかうにあたって、たいせつなことがら2つあります。ひとつは、自分でかんがえ、解くことによって学習する「たのしさ」を発見することです。もうひとつは正しい答えをえるまでねばりつよくとりくむことです。時間がかかっても自分でやりぬくことです。「解答」や「解き方」は、問題に答えるためのいちばんさいごの方法です。そのときは、「かんがえるヒント」としてつかいましょう。

●学習のねらい

この教材は、1回分がつぎのようなくみたてでできています。

1 知識を広げる

新しい知識を学ぶことをとおして、算数の世界を広げることを目的としています。

2 観察する

1で学んだ知識をもとに、あたえられた条件をつかって、問題を解くかんがえかたを学びます。

3 発見する

問題を解くために、問題の中にかくれている条件を発見することを目的としています。

4 飛躍する

あたえられた条件をいろいろな角度から見て、1から3で学んだことを活用しながら、問題を解くやわらかな思考力をそだてることを目的とします。

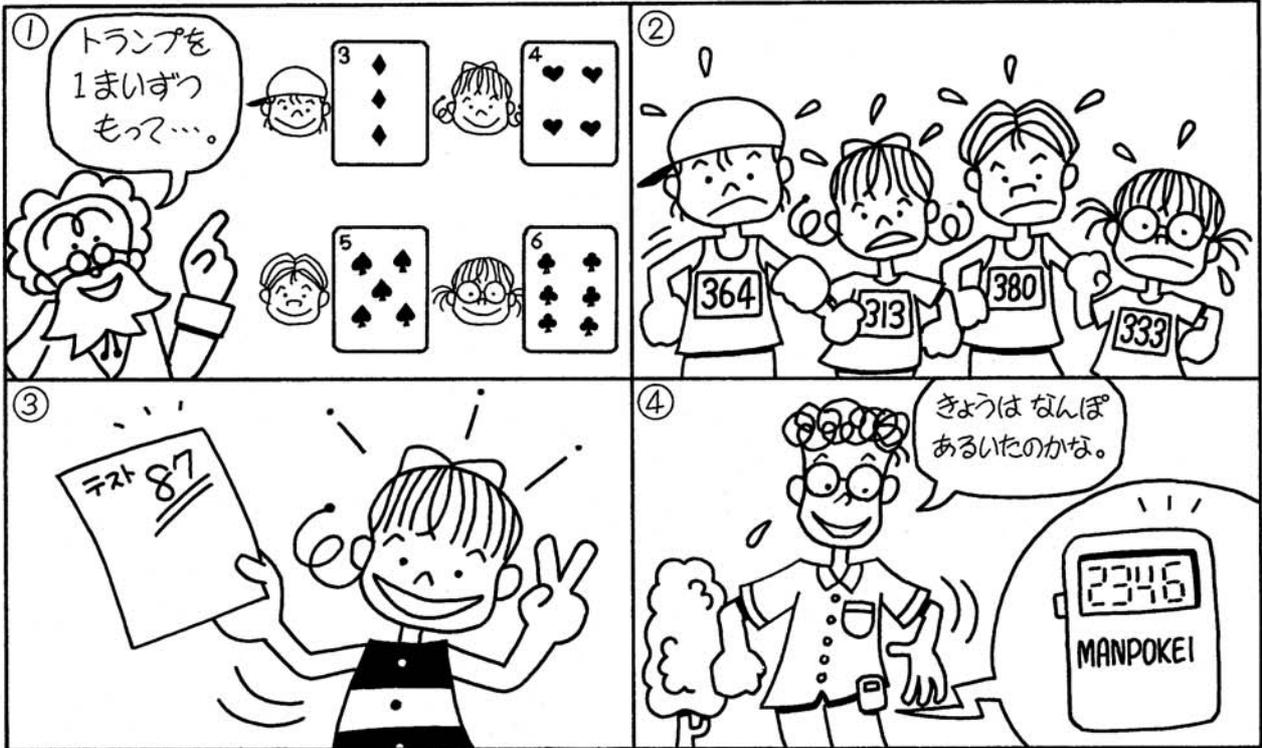
★ ★ ★ ★ ★ も く じ ★ ★ ★ ★ ★

第1回	数と計算の世界	第9回	かけ算・1あたりの数
1	知識を広げる……………1	1	知識を広げる……………33
2	観察する……………2	2	観察する……………34
3	発見する……………3	3	発見する……………35
4	飛躍する……………4	4	飛躍する……………36
第2回	整数のあらわしかた	第10回	倍
1	知識を広げる……………5	1	知識を広げる……………37
2	観察する……………6	2	観察する……………38
3	発見する……………7	3	発見する……………39
4	飛躍する……………8	4	飛躍する……………40
第3回	数の大小や順序	第11回	数を分解する
1	知識を広げる……………9	1	知識を広げる……………41
2	観察する……………10	2	観察する……………42
3	発見する……………11	3	発見する……………43
4	飛躍する……………12	4	飛躍する……………44
第4回	十ずつまとめる・百ずつまとめる	第12回	測定の世界
1	知識を広げる……………13	1	知識を広げる……………45
2	観察する……………14	2	観察する……………46
3	発見する……………15	3	発見する……………47
4	飛躍する……………16	4	飛躍する……………48
第5回	たし算	第13回	長さの単位
1	知識を広げる……………17	1	知識を広げる……………49
2	観察する……………18	2	観察する……………50
3	発見する……………19	3	発見する……………51
4	飛躍する……………20	4	飛躍する……………52
第6回	ひき算	第14回	時間と時刻
1	知識を広げる……………21	1	知識を広げる……………53
2	観察する……………22	2	観察する……………54
3	発見する……………23	3	発見する……………55
4	飛躍する……………24	4	飛躍する……………56
第7回	たし算とひき算	第15回	図形の世界
1	知識を広げる……………25	1	知識を広げる……………57
2	観察する……………26	2	観察する……………58
3	発見する……………27	3	発見する……………59
4	飛躍する……………28	4	飛躍する……………60
第8回	かけ算の世界	第16回	三角形と四角形
1	知識を広げる……………29	1	知識を広げる……………61
2	観察する……………30	2	観察する……………62
3	発見する……………31	3	発見する……………63
4	飛躍する……………32	4	飛躍する……………64

1 知識を広げる

月 日
時 分 ~ 時 分

1 下の絵を見て、問いに答えなさい。



(1) ①~④の絵は、いろいろな数字がつかわれています。つぎの
ア~エと同じ「けたの数」になるものを①~④からえらんで、
その番号を () にかきなさい。

- ア () わたしは2300円もっています。
イ () さいころをふると、3の目がでました。
ウ () 算数のテストは、100点でした。
エ () トランプのカードをひくと、13でした。

(2) ②は、ゼッケンに3つの数字がならんでいます。なぜ3けた
だとわかりますか。正しいものを、ア~ウから1つえらびなさい。

- () ア 3からはじまる数だから。
イ 数字の3が多いから。
ウ 数字が3つならんでいるから。



- 「けた」について
1から9までの数を
1けたの数。
10から99までの
数を2けたの数。
100から999ま
での数を3けたの数。
1000から9999
までの数を4けたの数
という。
数字がいくつならん
でいるかで「けた」が
きまる。

2 観察する

月 日
時 分 ~ 時 分

1 お金はそれぞれ何まいずつありますか。次の□の中に、あてはまる数をかき入れなさい。

		10円玉	1円玉
(1)	① ① ⑩ ①	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(2)	⑩ ① ⑩ ① ① ①	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(3)	⑩ ①①① ⑩ ①①① ① ① ⑩	100円玉	
		<input type="text"/>	<input type="text"/>
(4)	① ① ① ①①① ①	<input type="text"/>	<input type="text"/>

2 次の文の () の中に、あてはまる数をかき入れなさい。

(1) 100を(あ)こ、10を(い)こ、1を(う)こ、あわせた数は578です。
また、その百の位は(え)、十の位は(お)、一の位は(か)です。

(2) 「さんびゃくなな」を数字であらわすと、(あ)となります。その十の位は(い)です。

3 下のカードをつかって、3けたの数をつくりなさい。数字のカードは数字で、かん字のカードはかん字であらわしなさい。(カードは1回しかつかえません。)

九	0	3	十	0	百	2	七	百	0
三	4	八	百	6	二	五	5	0	

数字 () () ()

かん字 () () ()

3 発見する

月 日
時 分 ~ 時 分

1 $100-300-500-\square-900\cdots$ という数字が、あるきまりにしたがってなっています。 \square にあてはまる数のもとめかたの答えとして、正しいものをア～ウからえらんで、()の中に記号でかきなさい。

() ア 500のつぎは501なので、501とかく。

イ 500のつぎは600なので、600とかく。

ウ 100が300になり、300が500になっていることから、200ずつふえていると考えると、500より200多い700とかく。

2 0, 100, 300, 600, …… とあるきまりにしたがって、数字がなrandeいます。つぎの問いに答えなさい。

(1) 0から100までには数字はいくつありますか。

(2) 100から300までには数字はいくつありますか。

(3) はじめから数えて5番目の数字はいくつですか。



かんたんな数で考えてみる。たとえば、3から5までだといくつあるのかなど。

3 数字がなrandeいます。この数はどんなものにつかわれている数でしょうか。

1, 5, 10, 50, 100, 500
1000, 5000, 10000

4 4けたの数で、いちばん小さい数といちばん大きい数をかきなさい。

ア いちばん小さい数

イ いちばん大きい数

4 飛躍する

月 日 時 分 ~ 時 分

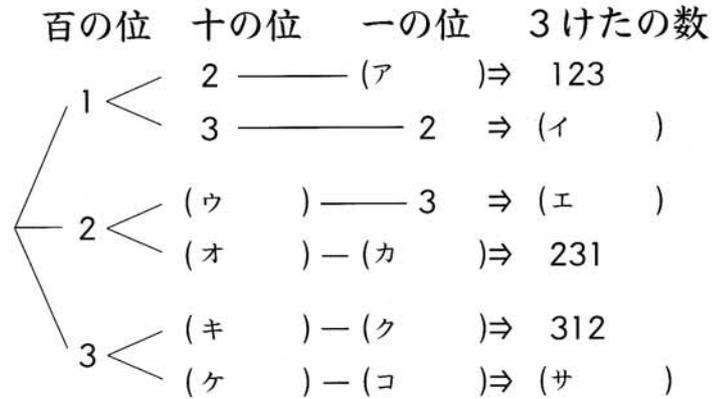
1 1, 2, 3の3つの数字を1つずつつかって3けたの数をつくります。

(1) 百の位くらにする数字を1とします。このとき、十の位を2とすると、一の位はどの数字になりますか。アにあてはまる数字をかきなさい。

 下のような図を木のえだににていることからツリーとよぶ。

[図であらわす]

(2) イにあてはまる3けたの数をかきなさい。

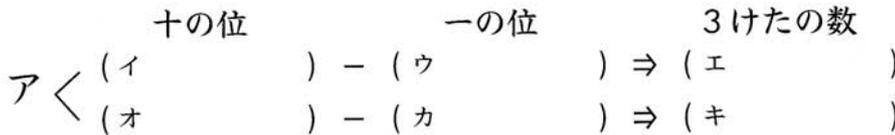


(3) 百の位にする数字を2とします。ウ～カにあてはまる数字をかきなさい。

(4) 百の位にする数字を3とします。キ～サにあてはまる数字をかきなさい。

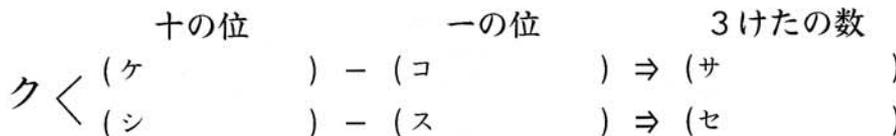
2 0, 1, 2の3つの数字を1つずつつかって、3けたの数をつくります。ア～セにあてはまる数を () の中にかきなさい。

(1) 百の位に (ア) がきたとき



 百の位でつかえない数字がある。

(2) 百の位に (ク) がきたとき



〈学習するみなさんへ〉

●この教材で学習する目的

この教材では、問題文を読んで、「何を答えることがもとめられているのか」を分析し、解答にいたりつくには「どうすればよいのか」を考える学習をします。
したがって、この教材には計算練習のための問題はありません。

●いくつかの注

この教材をつかうにあたって、大切なことがらが2つあります。ひとつは、自分で考え、解くことによって学習する「楽しさ」を発見することです。もうひとつは正しい答えをえるまでねばり強くとりくむことです。時間がかかっても自分でやりぬくことです。「解答」や「解き方」は、問題に答えるためのいちばんさいごの方法です。そのときは、「考えるヒント」として活用しましょう。

●学習のねらい

この教材は、1回分が次のようなくみだてでできています。

- 1 知識を広げる
新しい知識を学ぶことを通して、算数の世界を広げることを目的としています。
- 2 観察する
1で学んだ知識をもとに、あたえられた条件をつかかって、問題を解く考え方を学びます。
- 3 発見する
問題を解くために、問題の中にかくれている条件を発見することを目的としています。
- 4 飛躍する
あたえられた条件をいろいろな角度から見て、1から3で学んだことを活用しながら、問題を解くやわらかな思考力を育てることを目的とします。

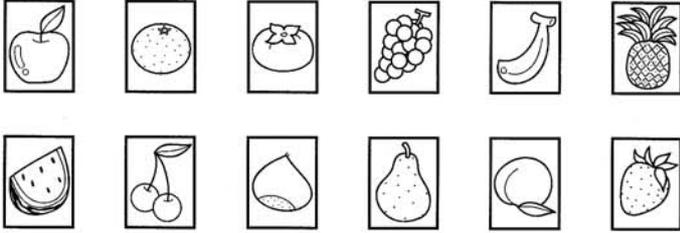
★ ★ ★ ★ ★ も く じ ★ ★ ★ ★ ★

第1回	新しい計算の世界・わり算	第9回	見積もる
1	知識を広げる……………1	1	知識を広げる……………33
2	観察する……………2	2	観察する……………34
3	発見する……………3	3	発見する……………35
4	飛躍する……………4	4	飛躍する……………36
第2回	わり算・1あたりの数を求める	第10回	時刻や時間
1	知識を広げる……………5	1	知識を広げる……………37
2	観察する……………6	2	観察する……………38
3	発見する……………7	3	発見する……………39
4	飛躍する……………8	4	飛躍する……………40
第3回	わり算・いくつ分の数を求める	第11回	図形の世界
1	知識を広げる……………9	1	知識を広げる……………41
2	観察する……………10	2	観察する……………42
3	発見する……………11	3	発見する……………43
4	飛躍する……………12	4	飛躍する……………44
第4回	わり算・あまり	第12回	特別な三角形と四角形
1	知識を広げる……………13	1	知識を広げる……………45
2	観察する……………14	2	観察する……………46
3	発見する……………15	3	発見する……………47
4	飛躍する……………16	4	飛躍する……………48
第5回	3けたのたし算・ひき算	第13回	箱の形
1	知識を広げる……………17	1	知識を広げる……………49
2	観察する……………18	2	観察する……………50
3	発見する……………19	3	発見する……………51
4	飛躍する……………20	4	飛躍する……………52
第6回	2けたの数・3けたの数のかけ算	第14回	資料の世界
1	知識を広げる……………21	1	知識を広げる……………53
2	観察する……………22	2	観察する……………54
3	発見する……………23	3	発見する……………55
4	飛躍する……………24	4	飛躍する……………56
第7回	万の位	第15回	整理して表にする
1	知識を広げる……………25	1	知識を広げる……………57
2	観察する……………26	2	観察する……………58
3	発見する……………27	3	発見する……………59
4	飛躍する……………28	4	飛躍する……………60
第8回	測定の世界	第16回	表とグラフ
1	知識を広げる……………29	1	知識を広げる……………61
2	観察する……………30	2	観察する……………62
3	発見する……………31	3	発見する……………63
4	飛躍する……………32	4	飛躍する……………64

1 知識を広げる

月 日 時 分 ~ 時 分

1 カードが12まいあります。次の問いに答えなさい。



(1) このカードを2人で分けます。1人何まいずつになりますか。

(2) このカードを3人で分けます。1人何まいずつになりますか。

(3) このカードを1人4まいずつに分けると何人に分けられますか。

2 下の絵を見て、問いに答えなさい。



(1) ②の絵を見て、かけ算でつかう数を○でかこみなさい。

- あわせる数
- いくつ分の数
- 1あたりの数
- 全部の数

(2) 上の**1**の(1)と(3)は、「1あたりの数」を求めると「いくつ分の数」を求めるとかを答えなさい。

- 1**の(1)は ()
- 1**の(3)は ()

💡

「1あたりの数」「いくつ分の数」「全部の数」のうち、「1あたりの数」か「いくつ分の数」を求めると「わり算」。

1では

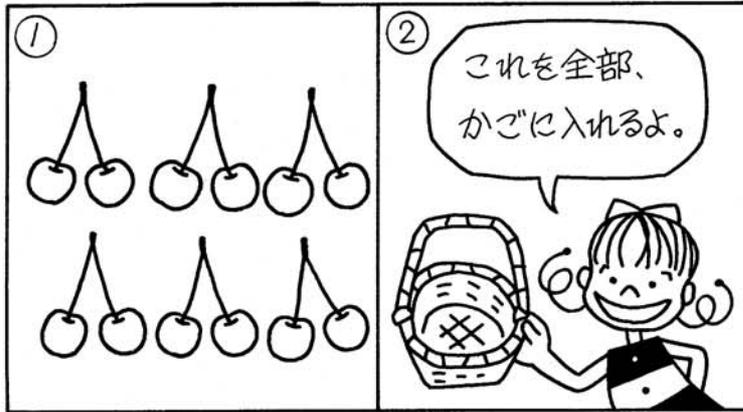
- (1) は $12 \div 2$
- (2) は $12 \div 3$
- (3) は $12 \div 4$

と「÷」を使って表す。

2 観察する

月 日
時 分 ~ 時 分

1 次の絵を見て、さくらんぼが、全部で何こあるかを求める式と答えをかきなさい。

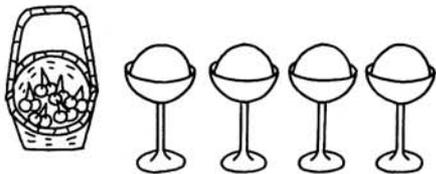


(1) 〈式〉

(2) 〈答え〉

2 1のさくらんぼを3こずつアイスクリームにのせていきます。次の問いに答えなさい。

(1) アイスクリームの上に、①の絵のさくらんぼを3こずつのせなさい。



(2) さくらんぼののったアイスクリームは、いくつできましたか。これを求める式を、ア～エの中から選んで、()の中に記号をかきなさい。

() ア $12 + 3$ イ 12×3
ウ $12 \div 3$ エ $12 \div 4$

3 2の(2)の答えは、ウです。あっていましたか。

では、アイスクリームに2こずつさくらんぼをのせると、さくらんぼののったアイスクリームはいくつできますか。

4 3の式は、次のどれですか。ア～ウから選んで、()の中に記号をかきなさい。

() ア $2 \div 12$
イ $12 \div 6$
ウ $12 \div 2$

いくつかに分けるはたらきを表すには、「÷」という記号をつかうよ。
 $12 \div 3$ は「12わる3」と読むんだ。
 12を「わられる数」、3を「わる数」という。

発見する

月 日
時 分 ~ 時 分

1 次の問題を見て、答えを求める式がかけ算ならA、わり算ならB、たし算ならC、ひき算ならDを（ ）の中にかきなさい。

ア ()

はとが9羽いました。そのうちの何羽かが飛んでいきました。

のこりを数えたら5羽でした。飛んでいったのは、何羽ですか。

イ ()

1箱4本入りのえんぴつを何箱か買って、本数を調べたら24本ありました。何箱買ったのでしょうか。

ウ ()

えんぴつを6本ずつ箱に入れていきます。7箱つくるには、えんぴつは何本ありますか。

エ ()

ゆみは、りえにおはじきを6こあげました。のこりを数えたら、9こありました。はじめに、何こもっていたのでしょうか。

2 わり算の式には、わられる数と、わる数があります。「りんごが15こあります。1人に3こずつくばると、何人にくばることができますか。」という問題で、次のものを表している数字を、（ ）の中にかきなさい。

ア わられる数 ()

イ わる数 ()

3 わり算は、「1あたりの数」を求める問題や、「いくつ分の数」を求める問題でつかいます。次の問題は、どちらを求める問題ですか。（ ）の中にかきなさい。

ア 24このみかんがあります。1人に6こずつ分けると、何人に分けられますか。

イ 24このみかんがあります。8人に分けるためには、1人に何こずつくばればよいのでしょうか。

() の数

() の数

飛躍する

月 日
時 分 ~ 時 分

1 「リンゴが18こあります。1人に3こずつくばると6人にくばることができます。」
次の問いに答えなさい。

(1) 上の文をかけ算の式で表しなさい。

(2) 上の文をわり算の式で表しなさい。
(式を2つかきなさい。)

(3) (2) の答えの2つのちがいは何だと思えますか。

(4) かけ算とわり算のちがいは何だと思えますか。

2 「ある数に4をかけて、そこから2をひくと18になりました。ある数を求めなさい。」という問題があります。次の問いに答えなさい。

(1) ある数に4をかけて、2をひく前の数はいくつでしたか。

(2) (1) の答えを4でわるとある数がわかります。ある数はいくつでしょう。

3 たろう、ひろし、こうじの3人がくりひろいをしています。3人がひろったくりを、あとで同じ数ずつに分けてもって帰ります。

(1) くりをたろうは5こ、ひろしは8こ、こうじも8こひろったとすると、1人に何こずつ分ければよいですか。

(2) たろうは7こ、ひろしは9こひろいました。こうじが何こひろうと、1人9こずつもって帰ることができますか。

〈学習するみなさんへ〉

●この教材で学習する目的

この教材では、問題文を読んで、「何を答えることがもともとめられているのか」を分析し、解答にいたりつくには「どうすればよいのか」を考える学習をします。
したがって、この教材には計算練習のための問題はありません。

●いくつかの注

この教材を使用するにあたって、大切なことがらが2つあります。ひとつは、自分で考え、解くことによって学習する「楽しさ」を発見することです。もうひとつは正しい答えをえるまでねばり強くとりくむことです。時間がかかっても自分でやりぬくことです。「解答」や「解き方」は、問題に答えるためのいちばんさいごの方法です。そのときは、「考えるヒント」として活用しましょう。

●学習のねらい

この教材は、1回分が次のような組み立てでできています。

- 1 知識を広げる
新しい知識を学ぶことを通して、算数の世界を広げることを目的としています。
- 2 観察する
1で学んだ知識をもとに、あたえられた条件をつかかって、問題を解く考え方を学びます。
- 3 発見する
問題を解くために、問題の中にかくれている条件を発見することを目的としています。
- 4 飛躍する
あたえられた条件をいろいろな角度から見て、1から3で学んだことを活用しながら、問題を解くやわらかな思考力を育てることを目的とします。

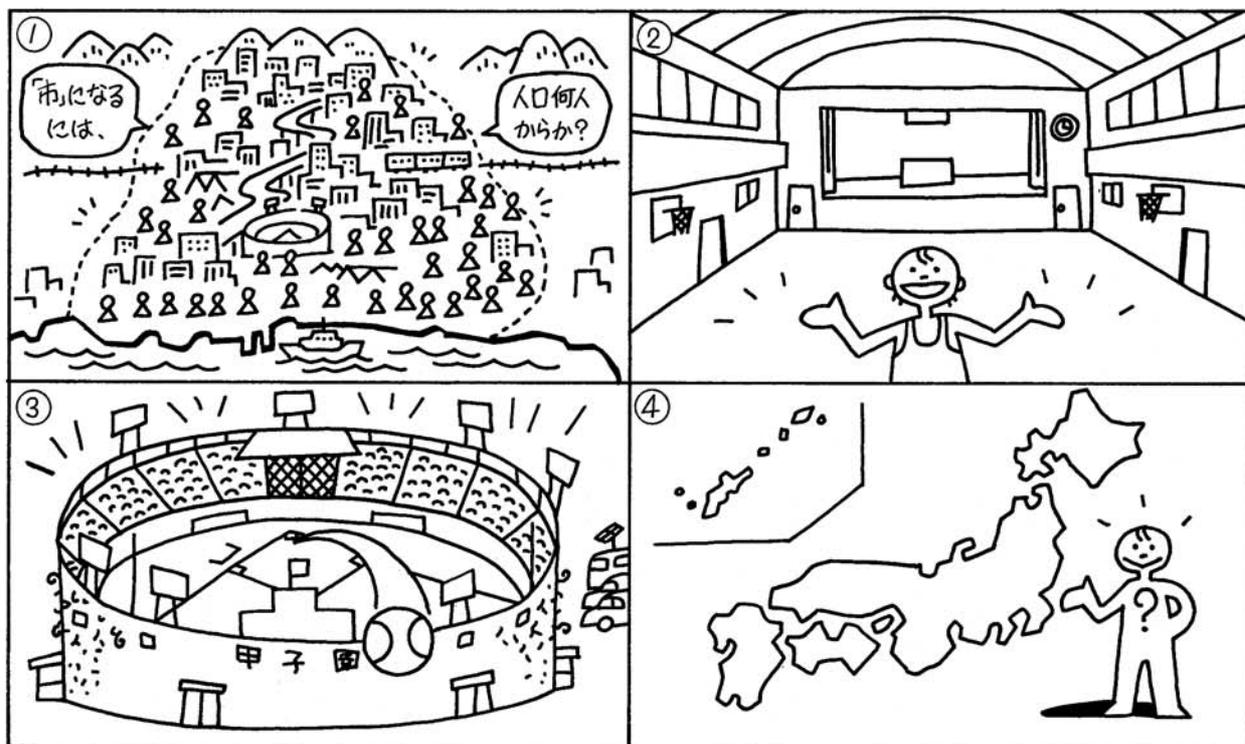
★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★

第1回 数と計算の世界	第9回 測定の世界・面積
1 知識を広げる……………2	1 知識を広げる……………33
2 観察する……………2	2 観察する……………34
3 発見する……………3	3 発見する……………35
4 飛躍する……………4	4 飛躍する……………36
第2回 およその数(がい数)	第10回 仮定して考える問題
1 知識を広げる……………5	1 知識を広げる……………37
2 観察する……………6	2 観察する……………38
3 発見する……………7	3 発見する……………39
4 飛躍する……………8	4 飛躍する……………40
第3回 大きな数のわり算	第11回 測定の世界・角
1 知識を広げる……………9	1 知識を広げる……………41
2 観察する……………10	2 観察する……………42
3 発見する……………11	3 発見する……………43
4 飛躍する……………12	4 飛躍する……………44
第4回 大きな数のわり算・あまり	第12回 図形の世界・三角形
1 知識を広げる……………13	1 知識を広げる……………45
2 観察する……………14	2 観察する……………46
3 発見する……………15	3 発見する……………47
4 飛躍する……………16	4 飛躍する……………48
第5回 関係を発見する	第13回 円
1 知識を広げる……………17	1 知識を広げる……………49
2 観察する……………18	2 観察する……………50
3 発見する……………19	3 発見する……………51
4 飛躍する……………20	4 飛躍する……………52, 53
第6回 新しい数と計算の世界	第14回 ちがいを考える問題
1 知識を広げる……………21	1 知識を広げる……………54
2 観察する……………22	2 観察する……………55
3 発見する……………23	3 発見する……………56, 57
4 飛躍する……………24	4 飛躍する……………58, 59
第7回 小数の表し方とたし算・ひき算	第15回 折れ線グラフ
1 知識を広げる……………25	1 知識を広げる……………60
2 観察する……………26	2 観察する……………61
3 発見する……………27	3 発見する……………62, 63
4 飛躍する……………28	4 飛躍する……………64, 65
第8回 分数・いろいろな分数	第16回 論理的に考える
1 知識を広げる……………29	1 知識を広げる……………66
2 観察する……………30	2 観察する……………67
3 発見する……………31	3 発見する……………68, 69
4 飛躍する……………32	4 飛躍する……………70, 71

1 知識を広げる

月 日 時 分
 時 分 ~ 時 分

1 下の絵を見て、それぞれ何けたの数かを答えなさい。



(1) ①の絵は、△△県○市の人口をイメージしたものです。

「市」になるための人口は、何けたの数になるとおもいますか。

キミの市や町の人口は？



(2) ②の絵は、学校の体育館をイメージしたものです。キミの学校の体育館には何けたの数の人数が入れますか。

(3) ③の絵は、西宮市にある甲子園球場をイメージしたものです。甲子園球場が満員になったときの観客数は何けたの数になるとおもいますか。

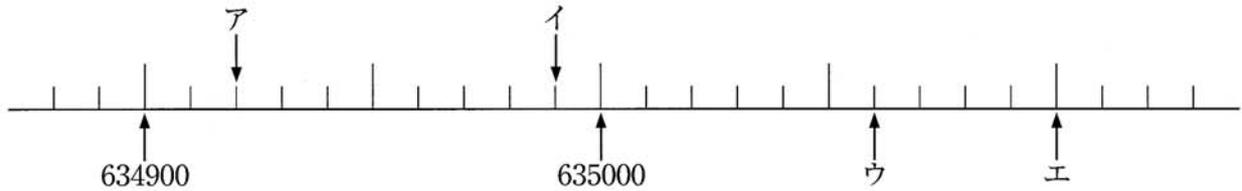
(4) ④の絵は、日本列島のイラストです。日本の全人口は何けたの数になるとおもいますか。

1億
 おく
 1億をこえている！

3 発見する

月 日
時 分 ~ 時 分

1 下の数直線を見て、問いに答えなさい。



(1) めもりはいくつずつに区切られていますか。

(2) ア～エにあてはまる数をかきなさい。

ア () イ ()

ウ () エ ()

2 次の問いに答えなさい。

(1) 100と100の積(かけ算の答え)は1万です。100×100では、0はいくつつきますか。

(2) 1000と1000の積に、0はいくつつきますか。また、その積を「万」を使って表しなさい。

(3) 1万と1万の積に、0はいくつつきますか。また、その積を、万、億、兆のどれかを使って表しなさい。

(4) 100万と100万の積を、億、兆のどちらかを使って表しなさい。

3 0から9までの10この数字をどれも1回ずつ使って整数をつくりなさい。

(1) いちばん大きな数をかきなさい。

(2) 大きい方から数えて3番目の数をかきなさい。



どの位をかえていくかを考える。

4 飛躍する

月 日
時 分 ~ 時 分

- 1 1から100までの100この整数があります。これらの整数を小さい順から、下のようにならべていきます。このときできる整数のけたの数を、次の順に解いて求めなさい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 …………… 99 100

- (1) 1から9までならべてできる整数は何けたになりますか。正しいものを○でかこみなさい。

[1けた 9けた 19けた]

- (2) 10から99までならべてできる整数のけた数を、()の中にあてはまる数をかいて求めなさい。

10から99までの2けたの数は、99から(ア)ひいた数、つまり(イ)こある。これが2けた分ずつとるので、(イ)×2より(ウ)こ。

- (3) 100によってけたの数はいくつふえますか。

- (4) (1) ~ (3) から、整数のけた数が何けたになるか求めなさい。

- 2 1から100までの整数のうち、1の使われている数について、次の問いに答えなさい。

- (1) 一の位に1の使われている数は全部でいくつありますか。

- (2) 十の位に1の使われている数は全部でいくつありますか。

- (3) 百の位に使われている1もふくめて、全部で1の使われている数はいくつありますか。



1, 11, 21など。



(1) (2) の答えで、同じ数に注意。

〈学習するみなさんへ〉

●この教材で学習する目的

この教材では、問題文を読んで、「何を答えることが求められているのか」を分析し、解答にいたりつくには「どうすればよいのか」を考える学習をします。
したがって、この教材には計算練習のための問題はありません。

●いくつかの注

この教材を使用するにあたって、大切なことが2つあります。ひとつは、自分で考え、解くことによって学習する「楽しさ」を発見することです。もうひとつは正しい答えを得るまでねばり強くとりくむことです。時間がかかっても自分でやりぬくことです。「解答」や「解き方」は、問題に答えるためのいちばん最後の方法です。そのときは、「考えるヒント」として活用しましょう。

●学習のねらい

この教材は、1回分が次のような組み立てで成り立っています。

- 1 知識を広げる
新しい知識を学ぶことを通して、算数の世界を広げることを目的としています。
- 2 観察する
1で学んだ知識をもとに、あたえられた条件を利用して、問題を解く考え方を学びます。
- 3 発見する
問題を解くために、問題の中にかくれている条件を発見することを目的としています。
- 4 飛躍する
あたえられた条件をいろいろな角度から見て、1から3で学んだことを活用しながら、問題を解くやわらかな思考力を育てることを目的とします。

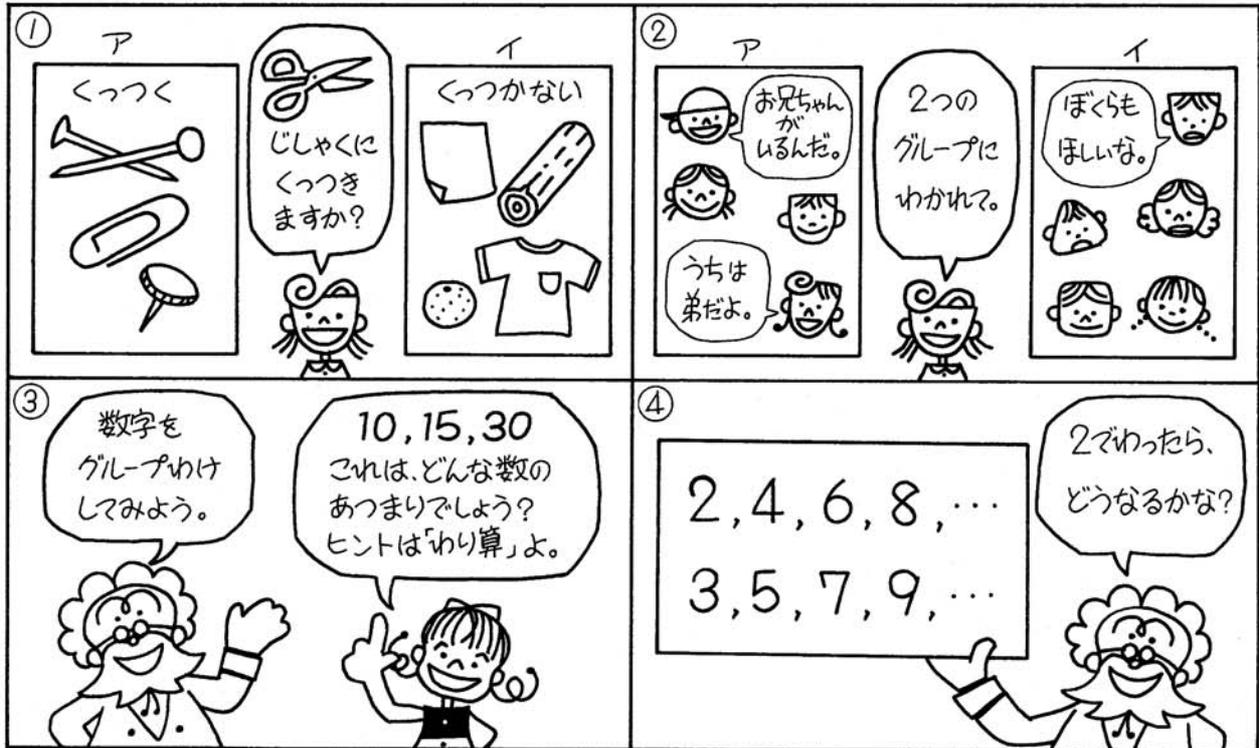
★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★

第1回 整数の性質・偶数と奇数	第9回 図形の性質
1 知識を広げる……………1	1 知識を広げる……………33
2 観察する……………2	2 観察する……………34
3 発見する……………3	3 発見する……………35
4 飛躍する……………4	4 飛躍する……………36
第2回 数と数の関係	第10回 量と測定
1 知識を広げる……………5	1 知識を広げる……………37
2 観察する……………6	2 観察する……………38
3 発見する……………7	3 発見する……………39
4 飛躍する……………8	4 飛躍する……………40
第3回 小数のかけ算	第11回 百分率・歩合
1 知識を広げる……………9	1 知識を広げる……………41
2 観察する……………10	2 観察する……………42
3 発見する……………11	3 発見する……………43
4 飛躍する……………12	4 飛躍する……………44
第4回 小数のわり算	第12回 濃さ
1 知識を広げる……………13	1 知識を広げる……………45
2 観察する……………14	2 観察する……………46
3 発見する……………15	3 発見する……………47
4 飛躍する……………16	4 飛躍する……………48
第5回 小数のかけ算とわり算	第13回 割合のグラフ
1 知識を広げる……………17	1 知識を広げる……………49
2 観察する……………18	2 観察する……………50
3 発見する……………19	3 発見する……………51
4 飛躍する……………20	4 飛躍する……………52, 53
第6回 分数のいろいろ	第14回 速さの問題など
1 知識を広げる……………21	1 知識を広げる……………54
2 観察する……………22	2 観察する……………55
3 発見する……………23	3 発見する……………56, 57
4 飛躍する……………24	4 飛躍する……………58, 59
第7回 分数のたし算とひき算	第15回 速さなどのグラフ
1 知識を広げる……………25	1 知識を広げる……………60
2 観察する……………26	2 観察する……………61
3 発見する……………27	3 発見する……………62, 63
4 飛躍する……………28	4 飛躍する……………64, 65
第8回 垂直と平行	第16回 規則性を発見する
1 知識を広げる……………29	1 知識を広げる……………66
2 観察する……………30	2 観察する……………67
3 発見する……………31	3 発見する……………68, 69
4 飛躍する……………32	4 飛躍する……………70, 71

1 知識を広げる

月 日
時 分 ~ 時 分

1 下の絵を見て、問いに答えなさい。



(1) ①の絵で、はさみは、どちらのなかまで
すか。()の中に、ア、イのどちらかを
かきなさい。

() のなかま

(3) ③の絵の、10、15、30はどんな数字の集
まりといえるでしょうか。

(2) ②の絵で、アとイはどのような分け方を
したのでしょうか。説明しなさい。

(4) ④の絵で、上にかかっている数字を2で
わったときのあまりはどうなりますか。ま
た、下にかかっている数字を2でわったと
き、あまりはいくつですか。

上の数字はあまり (ア)

下の数字はあまり (イ)

2 観察する

月 日
時 分 ~ 時 分

1 次の数を、偶数と奇数に分けなさい。

[9, 1, 4, 0, 13, 20, 2, 25, 101, 600]

偶数 ()

奇数 ()

2 偶数どうし、奇数どうしをたし算、ひき算、かけ算したらそれぞれの答えは、偶数、奇数のどちらになりますか。()に偶数か奇数かをかき入れなさい。

(1) 偶数+偶数 = () たとえば $2 + 2 = 4$

(2) 奇数-奇数 = () たとえば $5 - 3 = 2$

(3) 偶数×偶数 = () たとえば $2 \times 2 = 4$

(4) 奇数×奇数 = () たとえば $3 \times 3 = 9$

3 次の問いに答えなさい。

(1) 1けたの整数(0~9)について答えなさい。

1) 偶数は何個ありますか。

2) 奇数は何個ありますか。

(2) 1~9について答えなさい。

1) 偶数は何個ありますか。

2) 奇数は何個ありますか。



- 2でわる
整数を「2でわる」という見方でグループ分けすると、「2でわりきれぬ整数」と「2でわりきれぬ整数」の2グループとなる。
- 偶数
2でわりきれぬ整数を偶数という。(2でわってあまりが0の数ともいえる。)
- 奇数
2でわりきれぬ整数を奇数という。

3 発見する

月 日
時 分 ~ 時 分

- 1 1から9までにある奇数の和と、その和をどう計算したかについて答えなさい。
- 2 10から20までにある奇数の和を求めなさい。

奇数の和 (ア)

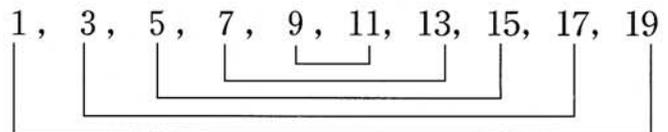
計算式 (イ)

- 3 1から19までにある奇数の和を求めるやり方を次のように考えました。次の()にあてはまる数をかきなさい。

1~19までにある奇数は(ア)個あるのでペアにしてみることにした。右の図がそれである。

右の図から、1と19、3と17のペアの数の和を見てみると、どれも(イ)になっていた。このペアは(ア)個より、 $10 \div 2$ から(ウ)組あることがわかる。

したがって、(イ) × (ウ) より、1~19までにある奇数の和は(エ)。



$$\begin{array}{r} 1 + 3 + 5 + 7 + 9 \\ + 19 + 17 + 15 + 13 + 11 \\ \hline 20 + 20 + 20 + 20 + 20 = 100 \end{array}$$

はじめの数とさいごの数の和が20。これが数の個数 $\div 2$ の数だけあると考えられる。

したがって、 $(1 + 19) \times 10 \div 2$ で1から19までにある奇数の和を求められる。

- 4 1から10までにある偶数の和を求めなさい。
- 5 0から20までにある偶数の和を求めなさい。



ペアにならない数がある。

4 飛躍する

月 日
時 分 ~ 時 分

1 3けたの整数の中の、偶数と奇数について調べます。

(1) 偶数は何個ありますか。

(2) 偶数全体の和と奇数全体の和では、どちらがどれだけ大きいですか。



(100, 101) (102, 103) …のように2数ずつの組がいくつできるかな。求めるのはその差。

2 連続した3つの奇数の和が375のとき、3つの数をすべて求めなさい。

3 連続した5つの偶数の和が910のとき、いちばん小さい数を求めなさい。



小さい数で考えてみよう。

3, 5, 7なら

$(3 + 5 + 7) \div 3$ より5がまん中の数

4 連続した27個の整数があって、そのうち偶数だけの和と奇数だけの和との差は45です。これについて次の問いに答えなさい。

(1) 2番目から27番目までの偶数と奇数の和にはいくつの差がありますか。

(2) この整数のうちのいちばん小さい数はいくつですか。

(3) この27個の整数の和はいくつですか。

〈学習するみなさんへ〉

●この教材で学習する目的

この教材では、問題文を読んで、「何を答えることが求められているのか」を分析し、解答にいたりつくには「どうすればよいのか」を考える学習をします。
したがって、この教材には計算練習のための問題はありません。

●いくつかの注

この教材を使用するにあたって、大切なことが2つあります。ひとつは、自分で考え、解くことによって学習する「楽しさ」を発見することです。もうひとつは正しい答えを得るまでねばり強くとりくむことです。時間がかかっても自分でやりぬくことです。「解答」や「解き方」は、問題に答えるためのいちばん最後の方法です。そのときは、「考えるヒント」として活用しましょう。

●学習のねらい

この教材は、1回分が次のような構成で成り立っています。

1 知識を広げる

新しい知識を学ぶことを通して、算数の世界を広げることを目的としています。

2 観察する

1で学んだ知識をもとに、与えられた条件を利用して、問題を解く考え方を学びます。

3 発見する

問題を解くために、設問の中にかくれている条件を発見することを目的としています。

4 飛躍する

あたえられた条件をいろいろな角度から見て、1から3で学んだことを活用しながら、問題を解くやわらかな思考力を育てることを目的とします。

★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★

第1回 約数と最大公約数	第9回 立体に関する問題
1 知識を広げる……………1	1 知識を広げる……………33
2 観察する……………2	2 観察する……………34
3 発見する……………3	3 発見する……………35
4 飛躍する……………4	4 飛躍する……………36
第2回 倍数と最小公倍数	第10回 割合・比
1 知識を広げる……………5	1 知識を広げる……………37
2 観察する……………6	2 観察する……………38
3 発見する……………7	3 発見する……………39
4 飛躍する……………8	4 飛躍する……………40
第3回 倍分・約分・通分など	第11回 比と図形
1 知識を広げる……………9	1 知識を広げる……………41
2 観察する……………10	2 観察する……………42
3 発見する……………11	3 発見する……………43
4 飛躍する……………12	4 飛躍する……………44
第4回 分数のかけ算	第12回 いろいろな問題
1 知識を広げる……………13	1 知識を広げる……………45
2 観察する……………14	2 観察する……………46
3 発見する……………15	3 発見する……………47
4 飛躍する……………16	4 飛躍する……………48
第5回 分数のわり算	第13回 体積とグラフ
1 知識を広げる……………17	1 知識を広げる……………49
2 観察する……………18	2 観察する……………50
3 発見する……………19	3 発見する……………51
4 飛躍する……………20	4 飛躍する……………52, 53
第6回 分母がちがう分数のたし算とひき算	第14回 点の移動
1 知識を広げる……………21	1 知識を広げる……………54
2 観察する……………22	2 観察する……………55
3 発見する……………23	3 発見する……………56, 57
4 飛躍する……………24	4 飛躍する……………58, 59
第7回 平均	第15回 いろいろな場合を考える
1 知識を広げる……………25	1 知識を広げる……………60
2 観察する……………26	2 観察する……………61
3 発見する……………27	3 発見する……………62, 63
4 飛躍する……………28	4 飛躍する……………64, 65
第8回 いろいろな立体の体積	第16回 推理する問題など
1 知識を広げる……………29	1 知識を広げる……………66
2 観察する……………30	2 観察する……………67
3 発見する……………31	3 発見する……………68, 69
4 飛躍する……………32	4 飛躍する……………70, 71

1 知識を広げる

月 日
時 分 ~ 時 分

1 下の絵を見て、問いに答えなさい。



(1) 12と2, 12と3, 12と6などと, 12と5, 12と7などのちがいは何だろうか。「わり算」をヒントに考えたことをかきなさい。

(2) 15をわり切れる数をすべてかきなさい。

(3) ある数をわり切れる数をその数の「約数」といいます。

18の約数をすべてかきなさい。

(4) 15の約数であり, 18の約数でもある数をすべてかきなさい。



●整数

ここでは「整数」の性質について学習する。指を折って数えられる数は「自然数」。自然数に0を加えた数を「整数」という。

●0より小さい整数

気温で「マイナス10℃」などというのを聞いたことがあるかな。

0より小さい整数について関心のある人は調べてみよう。

(5) 2つ以上の整数の共通な約数を「公約数」といいます。「公」は「公園」「公害」に使われているように「共通の」という意味があります。

公約数の中でいちばん大きいものを「最大公約数」といいます。

15と18の最大公約数を求めなさい。

2 次の2つの数の最大公約数を求めなさい。

(1) 16と20

(2) 18と27

発見する

月 日
時 分 ~ 時 分

1 りんごが90個，みかんが140個あります。子どもたちに同じ数ずつ分けることにしたら，りんごが6個，みかんが8個あまりました。次の問いに答えなさい。

(1) 子どもたちに分けたりんごとみかんの数をそれぞれ求めなさい。

りんごの数 (ア) 個

みかんの数 (イ) 個

(2) 子どもたちは何人いましたか。



公約数から考える。

(3) 子どもたちは1人分として，りんごとみかんをそれぞれ何個ずつもらうことになりますか。

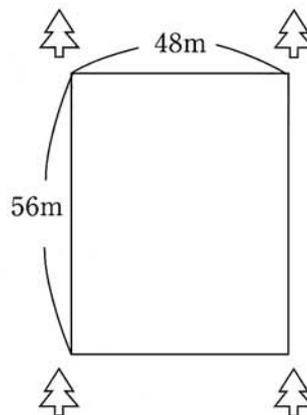
りんごの数 (ウ) 個

みかんの数 (エ) 個

2 273をわれば3あまり，439をわれば7あまるような整数のうち，いちばん大きな数と，いちばん小さな数を求めなさい。

3 下図のようなたて56m，横48mの長方形の土地があります。この土地のまわりに同じ間かくで木を植えることにしました。土地のかどには必ず木が植わるように，また植える木の数はできるだけ少なくします。

次の問いに答えなさい。



(1) 木は何mおきに植えればよいですか。

(2) 木は全部で何本植えることになりますか。

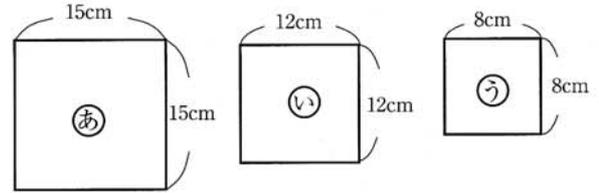
4 飛躍する

月 日 時 分 ~ 時 分

1 <図1>のような3種類の正方形のタイルがあります。タイルをわることなしに、たて210cm、横240cmのかべにしきつめたいと思います。

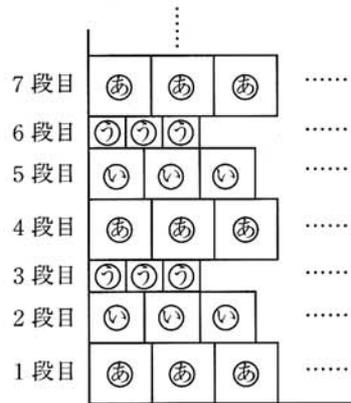
(1) このかべを1種類のタイルでしきつめるには、どのタイルを何枚用意すればよいですか。

<図1>

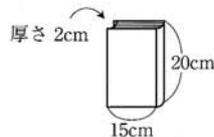
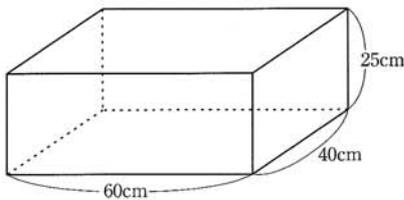


(2) <図2>のように下から順に、1段目は①だけ、2段目は②だけ、3段目は③だけ、4段目は①、5段目は②…というように、3種類のタイルですき間なくしきつめていくとタイルは全部で何枚必要ですか。

<図2>



2 横60cm、たて40cm、高さ25cmの箱に横15cm、たて20cm、厚さ2cmの本を箱からはみ出さないように、できるだけ多くつめます。何冊はいりますか。



3 キャンディーが53個、チョコレートが98個、クッキーが158個あります。これを何人かの子どもに同じ個数ずつ分けようとするとき、キャンディーは8個あまり、チョコレートとクッキーはそれぞれ7個ずつ足りませんでした。このときの子ども的人数は何人ですか。

〈学習するみなさんへ〉

●この教材で学習する目的

この教材では、問題文を読んで、「何を答えることが求められているのか」を分析し、解答にいたりつくには「どうすればよいのか」を考える学習をします。
したがって、この教材には計算練習のための問題はありません。

●いくつかの注

この教材を使用するにあたって、大切なことが2つあります。ひとつは、自分で考え、解くことによって学習する「楽しさ」を発見することです。もうひとつは正しい答えを得るまでねばり強くとりくむことです。時間がかかっても自分でやりぬくことです。「解答」や「解き方」を見るのは、問題に答えるためのいちばん最後の方法です。そのときは、「考えるヒント」として活用しましょう。

●学習のねらい

この教材は、1回分が次のような構成で成り立っています。

- 1 規則性を発見する
算数を学習する楽しさのひとつは、問題にかくれている規則性を発見することです。ここでは、特にこの規則性の発見を目的に学習します。
- 2 すじ道をたてて考える
算数や数学を学ぶ上でいちばん大切なのは、「すじ道をたてて考える」ということです。ここでは、数字が入っていない問題なども学習し、思考力を高める学習をします。
- 3 概念の利用
いろいろなつながりをひとつにまとめ表した言葉を「概念」といいます。わたしたちの身のまわりで使われる約束事のような言葉です。算数で使う言葉には「合わせる」「引く」などがあります。ここではいろいろな「概念」について学びます。
- 4 図を見て考える
ここでは、推察力をともなう思考を養うことを目的としています。いろいろな角度から見て考える自由な発想を育てます。

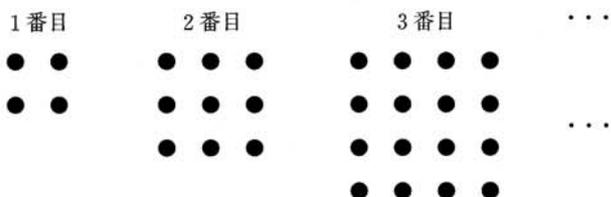
★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★

第1回	第9回
1 規則性を発見する : 方陣・三角陣……………1	1 規則性を発見する : 分数に関する問題……………33
2 すじ道をたてて考える : 推理する1……………2	2 すじ道をたてて考える : 集合3……………34
3 概念の利用 : 四捨五入を考える……………3	3 概念の利用 : 割合1……………35
4 図を見て考える : 平面図形の問題……………4	4 図を見て考える : 立体図形の求積3……………36
第2回	第10回
1 規則性を発見する : さいころ……………5	1 規則性を発見する : 数列に関する問題1……………37
2 すじ道をたてて考える : 推理する2……………6	2 すじ道をたてて考える : 立体1……………38
3 概念の利用 : 整数の性質と約束を表す記号……………7	3 概念の利用 : 割合2……………39
4 図を見て考える : 三角形に関する問題……………8	4 図を見て考える : 移動と距離……………40
第3回	第11回
1 規則性を発見する : カレンダー……………9	1 規則性を発見する : ならべかた……………41
2 すじ道をたてて考える : 推理する3……………10	2 すじ道をたてて考える : 立体2……………42
3 概念の利用 : 和と差の問題……………11	3 概念の利用 : 割合3……………43
4 図を見て考える : 平面図形の問題……………12	4 図を見て考える : 量の変化とグラフ……………44
第4回	第12回
1 規則性を発見する : 表……………13	1 規則性を発見する : 約束記号あるいはn進法……………45
2 すじ道をたてて考える : 論理があっているかどうかを確かめる……………14	2 すじ道をたてて考える : 立体3……………46
3 概念の利用 : 速度……………15	3 概念の利用 : 組み合わせ……………47
4 図を見て考える : 平面図形と面積……………16	4 図を見て考える : 点の移動とグラフ……………48
第5回	第13回
1 規則性を発見する : 整数の性質に関する問題1……………17	1 規則性を発見する : 数列に関する問題2……………49
2 すじ道をたてて考える : 見積もる1……………18	2 すじ道をたてて考える : 推理する4……………50
3 概念の利用 : 濃度……………19	3 概念の利用 : 混合1……………51
4 図を見て考える : いろいろな平面図形……………20	4 図を見て考える : 平面図形のいろいろな問題……………52, 53
第6回	第14回
1 規則性を発見する : 整数の性質に関する問題2……………21	1 規則性を発見する : 「数と式」から1……………54
2 すじ道をたてて考える : 見積もる2……………22	2 すじ道をたてて考える : 予想して答える……………55
3 概念の利用 : 割合の問題……………23	3 概念の利用 : 合計……………56, 57
4 図を見て考える : 立体図形と展開図など……………24	4 図を見て考える : 図形のいろいろな問題……………58, 59
第7回	第15回
1 規則性を発見する : いろいろな問題……………25	1 規則性を発見する : 「数と式」から2……………60
2 すじ道をたてて考える : 集合1……………26	2 すじ道をたてて考える : 集合4……………61
3 概念の利用 : 平均……………27	3 概念の利用 : 混合2……………62, 63
4 図を見て考える : 立体図形の求積1……………28	4 図を見て考える : 図形・グラフのいろいろな問題……………64, 65
第8回	第16回
1 規則性を発見する : あまり……………29	1 規則性を発見する : 約束記号・数列・方陣……………66
2 すじ道をたてて考える : 集合2……………30	2 すじ道をたてて考える : 発言・文の読解……………67
3 概念の利用 : 比・比例……………31	3 概念の利用 : 速さ・濃さ・比……………68, 69
4 図を見て考える : 立体図形の求積2……………32	4 図を見て考える : 図形の体積・移動・比……………70, 71

1 方陣・三角陣

月 日 時 分 ~ 時 分

1 下の図のように、ある規則にしたがってご石が並べられています。表を参考にその規則性をみつけて、10番目のご石の数を答えなさい。



並べる順(番目)	1	2	3	4
たてのご石の数(個)	2	3	4	5



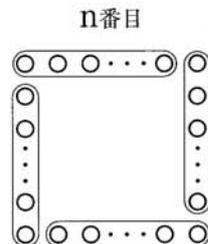
並べる順の数字とたてのご石の数の数字との関係を考えよう。求める数はたてのご石の数じゃないよ。

2 石ころを下の図のように正方形に並べていきました。<図1>と<図2>を見て、12番目に並べる石ころの数を答えなさい。

<図1>



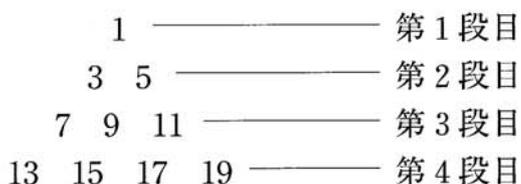
<図2>



3番目に並べる数を<図2>を参考に式をたててみよう。

3 下の図のように奇数をおきまりにしたがって並べました。<表1>から規則性を発見して、第6段目の数の和を求めなさい。

<図1>



<表1>

何段目	1	2	3	4
各段の数の和	1	8	27	64



8は2を何回かけたものかな。

2 推理する 1

 月 日
 時 分 ~ 時 分

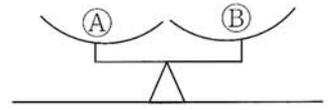
1 ここに12個の玉があります。その中に1つだけ重さがちがう玉があります。見た目では区別が付きません。持ってみても区別が付きません。この中から重さのちがう玉を見つけるために、てんびんを使って調べようと思います。

てんびんを3回使って、重さのちがう玉を見つけたいと思い、次の実験をしました。12個の玉に番号をつけて、①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫とします。

<てんびんの見方>

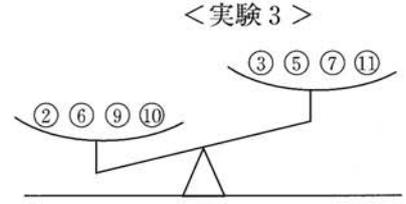
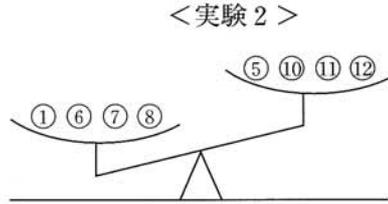
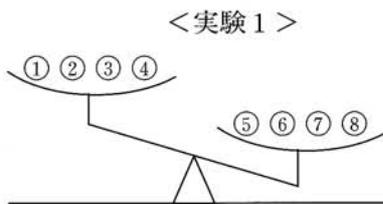
てんびんが<図1>のようであれば、①と②の重さが同じということになります。

<図1>



<図2>

てんびんが<図2>のようであれば、①と②の重さがちがうということになります。



(1) <実験1>と<実験2>の結果から次のことがわかりました。()の中に正しい玉の番号をかきなさい。ただし、タはどちらかを○でかこみなさい。

<実験1>から、①~④と⑤~⑧の組み合わせではつりあわないので、①~⑧の中に重さのちがう玉が入っていると考えられる。したがって、

<実験1>からは(ア), (イ), (ウ), (エ)の玉の中には重さのちがう玉がないことがわかる。

<実験2>からは(オ), (カ), (キ)の中にも重さのちがう玉がないことがわかる。

また、<実験1, 2>から、(ク), (ケ)の玉も重さがちがわないから、ここで、のこりの(コ), (サ), (シ)のどれかに重さのちがう玉があることがわかる。

<実験1, 2>からは、(ス), (セ), (ソ)の玉がある方が下がっているのので、重さのちがう玉は、ほかの玉にくらべて(タ 重い・軽い)ことがわかる。

(2) <実験1, 2, 3>から、(チ)の玉がほかの玉より重いことがわかる。

四捨五入を考える

月 日
時 分 ~ 時 分

1 次の () にあてはまる数をかきなさい。

- (1) 十の位を四捨五入して1000になる最大の数と最小の整数を次のように考えて求めます。

「四捨五入」より、「四捨」の場合を考える。この場合、「十の位」を捨てるのだから、最大の千の位の数は(ア)。一の位の数の最大は(イ)。したがって、この数は(ウ) 以下。

「五入」より、百の位がくり上がって1000になるのだから百の位の数字は(エ) のはず。十の位は「五入」より(オ)。一の位の数の最小は(カ)。したがって、この数は(キ) 以上の数になる。

- (2) ある数を7でわって、その商の十の位を四捨五入すると100になりました。ある数を次のように求めます。ただし商は整数です。

1) まず、商の十の位を四捨五入して100になる最も大きい商から求める。この最大の数は(ア)。したがって、ある数は(イ) 以下の数。

2) 次に、商の十の位を四捨五入して100になる最も小さい商を求める。この最小の数は(ウ)。したがって、ある数は(エ) 以上の数。

3) ある数は(オ) 以上(カ) 以下となる。

2 小数第1位を四捨五入して5になる数の範囲は、次のどれですか。() にあてはまるものの記号をかきなさい。

- () ア 4.5以上5.4以下
イ 4.5以上5.49以下
ウ 4.5以上5.5未満



未満の意味を考える。

3 小数第1位を四捨五入すると、それぞれ3と4になる2つの小数があります。いま、この2つの小数を加えると和はどんな範囲にあると考えられますか。

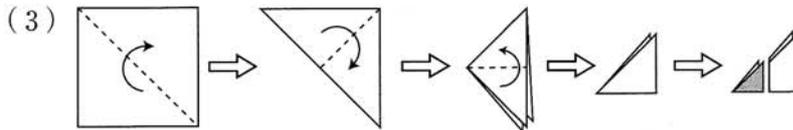
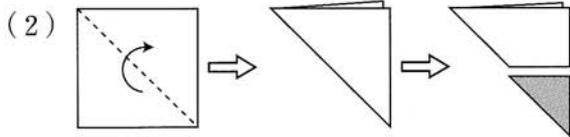
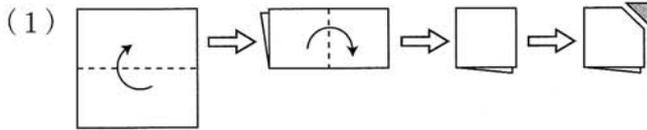


とり得る範囲のそれぞれの最小、最大の数どうしを加える。

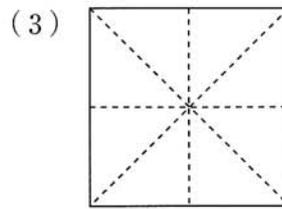
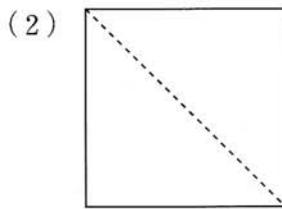
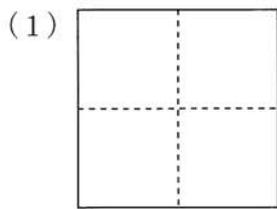
4 平面図形の問題

月 日
時 分 ~ 時 分

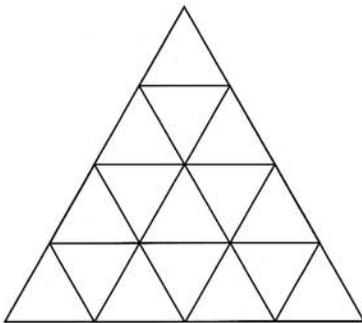
1 正方形の折り紙を次のように折って、図のかげをつけた部分をハサミで切り取ります。そのあとこの折り紙をもとのように開いたとき、かげの部分はどうな図形になっているか、下の図にかきなさい。



ポイント
正方形の角にABCDをつけて、ハサミで切る部分が、何枚重なった部分か考える。



2 下の図に、いくつの平行四辺形がふくまれているか数えたいと思います。次の問いに答えなさい。



(1) いちばん小さい平行四辺形の面積を1としたとき、いちばん大きい平行四辺形の面積はいくつですか。

(2) 面積が1の平行四辺形はいくつありますか。

(3) 面積が3の平行四辺形はいくつありますか。

(4) 全部でいくつの平行四辺形がふくまれていますか。

ポイント
いちばん小さい三角形がいくつで3になるかな？

ポイント
あとは面積が2といちばん大きい平行四辺形の数。

〈学習するみなさんへ〉

●この教材で学習する目的

この教材では、問題文を読んで、「何を答えることが求められているのか」を分析し、解答にいたりつくには「どうすればよいのか」を考える学習をします。
したがって、この教材には計算練習のための問題はありません。

●いくつかの注

この教材を使用するにあたって、大切なことが2つあります。ひとつは、自分で考え、解くことによって学習する「楽しさ」を発見することです。もうひとつは正しい答えを得るまでねばり強くとりくむことです。時間がかかっても自分でやりぬくことです。「解答」や「解き方」を見るのは、問題に答えるためのいちばん最後の方法です。そのときは、「考えるヒント」として活用しましょう。

●学習のねらい

この教材は、1回分が次のような構成で成り立っています。

1 規則性を発見する

算数を学習する楽しさのひとつは、問題にかくれている規則性を発見することです。ここでは、特にこの規則性の発見を目的に学習します。

2 すじ道をたてて考える

算数や数学を学ぶ上でいちばん大切なのは、「すじ道をたてて考える」ということです。ここでは、数字が入っていない問題なども学習し、思考力を高める学習をします。

3 概念の利用

いろいろなつながりをひとつにまとめ表した言葉を「概念」といいます。わたしたちの身のまわりで使われる約束事のような言葉です。算数で使う言葉には「合わせる」「引く」などがあります。ここではいろいろな「概念」について学びます。

4 図を見て考える

ここでは、推察力をともなう思考を養うことを目的としています。いろいろな角度から見て考える自由な発想を育てます。

★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★

第1回

1 規則性を発見する	: 方陣・三角陣……………1
2 すじ道をたてて考える	: 範囲・推理……………2
3 概念の利用	: 商・小数点・範囲……………3
4 図を見て考える	: 平面図形の性質……………4

第2回

1 規則性を発見する	: さいころ……………5
2 すじ道をたてて考える	: 条件を読みとる……………6
3 概念の利用	: あまり・約束記号……………7
4 図を見て考える	: 平面図形の長さ・面積……………8

第3回

1 規則性を発見する	: カレンダー……………9
2 すじ道をたてて考える	: 平均・推理……………10
3 概念の利用	: 平均1……………11
4 図を見て考える	: 平面図形と角度……………12

第4回

1 規則性を発見する	: 表……………13
2 すじ道をたてて考える	: 適切でないものを見つけ出す……………14
3 概念の利用	: 速さ・割合……………15
4 図を見て考える	: 図形における用語……………16

第5回

1 規則性を発見する	: 倍数……………17
2 すじ道をたてて考える	: 見積もる1……………18
3 概念の利用	: 濃度・ふくまれている量……………19
4 図を見て考える	: 面積比・折り目……………20

第6回

1 規則性を発見する	: 整数の性質……………21
2 すじ道をたてて考える	: 見積もる2……………22
3 概念の利用	: 仕事……………23
4 図を見て考える	: 立体図形と展開図……………24

第7回

1 規則性を発見する	: 数一般……………25
2 すじ道をたてて考える	: 順序よく解く……………26
3 概念の利用	: 平均2……………27
4 図を見て考える	: 立体図形の体積……………28

第8回

1 規則性を発見する	: あまり・曜日……………29
2 すじ道をたてて考える	: 集合……………30
3 概念の利用	: 割合1……………31
4 図を見て考える	: 図形・グラフを利用……………32

第9回

1 規則性を発見する	: 分数・小数……………33
2 すじ道をたてて考える	: 平均・さいころのグラフ……………34
3 概念の利用	: 割合2……………35
4 図を見て考える	: いろいろな角度から立体を見る……………36

第10回

1 規則性を発見する	: 数列……………37
2 すじ道をたてて考える	: 立体1……………38
3 概念の利用	: 比……………39
4 図を見て考える	: 点の移動……………40

第11回

1 規則性を発見する	: ならべかた……………41
2 すじ道をたてて考える	: 立体2……………42
3 概念の利用	: 個数・濃さ・回転……………43
4 図を見て考える	: 量の変化とグラフ……………44

第12回

1 規則性を発見する	: n進法あるいは演算記号……………45
2 すじ道をたてて考える	: 展開図1……………46
3 概念の利用	: 場合の数……………47
4 図を見て考える	: 点の移動とグラフ……………48

第13回

1 規則性を発見する	: 関係を読みとる……………49
2 すじ道をたてて考える	: 仮定してみる……………50
3 概念の利用	: 条件を読みとる……………51
4 図を見て考える	: 混合1……………52, 53

第14回

1 規則性を発見する	: 魔法陣・さいころ……………54
2 すじ道をたてて考える	: 推測する……………55
3 概念の利用	: 関係を考える……………56, 57
4 図を見て考える	: グラフ……………58, 59

第15回

1 規則性を発見する	: 関係から発見する1……………60
2 すじ道をたてて考える	: 割合で考える……………61
3 概念の利用	: いろいろな問題……………62, 63
4 図を見て考える	: 混合2……………64, 65

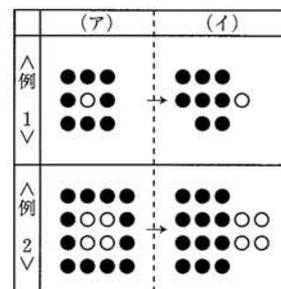
第16回

1 規則性を発見する	: 関係から発見する2……………66
2 すじ道をたてて考える	: 展開図2……………67
3 概念の利用	: 距離……………68, 69
4 図を見て考える	: 混合3……………70, 71

1 方陣・三角陣

月 日 時 分 ~ 時 分

■ 右の表の(ア)は中央の白石を黒石が囲んでいます。(イ)は(ア)の白石と左端のたて1列の黒石は動かさないのでそのままにして、他の黒石を一方に(左側に)ならべかえた図です。次の問いに答えなさい。



(注意)

- (ア) の中央の白石はつねに正形状にならんでいます。
- (イ) の図で左端のたての1列の黒石は<例1>では2個、<例2>では4個になっています。

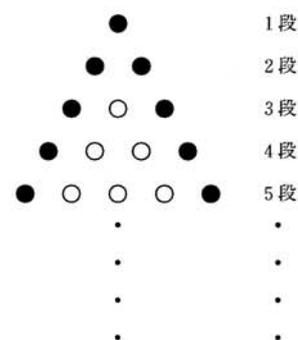
(1) 白, 黒合計225個の石で(ア)の形をつくり, 次に黒白をならべかえて(イ)の形にしました。(イ)の図でいちばん左端のたての1列には黒石が何個ならびますか。

(2) 黒石をならべかえた(イ)の図で, いちばん左端のたての1列の黒石を数えたら121個ありました。全部の白石, 黒石はそれぞれ何個ありますか。



白石の1辺が3個以上の場合, 左はしの黒石は白石の1列の数より2個多いことを発見しよう。

■ ご石を右の図のように, 端が黒石でその間は白石になるようにならべていきました。次の問いに答えなさい。



(1) 18段までならべ終わりました。白石は全部で何個使いましたか。

(2) ある段までならべ終わってご石の数を数えたら, 白石と黒石の個数の差は87個でした。何段までならべ終わりましたか。



白石が黒石より87個多くなるためには, 白石は6段目から $3+87=90$ 多くならなければならないことを発見しよう。

範囲・推理

月 日
時 分 ~ 時 分

1 あるバス会社では、1台のバスに乗る観光客の人数を37人以下としています。37人より1人でも多くなると、もう1台バスをふやし、人数はなるべく同じになるように分けます。

(1) 250人の観光客に対しては、何台のバスを用意すればよいですか。また、このとき、人数の少ない方のバスは何人ずつ何台に乗ることになりますか。

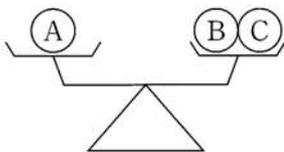
(2) ある日は、バスが7台でした。観光客に何ダースかのジュースをひとりに1本ずつ配ったところ、1本だけあまりました。また、1箱にキーホルダーが40個入った箱が何箱かあり、ひとりに1個ずつ配ったときも、1個だけあまりました。この日の観光客の人数を求めなさい。



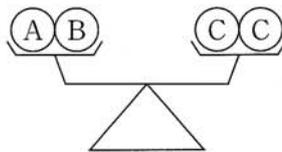
まず、7台に乗れる人数の範囲^{はんい}を考えよう。1ダースと40個入りのものが1あまるとはどういうことか考えよう。

2 A, B, C 3種類のおもりがあります。これらを下の図1, 2のようにてんびんにのせると、どちらもつりあいます。このとき、次の問いに答えなさい。

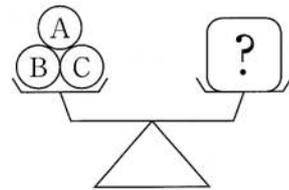
<図1>



<図2>



<図3>



(1) Cのおもり1個の重さは、Bのおもり1個の重さの何倍ですか。

(2) Aのおもり1個の重さは、Cのおもり1個の重さの何倍ですか。

(3) 上の<図3>のてんびんがつりあうようにしたい。右の皿にのせるおもりA, B, Cののせ方は全部で何通りですか。ただし、使わないおもりの種類があってもよいとします。

- 1 ある整数を5でわった商の小数第1位を四捨五入すると7になり、同じ整数を3でわった商の小数第1位を四捨五入すると12になります。このような整数をすべて求めなさい。ただし商が整数になるものをふくみます。



商の範囲を求めて考えよう。

- 2 次の問いに答えなさい。

(1) ある計算の答えは、小数第1位までの数となりました。あやまってその答えの小数点をつけ忘れてしまいました。あやまった答えは正しい答えの何倍ですか。

(2) (1)において、正しい答えとまちがえた答えの差が86.4になりました。正しい答えはいくつですか。

- 3 2つの数A, Bがあります。Aは12より大きくて40以下、Bは2以上で4未満であるとき、次の計算をすると答えはどのような範囲にあると考えられますか。<例>にしたがって、には数を、()には、「以上」、「より大きく」、「以下」、「未満」のいずれかを記入しなさい。

<例> $A+B$ の答えは (より大きく), (未 満) です。

(1) $A-B$ の答えは (ア) , (イ) です。

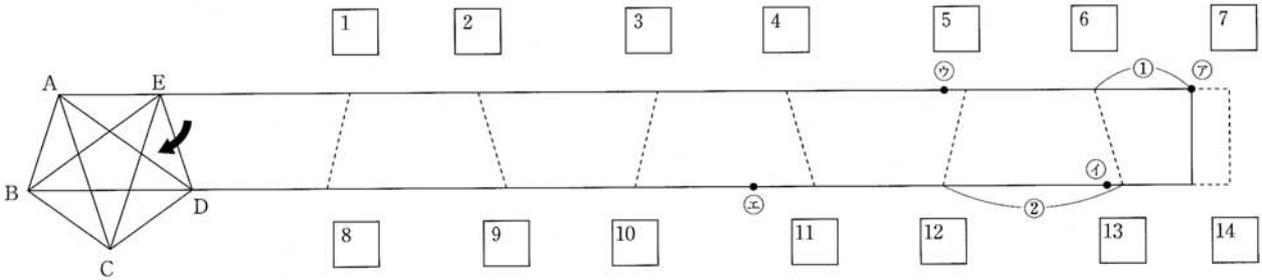
(2) $A \times B$ の答えは (ウ) , (エ) です。

(3) $A \div B$ の答えは (オ) , (カ) です。

4 平面図形の性質

月 日 時 分 ~ 時 分

1 下の図は、正五角形ABCDEのまわりに同じ幅の紙テープが巻いてあったものをほどいた状態のものです。紙テープ上の点線は折り目を表し、①の長さは②の長さの半分です。このとき、あとの問いに答えなさい。



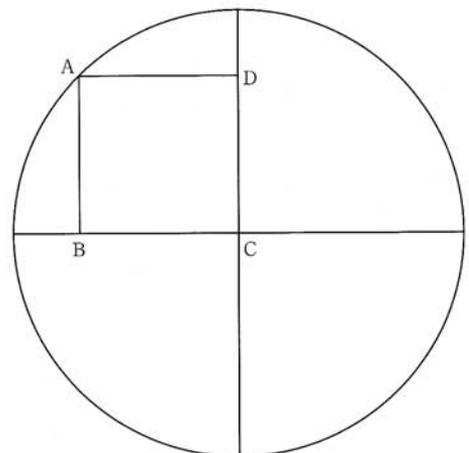
(1) ①~⑭は、正五角形ABCDEの各頂点と重なっていた点です。①~⑭に重なっていた頂点の記号をかきなさい。

(2) ほどいた紙テープを矢印の方向にもう一度巻いていくとすると、図の⑦~⑩の点の中で図の五角形の表側（見えている側）にくるものをすべて選び、記号で答えなさい。

2 台形ED⑧①が、はじめに表側にくる。

(3) (2) のようにテープを巻いたとき、⑦の点は辺AC、辺AD、辺BD、辺BE、辺CEのどの辺上にきますか。

2 右の図は直径12cmの円で、ABCDは正方形です。正方形ABCDの面積を求めなさい。



〈学習するみなさんへ〉

●この教材で学習する目的

この教材では、問題文を読んで、「何を答えることが求められているのか」を分析し、解答にいたりつくには「どうすればよいのか」を考える学習をします。
したがって、この教材には計算練習のための問題はありません。

●いくつかの注

この教材を使用するにあたって、大切なことが2つあります。ひとつは、自分で考え、解くことによって学習する「楽しさ」を発見することです。もうひとつは正しい答えを得るまでねばり強くとりくむことです。時間がかかっても自分でやりぬくことです。「解答」や「解き方」を見るのは、問題に答えるためのいちばん最後の方法です。そのときは、「考えるヒント」として活用しましょう。

●学習のねらい

この教材は、1回分が次のような構成で成り立っています。

- 1 規則性を発見する
算数を学習する楽しさのひとつは、問題にかくれている規則性を発見することです。ここでは、特にこの規則性の発見を目的に学習します。
- 2 すじ道をたてて考える
算数や数学を学ぶ上でいちばん大切なのは、「すじ道をたてて考える」ということです。ここでは、数字が入っていない問題なども学習し、思考力を高める学習をします。
- 3 概念の利用
いろいろなつながりをひとつにまとめ表した言葉を「概念」といいます。わたしたちの身のまわりで使われる約束事のような言葉です。算数で使う言葉には「合わせる」「引く」などがあります。ここではいろいろな「概念」について学びます。
- 4 図を見て考える
ここでは、推察力をともなう思考を養うことを目的としています。いろいろな角度から見て考える自由な発想を育てます。

★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★

第1回		第9回	
1 規則性を発見する	: 方陣など……………1	1 規則性を発見する	: 分数・小数……………33
2 すじ道をたてて考える	: 見積もる1……………2	2 すじ道をたてて考える	: 分けて考える……………34
3 概念の利用	: 論理的に考える……………3	3 概念の利用	: 割合・速さ……………35
4 図を見て考える	: 平面図形の性質……………4	4 図を見て考える	: いろいろな角度から立体を見る…36
第2回		第10回	
1 規則性を発見する	: カード・さいころ……………5	1 規則性を発見する	: 数列……………37
2 すじ道をたてて考える	: 条件から考える……………6	2 すじ道をたてて考える	: 立体1……………38
3 概念の利用	: 組み合わせ……………7	3 概念の利用	: 割合2……………39
4 図を見て考える	: 平面図形の長さと同面積……………8	4 図を見て考える	: 移動と距離……………40
第3回		第11回	
1 規則性を発見する	: ならべかた・カレンダー……………9	1 規則性を発見する	: ならべかた……………41
2 すじ道をたてて考える	: 推理する1……………10	2 すじ道をたてて考える	: 立体2……………42
3 概念の利用	: 比較(平均・大小関係)……………11	3 概念の利用	: 割合3……………43
4 図を見て考える	: 平面図形の角度など……………12	4 図を見て考える	: 量の変化とグラフ……………44
第4回		第12回	
1 規則性を発見する	: 表……………13	1 規則性を発見する	: n進法あるいは約束記号……………45
2 すじ道をたてて考える	: 推理する2……………14	2 すじ道をたてて考える	: 立体3……………46
3 概念の利用	: 速さ……………15	3 概念の利用	: 場合の数……………47
4 図を見て考える	: 平面図形と同面積……………16	4 図を見て考える	: 点の移動とグラフ……………48
第5回		第13回	
1 規則性を発見する	: 倍数……………17	1 規則性を発見する	: 「数と式」から……………49
2 すじ道をたてて考える	: 見積もる2……………18	2 すじ道をたてて考える	: 推理する4……………50
3 概念の利用	: 濃度・ふくまれている量……………19	3 概念の利用	: いろいろな概念……………51
4 図を見て考える	: 図形の移動……………20	4 図を見て考える	: 求積……………52, 53
第6回		第14回	
1 規則性を発見する	: 整数の積……………21	1 規則性を発見する	: 条件を読みとる……………54
2 すじ道をたてて考える	: およその数……………22	2 すじ道をたてて考える	: 推理する5……………55
3 概念の利用	: 割合1……………23	3 概念の利用	: 割合4……………56, 57
4 図を見て考える	: 立体図形と展開図……………24	4 図を見て考える	: 図形のいろいろな問題……………58, 59
第7回		第15回	
1 規則性を発見する	: 数一般……………25	1 規則性を発見する	: 関係から発見する……………60
2 すじ道をたてて考える	: 集合……………26	2 すじ道をたてて考える	: 割合・表……………61
3 概念の利用	: 平均……………27	3 概念の利用	: 速さ・割合……………62, 63
4 図を見て考える	: 立体図形と体積……………28	4 図を見て考える	: 混合1……………64, 65
第8回		第16回	
1 規則性を発見する	: あまり……………29	1 規則性を発見する	: 混合……………66
2 すじ道をたてて考える	: 推理する3……………30	2 すじ道をたてて考える	: 混合……………67
3 概念の利用	: 比……………31	3 概念の利用	: 混合……………68, 69
4 図を見て考える	: いろいろな立体……………32	4 図を見て考える	: 混合2……………70, 71

1 方陣など

月 日 時 分 ~ 時 分

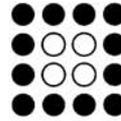
1 図のようにご石を (ア), (イ), (ウ) の規則にしたがって並べます。

- (ア) いちばん外側の正方形の周上はすべて黒石
 - (イ) その内側の正方形の周上はすべて白石
 - (ウ) さらにその内側の正方形全体は黒石
- それらを順に 1 番目, 2 番目, 3 番目, ……とよぶことにします。

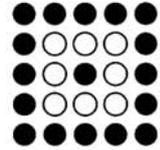
次の問いに答えなさい。

- (1) 10番目には黒石は何個ありますか。
- (2) 1番目から10番目までの黒石は全部で何個ありますか。
- (3) 黒石が204個になるのは何番目ですか。

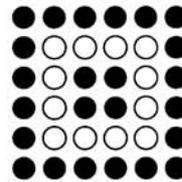
1 番目



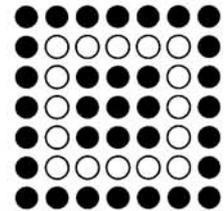
2 番目



3 番目



4 番目

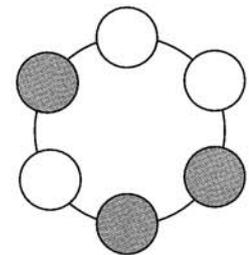


2 ご石 6 個を円形に並べ、おのおのの石の左右にある石の色をくらべて、次の操作を考えます。

操作……その石の右にある石の色と左にある石の色とがちがうときは、白石にする。その石の右にある石の色と左にある石の色とが同じときは、黒石にする。

(ただし、この操作は、6 個一度に行うものとする。)

たとえば、 は  に変わります。



(1)  は、この操作によってどうなりますか。

(2)  から始めてこの操作を 6 回行うとどうなりますか。

(3)  のように、この操作をしても、元と変わらない並べ方がいくつかあります。そのような並べ方を他に 1 つかきなさい。

見積もる1

 月 日
 時 分 ~ 時 分

1 次の説明を読み、(1)～(3)の問いに答えなさい。

A君とB君が図のような階段の上で、以下のようなルールにしたがい、ジャンケンをして遊んでいます。

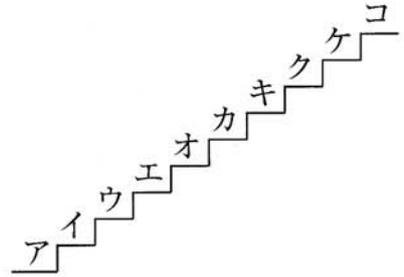
ルール1：最初は2人ともアの段に立っています。

ルール2：グーで勝ったら3段、チョキで勝ったら5段、パーで勝ったら6段動きます。

ルール3：負けたときとあいこのときは、動きません。

ルール4：コの段まで登ったら降り、アの段まで降りたら、また登ります。

例えば、はじめにチョキで勝ち、次にパーで勝ったときは、クの段に立っています。



- (1) A君がはじめにチョキで勝ち、次もチョキで勝ったときに立っている段の記号を答えなさい。
- (2) A君がちょうど2回勝ったとき、A君が立っている段の記号をすべて答えなさい。
- (3) 3回ジャンケンをしたとき、2人が同じ段に立っていました。その段の記号をすべて答えなさい。ただし、あいこは1回もなかったものとします。

2 次の図は「スタート」の所に数字を入れて、それぞれの指示にしたがって矢印の方向に進み、

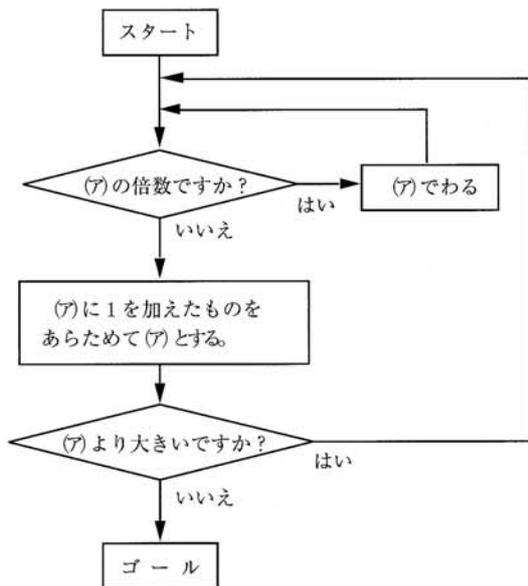
「ゴール」にその結果を出すものです。

ただし、(ア)には、最初は2が入っていますが、その値も指示にしたがって変化します。

下の例をもとにして、次の問いに答えなさい。

例えば、「スタート」に6を入れたとすると、まず矢印どおりに下に進みます。(ア)の値は最初2ですから「6は2の倍数ですか?」という文章になるので、「はい」の方向に進み、6を2でわって3になります。今度は、「3は2の倍数ですか?」という文章になるので、「いいえ」に進みます。

ここで、(ア)は1を加えるから、2から3に変わります。最後は、「3は3より大きいですか?」という文章になるので、「いいえ」に進んで「ゴール」となり、この結果、「スタート」に6を入れると「ゴール」には3が出てくることになります。



- (1) 「スタート」に16を入れたとき、「ゴール」に出てくる数を求めなさい。
- (2) 「スタート」に45を入れて、「ゴール」に数が出てきたとき、(ア)の値はいくつになっていますか。
- (3) 「ゴール」に出た数が「スタート」に入れた数の $\frac{1}{6}$ になるようにするには、「スタート」にいくつを入れればよいですか。いちばん小さい数を求めなさい。

論理的に考える

月 日
時 分 ~ 時 分

1 ある数に0.7を加え、小数第1位を四捨五入すると12になります。この数は、どんな範囲はんいにありますか。

2 ある中学校の入学試験で、県内の小学校からの受験生191人に1番から191番までの受験番号をつけ、県外の小学校からの受験生243人に201番から443番までの受験番号をつけました。今日は面接試験の日です。

受験番号1から7までの受験生は、受験番号と同じ番号の教室へ入ります。

受験番号が8以上の受験生は、次のようにします。

受験番号を7でわったあまりが1の受験生 → 1号室

受験番号を7でわったあまりが2の受験生 → 2号室

⋮

⋮

受験番号が7でわりきれぬ受験生 → 7号室

というふうに7つの教室に分けて、それぞれの教室で受験番号の若いほうから順に、1人につき5分間ずつ面接を行います。面接は9時に始まって、12時30分から13時30分までは昼食のため面接は行いません。

欠席者がいる場合は、次のようにします。

「欠席者が受験番号21番の受験生ならば、7号室では9時10分から28番の受験生、9時15分から35番の受験生」

というふうに、前につめて面接を行います。

実際の欠席者は、113番と313番の2人でした。次の問いに答えなさい。

(1) 面接を受ける受験生の人数がもっとも多い教室と、その人数を答えなさい。

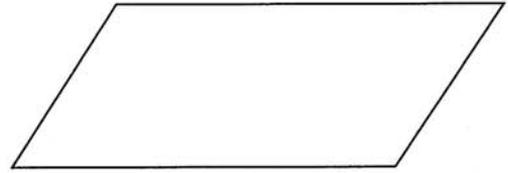
(2) 347番の受験生は、何時何分から面接を受けますか。

(3) 5号室での面接がすべて終わるのは何時何分ですか。

4 平面図形の性質

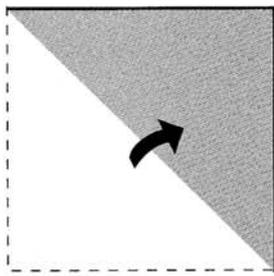
月 時 日 分 ~ 時 分

- 1 平行四辺形の面積を点Pを通る直線で2等分しようと思ひます。図の中にこの直線をかき入れなさい。(この直線をかいたために利用した直線などは残しておきなさい。)

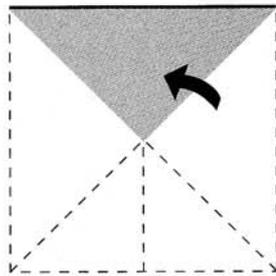
P
•

平行四辺形は、対角線の交わる点を通る1本の線で2等分できる。

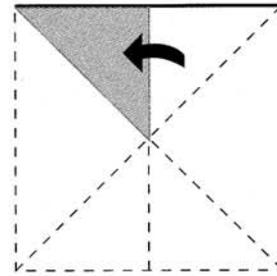
- 2 正方形の折り紙を下図のように3回折り、一部分を切りとって再び折り紙を開いたとき、Aのような形をつくりたい。3回折った紙をどのように切り取れば良いか、Bの図の中に切り口を線でかき込みなさい。



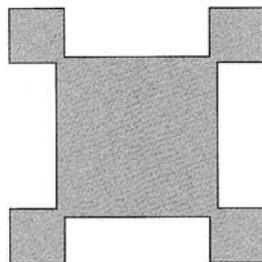
1回



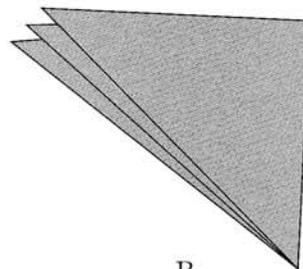
2回



3回



A



B



〈学習するみなさんへ〉

●この教材で学習する目的

この教材では、問題文を読んで、「何を答えることが求められているのか」を分析し、解答にいたりつくには「どうすればよいのか」を考える学習をします。
したがって、この教材には計算練習のための問題はありません。

●いくつかの注

この教材を使用するにあたって、大切なことが2つあります。ひとつは、自分で考え、解くことによって学習する「楽しさ」を発見することです。もうひとつは正しい答えを得るまでねばり強くとりくむことです。時間がかかっても自分でやり抜くことです。「解答」や「解き方」を見るのは、問題に答えるためのいちばん最後の方法です。そのときは、「考えるヒント」として活用しましょう。

●学習のねらい

この教材は、1回分が次のような構成で成り立っています。

1 規則性を発見する

算数を学習する楽しさのひとつは、問題にかくれている規則性を発見することです。ここでは、特にこの規則性の発見を目的に学習します。

2 すじ道をたてて考える

算数や数学を学ぶ上でいちばん大切なのは、「すじ道をたてて考える」ということです。ここでは、数字が入っていない問題なども学習し、思考力を高める学習をします。

3 概念の利用

いろいろなつながりをひとつにまとめ表した言葉を「概念」といいます。わたしたちの身のまわりで使われる約束事のような言葉です。算数で使う言葉には「合わせる」「引く」などがあります。ここではいろいろな「概念」について学びます。

4 図を見て考える

ここでは、推察力をともなう思考を養うことを目的としています。いろいろな角度から見て考える自由な発想を育てます。

★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★

第1回

1 規則性を発見する	: 条件を読みとる	1
2 すじ道をたてて考える	: 論理の利用1	2
3 概念の利用	: 概数・比	3
4 図を見て考える	: 折る	4

第2回

1 規則性を発見する	: 条件から発見する	5
2 すじ道をたてて考える	: 図を読む	6
3 概念の利用	: 条件のある計算	7
4 図を見て考える	: 平面図形と長さ	8

第3回

1 規則性を発見する	: カレンダー・カード	9
2 すじ道をたてて考える	: 道のり・図形	10
3 概念の利用	: いろいろな概念1	11
4 図を見て考える	: 平面図形と角度	12

第4回

1 規則性を発見する	: 関係を読みとる	13
2 すじ道をたてて考える	: 時刻・順番	14
3 概念の利用	: 時計・道のり	15
4 図を見て考える	: 図形の移動・面積	16

第5回

1 規則性を発見する	: カレンダー・きまりの発見	17
2 すじ道をたてて考える	: 見積もる1	18
3 概念の利用	: いろいろな概念2	19
4 図を見て考える	: 重なった図形	20

第6回

1 規則性を発見する	: 約数	21
2 すじ道をたてて考える	: 見積もる2	22
3 概念の利用	: 仕事	23
4 図を見て考える	: いろいろな立体図形	24

第7回

1 規則性を発見する	: 数一般	25
2 すじ道をたてて考える	: 集合1	26
3 概念の利用	: 平均	27
4 図を見て考える	: 空間	28

第8回

1 規則性を発見する	: あまり	29
2 すじ道をたてて考える	: 集合2	30
3 概念の利用	: 速さ・割合	31
4 図を見て考える	: 立体図形と表面積	32

第9回

1 規則性を発見する	: きまりの発見1	33
2 すじ道をたてて考える	: 集合3	34
3 概念の利用	: 比	35
4 図を見て考える	: 立体の組み合わせ	36

第10回

1 規則性を発見する	: 数列	37
2 すじ道をたてて考える	: 容積	38
3 概念の利用	: 割合1	39
4 図を見て考える	: 移動と距離	40

第11回

1 規則性を発見する	: ならべかた	41
2 すじ道をたてて考える	: 立体	42
3 概念の利用	: 割合2	43
4 図を見て考える	: 量の変化とグラフ	44

第12回

1 規則性を発見する	: きまりの発見2	45
2 すじ道をたてて考える	: 容積・立体の組み合わせ	46
3 概念の利用	: いろいろな概念3	47
4 図を見て考える	: 点の移動とグラフ	48

第13回

1 規則性を発見する	: 規則性を利用した計算1	49
2 すじ道をたてて考える	: 論理の利用2	50
3 概念の利用	: いろいろな概念4	51
4 図を見て考える	: いろいろな図形	52, 53

第14回

1 規則性を発見する	: 時計・場合の数	54
2 すじ道をたてて考える	: 論理の利用3	55
3 概念の利用	: いろいろな概念5	56, 57
4 図を見て考える	: 空間・平面図形	58, 59

第15回

1 規則性を発見する	: 規則性を利用した計算2	60
2 すじ道をたてて考える	: 表・場合の数	61
3 概念の利用	: いろいろな概念6	62, 63
4 図を見て考える	: 図の形・グラフ	64, 65

第16回

1 規則性を発見する	: 混合	66
2 すじ道をたてて考える	: 混合	67
3 概念の利用	: 混合	68, 69
4 図を見て考える	: 混合	70, 71

1 条件を読みとる

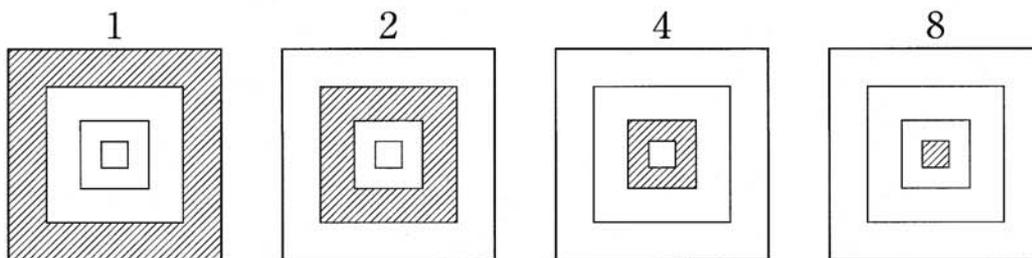
月 日 時 分 ~ 時 分

1 A, B 2 人が20点ずつ持って、ゲームをします。勝った方は3点ふえ、負けた方は1点へります。この約束でゲームを20回しました。引き分けはないものとして、次の問いに答えなさい。

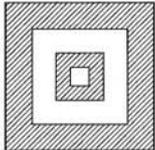
(1) 7回目がすんだときに、Aは3回勝っていました。このときのAの得点はいくらですか。

(2) 20回のゲームが終わったとき、AはBより8点多かった。Aの得点はいくらですか。

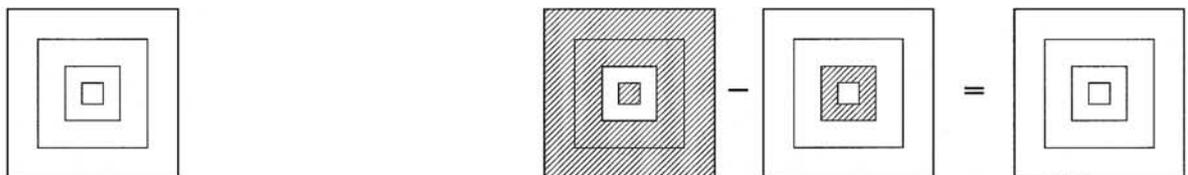
2 1, 2, 4, 8を図のようなきまりで表します。



(1) と (2) の答えを下の図にしゃ線で図示しなさい。

(1) たとえば、5は  となります。(2) また、これを使ってひき算をすると、答えは下の図になります。

14は下の図になります。



2 論理の利用 1

 月 日
 時 分 ~ 時 分

1 A君は□の中に1から9までの整数を1回ずつ使って計算式

$$\underbrace{\square \times \square \times \square \times \square \times \square}_{(A)} + \underbrace{\square \times 10 + \square + \square - \square}_{(B)} = 1997$$

を完成するために、①~⑤の順序で考えました。□内に適する数を記入しなさい。

- ① (B) の各部分は最も大きくても $9 \times 10 + 8 + 7 - 1 = 104$ 、最も小さくても $1 \times 10 + 2 + 3 - 9 = 6$ であるから、(A) の部分の5つの数の積は1893以上、1991以下でなければならない。
- ② (A) の部分に入れる5つの数は前から小さい順に入れることにした。
- ③ (A) の部分に1を使うと、1以外の4つの数の積で①にあてはまらなければならないが、 $3 \times 7 \times 8 \times 9 = 1512$ 、 $4 \times 6 \times 8 \times 9 = 1728$ では小さすぎるし、 $4 \times 7 \times 8 \times 9 = 2016$ では大きすぎるので、4より大きい4つの数を使わなければならない。その選び方は5通りあり、そのおのに対して (A) の部分の値は小さい方から順に

1) □ 2) □ 3) □ 4) □ 5) □

となるが、どれも①にあてはまらない。

- ④ (A) の部分には1は使えないので、1番前の数を2、次の数を3とすると、

$$2 \times 3 \times 4 \times \square \times \square \text{ の形の数, 最も大きくても } \square$$

$$2 \times 3 \times 6 \times \square \times \square \text{ の形の数, 最も小さくても } \square$$

となり、①にあてはまらない。

- ⑤ 以上のことから、(A)、(B) の部分は次のように決まる。

(A) の部分は

$$\square \times \square \times \square \times \square \times \square$$

(B) の部分は

$$\square \times 10 + \underbrace{\square + \square - \square}_{(C)}$$

ただし、(C) の部分は前から小さい順に入れなさい。



(A) の部分に小さい順に数をあてはめ、①の条件をみたまかどうか考える。

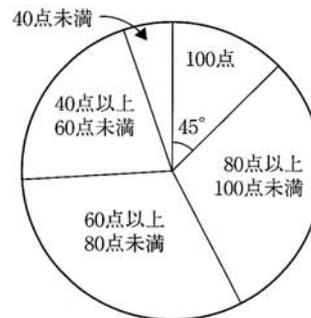
3 概数・比

月 日 時 分 ~ 時 分

- 1 ある数 x の小数第1位未満を四捨五入すると2.8になります。
 もとの数 x について、 $(x \times 13 + 2.7) \div 5 - \frac{13}{20}$ を計算した結果を小数第1位未満を四捨五入するとき求められる数は何通りありますか。

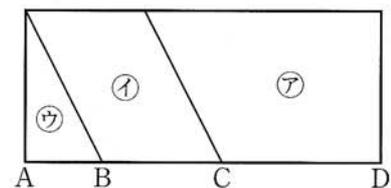
- 2 40人のクラスで算数のテストを行った結果を、下の表と円グラフに表しました。

100点の人数	
80点以上100点未満の人数	12
60点以上80点未満の人数	14
40点以上60点未満の人数	7
40点未満の人数	



- (1) 100点の人の円グラフの中心角は45度でした。100点の人は何人いたのでしょうか。
- (2) 60点以上80点未満の人の円グラフの中心角は何度になりますか。
- (3) 80点以上100点未満の人の人数は全体の何%ですか。
- 3 長方形の紙を図のように平行線をひいて、3つの部分に分けました。㊦の部分の面積は㊥の部分の面積の $\frac{5}{3}$ 倍、㊥の部分の面積は㊧の部分の面積の3倍です。このとき、次の比をできるだけ簡単な整数の比で求めなさい。

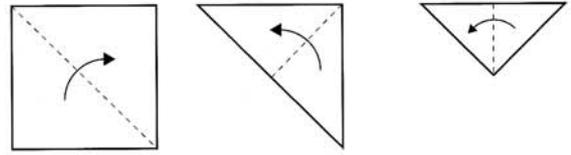
- (1) ABの長さとBCの長さの比
- (2) BCの長さとCDの長さの比
- (3) ADの長さとCDの長さの比



4 折る

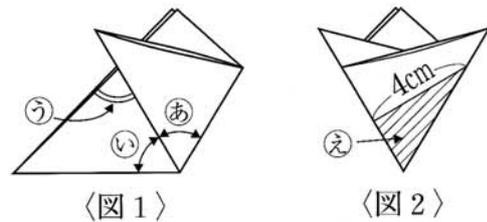
月 日 分 ~ 時 分

- 1 1辺が10cmの正方形の紙を右の図のように3回折って2辺が5cmの直角二等辺三角形をつくりま
す。次にこの直角二等辺三角形の直角の頂点を中心として、半径2cmのおうぎ形を切り取り、さら
に他の2つの頂点を中心として、それぞれ半径1.5cmのおうぎ形を切り取り、ふたたび広げます。
この広げた図形を実線で右の図にかきなさい。



最後にできた三角形から順にさかのぼっていく。

- 2 1辺10cmの正方形の紙があります。〈図1〉、〈図2〉のように、㊸と㊹の角の大きさをそろえて6つ折りにします。



- (1) ㊸と㊹の角の大きさはそれぞれ何度ですか。

- (2) 〈図2〉の直角三角形㊸を切り取ってひろげると、どんな図形になりますか。また、そのひろげた図形の周りの長さは何cmですか。



なまえ



せ
い
ち
よ
う
す
る
ド
リ
ル
み
ん
す
う
の
せ
か
い





1	0から5までのかず P2
2	5までのかずをつかって P6
3	6から9までのかず P10
4	9までのかずをつかって P14
5	10までのかずをつかって P18
6	たしざん P22
7	ひきざん P26
8	19までのかず P30
9	19までのかずをつかって P34
10	20までのかずをつかって P38
11	20よりおおきいかず P42
12	かたち P46
13	すうじとかたち P50
14	たしざん・ひきざん P54
	こたえのページ P58



0から5までのかず



0から5までのかず



① 0から5までのすうじをかいてみましょう。

② おさらのにのっているケーキのかずをかぞえてみましょう。

0 0 0

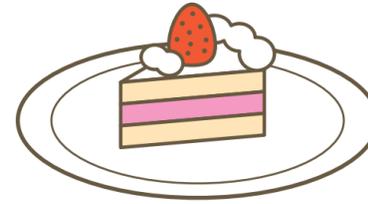
1 1 1

2 2 2

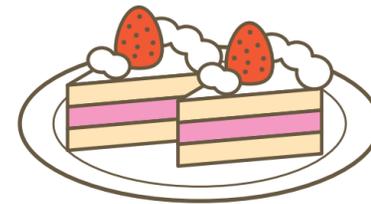
3 3 3

4 4 4

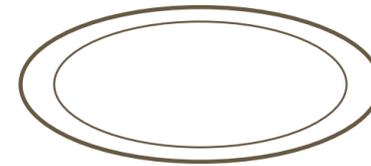
5 5 5



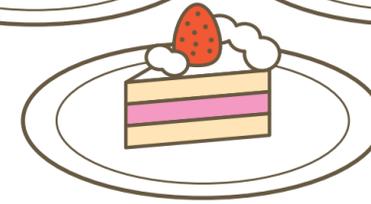
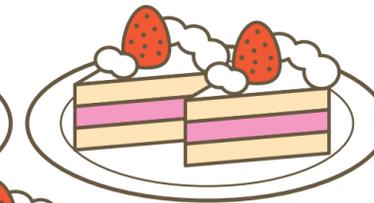
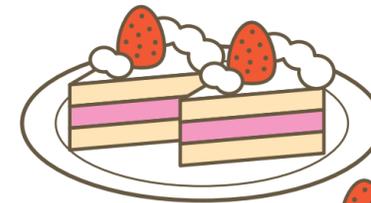
(1)こ



()こ



()こ



()こ



0から5までのかず



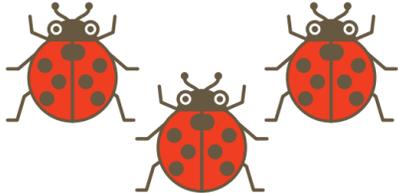
0から5までのかず



③ かずをかぞえてみましょう。
えをみて、すうじをまるでかこんでみましょう。



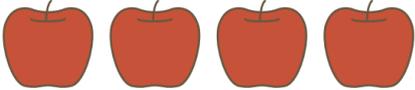
1 2 3



1 2 3



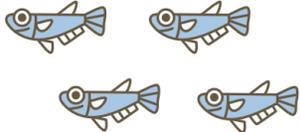
2 3 4



3 4 5

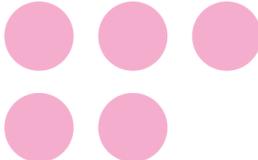


3 4 5

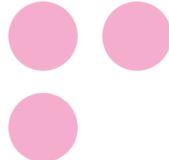


2 3 4

④ かずをかぞえてみましょう。
●のかずを、□にかいてみましょう。



5



□



□

□



□



□



こたえのページ



P.2-3

0から5までのかず

① 0から5までのすずじをかいてみましょう。

0 0 0 0 0 0 0 0
1 1 1 1 1 1 1 1
2 2 2 2 2 2 2 2
3 3 3 3 3 3 3 3
4 4 4 4 4 4 4 4
5 5 5 5 5 5 5 5

② おさらのついでにケーキのかずをかぞえてみましょう。

(1) に
(2) に
(0) に
(5) に

P.4-5

0から5までのかず

① かずをかぞえてみましょう。えをみて、すずじをひいてかぞえてみましょう。

① 2 3 1 2 3 5 3

② 3 4 3 4 5 2 0

③ 3 4 5 2 3 4 4 3

P.6-7

5までのかずをつかっ

① コップに水をためてみましょう。いろえんぴつ、クレヨンをよういしましょう。1こあかい、2ここい、3こみどり、5こあかい。

② いぬ2匹に○をつけてみましょう。

③ きか4匹に○をつけてみましょう。

P.8-9

5までのかずをつかっ

① すずじのならびかたをかぞえてみましょう。すずじをかいてみましょう。

② 5を1つふやして、□にかずをかいてみましょう。

P.10-11

6から9までのかず

① 6から9までのすずじをかいてみましょう。

6 6 6 6 6 6 6 6
7 7 7 7 7 7 7 7
8 8 8 8 8 8 8 8
9 9 9 9 9 9 9 9

② てんとうむし7匹に○をつけてみましょう。

P.12-13

6から9までのかず

① かずをかぞえてみましょう。あのかずを、□にかいてみましょう。

② 1から9をじまんにならべてみましょう。

P.14-15

9までのかずをつかっ

① かずをかぞえてみましょう。えをみて、かずを□にかいてみましょう。

② 5を1つふやして、□にかずをかいてみましょう。

P.16-17

9までのかずをつかっ

① かずのおおきいほうに○をつけてみましょう。

② えをみてかぞえてみましょう。

P.18-19

10までのかずをつかっ

① すずじの10をかいてみましょう。

② あいている□にすずじをかいてみましょう。すずじはじまんにならべてみましょう。

P.20-21

10までのかずをつかっ

① りんごを2つのふくらにわけました。□にかずをかいてみましょう。

② □のかずがあといくつあると、□のすずじがなくなりますか。□にかずをかいてみましょう。

P.22-23

たしざん

① あいていくつあわせたかぞえてみましょう。あわせて、アはなんにならべてみましょう。

② ブロックをさしてあわせてみましょう。

③ たしざんをしてみましょう。

P.24-25

たしざん

① ブロックをさしてあわせてみましょう。

② しいぬたかぞえて、きいぬたかぞえてみましょう。ぬたかはあわせてなんびきでしょう。

③ たしざんをしてみましょう。

④ たしざんをしてみましょう。

P.26-27

ひきざん

① のこりは一つかきかえてみましょう。
いけにのこっているおむすびははなれちゃったか。

5から2をとると、のこりは3です。
しき $5 - 2 = 3$ こたえ 3

5から2がひきざんのしきといえます。
3はひきざんのことえいといえます。
② しきについて、こたえましょう。
ハエはあとたんびきですか。

しき $3 - 2 = 1$ こたえ 1

ひきざん

③ ブロックをかきかえてみましょう。
① 2このブロックから1ことったのこり。
② 5このブロックから3ことったのこり。

$2 - 1 = 1$
 $5 - 3 = 2$

④ このブロックからあか色のブロックを1ことったのこり。
⑤ ひきざんをしてみましょう。
① $5 - 2 = 3$ ② $4 - 2 = 2$ ③ $3 - 2 = 1$
④ $5 - 1 = 4$ ⑤ $4 - 1 = 3$ ⑥ $2 - 1 = 1$

P.28-29

ひきざん

⑥ ブロックをかきかえてみましょう。
① $7 - 3 = 4$
 $9 - 4 = 5$
 $8 - 5 = 3$

⑦ おむすびがなくなりました。
かたどきをとるおむすびは3つ減りました。
のこりはなんまいでしょうか。

しき $8 - 3 = 5$ こたえ 5

⑧ ひきざんをしてみましょう。
① $8 - 2 = 6$ ② $5 - 5 = 0$ ③ $7 - 3 = 4$
④ $6 - 4 = 2$ ⑤ $3 - 0 = 3$ ⑥ $6 - 6 = 0$

⑨ ひきざんをしてみましょう。
ひきざんのことえいが3になる「ひきざんのしき」を3つかきかえてみましょう。
① $9 - 3 = 6$ ② $6 - 5 = 1$ ③ $8 - 3 = 5$
④ $7 - 4 = 3$ ⑤ $9 - 4 = 5$ ⑥ $8 - 1 = 7$
 $6 - 3$ $9 - 6$ $8 - 5$ $4 - 1$
 $7 - 4$ $5 - 2$ $3 - 0$

P.38-39

20までのかずをつかって

① すうじの20をかいてみましょう。
 $20\ 20\ 20\ 20\ 20$

② かずをかきかえてみましょう。
えをみて、かずをかきかえてみましょう。

1 2 3 4 5
6 7 8 9 10
11 12 13 14 15
16 17 18 19 20

③ すうじをかきかえて、□にすうじをいれましょう。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

④ かずをかきかえてみましょう。
えをみて、かずをかきかえてみましょう。

18 19 20
18 19 20

P.40-41

20までのかずをつかって

④ ブロックのかずがあといくつ減ると、□のすうじのかずになりますか、()にかずをかいてみましょう。

⑤ かずの少ないほうに□をつけてみましょう。

20 (2)
18 (6)
12 (4)

12 11 15 18
() () () ()
20 10 19 17
() () () ()
16 → 15 12 → 11
18 → 17 20 → 19

⑥ ひだりのかずよりちいさいかずをかいてみましょう。

P.30-31

19までのかず

① すうじの1から15をかいてみましょう。

② すうじの16から19をかいてみましょう。

③ かずをかきかえてみましょう。
はなのかずをかきかえて、□にかいてみましょう。

④ かずをかきかえてみましょう。
もみじの16から19をかきかえて、□にかいてみましょう。

13
18

P.32-33

19までのかず

⑥ かずのおおきいほうに□をつけてみましょう。

⑦ ▲を1つふやして、□にかずをかいてみましょう。

⑧ ひだりのかずよりおおきいかずをかいてみましょう。

P.42-43

20よりおおきいかず

① すうじの30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100をかいてみましょう。

② □にかずをかいてみましょう。

③ うえのすうじのおおきいすうじに□をつけてみましょう。

④ おかねをかきかえながら、すうじをかきかえてみましょう。

P.44-45

20よりおおきいかず

③ うえのすうじのおおきいすうじに□をつけてみましょう。

④ おかねをかきかえながら、すうじをかきかえてみましょう。

P.34-35

19までのかずをつかって

① ブロックのかずはいくつですか。
□にかずをかいてみましょう。

② ブロックをつかいて、たしざんのしきをつくりましょう。
□にすうじをかいてみましょう。

③ たしざんをしましょう。

④ たしざんをしましょう。

P.36-37

19までのかずをつかって

① たしざんをしましょう。

② たしざんをしましょう。

③ たしざんをしましょう。

④ たしざんをしましょう。

P.46-47

かたち

① かたちをかきかえてみましょう。

② つぎにくるかたちをかいてみましょう。

P.48-49

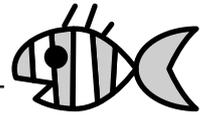
かたち

③ まるにいろをぬってきましょう。

④ さんかくにいろをぬってきましょう。

⑤ しかくにいろをぬってきましょう。

⑥ つぎのかたちのいろをみて、えにいろをぬってきましょう。



第1回 1～5までの数字の集まり

- STEP 13
- STEP 24
- STEP 35

第2回 5までの順序

- STEP 16
- STEP 27
- STEP 38

第3回 大きい・小さい

- STEP 19
- STEP 210
- STEP 311

第4回 なんばんめ

- STEP 112
- STEP 213
- STEP 314

第5回 0 (れい・ゼロ)

- STEP 115
- STEP 216
- STEP 317

第6回 5までの数字を使ったたし算

- STEP 118
- STEP 219
- STEP 320

第7回 5までの数字を使ったひき算

- STEP 121
- STEP 222
- STEP 323

第8回 5までの計算

- STEP 124
- STEP 225
- STEP 326

第9回 9までの数1

- STEP 127
- STEP 228
- STEP 329

第10回 9までの数2

- STEP 130
- STEP 231
- STEP 332

第11回 9までのたし算とひき算1

- STEP 133
- STEP 234
- STEP 335

第12回 9までのたし算とひき算2

- STEP 136
- STEP 237
- STEP 338

第13回 10 (じゅう)

- STEP 139
- STEP 240
- STEP 341

第14回 十の位・一の位

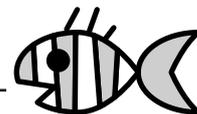
- STEP 142
- STEP 243
- STEP 344

第15回 0から99までの数

- STEP 145
- STEP 246
- STEP 347

第16回 くり上がりのあるたし算1

- STEP 148
- STEP 249
- STEP 350



第17回 くり上がりのあるたし算2

- STEP 151
- STEP 252
- STEP 353

第18回 くり下がりのあるひき算1

- STEP 154
- STEP 255
- STEP 356

第19回 くり下がりのあるひき算2

- STEP 157
- STEP 258
- STEP 359

第20回 3つの数のたし算ひき算

- STEP 160
- STEP 261
- STEP 362

第21回 2けたのたし算・くり上がりなし

- STEP 163
- STEP 264
- STEP 365

第22回 2けたのたし算・くり上がりあり

- STEP 166
- STEP 267
- STEP 368

第23回 2けたのひき算・くり下がりなし

- STEP 169
- STEP 270
- STEP 371

第24回 2けたのひき算・くり下がりあり

- STEP 172
- STEP 273
- STEP 374

だい かい 第1回 1～5までの STEP1 数字の集まり	がくしゅう び がつ にち 学習日 月 日
な まえ 名前	がく しゅう じ かん 学習時間 ぶん 分

POINT → ものの数を数字で表せることを知る

(1) タイルの数が同じものをれいにならって線で結ぼう。

<れい> □ □ ● ● □ □ □ □ □ □

① □ □ □ ● ● □ □ □ □ □ □

② □ □ □ □ ● ● □ □ □ □ □ □

③ □ □ □ □ □ ● ● □ □ □ □ □ □

(2) タイルの数と同じ数字をれいにならって線で結ぼう。

<れい> □ ● ● 2

① □ □ ● ● 1

② □ □ □ ● ● 5

③ □ □ □ □ ● ● 4

④ □ □ □ □ □ ● ● 3

(3) タイルの数を () の中に数字で書こう。

<れい> □ □ (2)

① □ □ □ □ ()

② □ ()

③ □ □ □ ()

④ □ □ □ □ □ ()

だい かい 第1回 1～5までの STEP2 数字の集まり	がくしゅう び がつ にち 学習日 月 日
な まえ 名前	がくしゅう じ かん 学習時間 ぶん 分

POINT → タイルを数字で表すことになれる

(1) タイルの数と日本語で表したものを線で結ぼう。

<れい> □ (1) ● ● に

① □□ (2) ● ● さん

② □□□ (3) ● ● いち

③ □□□□ (4) ● ● ご

④ □□□□□ (5) ● ● し

(2) タイルの数を下のことばからえらんで書こう。

いち に さん し ご

<れい> □□ (に)

① □□□□ ()

② □ ()

③ □□□ ()

④ □□□□□ ()

(3) () の中にタイルの数を数字で書こう。

<れい> □ (1)

① □□ ()

② □□□ ()

③ □□□□ ()

④ □□□□□ ()

だい かい 第1回 1～5までの STEP3 数字の集まり	がくしゅう び がつ にち 学習日 月 日
な まえ 名前	がくしゅう じ かん 学習時間 ぶん 分

POINT → タイルとことばと数字の関係を身につける

(1) () の中にタイルの数を書こう。

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()
- ⑤ ()

(2) 数字の数だけタイルを書こう。

- <れい> 3 ()
- ① 4 ()
 - ② 2 ()
 - ③ 5 ()
 - ④ 1 ()

(3) 日本語で、書かれた数を数字とタイルで表そう。

- <れい> いち [1] ()
- ① に [] ()
 - ② さん [] ()
 - ③ し [] ()
 - ④ ご [] ()

〈学習するみなさんへ〉

「いきることばの使い方」

このドリルは、〈漢字〉をおぼえるだけのドリルではありません。日本語としての〈漢字〉を、ことばとして使えるようになるためのものです。

ことばを学ぶもつとも基本的な身につけ方である読みながら「なぞる」手法を用いたドリルです。したがって、間違っているかいないか、「答え合わせ」をする必要はありません。むしろ、ことばとしての〈漢字〉から、より広い意味や知識を得ることによって、漢字を愛し、漢字を使った文章が書きたくなることを、最大の目標としています。そのために、このドリルは、一つひとつの漢字の成り立ちや漢字のもつ意味を中心に、編集されています。〈漢字〉の形や使い方、成り立ちを、頭へえがきながら、学習して下さい。

【構成】

- 1 小学一年生で習う漢字八十字の一文字ずつが、部首と成り立ちによって分類され、一文字二ページ構成になっています。
- 2 ページ目は、その回の漢字を筆順を見ながら書く練習と漢字の形や意味となかまを学びます。
二ページ目は、その回の漢字のいろいろな使い方を学びます。
- 3 原則として、大きい□には漢字、小さい□にはひらがなをなぞるようになっています。

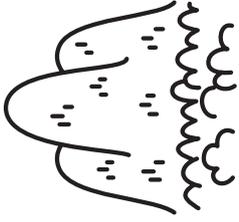


もくじ

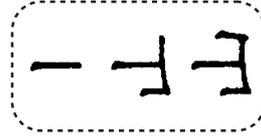
イメージからかんじをまなぼう
イメージからことばをまなぼう

目	にうつるしぜん	1	山	1			
2	川	3					
3	水	5					
4	火	7					
5	雨	9					
6	石	11					
7	土	13					
8	金	15					
9	日	17					
10	早	19					
11	白	21					
12	月	23					
13	夕	25					
14	木	27					
15	林	29					
16	森	31					
17	村	33					
18	校	35					
19	本	37					
20	草	39					
21	花	41					
22	青	43					
23	竹	45					
24	虫	47					
25	犬	49					
26	貝	51					
27	円	53					
28	空	55					
29	気	57					
30	人	61					
31	入	59					
32	町	63					
33	人	65					
34	年	67					
35	生	69					
36	人	71					
37	休	73					
38	男	75					
39	女	77					
40	子	79					
41	学	81					
42	大	83					
43	字	85					
44	川	87					
45	水	89					
46	火	91					
47	雨	93					
48	石	95					
49	土	97					
50	金	99					
51	日	101					
52	早	103					
53	白	105					
54	月	107					
55	夕	109					
56	木	111					
57	林	113					
58	森	115					
59	村	117					
60	校	119					
61	本	121					
62	草	123					
63	花	125					
64	青	127					
65	竹	129					
66	虫	131					
67	犬	133					
68	貝	135					
69	円	137					
70	空	139					
71	気	141					
72	人	143					
73	入	145					
74	町	147					
75	人	149					
76	年	151					
77	生	153					
78	人	155					
79	休	157					
80	男	159					
81	女	161					
82	子	163					
83	学	165					
84	大	167					
85	字	169					
86	川	171					
87	水	173					
88	火	175					
89	雨	177					
90	石	179					
91	土	181					
92	金	183					
93	日	185					
94	早	187					
95	白	189					
96	月	191					
97	夕	193					
98	木	195					
99	林	197					
100	森	199					
101	村	201					
102	校	203					
103	本	205					
104	草	207					
105	花	209					
106	青	211					
107	竹	213					
108	虫	215					
109	犬	217					
110	貝	219					
111	円	221					
112	空	223					
113	気	225					
114	人	227					
115	入	229					
116	町	231					
117	人	233					
118	年	235					
119	生	237					
120	人	239					
121	休	241					
122	男	243					
123	女	245					
124	子	247					
125	学	249					
126	大	251					
127	字	253					
128	川	255					
129	水	257					
130	火	259					
131	雨	261					
132	石	263					
133	土	265					
134	金	267					
135	日	269					
136	早	271					
137	白	273					
138	月	275					
139	夕	277					
140	木	279					
141	林	281					
142	森	283					
143	村	285					
144	校	287					
145	本	289					
146	草	291					
147	花	293					
148	青	295					
149	竹	297					
150	虫	299					
151	犬	301					
152	貝	303					
153	円	305					
154	空	307					
155	気	309					
156	人	311					
157	入	313					
158	町	315					
159	人	317					
160	年	319					
161	生	321					
162	人	323					
163	休	325					
164	男	327					
165	女	329					
166	子	331					
167	学	333					
168	大	335					
169	字	337					
170	川	339					
171	水	341					
172	火	343					
173	雨	345					
174	石	347					
175	土	349					
176	金	351					
177	日	353					
178	早	355					
179	白	357					
180	月	359					
181	夕	361					
182	木	363					
183	林	365					
184	森	367					
185	村	369					
186	校	371					
187	本	373					
188	草	375					
189	花	377					
190	青	379					
191	竹	381					
192	虫	383					
193	犬	385					
194	貝	387					
195	円	389					
196	空	391					
197	気	393					
198	人	395					
199	入	397					
200	町	399					

1の1	イメージから かんじをまなぼう ☆目につくつるじせん☆	山	なまえ	
-----	-----------------------------------	---	-----	--

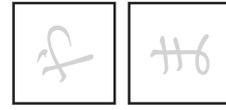


これは や ま です。



とかきます。

山

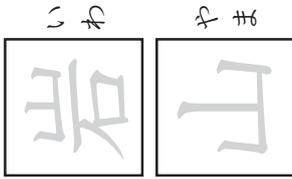


とよみます。

「山」のなかまをかんがえよう。



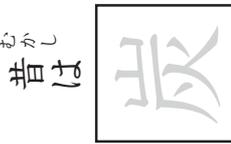
は山のように大きな石のことです。



は 岩 だらけの山をいいます。



は山の木をむしやきにしたものです。



昔は で暖まったんだよ。



は山でおきる火事のこ



とです。木や草は炭や灰になり、逃げおくれた動

物も



で焼かれて死んでし

まいます。

1の2	イメージから こぼれをまなぼり	山	なまえ	
-----	--------------------	---	-----	--

どんなふうにつかうのかな。

山 もり

畑では真つ赤なイチゴがいっぱい取れました。

お皿の上には やまもり

のイチゴがのっています。

登山

山を登ることを とざん といいます。

冬の登山

は危険がいっぱいです。

山脈

山が続いているのを さんみやく

といます。日本ではアルプス 山脈

が有名です。

富士山

ふじさん

は日本一高い

山

です。富士山

は外国でも姿が美しいので有名です。

「山のぼり」をイメージしよう。

さんちよう

をめざして、あせをふきふき

やま

みち

をのぼりました。

山頂

山道

〈学習するみなさんへ〉

「いきることばの使い方」

このドリルは、〈漢字〉をおぼえるだけのドリルではありません。日本語としての〈漢字〉を、ことばとして使えるようになるためのものです。

ことばを学ぶもつとも基本的な身につけ方である読みながら「なぞる」手法を用いたドリルです。したがって、間違っているかいないか、「答え合わせ」をする必要はありません。むしろ、ことばとしての〈漢字〉から、より広い意味や知識を得ることによって、漢字を愛し、漢字を使った文章が書きたくなることを、最大の目標としています。そのために、このドリルは、一つひとつの漢字の成り立ちや漢字のもつ意味を中心に、編集されています。〈漢字〉の形や使い方、成り立ちを、頭にえがきながら、学習して下さい。

【構成】

- 小学二年生で習う漢字百六十字のうち半分の八十字が入っています。それらの一文字ずつが、部首と成り立ちによって分類され、一文字二ページ構成になっています。
- 一ページ目は、その回の漢字を筆順を見ながら練習をします。さらに漢字の成り立ちや意味を見ながら、なかまのことばを学びます。
二ページ目は、その回の漢字のいろいろな使い方を学びます。
- 原則として、大きい□には漢字、小さい□にはひらがなをなぞるようになっています。□だけの漢字は、□に入れることばの中から選んで書き入れるようになっています。



もくじ

イメージから漢字を学ぼう
イメージからことばを学ぼう

自然のなかま	人のなかま
1 時	42 今
2 星	43 会
3 明	44 何
4 晴	45 友
5 毎	46 自
6 光	47 体
7 岩	48 頭
8 雪	49 顔
9 雲	50 直
10 電	51 肉
11 風	103 101 99 97 95 93 91 89 87 85 83
12 池	
13 海	
14 汽	52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42
15 活	53 54 53
16 地	55 54 53
17 場	
18 画	
19 番	
20 原	
21 谷	
22 米	
23 麦	
24 牛	
25 馬	
26 鳥	
27 鳴	
28 羽	
29 魚	
30 毛	
31 春	
32 夏	
33 秋	
34 冬	
35 親	
36 姉	
37 妹	
38 弟	
39 父	
40 兄	
41 母	
42 今	
43 会	
44 何	
45 友	
46 自	
47 体	
48 頭	
49 顔	
50 直	
51 肉	
52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42	
53 54 53	
55 54 53	
56 教	
57 数	
58 万	
59 知	
60 書	
61 答	
62 算	
63 才	
64 点	
65 工	
66 科	
67 理	
68 言	
69 計	
70 話	
71 語	
72 話	
73 語	
74 読	
75 聞	
76 歌	
77 声	
78 同	
79 157 155 153 151 149 147 145 143 141 139 137 135 133 131 129 127 125 123 121 119 117 115 113 111	
80 食	

1の1	イメージから 漢字を学ぶの ☆自然のなかま☆	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">時</div>	なまえ
-----	------------------------------	--	-----



と き を知らせる。

日 日 日 時 時 と書きます。

* 「ひ」と「うつりかわり」の意味からできています。

【部首 ひへん 画数 十画】

【訓読み】

とき
【音読み】

時 [] [] [] [] [] []

「時」のなかまを考えよう。

昔 キミたちが **むか** **し** っているのはいつごろかな。毎日の積み重ねが今日のキミを作っているんだよ。

上旬 日にちを十日ごとにひとまとめにして包んでいるんだよ。
 一ヶ月を三つに分けて **じ** **よ** **う** **じ** **ゆ** **ん**、
 中旬、下旬というんだ。

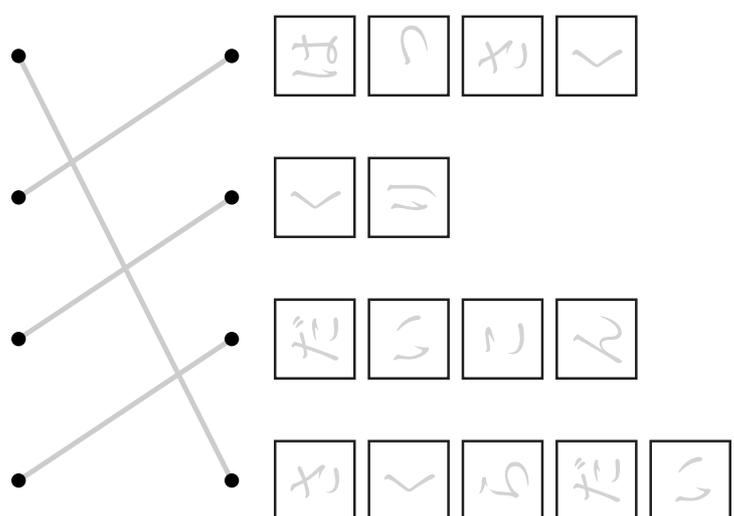
なんて読むのかな。線でむすぼう。

桜 **鯛** が出まわると春だ。

八 **朔** は、夏に実る。

秋は、**栗** 拾いだ。

冬の**大****根** はおいしいよ。



1の2	イメージから ことばを学ぼう		なまえ
-----	-------------------	---	-----

「時」を使ったいろいろなことばを考えよう。

「明日の用意をしてさつさと寝なさい。」怒られている子はだあれ？ なにを見て明日の用意をするのかな。

じ かん わり

時 間 割

おさるの赤ちゃんはいつもお母さんにしがみついて少しもはなれないね。ほんの少しの間もはなれないことをなんていうのかな。

か た と き もはなれない

片 時 もはなれない

「お母さん、今何時？」「自分で見なさい。」なにを見れば分かるかな。

と け い

時 計

暴風雨警報がでたときなどは、学校がお休みになるね。こんな予定外の休校をなんていうのだろう。

り ん じ き ゆ う こ う

臨 時 休 校

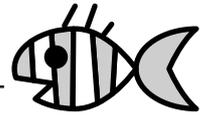
電話の一七七番は天気予報、一一七番はなにかな。「ピ・ピ・ピ・プー、午後三時二十七分三十秒をお知らせします」っていうよ。

じ ほ う

時 報



もくじ



第1回 1～5までの数字の集まり

- STEP 13
- STEP 24
- STEP 35

第2回 5までの順序

- STEP 16
- STEP 27
- STEP 38

第3回 大きい・小さい

- STEP 19
- STEP 210
- STEP 311

第4回 なんばんめ

- STEP 112
- STEP 213
- STEP 314

第5回 0 (れい・ゼロ)

- STEP 115
- STEP 216
- STEP 317

第6回 5までの数字を使ったたし算

- STEP 118
- STEP 219
- STEP 320

第7回 5までの数字を使ったひき算

- STEP 121
- STEP 222
- STEP 323

第8回 5までの計算

- STEP 124
- STEP 225
- STEP 326

第9回 9までの数1

- STEP 127
- STEP 228
- STEP 329

第10回 9までの数2

- STEP 130
- STEP 231
- STEP 332

第11回 9までのたし算とひき算1

- STEP 133
- STEP 234
- STEP 335

第12回 9までのたし算とひき算2

- STEP 136
- STEP 237
- STEP 338

第13回 10 (じゅう)

- STEP 139
- STEP 240
- STEP 341

第14回 十の位・一の位

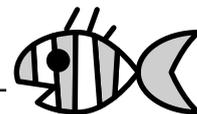
- STEP 142
- STEP 243
- STEP 344

第15回 0から99までの数

- STEP 145
- STEP 246
- STEP 347

第16回 くり上がりのあるたし算1

- STEP 148
- STEP 249
- STEP 350



第17回 くり上がりのあるたし算2

- STEP 151
- STEP 252
- STEP 353

第18回 くり下がりのあるひき算1

- STEP 154
- STEP 255
- STEP 356

第19回 くり下がりのあるひき算2

- STEP 157
- STEP 258
- STEP 359

第20回 3つの数のたし算ひき算

- STEP 160
- STEP 261
- STEP 362

第21回 2けたのたし算・くり上がりなし

- STEP 163
- STEP 264
- STEP 365

第22回 2けたのたし算・くり上がりあり

- STEP 166
- STEP 267
- STEP 368

第23回 2けたのひき算・くり下がりなし

- STEP 169
- STEP 270
- STEP 371

第24回 2けたのひき算・くり下がりあり

- STEP 172
- STEP 273
- STEP 374

だい かい 第1回 1～5までの STEP1 数字の集まり	がくしゅう び がつ にち 学習日 月 日
な まえ 名前	がく しゅう じ かん 学習時間 ぶん 分

POINT → ものの数を数字で表せることを知る

(1) タイルの数が同じものをれいにならって線で結ぼう。

<れい> □ □ ● ● □ □ □ □ □ □

① □ □ □ ● ● □ □ □ □ □ □

② □ □ □ □ ● ● □ □ □ □ □ □

③ □ □ □ □ □ ● ● □ □ □ □ □ □

(2) タイルの数と同じ数字をれいにならって線で結ぼう。

<れい> □ ● ● 2

① □ □ ● ● 1

② □ □ □ ● ● 5

③ □ □ □ □ ● ● 4

④ □ □ □ □ □ ● ● 3

(3) タイルの数を () の中に数字で書こう。

<れい> □ □ (2)

① □ □ □ □ ()

② □ ()

③ □ □ □ ()

④ □ □ □ □ □ ()

だい かい 第1回 1～5までの STEP2 数字の集まり	がくしゅう び がつ にち 学習日 月 日
な まえ 名前	がくしゅう じ かん 学習時間 ぶん 分

POINT → タイルを数字で表すことになれる

(1) タイルの数と日本語で表したものを線で結ぼう。

<れい> □ (1) ● ● に

① □□ (2) ● ● さん

② □□□ (3) ● ● いち

③ □□□□ (4) ● ● ご

④ □□□□□ (5) ● ● し

(2) タイルの数を下のことばからえらんで書こう。

いち に さん し ご

<れい> □□ (に)

① □□□□ ()

② □ ()

③ □□□ ()

④ □□□□□ ()

(3) () の中にタイルの数を数字で書こう。

<れい> □ (1)

① □□ ()

② □□□ ()

③ □□□□ ()

④ □□□□□ ()

だい かい 第1回 1～5までの STEP3 数字の集まり	がくしゅう び がつ にち 学習日 月 日
な まえ 名前	がくしゅう じ かん 学習時間 ぶん 分

POINT → タイルとことばと数字の関係を身につける

(1) () の中にタイルの数を書こう。

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()
- ⑤ ()

(2) 数字の数だけタイルを書こう。

- <れい> 3 ()
- ① 4 ()
 - ② 2 ()
 - ③ 5 ()
 - ④ 1 ()

(3) 日本語で、書かれた数を数字とタイルで表そう。

- <れい> いち [1] ()
- ① に [] ()
 - ② さん [] ()
 - ③ し [] ()
 - ④ ご [] ()

〈学習するみなさんへ〉

「いきることばの使い方」

このドリルは、〈漢字〉をおぼえるだけのドリルではありません。日本語としての〈漢字〉を、ことばとして使えるようになるためのものです。

ことばを学ぶもつとも基本的な身につけ方である読みながら『なぞる』手法を用いたドリルです。したがって、間違っているかないか、「答え合わせ」をする必要はありません。むしろ、ことばとしての〈漢字〉から、より広い意味や知識を得ることによって、漢字を愛し、漢字を使った文章が書きたくなることを、最大の目標としています。そのために、このドリルは、一つひとつの漢字の成り立ちや漢字のもつ意味を中心に、編集されています。〈漢字〉の形や使い方、成り立ちを、頭にえがきながら、学習して下さい。

【構成】

- 1 小学一年生で習う漢字八十字の一字ずつが、部首と成り立ちによって分類され、一文字二ページ構成になっています。
- 2 一ページ目は、その回の漢字を筆順を見て書く練習と漢字の形や意味となかまを学びます。
二ページ目は、その回の漢字のいろいろな使い方学びます。
- 3 原則として、大きい□には漢字、小さい□にはひらがなをなぞるように なっています。



もくじ

イメージからかんじをまなぼう
イメージからことばをまなぼう

目にうつるしぜん

42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	人のすがた	32	31	30	人がつくった風景	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	目にうつるしぜん
大	字	学	子	女	男	休	人	生	年		町	田	入		気	空	円	貝	犬	虫	竹	青	花	草	本	校	村	森	林	木	夕	月	白	早	日	金	土	石	雨	火	水	川	山	
83	81	79	77	75	73	71	69	67	65		63	61	59		57	55	53	51	49	47	45	43	41	39	37	35	33	31	29	27	25	23	21	19	17	15	13	11	9	7	5	3	1	
80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	数字のいろいろ	68	おおきさをあらわす	67	66	65	いちをあらわす	64	63	62	61	もののかたち	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43			
百	千	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一		小		中	下	上		糸	車	玉	王		音	耳	右	名	口	見	目	赤	立	正	出	先	足	左	力	手	文	天			
159	157	155	153	151	149	147	145	143	141	139	137		135		133	131	129		127	125	123	121		119	117	115	113	111	109	107	105	103	101	99	97	95	93	91	89	87	85			

学習日 がくしゅうひ

月 がつ

日 ひち

学習時間 がくしゅうじかん

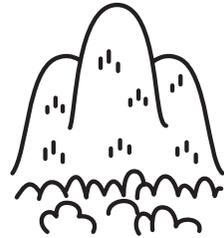
分 ぶん

1の1

イメージから
かんじをまなぼう
☆目にうつるしぜん☆



なまえ

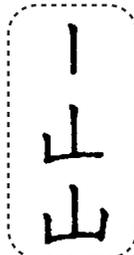


これは

や

ま

です。



とかきます。

山

や

ま

とよみます。

「山」のなかまをかんがえよう。

岩

い

いわ

わ

は山のように大きな石の事です。
おお いし

岩

いわ

山

やま

は

岩

だらけの山をいいます。

炭

昔は むかし

炭

で暖まったんだよ。
あたた

す

み

は山の木をむしやきにしたものです。
き

や

ま

か

じ

は山でおきる火事のこ
かじ

山

火

事

とです。木や草は炭や灰になり、逃げおくれた動
くさ すみ はい に どう

物も ぶつ

山

火

事

で焼かれて死んでし
や し

まいます。

1の2

イメージから
ことばをまなぼう



なまえ

どんなふうにつかうのかな。

山
も
り

畑はたけでは真まつ赤かなイチゴがいつぱい取とれました。

お皿さらの上うへには
や
ま
も
り

のイチゴがのっています。

登
山

山のぼを登のぼることを

と
ざ
ん

といいます。

冬ふゆの
登
山

は危き険けんがいつぱいです。

山
脈

山つづが続つづいているのを

さ
ん
み
や
く

といます。日本にほんではアルプス

山
脈

が有ゆう名めいです。

富
士
山

ふ
じ
さ
ん

は日本にっぽん一いち高たかい

山

です。

富
士
山

は外国がいこくでも姿すがたが美うつくしいので有ゆう名めいです。

「山のぼり」をイメージしよう。

さ
ん
ち
よ
う

をめざして、あせをふきふき

や
ま

み
ち

をのぼりました。

山
頂

山
道

学習日

月

日

学習時間

分

1の1

イメージから
漢字を学ぼう
☆自然のなかま☆

時

なまえ



と
き

を知らせる。

日 日 日 日 日 日

と書きます。

*「ひ」と「う」つりかわり」の意味からできています。

【部首】ひへん 画数 十画

【訓読み】

【音読み】

ジ

時
[]
[]
[]
[]
[]

「時」のなかまを考えよう。

キミたちが っていうのはいつごろかな。毎日の積

昔
み重ねが今日のキミを作っているんだよ。

日にちを十日ごとにひとまとめにして包んでいるんだよ。

上旬
一ヶ月を三つに分けて
中旬、下旬というんだ。

なんて読むのかな。線でむすぼう。

が生まれると春だ。

は、夏に実る。

秋は、
栗 拾いだ。

冬の
大 根 はおいしいよ。

Matching exercise with lines connecting words to their meanings.

1の2

イメージから
ことばを学ぼう

時

なまえ

「時」を使つかったいろいろなことばを考かんがえよう。

「明日あしたの用意よういをしてさっさと寝ねなさい。」怒おこられている子はだあれ？ なにを
見て明日あしたの用意よういをするのかな。

じ か ん わ り

時 間 割

おさるの赤あかちゃんはいつもお母かあさんにしがみついて少すこしもはなれないね。
ほんの少すこしの間あいだもはなれないことをななんていうのかな。

か た と き もはなれない

片 時 もはなれない

「お母いまさん、今何時いまなんじ？」「自分じぶんで見みなさい。」なにを見みれば分わかるかな。

と け い

時 計

暴風雨ぼうふううけい警報けいほうがでたときなどは、学校がっこうがお休やすみになるね。こんな予よ定てい外がいの休やす校がっこうをななんていうののだらう。

り ん じ き ゆ う こ う

臨 時 休 校

電話でんわの一七七番いちしちばんは天てん気き予よ報ほう、一七番いちしちばんはななにかな。「ピ・ピ・ピ・プー、午ご後ご三時さんじ二十七分ふん三十秒びようをお知しらせします」つつていうよ。

じ ほ う

時 報



1



成長お楽しみ1

もくじ



第1回	自己紹介①	3	第19回	住んでいる町を調べる③	21
第2回	自己紹介②	4	第20回	住んでいる町を調べる④	22
第3回	自己紹介③	5	第21回	住んでいる町を調べる⑤	23
第4回	自己紹介④	6	第22回	住んでいる町を調べる⑥	24
第5回	いま、いっしょに 住んでいる家族の紹介	7	第23回	住んでいる町を調べる⑦	25
第6回	わたしと家族	8	第24回	住んでいる町を調べる⑧	26
第7回	家の中にあるもの①	9	第25回	住んでいる町を調べる⑨	27
第8回	家の中にあるもの②	10	第26回	住んでいる町を調べる⑩	28
第9回	家の中にあるもの③	11	第27回	住んでいる町を調べる⑪	29
第10回	家の中にあるもの④	12	第28回	住んでいる町を調べる⑫	30
第11回	家の中にあるもの⑤	13	第29回	住んでいる町を調べる⑬	31
第12回	家の中にあるもの⑥	14	第30回	住んでいる町を調べる⑭	32
第13回	わたしの仕事①	15	第31回	住んでいる町を調べる⑮	33
第14回	わたしの仕事②	16	第32回	住んでいる町を調べる⑯	34
第15回	あいさつ①	17	第33回	住んでいる町を調べる⑰	35
第16回	あいさつ②	18	第34回	住んでいる町を調べる⑱	36
第17回	住んでいる町を調べる①	19	第35回	住んでいる町を調べる⑲	37
第18回	住んでいる町を調べる②	20			

第1回

自己紹介①

名前

学習日

月

日

学習時間

分

POINT 自己紹介

りん： はじめまして。
 わたしは、小柳 凛と
 います。
 「りん」とよんでね。



： こんにちは。

↑自分の似顔絵を書こう！

りん： わたしが生まれたのは、9月15日。
 もみじの紅葉が、とってもきれいな年
 だったんだって。いま、9さいだよ。

新しい言葉

・自己紹介
 はじめて会う人に自分の名前などを自分で伝えること。
 これからいろんな人から聞かれることもふえてくるので自分がほかの人とちがっているところなどを分かりやすく人たんに伝えられるようにしておこう。

・名字と名前
 日本人には家族全員が使っている名字がある。
 小柳凛の上の部分の「小柳」というのが名字。下の部分の「凛」を名前という。

・似顔絵
 「似」は「にていること」。「顔」がにている絵のことをいう。自分がかいた似顔絵はよくにているでしょう。

第2回

自己紹介②

学習日

月

日

名前

学習時間

分

POINT

生まれたところ

りん： わたしは、四国にある、高知県で生まれたのよ。ほら、地図の矢印を入れたところ。海がとってもきれいなものよ。

あなたの生まれたところは？ あなたの生まれたところを地図で教えて。



新しい言葉

・地図
一目で見ることのできない広い場所を表したのが地図。

・地方
日本地図を見てもよい。8つの地方に分けられる。
各地方ごとに別々に色をぬってみよう。

- ・北海道地方
- ・東北地方
- ・関東地方
- ・中部地方
- ・近畿地方
- ・中国地方
- ・四国地方
- ・九州地方

:

.....

.....

.....

.....

.....

第3回

自己紹介③

学習日

月

日

学習時間

分

名前

POINT 食事

りん： わたしが好きな食べものは、ハンバーグとコロッケだよ。ケチャップをかけて食べるのが大好き。あなたは？

Blank box for answer with a colon.

りん： わたしは、くだものも大好きよ。中でも、バナナとパイナップルが好き。ほかにパフェに入っているくだものもいいな。あなたはどんなくだものが好き？

Blank box for answer with a colon.

新しい言葉

・食事
生活の最も大切なものを衣食住という。衣は着るもの(服)、食は食べ物、住は住む場所。

・好きと嫌い
何でも好きという人は少ないと思う。でも食べることは嫌いという人はいないだろう。好きなものをあげて共通している点を考えてみよう。また、嫌いなのはなぜか、その理由を考えてみよう。

・収穫量の多いくだもの
ベスト5と主要生産県

・みかん
和歌山県・愛媛県

・りんご
青森県・長野県

・日本なし
千葉県・鳥取県

・かき
和歌山県・奈良県

・ぶどう
山梨県・長野県

▲自分の県でよくとれるくだものは何か調べてみよう。

第4回

自己紹介④

がくしゅうび
学習日

がつ
月

にち
日

なまえ
名前

がくしゅうじかん
学習時間

ぶん
分

POINT▶

趣味 (好きなこと)

りん： わたしには、好きなことがいろいろあるよ。たとえば、本を読むこと。いろいろな国の物語を読むわ。それから、お友達とおしゃべりをしたり、買い物に行ったりするのも好き。家では、よくクッキーを作るの。焼きあがったクッキーを、みんなで食べるのも大好きよ。

あなたは？

：好きなことを教えてあげるよ。

あたら こと ば 新しい言葉

ものがたり
・物語

つくられた話。あるいは実際にあったことを文に表したもの。

か
・買い物

お金と交換して、ほしいものを自分のものにする。

りょうり
・料理

食べものをつくること。食べものに必要なものは肉とか魚、野菜などの素材と、おいしいものを食べてほしいと、「こころ」をこめることが大切。

第5回

いま、いっしょに
す かぞく しょうかい
住んでいる家族の紹介

がく しゅう び がつ にち
学習日 月 日

な まえ
名前

がく しゅう じ かん
学習時間

ぶん
分



じ ぶん かぞく しょうかい
自分の家族を紹介しよう

りん： わたしの家族を紹介するね。
まず、おじいちゃん、68才。ゲートボ
ールの名人よ。
お父さん、40才。会社におつとめ。お
母さん、35才。花を育てるのがじょうず
なの。
弟のけんた、4才。幼稚園に通ってい
るわ。それからわたし。5人家族だよ。

： わたしの家族を紹介するね。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

あたらしいことば
新しい言葉

- ・ 家族
ふう ふ おや こ きょうだい あつ
夫婦や親子・兄弟の集まり
のことをいう。
- ・ 祖父
おじいちゃん…父または
母の父。
- ・ 祖母
おばあちゃん…父または
母の母。
- ・ 父
おとこ おや
男親。
- ・ 母
おんな おや
女親。
- ・ 兄
おな おや う とうしやう
同じ親から生まれた年上
の男。
- ・ 姉
おな おや う とうしやう
同じ親から生まれた年上
の女。
- ・ 弟
おな おや う とうした
同じ親から生まれた年下
の男。
- ・ 妹
おな おや う とうした
同じ親から生まれた年下
の女。



問いに対する例

各回の問いに対する例です。解答ではありません。学習者の経験を言葉にして表現することが「いきる教養」の学習目的のひとつです。例はまさきという男子が答えています。まさきの知識・表現例を参考に比較してください。

第1回 自己紹介① (3ページ)

まさき：こんにちは。ぼくは、高田雅樹たかだまさきといま
す。「マッキー」とよんでね。

まさき：ぼくが生まれたのは、8月10日。その日にち
ょうど台風たいふうがやってきて、たいへんだっらしい
よ。いま、9才さいなんだ。

第2回 自己紹介② (4ページ)

まさき：ぼくは、長野県ながのけんで生まれたんだ。地図の矢
印じしんのところだよ。海うみには面めんしていないけれど、たく
さんの県あととなり合わせなつになっているよ。夏なつでもす
ずしくて、そばあがおいしいんだ。

第3回 自己紹介③ (5ページ)

まさき：ぼくが好きなのは焼いた魚さかな。特にサケが好
きだよ。ごはんといっしょいに食べると、何なんばいでも
ごはんをおかわりするよ。

まさき：ぼくはリンゴりんごが大好きだ。お母さんかあがとき
どき、ウサギの形かたちをしたリンゴをお弁当べんとうに入れてく
れるよ。

第4回 自己紹介④ (6ページ)

まさき：好きなことを教えてあげるよ。ぼくは絵え
かくのが好きなんだ。マンガのキャラクターを見て
かいたりしている。でもいちばん好きなのは恐竜きょうりゅう
の絵えをかくこと。はくりよくのある恐竜の絵えがかけた
ら、すごうれしくて、「ガオー」とさけんでしま
うんだ。

第5回 いま、いっしょに住んでいる家族の紹介 (7ページ)

まさき：ぼくの家族かぞくを紹介するね。おばあちゃんおばあ
は70才さいなんだ。さいほうが得意とくいだよ。お父さんとうは41才
で、スーパーマーケットの店長てんちやうなんだ。お母さんかあは
37才で、料理りやうりがとてもしょうずだよ。お姉ちゃんねえ
のゆみちゃんは小学6年生しょうがくねんせいで、バレーボールの選手せんしゅをし
ている。ぼくの家族ななかはみんな仲ながいいよ。

第6回 わたしと家族 (8ページ)

まさき：ぼくは家で、ネコのえさやりと花はなに水みずをあ
げるおてつだいをしている。ネコの名前なまえはビビとい
って、おなかがすいたら、ぼくにすりよってくるん

だ。とてもかわいいでしょ。花はなは何も言いわないけ
ど、ぼくが水をあげると元氣げんきになったような気がす
るんだ。きつとのどのどがかわいているんだね。

第7回 家の中にあるもの① (9ページ)

まさき：ぼくの部屋へやには、つくえといすとベッドが
あるよ。かべには、好きなキャラクターのポスター
をはっているんだ。

まさき：ぼくもつくえで勉強べんきやうするよ。お母さんかあに、
「もっとせなかをのぼして勉強べんきやうしなさい」とよく注
意ちゆういされる。

第8回 家の中にあるもの② (10ページ)

まさき：ぼくの家いえの居間いまにもテレビがあるよ。ほか
には、みんなですわることのできる大きなソファおおーがあるんだ。おばあちゃんおばあは、座椅子ざいすにすわるけどね。

まさき：学校がっこうから帰かえると、居間いまでテレビゲームをし
て遊ぶことがあるよ。でも、ゲームをするのは一時
間かんまでと決められているんだ。

第9回 家の中にあるもの③ (11ページ)

まさき：ダイニングルームはごはんを食べるところ
だから、テーブルといすが置おいている。テーブル
は、アメリカでつくられたもので、とても大きいよ。

まさき：お父さんとうは、仕事しごとで帰かえりがおそいから、あ
とで食べるんだ。ぼくは、お母さんかあ、おばあちゃんおばあ
、お姉ちゃんねえと4人にんで午後6時30分ごごじごふんごろに食べるよ。

第10回 家の中にあるもの④ (12ページ)

まさき：ぼくの家いえの台所だいどころには、フライパンやなべが
たくさんあるよ。台所だいどころからおいしそうなおいがし
てくると、ぼくはおなかがグーとなるんだ。

まさき：お母さんかあの料理りやうりは最高さいこうだよ。特にハンバー
グ。ああ、考えただけで、またおなかがグーとなっ
てしまった。

第11回 家の中にあるもの⑤ (13ページ)

まさき：ぼくの部屋には、夏にせんぷうきを置くよ。スイッチを入れると、すずしい風がふいてきて、とっても気持ちがいいんだ。

まさき：電気で動く炊飯ジャーがあるよ。ごはんがたける時に白いけむりをふき出すので、おもしろいんだ。

第12回 家の中にあるもの⑥ (14ページ)

まさき：ぼくの家冷蔵庫には、タマネギが入っているよ。カレーライスやハンバーグをつくる時に必要な野菜なんで、ぼくは大好きだよ。

まさき：冷蔵庫に入れていないと、食べ物はすぐにくさっちゃうよ。だから、冷蔵庫は食べ物を守っているんだね。

第13回 わたしの仕事① (15ページ)

まさき：ぼくは時々、おふろのそうじをてつだよ。浴そうがピカピカになるまでみがくんだ。力がある仕事だけど、いっしょうけんめいやっているよ。

まさき：ピカピカのおふろに入るのはとても気持ちがいいよ。いつもより長い時間はいるので、体がぼかぼかになるんだ。

第14回 わたしの仕事② (16ページ)

まさき：ぼくは食事の時、みんなのおはしを持っていくてつだいをするんだ。はしの長さや色はそれぞれちがうよ。

まさき：ぼくの家では、食器洗い機で食器を洗うんだ。洗い終わったあとの食器を戸だなにもどすてつだいをすることがあるよ。

第15回 あいさつ① (17ページ)

まさき：ぼくの家では、外から帰ってきた時、みんな、大きな声で「ただいま」と言うんだ。すると、家の中からだれかが、「おかえりなさい」と返事をする。その声を聞くと、ほっとするよ。

第16回 あいさつ② (18ページ)

まさき：近所の人に会うと、ぼくは必ず「こんにちは」と大きな声であいさつをするよ。すると、みんな、大きな声で「こんにちは」と言ってくれる。その後、よく「あいさつができてえらいね」とほめられるんだ。ほめてもらえると、とてもうれしいよ。

第17回 住んでいる町を調べる① (19ページ)

まさき：ぼくの家は、長野県岡谷市中央町3丁目なんだ。

まさき：ぼくの家には、JRの岡谷駅があるよ。駅の近くにはいくつかホテルがあるんだ。

第18回 住んでいる町を調べる② (20ページ)

まさき：ぼくはよく近所の公園へ遊びに行くよ。その公園にはロボットの形をしたすべり台があるので、ロボット公園とよばれているんだ。

まさき：ぼくの住む岡谷市には諏訪湖という湖があるんだ。諏訪湖の近くには遊園地があるので、家族でよくそこへ出かけるんだ。

第19回 住んでいる町を調べる③ (21ページ)

まさき：ぼくの住む岡谷市の市花はツツジなんだ。春には、鶴峯公園という公園で、きれいなツツジがさくんだ。ゴールデンウィークによく家族で見に行くよ。

まさき：ぼくの学校ではトウモロコシをつくっているんだ。そのトウモロコシをみんなで食べて、とてもおいしかったよ。

第20回 住んでいる町を調べる④ (22ページ)

まさき：ぼくの町にもハトがいるよ。諏訪湖には、カモやハクチョウなどの水鳥がいっぱいいるんだ。オオワシを見たときはびっくりしたよ。

まさき：ぼくはビビという名前のネコを飼っているよ。ビビは一日の半分以上は寝ているんだ。

第21回 住んでいる町を調べる⑤ (23ページ)

まさき：花だんのなかにミツバチがいた。ミツバチは黄色い花にとまって、みつをすっていたよ。

まさき：ぼくはスズムシを飼ったことあるよ。暗い場所に置いていたら、リンリンリンときれいな声で鳴いていたんだ。スズムシはナスが好きで、よく食べていたよ。

第22回 住んでいる町を調べる⑥ (24ページ)

まさき：ぼくは、レタスが好きなんだ。だから、よくお母さんに買ってもらうんだ。レタスにマヨネーズをかけて食べたらとてもおいしいよ。

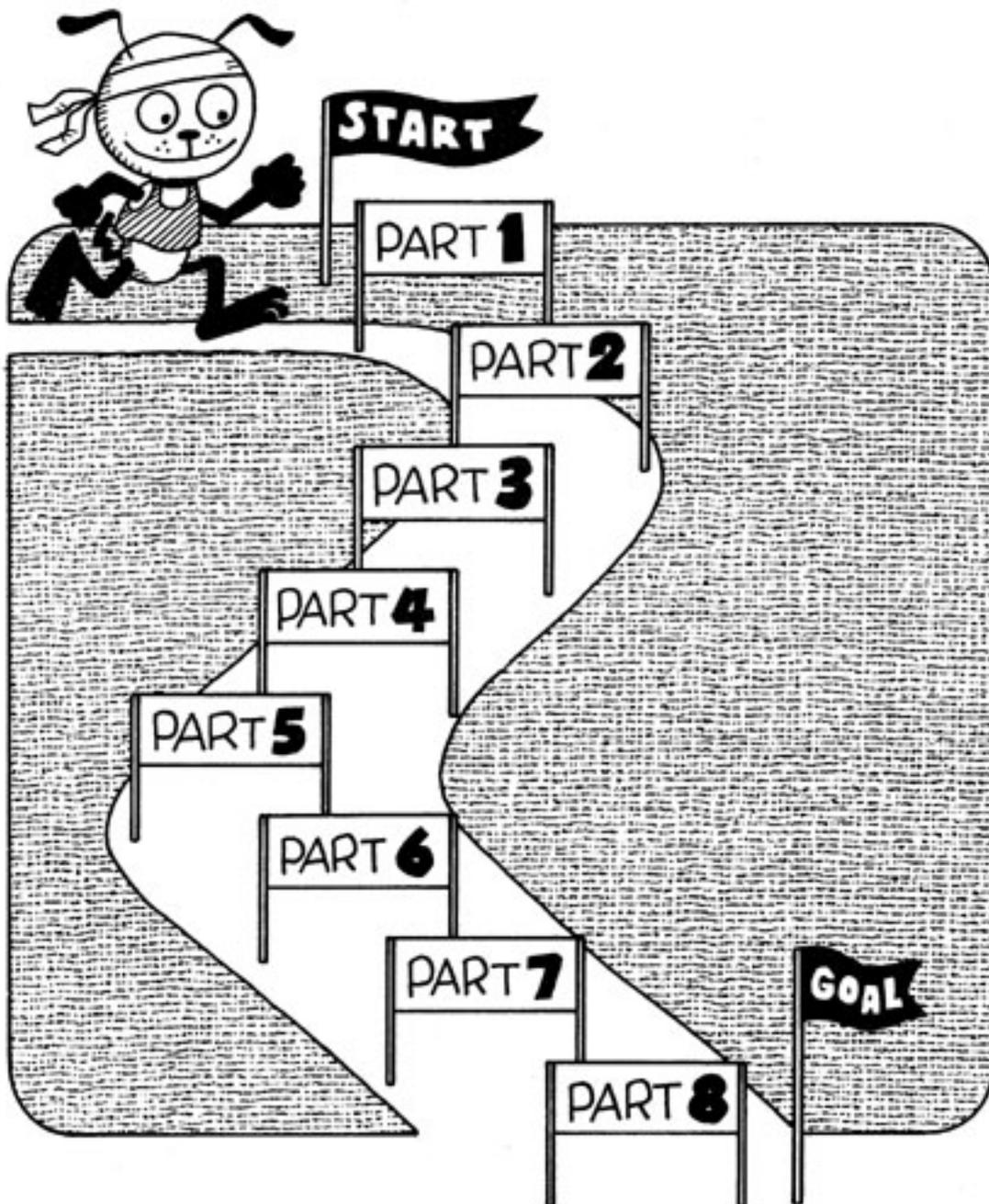
まさき：ぼくはポテトチップスを買うよ。うすしお味のポテトチップスがとても大好きなんだ。ポテトチップスの油で手がぬるぬるになったら、お母さんにおこられるから注意しなくちゃ。

第23回 住んでいる町を調べる⑦ (25ページ)

まさき：ぼくは絵をかくのが好きだから、色えんぴつを買いたいな。今は12色しか持っていないから、24色の色えんぴつがほしいな。

JUNIOR WORK NOTE

1



ACTIVITY 1

PART
1



red



yellow



green



blue



white



pink



orange



black



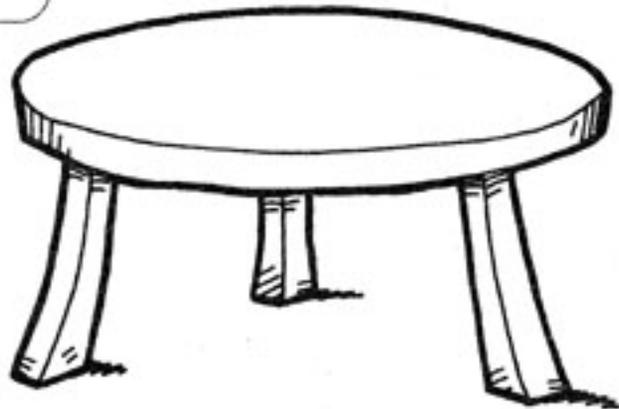
brown



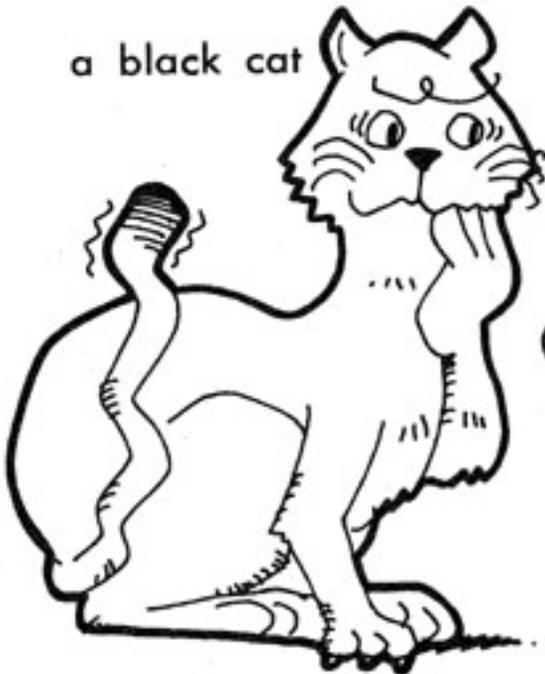
a red apple



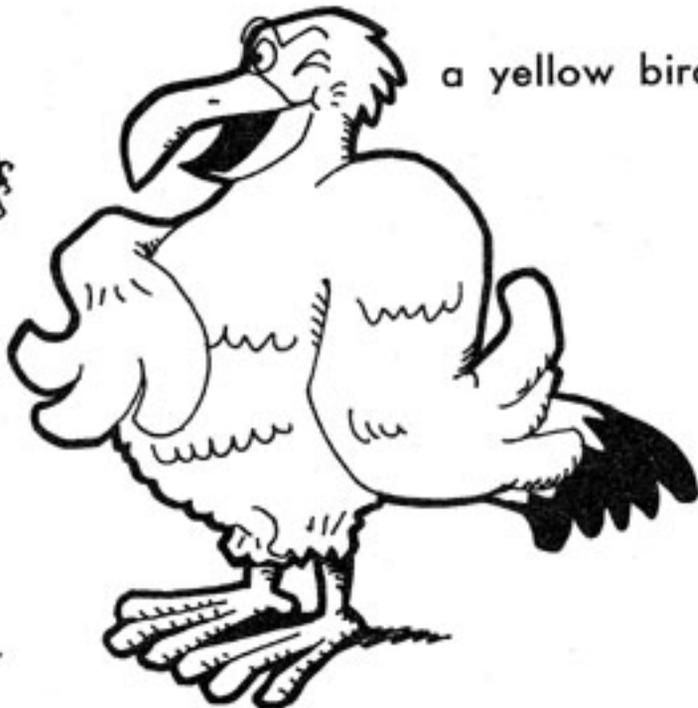
a brown table



a black cat



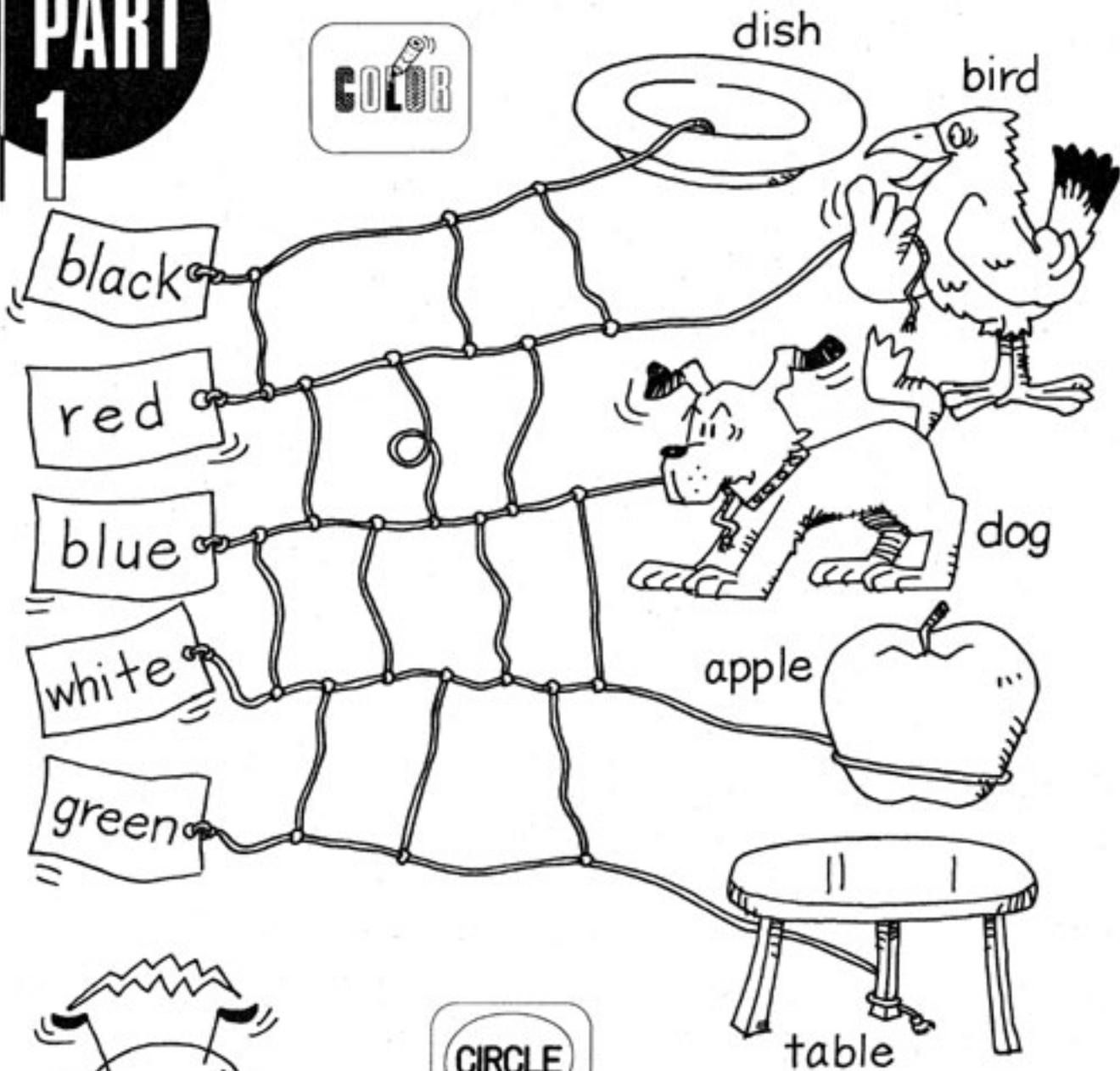
a yellow bird



ACTIVITY 2

PART

1



The dog is (blue, **black**, yellow).

The table is (white, green, orange).

The apple is (yellow, black, red).

The bird is (black, white, green).

The dish is (white, blue, yellow).

PART

1

ABCDEFGHIJKLMNOPQRST

UVWXYZA __ CD __ FGH I __

LMN __ PQRS __ UVWXY __ AB __ DE __

__ HIJK __ M __ OPQ __ ST __ V __ XY

Z __ BC __ EFG __ IJKL __ __ OPQR __

TUV __ X __ Z AB __ D __ FGH __ JK __ M

NO __ __ RSTU __ W __ YZA __ __ DEF

__ HI __ KL __ NO __ QR __ __ UVW __

YZ __ BCDE __ G __ IJK __ M

N __ PQRST __ __ WX __ __

ABC __ __ FGH __ J __ LM

NOP __ __ S __ UV __ XY __

ABCDE __ __ HI __ K __

__ NO __ Q __ STU __ __

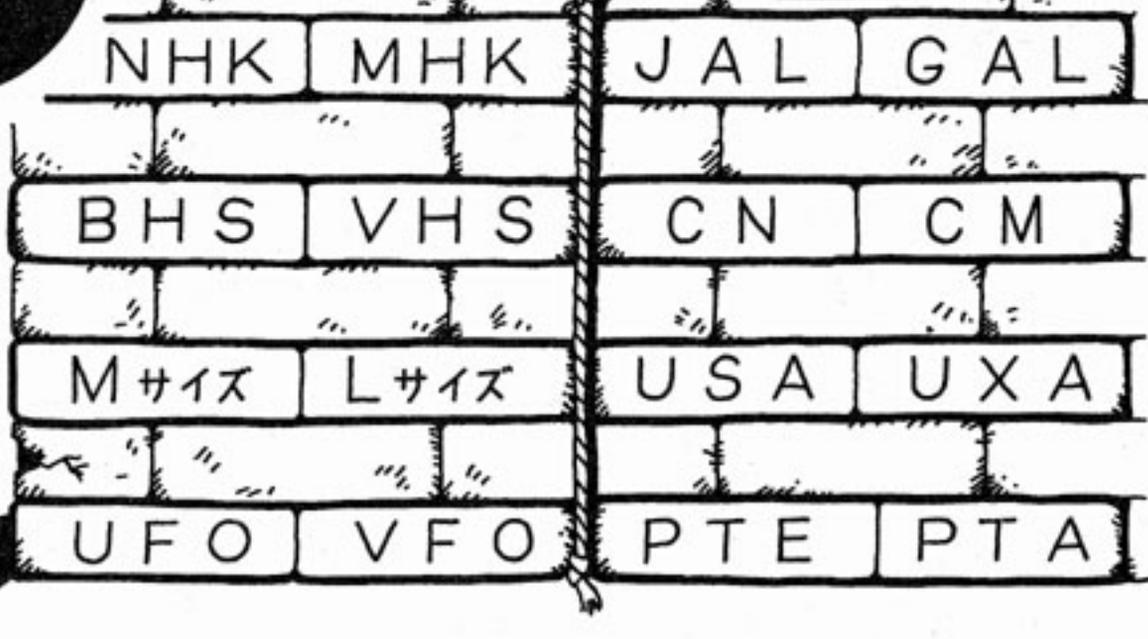
X __ Z



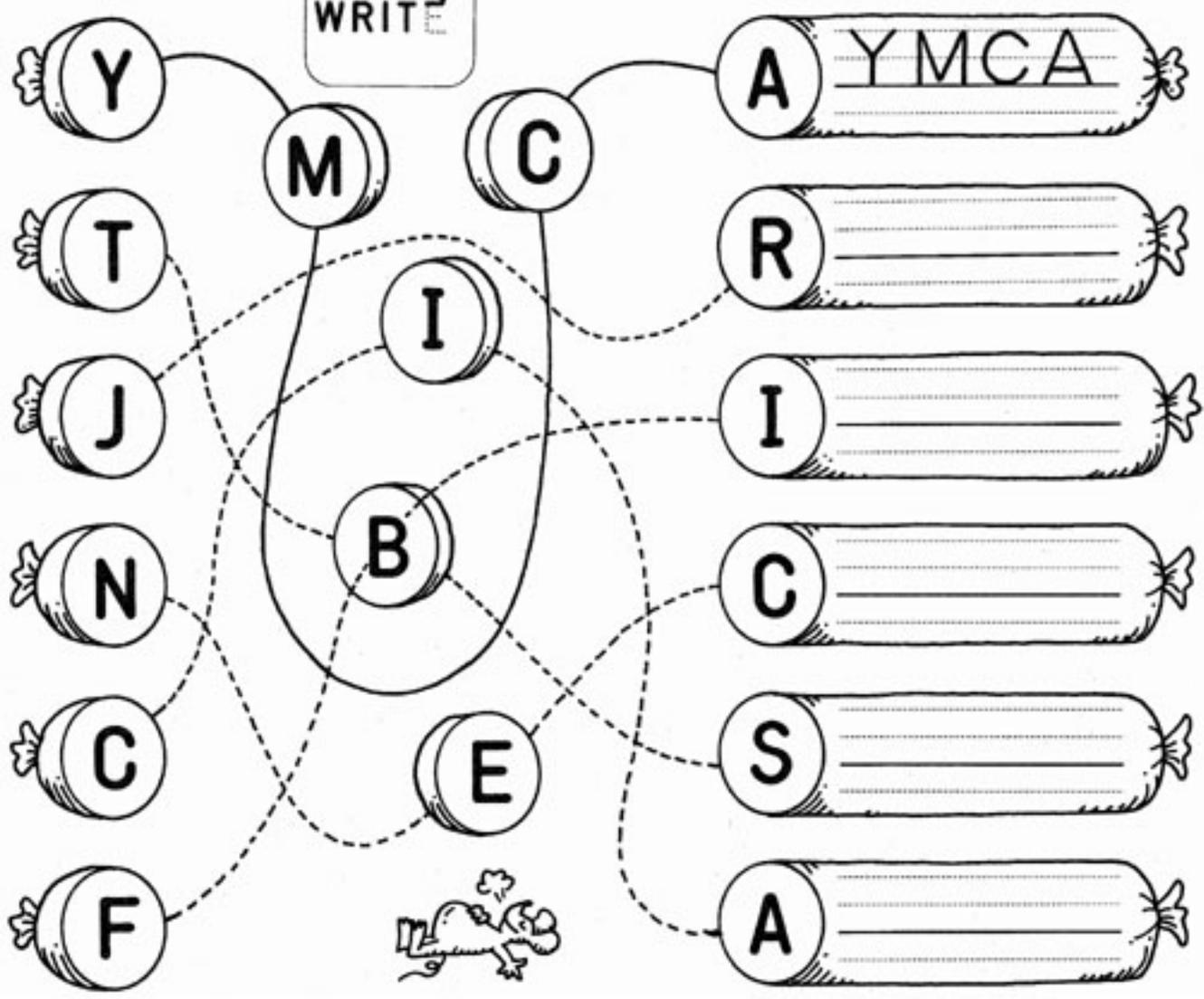
PART

1

CIRCLE



WRITE



WRITE & READ 1

PART
1

① 次の絵を見て、「ひとつの～」という英語と日本語をかきなさい。



dog

a dog

1匹きの犬



pen

()のペン

cake



()のケーキ



girl

()の少女

② 次のパズルを見て 線部に英語をかきなさい。



a ball



a lion



a car



a bag

This is a car.

これは車です。

This is

これはライオンです。

This is

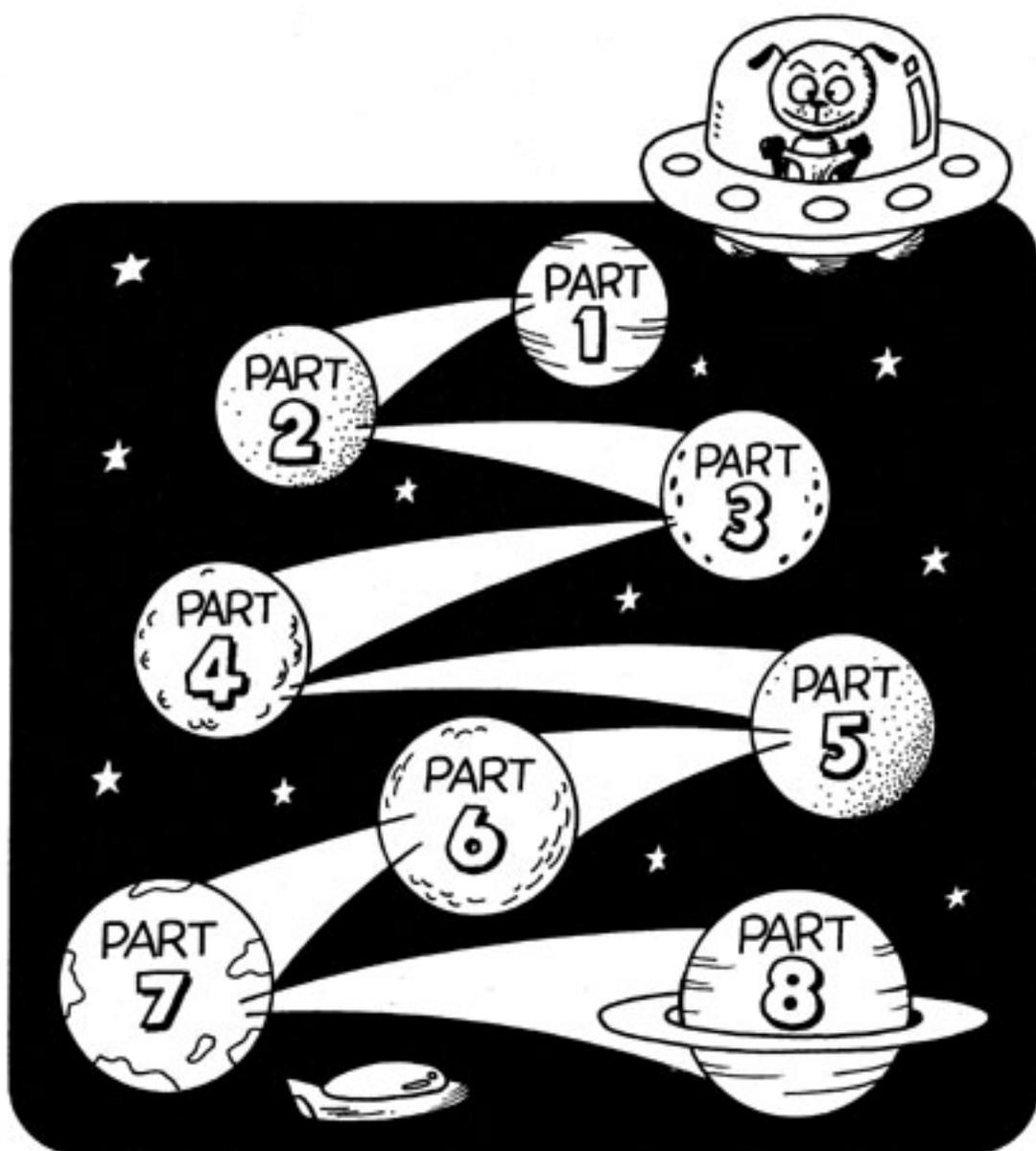
これはボールです。

This is

これはかばんです。

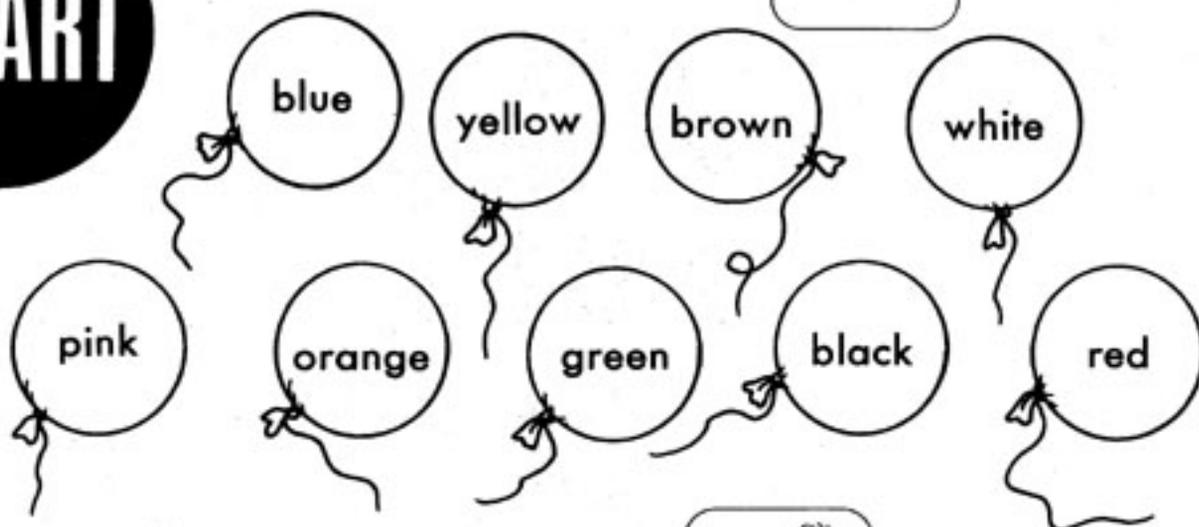
JUNIOR WORK NOTE

2

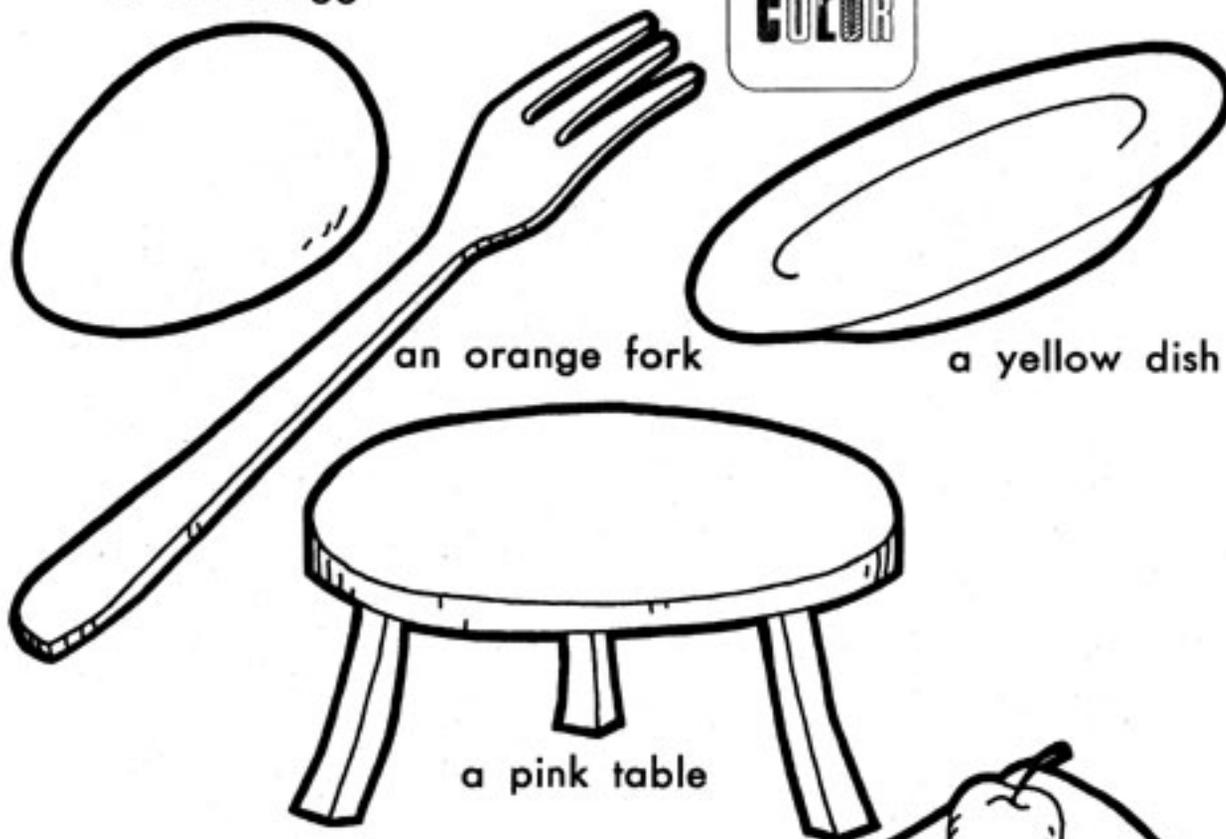


ACTIVITY 1

PART
1



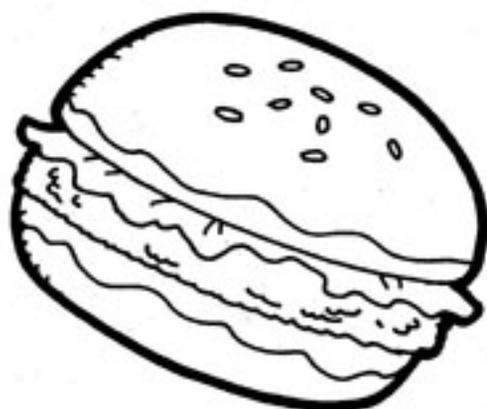
a white egg



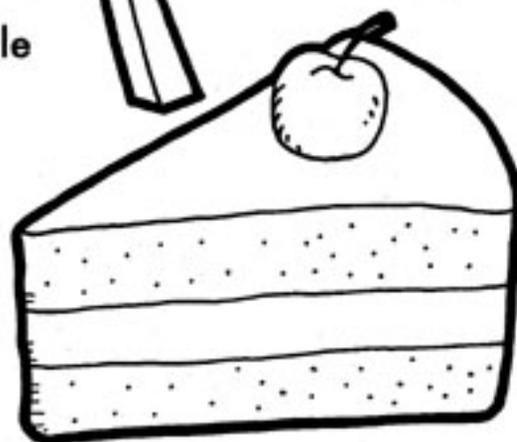
an orange fork

a yellow dish

a pink table



a green hamburger



a blue cake

ACTIVITY 2

PART

1

Q&A



Is the fork pink?

Yes, **No**

Is the hamburger green?

Yes, No

Is the egg white?

Yes, No

Is the table black?

Yes, No

Is the cake blue?

Yes, No

Is the dish orange?

Yes, No



Q&A



What color is the egg?

(black, **white**, yellow)

What color is the cake?

(green, pink, blue)

What color is the fork?

(red, yellow, orange)

What color is the table?

(pink, black, white)

What color is the hamburger?

(blue, green, orange)

What color is the dish?

(yellow, black, red)



PART

1



WRITE



- ① _____
- ② _____
- ③ _____
- ④ _____
- ⑤ _____
- ⑥ _____
- ⑦ _____
- ⑧ _____



PART

1

WRITE

&

DRAW

BALL

WATER

RACKET



CAMERA

HOUSE

SHIRT

BREAD

① atwre

② derab

③ albl

④ reacma

⑤ shoeu

⑥ tareck

⑦ hirst

PART

1

① () 内の正しい日本語を でかこみなさい。

I am a teacher.

(わたしは、あなたは) 先生です。

- ① You are Mike. (わたしは、あなたは) マイクです。
 ② I am your student. (わたしは、あなたは) あなたの生徒です。
 ③ I am a doctor. (わたしは、あなたは) 医者です。
 ④ You are a pilot. (わたしは、あなたは) パイロットです。

② () 内の正しい英語を でかこみなさい。

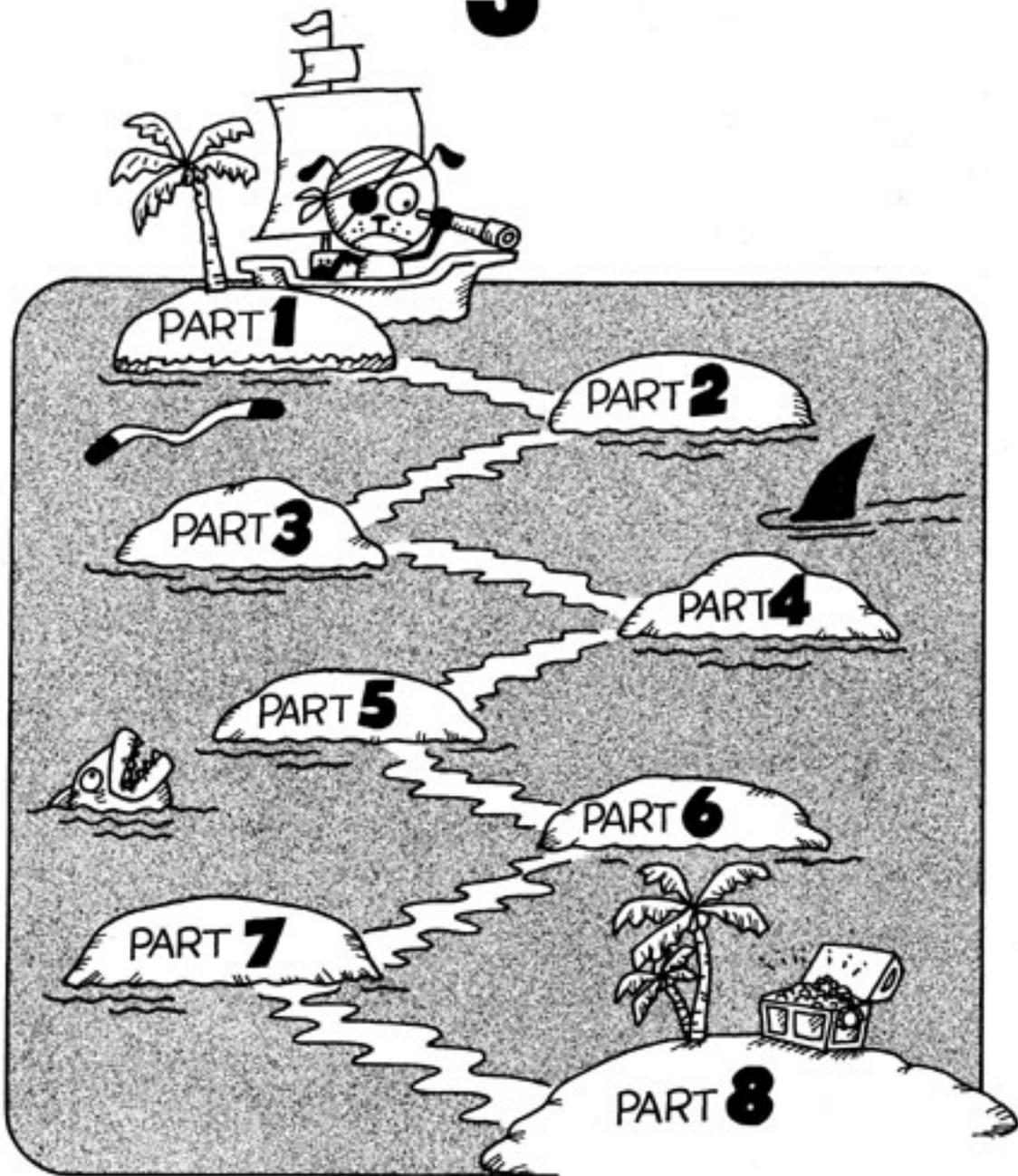
- ① (I, You) are Noriko. あなたはノリコです。
 ② (I, You) am a singer. わたしは歌手です。
 ③ (I, You) am your teacher. わたしはあなたの先生です。
 ④ (I, You) are Lucy's father. あなたはルーシーのお父さんです。
 ⑤ (I, You) are my doctor. あなたはわたしの医者です。

③ () 内の正しい英語を でかこみなさい。

- ① I (am, are) a pianist. わたしはピアニストです。
 ② You (am, are) my teacher. あなたはわたしの先生です。
 ③ You (am, are) Ken's friend. あなたはケンの友だちです。
 ④ I (am, are) your doctor. わたしはあなたの医者です。
 ⑤ You (am, are) a student. あなたは生徒です。

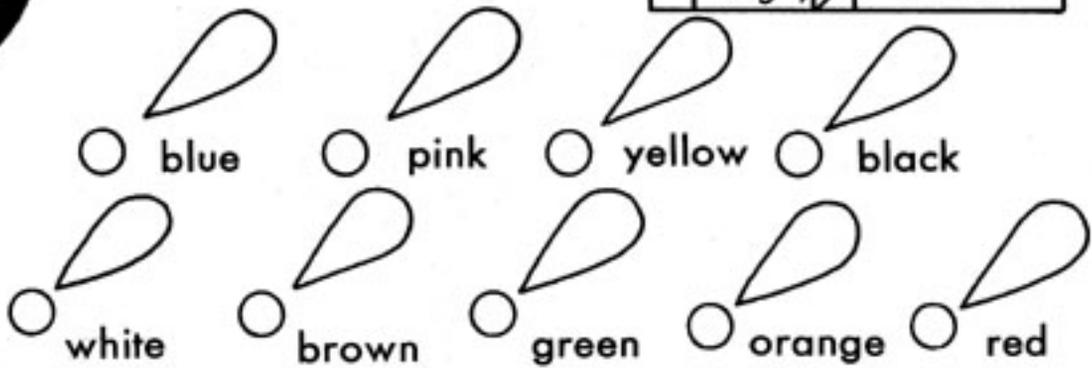
JUNIOR WORK NOTE

3



ACTIVITY 1

PART
1



a new yellow bike



a big blue bed



a little orange cup



an old black piano

ACTIVITY 2

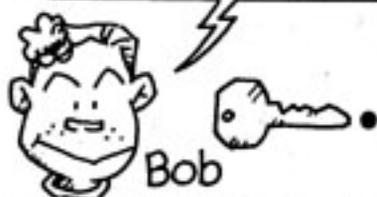
PART

1

CONNECT



My bike is big.



Bob

My piano is new.



Noriko

My bed is old.

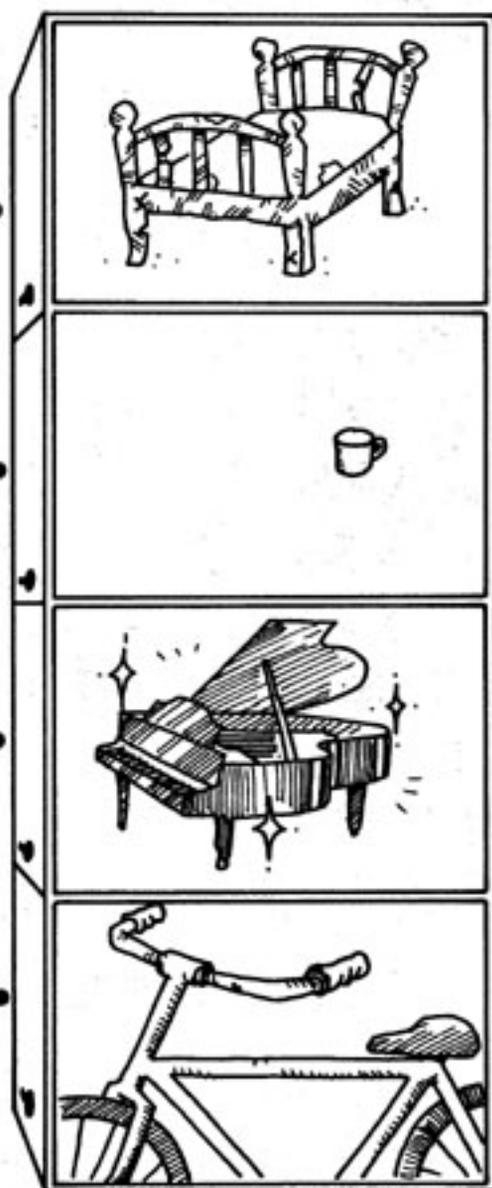


Ken

My cup is little.



Rose



Q&A



Is Noriko's piano old? _____

Is Bob's bike big? _____

Is Ken's bed old? _____

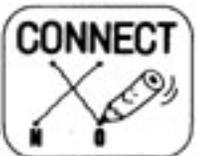
Is Rose's cup little? _____

PART

1



A K I U m Q E Y B F
 f q e y t h d I r m
 G Q J T B H A h N E
 b J f a n I U d g e
 B D N n R L H A Y J
 e f t g I y b T d n



rab t rabbit

g ar _____

bi _____

a le _____

c ir _____

GUITAR

APPLE

CHAIR

RABBIT

BIKE

PART
1

WRITE



doair

Handwriting practice lines for the word 'doair'.



sgasl

Handwriting practice lines for the word 'sgasl'.



sihd

Handwriting practice lines for the word 'sihd'.



fgor

Handwriting practice lines for the word 'fgor'.

WRITE

(DISH, FROG, RADIO, GLASS)

Four rows of double-sided bus-shaped writing templates for practicing the words.

WRITE & READ 1

PART

1

① □の中に・(ピリオド)か?(クエスチョンマーク)を入れ、
 _____線部に疑問文なら○、否定文なら×をつけなさい。

(例) Are you Emi's friend? □ _____ ○ _____

- ① Are you a teacher □ _____
- ② Is that an elephant □ _____
- ③ I am not a doctor □ _____
- ④ Is this Ken's watch □ _____
- ⑤ You are not Kumiko □ _____

② 英文に合うように、_____線部に正しい日本語をかき入れなさい。

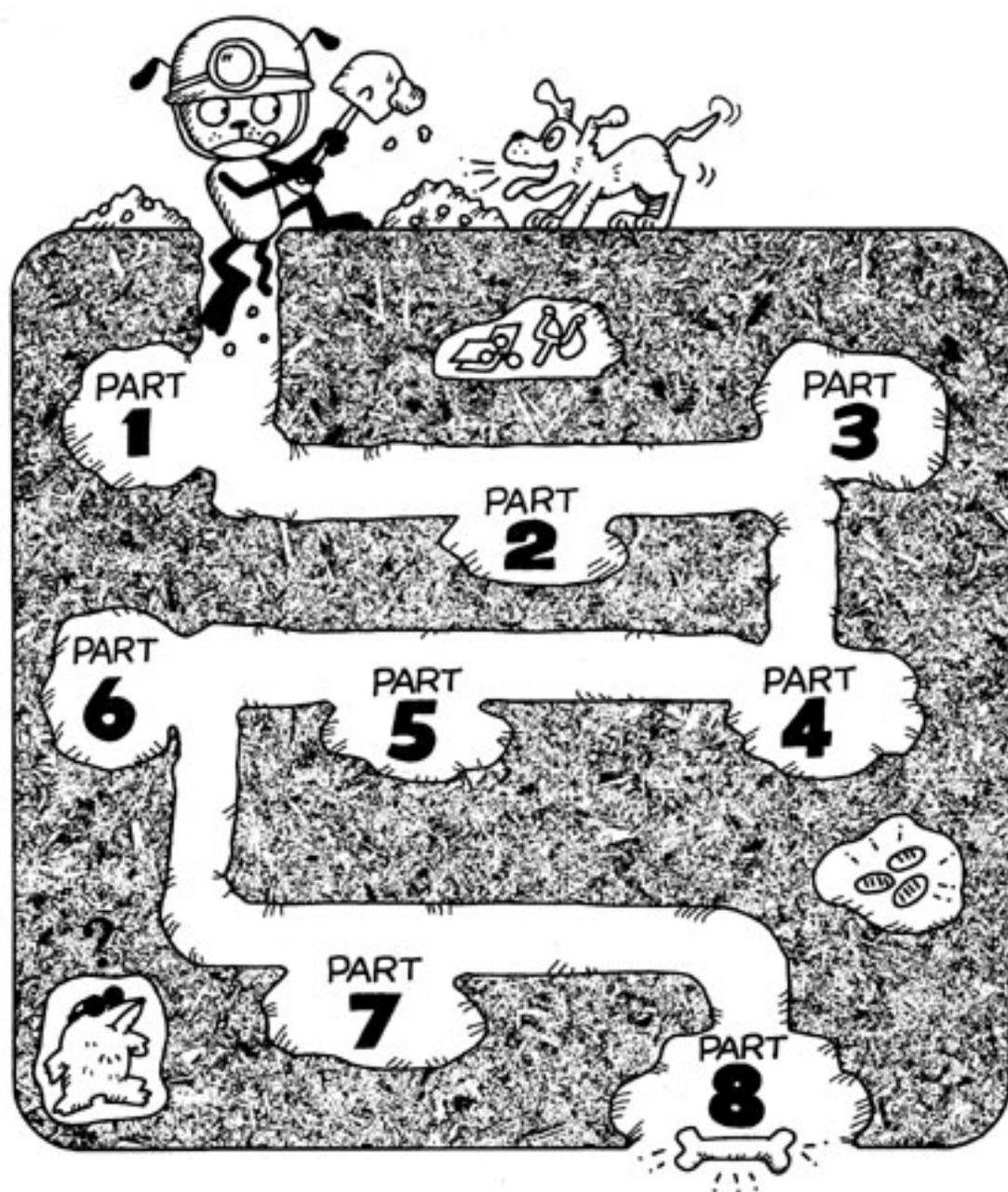
- ① This is not my table. これはわたしのテーブル_____。
- ② Are you a singer? あなたは歌手_____。
- ③ Is this your rabbit? これはあなたのうさぎ_____。
- ④ I am Yoko's friend. わたしはヨーコの友だち_____。
- ⑤ Are you Emi's doctor? あなたはエミの医者_____。

③ 次の文を疑問文にしなさい。

- (例) That is a book. Is that a book?
- ① This is your watch. _____
 - ② You are a doctor. _____
 - ③ That is your uncle. _____
 - ④ You are Taro's friend. _____
 - ⑤ This is an elephant. _____

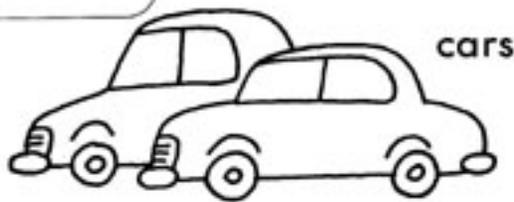
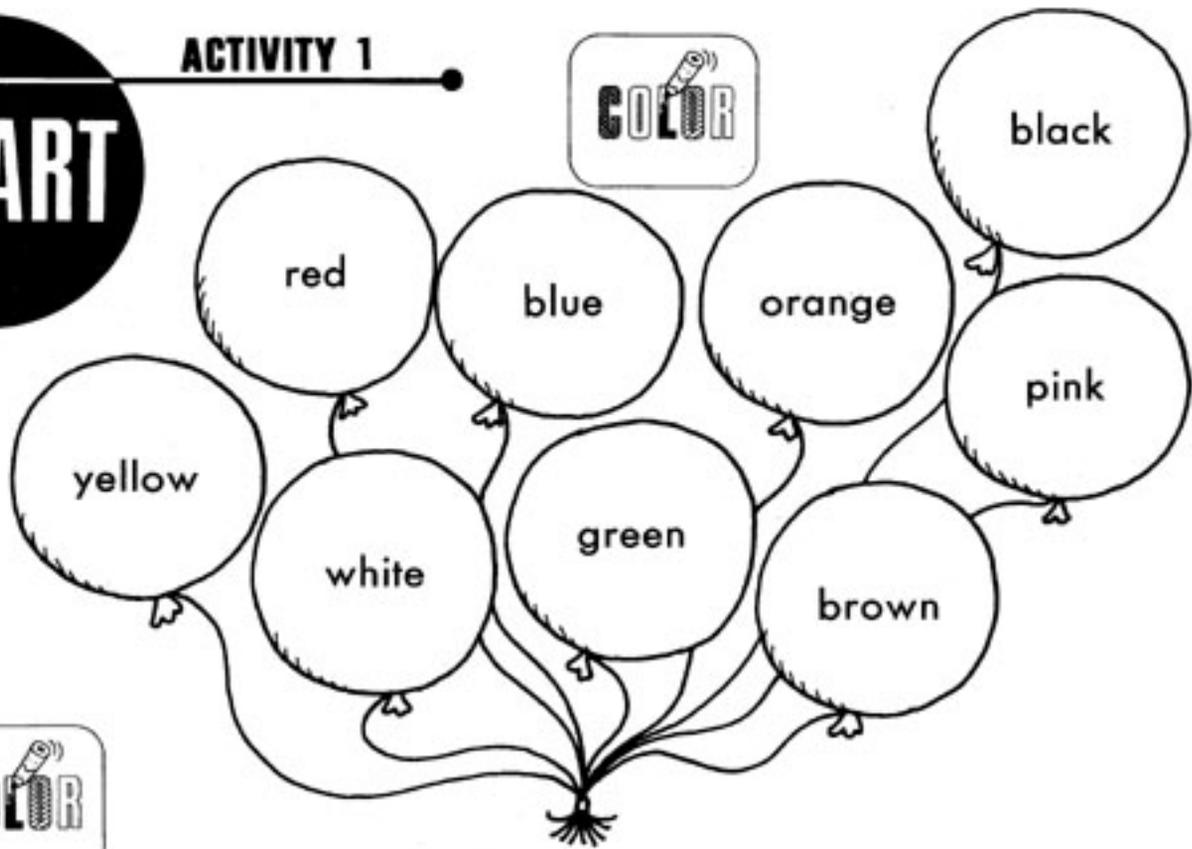
JUNIOR WORK NOTE

4



ACTIVITY 1

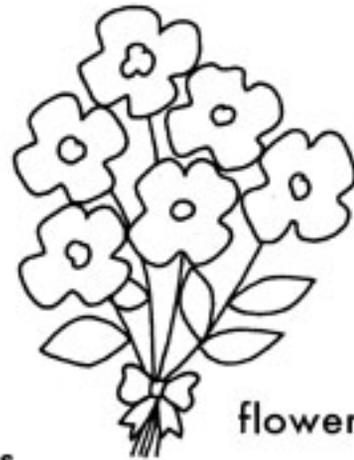
PART 1



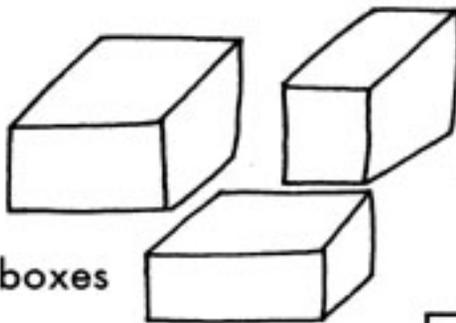
cars



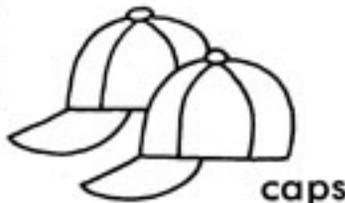
eggs



flowers



boxes



caps

I have brown cars.

I have	blue	boxes.
I have	yellow	eggs.
I have	green	flowers.
I have	red	caps.

ACTIVITY 2

Q&A

PART

1



How many cars?

three

How many caps?

How many boxes?

How many flowers?

How many eggs?

one

two

three

four

five

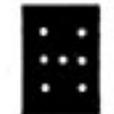
six

seven

eight

nine

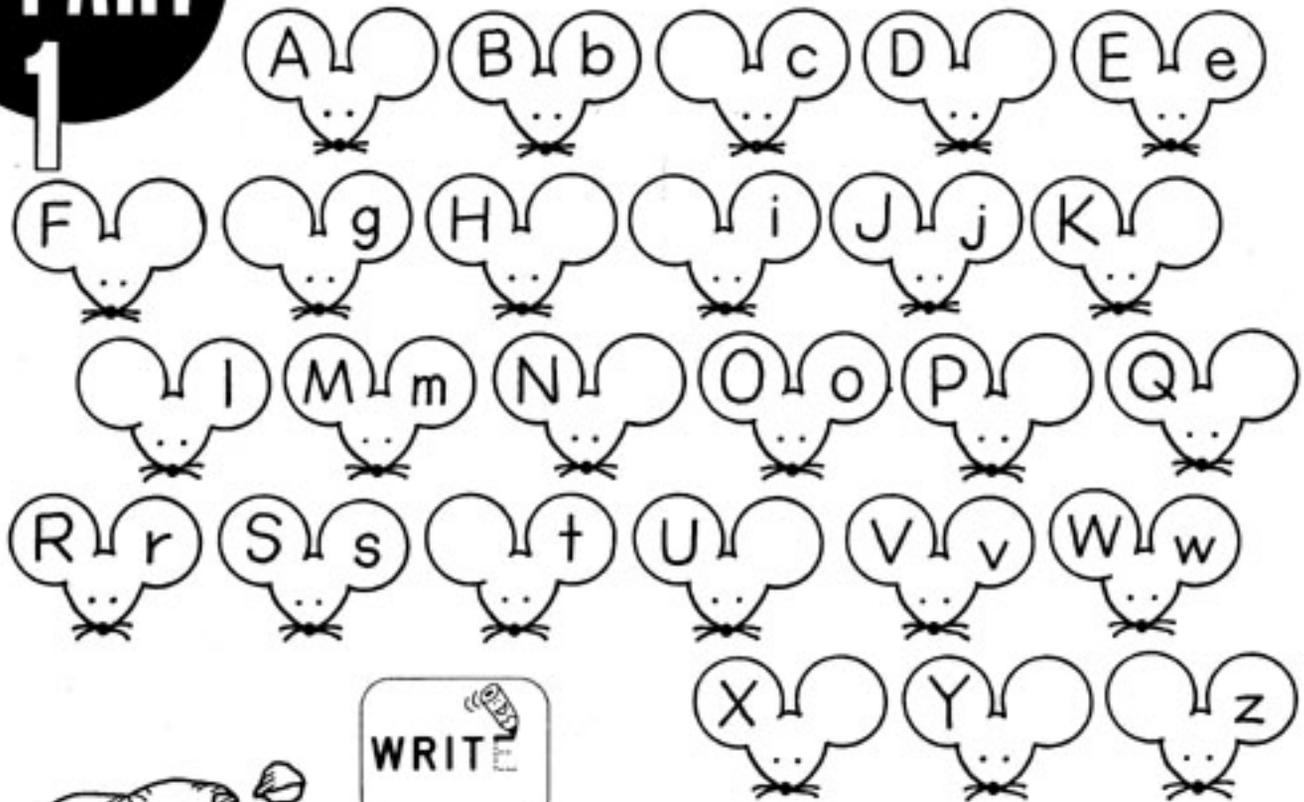
ten



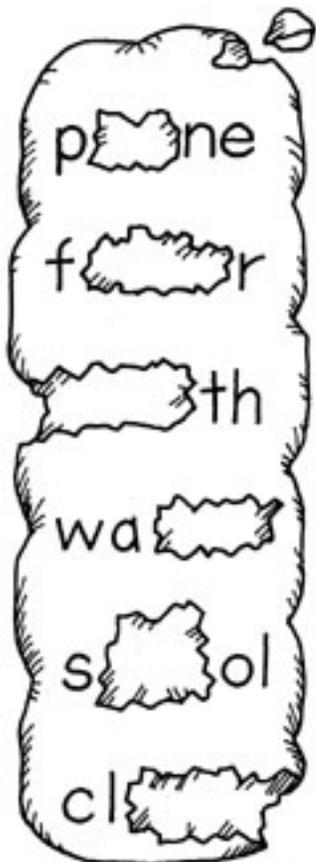
WRITE

PART

1



WRITE



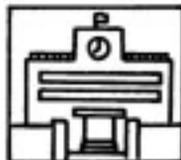
Handwriting practice lines consisting of a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line. There are six sets of these lines, each corresponding to a word on the paper strip.



MOUTH



PLANE



SCHOOL



FLOWER



WATER



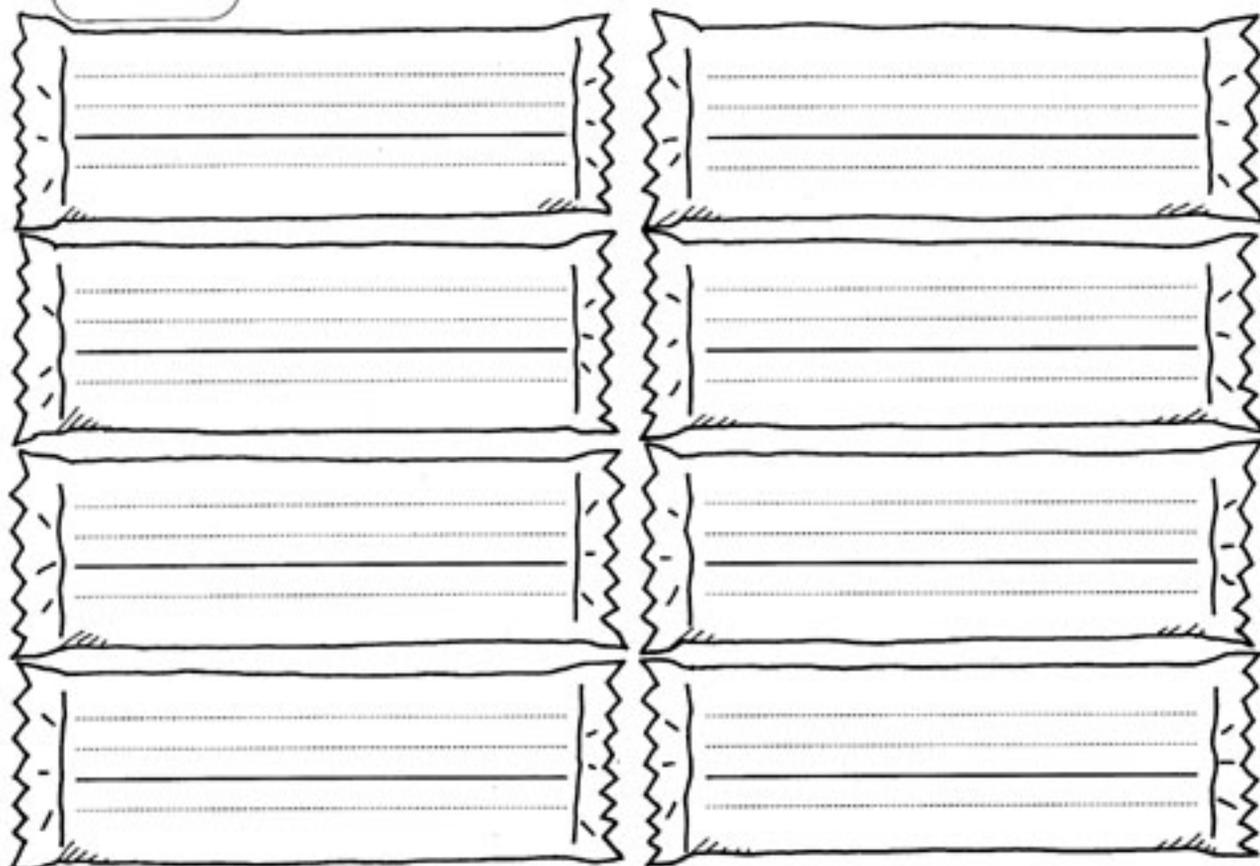
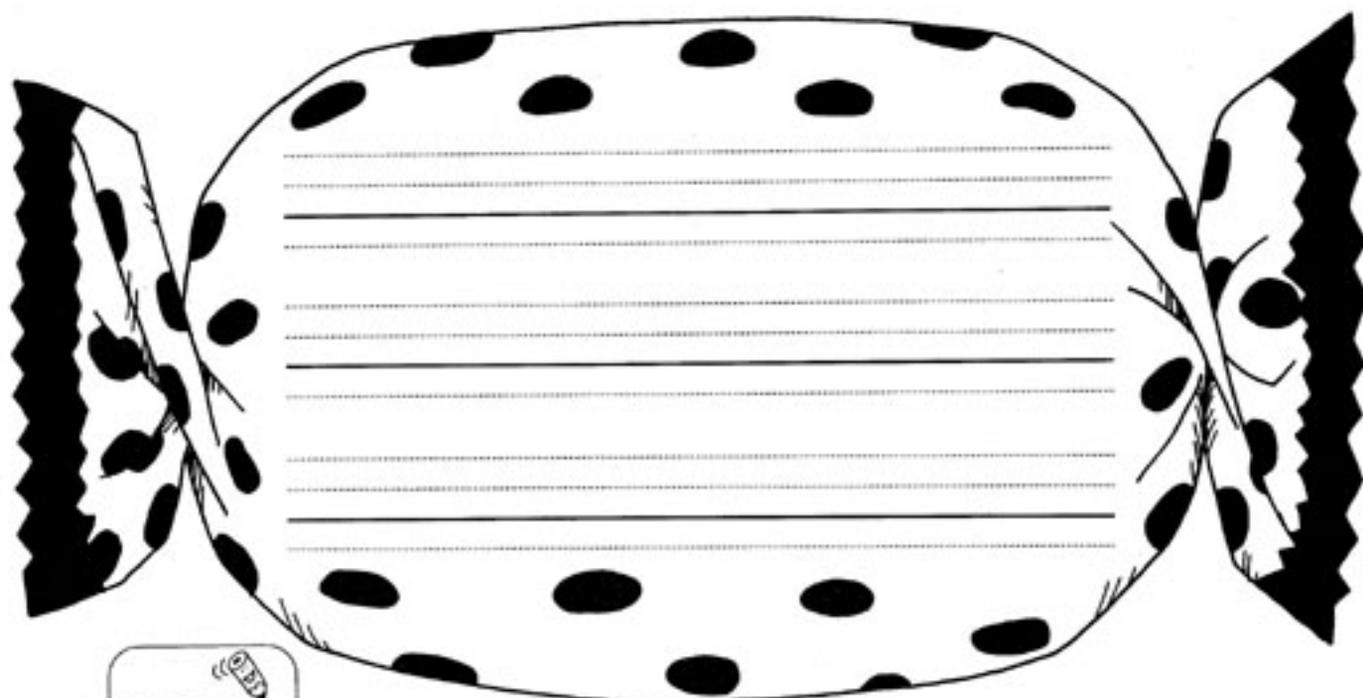
CLOUD



PART

1

PURPLE, CAT, DISH, OPEN, BALL
BIRD, WHITE, BED, DOCTOR, GIRL
DRINK, FRIEND, QUEEN, GREEN



WRITE & READ 1

PART

1

① 例にならって、次の単語を複数形にして_____線部にかき入れなさい。

(例) a pen → two pens

1本のペン 2本のペン

- ① a dog → three _____ ② a girl → five _____
 1匹きの犬 3匹きの_____ ひとりの少女 5人の_____
- ③ an apple → six _____ ④ a box → eight _____
 1このリンゴ 6この_____ 1このはこ 8この_____
- ⑤ a book → ten _____ ⑥ a cat → five _____
 1さつの本 10さつの_____ 1匹きのねこ 5匹きの_____

② () 内の正しい日本語を○でかこみなさい。

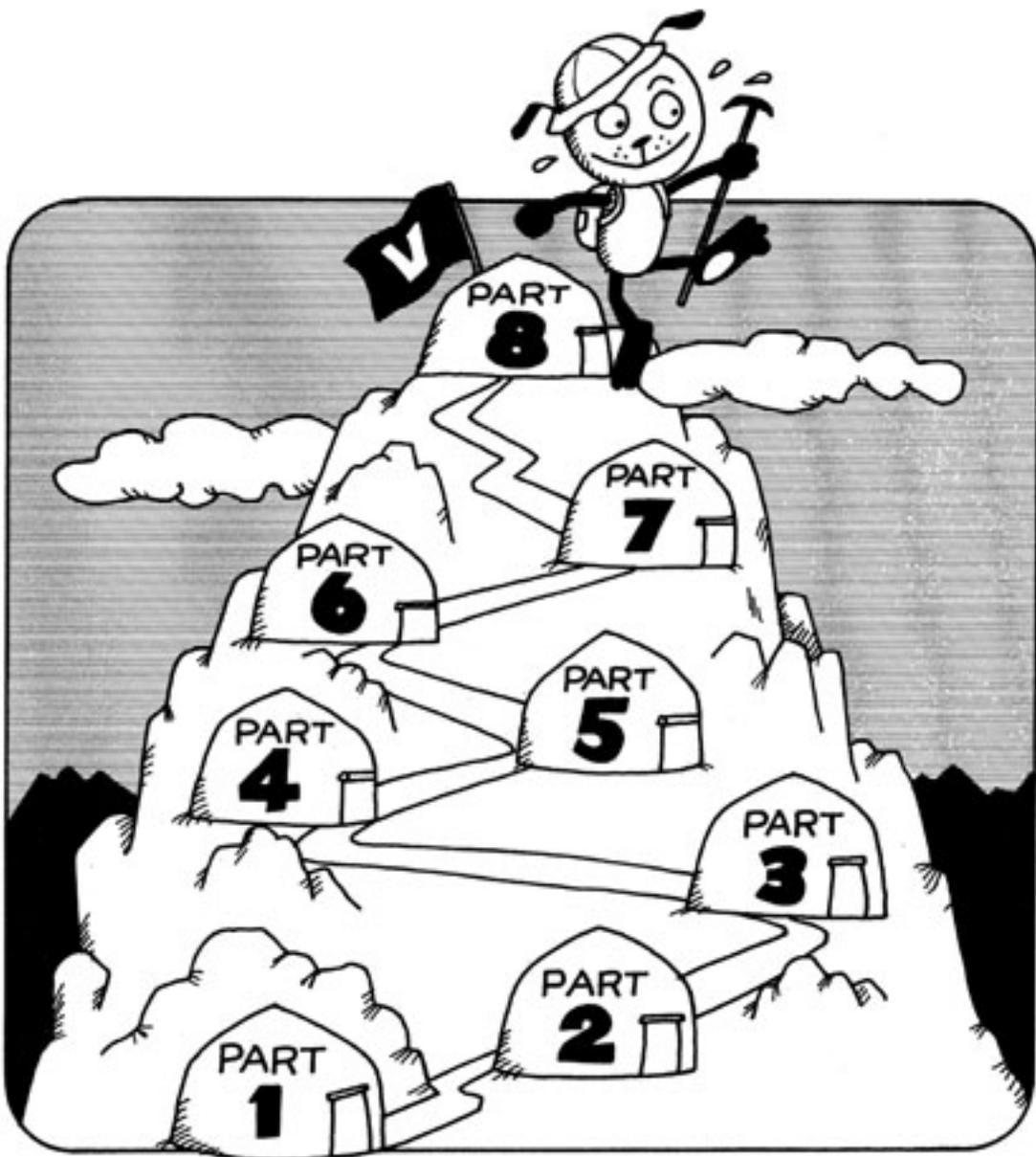
- ① I have a flower. わたしは花(がすきです、を持っています)。
 ② You like apples. あなたはリンゴ(をひきます、がすきです)。
 ③ You have two books. あなたは2さつの本(を持っています、をします)。
 ④ I play tennis. わたしはテニス(がすきです、をします)。
 ⑤ I like dogs. わたしは犬(がすきです、を持っています)。

③ () 内の正しい英語を○でかこみなさい。

- ① You (have, play) baseball. あなたは野球をします。
 ② You (like, have) a cake. あなたはケーキを持っています。
 ③ I (play, like) tennis. わたしはテニスがすきです。
 ④ I (like, play) the guitar. わたしはギターをひきます。
 ⑤ You (have, like) six pens. あなたは6本のペンを持っています。

JUNIOR WORK NOTE

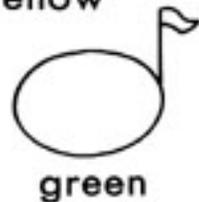
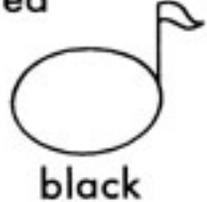
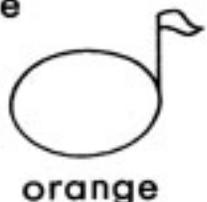
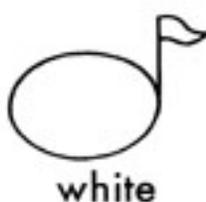
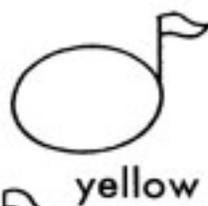
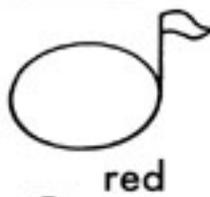
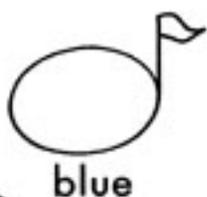
5



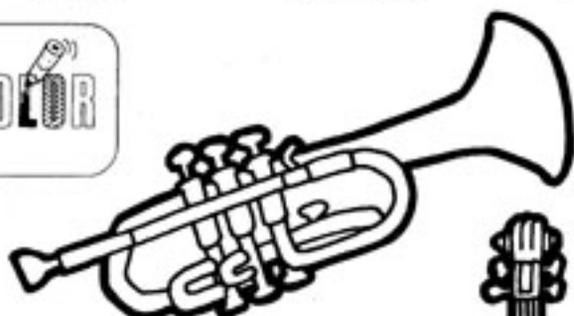
ACTIVITY 1

PART 1

COLOR



COLOR



I play the orange guitar.

I play the blue piano.

I play the pink violin.

I play the green trumpet.

I play the red drums.

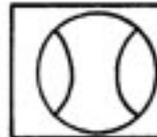


ACTIVITY 2

PART

1

WRITE



big



little



new



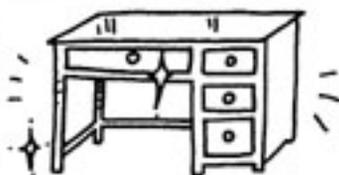
a big bed



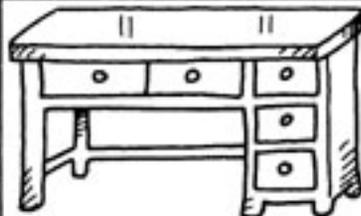
a new bed



a little bed



a _____ desk



a _____ desk



a _____ desk



a _____ car



a _____ car



a _____ car



a _____ bag



a _____ bag



a _____ bag



a _____ dish



a _____ dish



a _____ dish

PART

1

WRITE

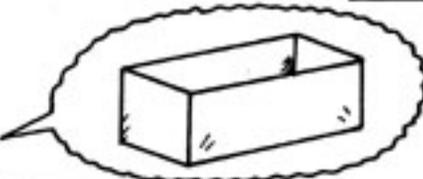
E	Y	O
C	A	T
F	M	U



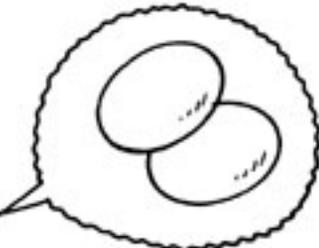
C	L	E	M
H	I	Y	O
D	O	K	A
T	N	R	E



C	L	B
S	G	O
W	E	X



A	X	O
T	Z	Q
E	G	G
M	P	I



J	O	T	E
V	R	U	X
H	A	N	D



CIRCLE



b or **d**



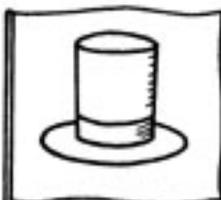
q or **p**



m or **w**



l or **h**



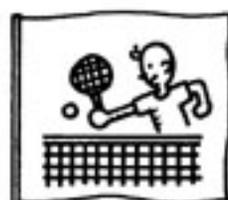
c or **h**



m or **n**



b or **g**



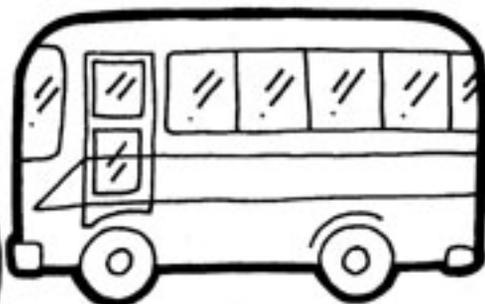
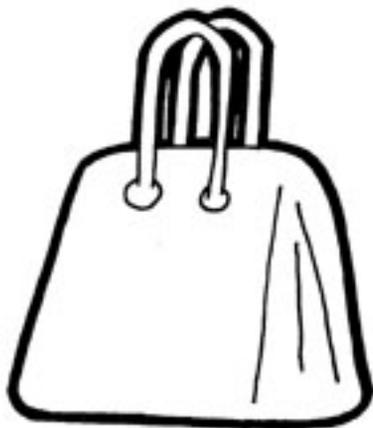
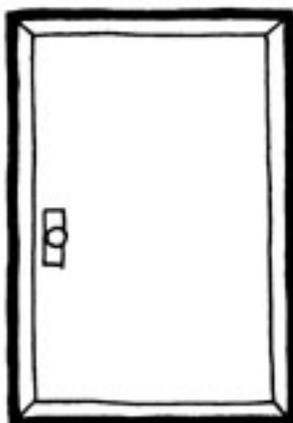
t or **f**

PART

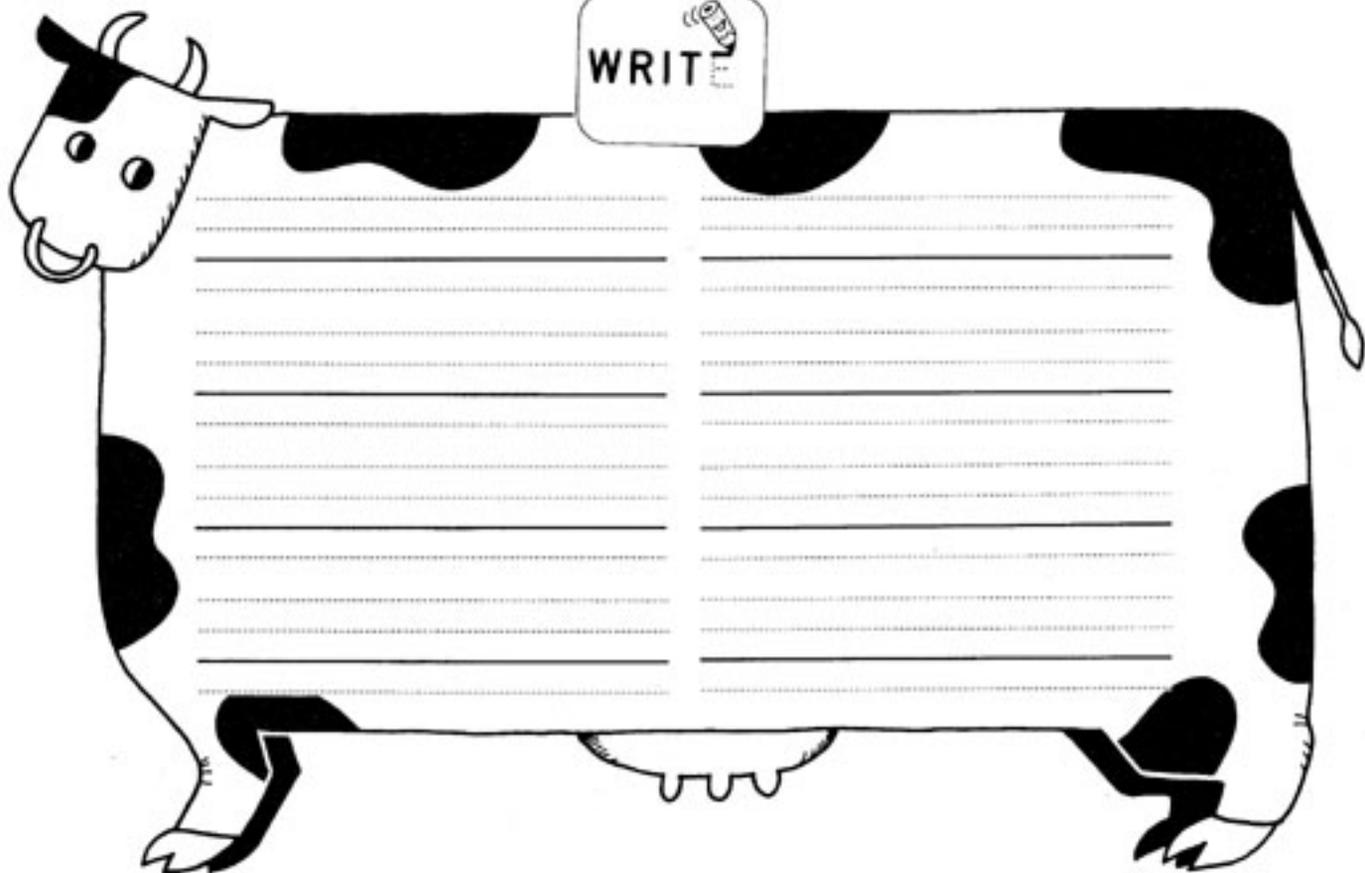
1

COLOR

Color red the things beginning with b.
Color blue the things beginning with d.



WRITE



PART

1

① () 内の正しい日本語を でかこみなさい。

(例) They are pianists.

(かの女は、かの女らは) ピアニストです。

- ① We are students. (わたしは、わたしたちは) 生徒です。
 ② She is my sister. (かの女は、かの女たちは) わたしの姉です。
 ③ I am your friend. (わたしは、わたしたちは) あなたの友だちです。
 ④ They are Ken's brothers. (かれは、かれらは) ケンの兄弟です。
 ⑤ It is a lake. (それは、それらは) 湖です。

② () 内の正しい英語を でかこみなさい。

- ① (He, They) are my brothers. かれらはわたしの兄弟です。
 ② (I, We) am a teacher. わたしは先生です。
 ③ (She, They) is Alice. かの女はアリスです。
 ④ (You, We) are doctors. わたしたちは医者です。
 ⑤ (It, They) are trees. それらは木です。

③ 例にならって、次の文をふく数形の文にかえた時の _____ 線部に正しい語をかき入れなさい。

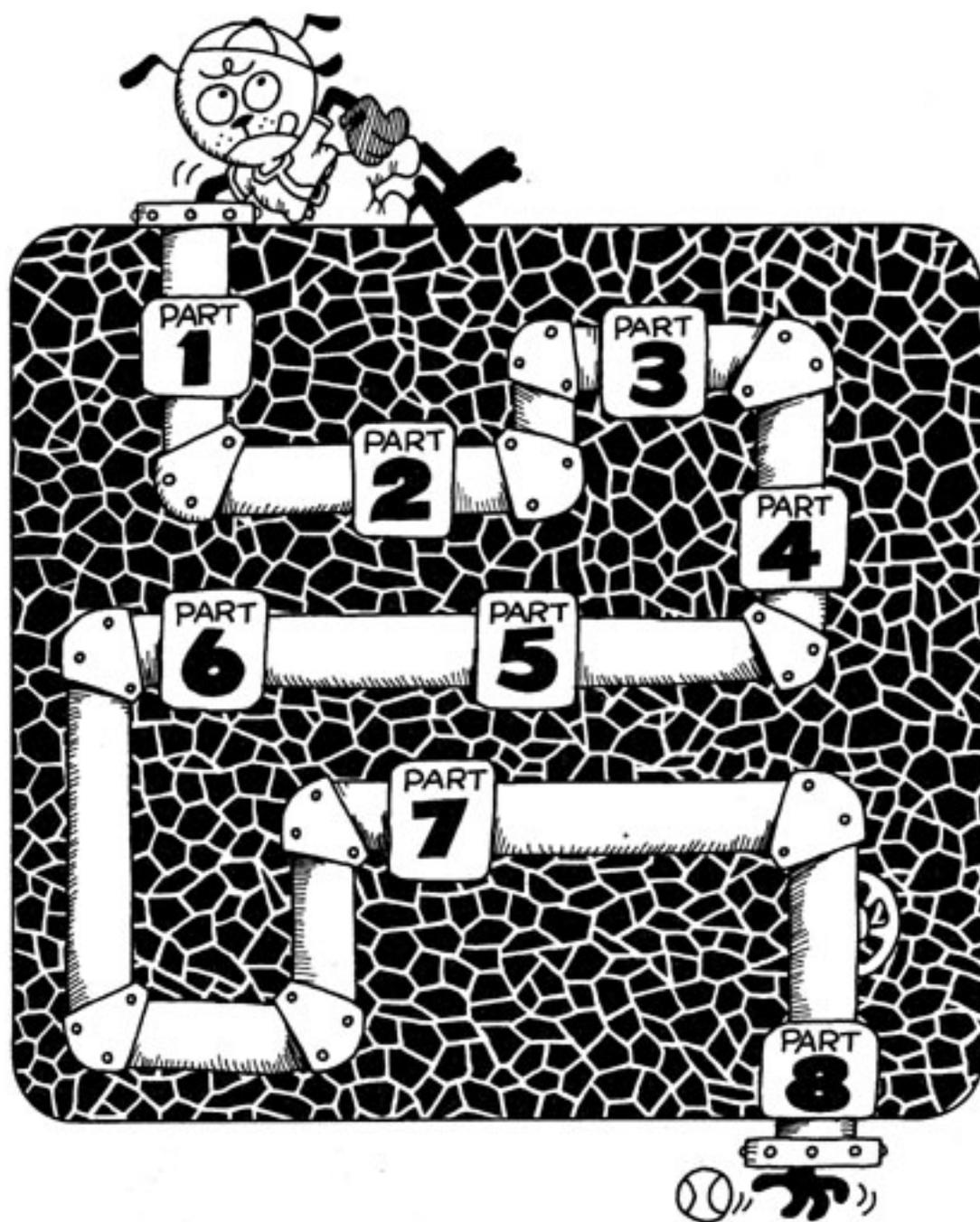
(例) I am a tennis player. → We are tennis players.

わたしはテニスの選手です。 わたしたちはテニスの選手です。

- ① It is my box. → They are my _____.
 それはわたしのはこです。 それらはわたしのはこです。
 ② She is a singer. → They are _____.
 かの女は歌手です。 かの女たちは歌手です。
 ③ He is Bob's friend. → They are Bob's _____.
 かれはボブの友だちです。 かれらはボブの友だちです。

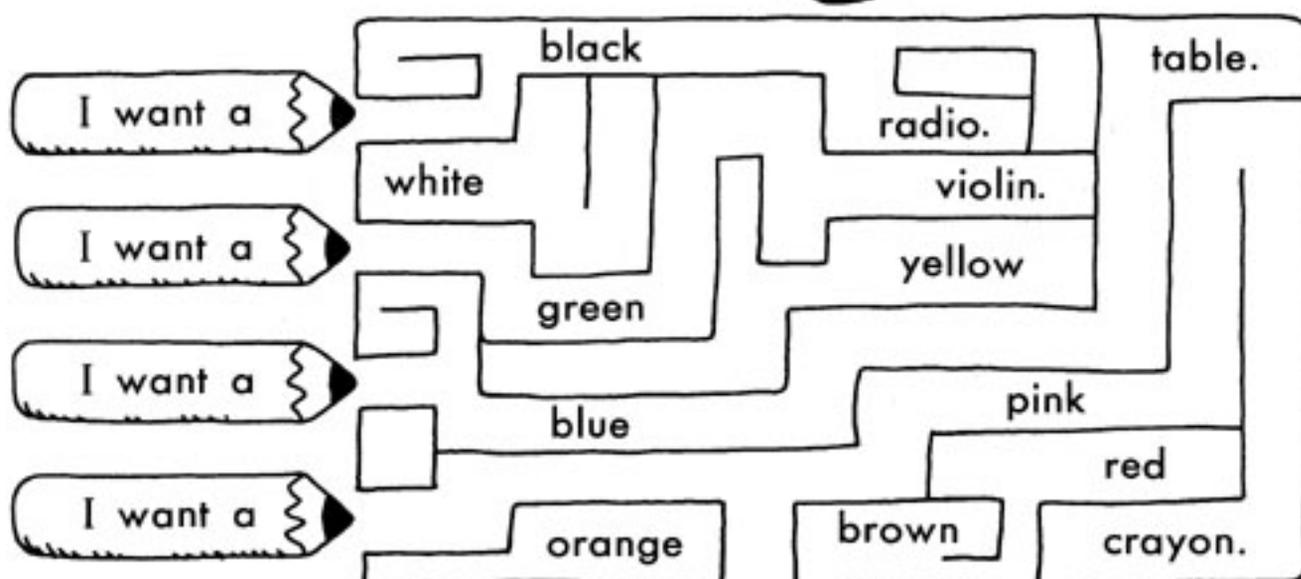
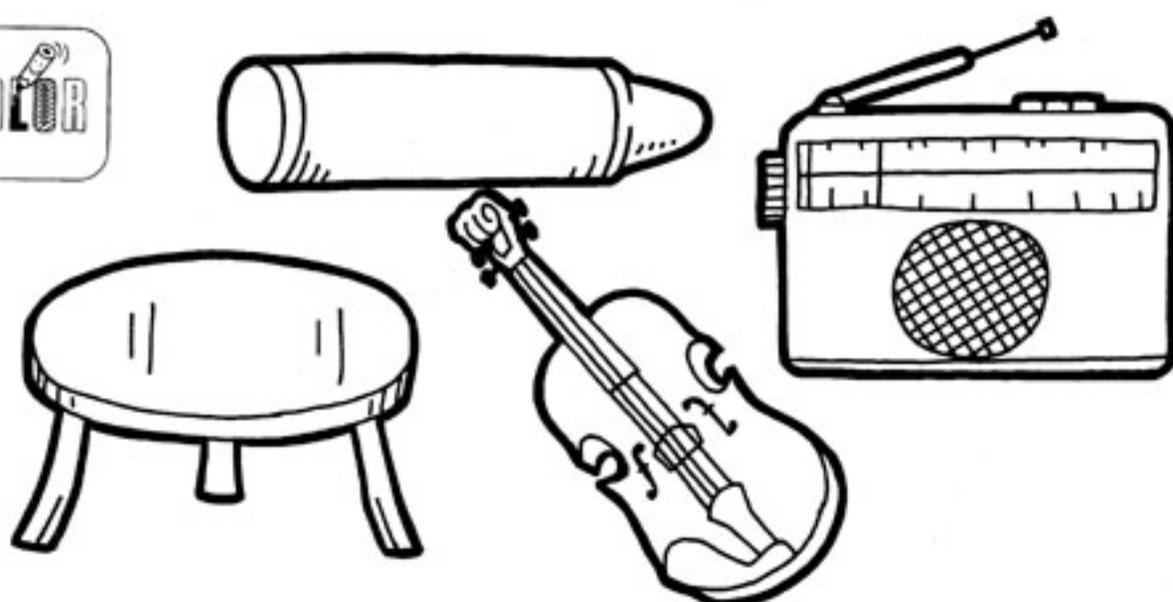
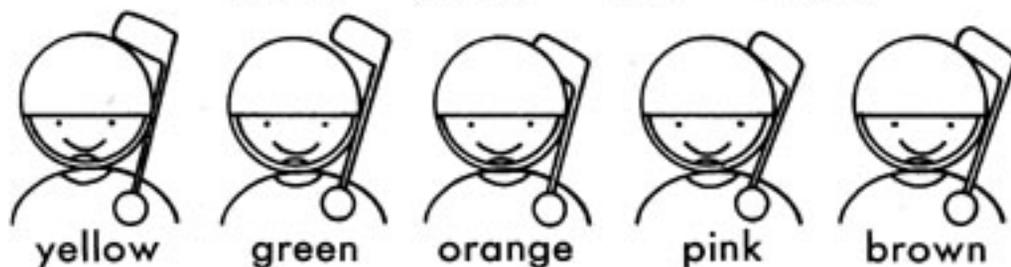
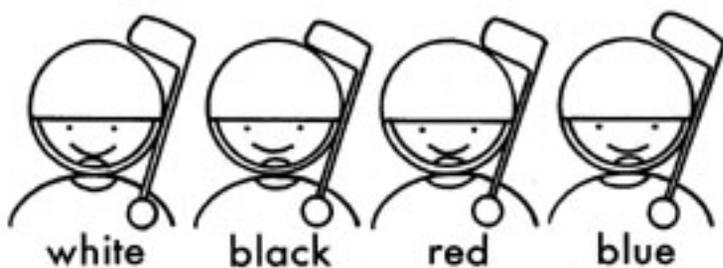
JUNIOR WORK NOTE

6



ACTIVITY 1

PART 1



ACTIVITY 2

PART

1



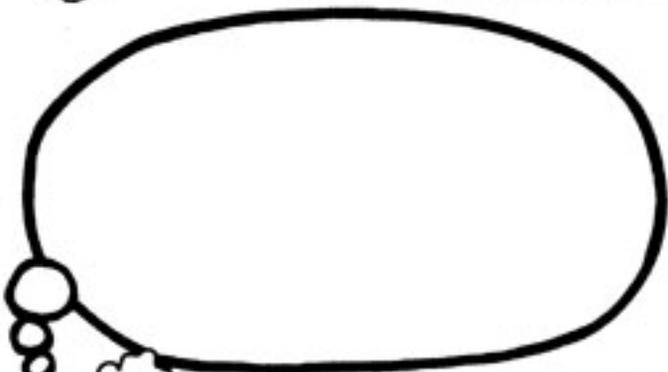
new old long big



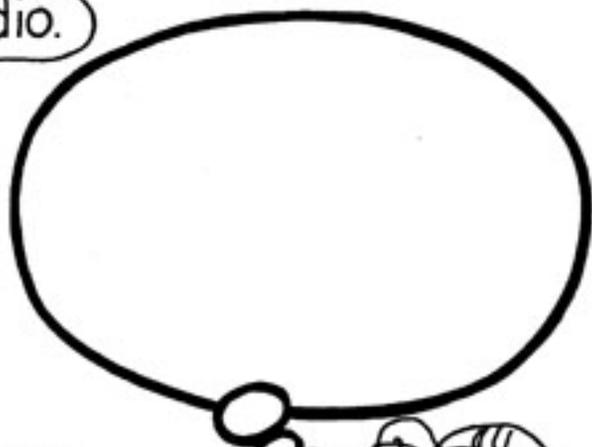
I want a new radio.



I want a long crayon.



I want an old violin.



I want a big table.

want or wants

WRITE

Ken _____ a new radio.

Lucy _____ a big table.

Bob _____ an old violin.

Emi _____ a long crayon.

PART

1

WRITE

KITCHEN

GARDEN

BROTHER

QUEEN

MINUTE

NEWSPAPER

CIRCLE



a or u



b or v



c or g



d or a



p or t



d or g



l or r



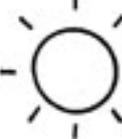
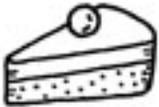
b or d

PART

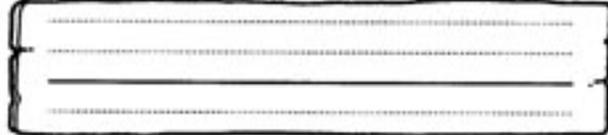
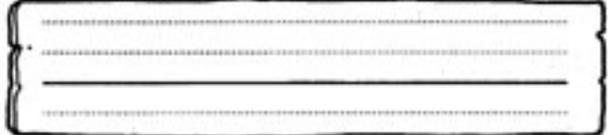
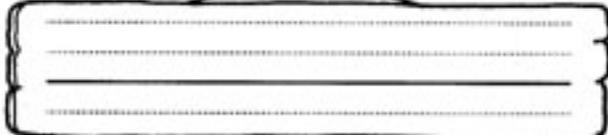
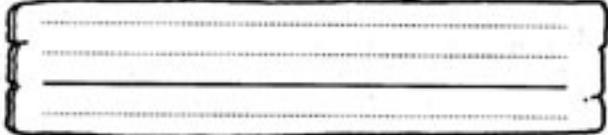
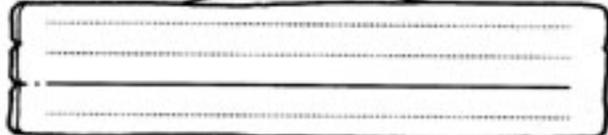
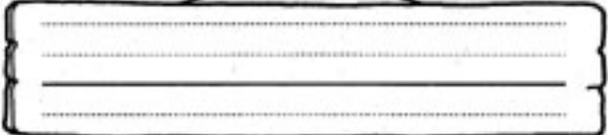
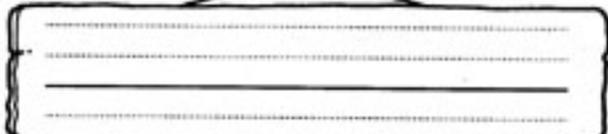
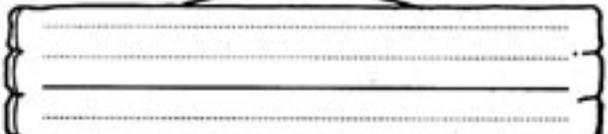
1

WRITE



 <input type="text"/> in  <input type="text"/> ig  <input type="text"/> en	 <input type="text"/> un  <input type="text"/> hip  <input type="text"/> tar
 <input type="text"/> atch  <input type="text"/> indow  <input type="text"/> ater	 <input type="text"/> hair  <input type="text"/> ar  <input type="text"/> ake

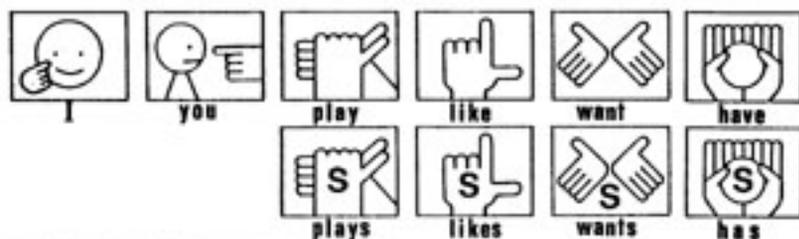
WRITE

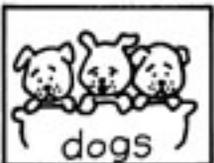
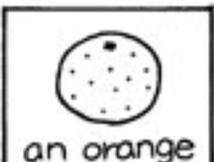
	
	
	
	

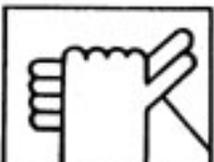
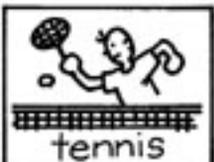
WRITE & READ 1

PART
1

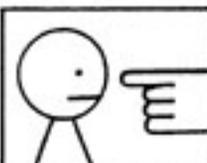
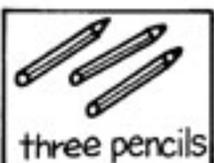
① 次の絵文字を見て、英文と日本語をかきなさい。



- ①    Ken likes dogs.
ケンが犬が好きです。
- ②    _____

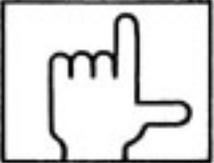
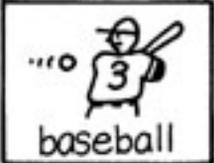
- ③    _____

- ④    _____

- ⑤    _____

- ⑥    _____

- ⑦    _____

- ⑧    _____

ACTIVITY 1

PART
2

CONNECT



old	big	long
new	little	short

I want a big car.

Emi



I want an old stamp.

Mike



I want a long spoon.

Rose



I want a new bicycle.

Ken



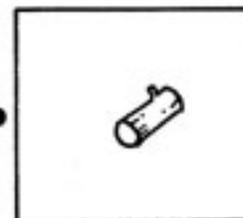
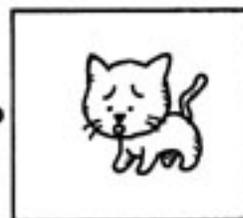
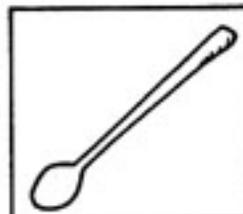
I want a short stick.

Noriko



I want a little cat.

Bob



stamp



stick



car



bicycle



spoon



cat

正負の数

目次

PART 1

§ 1 変化のちがいを符号で表す — 2

- ① + (プラス) と - (マイナス)
- ② 正負の数の大小
- ③ 数直線
- ④ 絶対値

確認テスト — 5

§ 2 正負の数の加法 (たし算) — 6

- ① 海面から降りていくエレベーター
- ② おもり+おもりで何 m 下降するか?
同符号のたし算 1
- ③ 海面より上昇していくエレベーター
- ④ 風船+風船で何 m 上昇するか?
同符号のたし算 2
- ⑤ 風船とおもりをいっしょにつけたら!?
- ⑥ 風船とおもり
— おもりの方が多い場合のたし算
- ⑦ 風船とおもり
— 風船の方が多い場合のたし算
- ⑧ 風船とおもり
— 海面をこえてしまう場合 1
- ⑨ 風船とおもり
— 海面をこえてしまう場合 2
- ⑩ 海面をこえてしまう場合のまとめ
- ⑪ ここまでのまとめ
- ⑫ 分数・小数の計算 ※ 帯分数の計算は研究課題
- ⑬ 3つ以上の加法

確認テスト — 21

PART 2

§ 3 正負の数の減法 (ひき算) — 23

- ① 風船をとったらど~なる?
- ② おもりをとったらど~なる?
- ③ 正負の数の減法の計算規則
- ④ 3つ以上の計算

確認テスト — 27

§ 4 代数和 — 29

- ① () のついていない式のたし算 — 代数和
- ② 代数和の計算
- ③ () のついた式を代数和の式にする
- ④ () をはずして代数和の式にする

確認テスト — 36

PART 3

§ 5 正負の数の乗法 (かけ算) と 除法 (わり算) — 37

- ① 正負の数の乗法 (かけ算)
- ② 乗法の計算規則
- ③ 3つ以上の数の乗法・符号を先にきめる
- ④ 累乗 $(-a)^m$ 型
- ⑤ 累乗 $-a^m$ 型
- ⑥ 正負の数の除法 (わり算)
- ⑦ 乗除の混合計算 ※ 帯分数の計算は研究課題

確認テスト — 49

PART 4

§ 6 四則混合計算 — 51

- ① 乗除先行
- ② 四則混合計算 1
- ③ 四則混合計算 2 分数や累乗の入った計算
- ④ 四則混合計算 3 カッコのある計算

確認テスト — 55

§ 7 いろいろな問題 — 57

- ① 正負の数の応用問題
- ② 平均を求める問題
- ③ 大小関係
- ④ やや複雑な計算練習 ※ 帯分数の計算は研究課題

確認テスト — 63

PART 5

§ 8 発展するために — 65

- 発展 1** 身のまわりにある数について気づく
- 発展 2** 時差
- 発展 3** 累乗
- 発展 4** 魔方陣
- 発展 5** 小町算

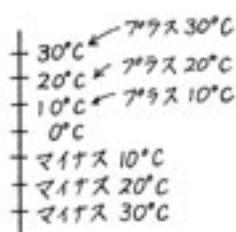
1 + (プラス) と - (マイナス)

生活のなかで、「プラス」とか「マイナス」という言葉を聞いたことがあるだろうか。



いろんな使い方があると思う。
ある冬の日の朝、テレビでこんなことを言っているのが聞こえた。
「きょうは 30度ぐらいいなりそうです。」
いったい、どこのやっちゃんテレビの画面をみるとすごい雪の中に、アナウンサーが立っていた。
北海道の旭川市からの中継放送であった。
この場合、「30度」とは「マイナス 30°C」のことであったのだ。

気温 30°C といっても、基準の 0°C より高いプラスの 30°C と、0°C より低いマイナスの 30°C があるのだ。



数学では、符号を用いて、

プラス 30°C を $+30^{\circ}\text{C}$

マイナス 30°C を -30°C と表す。

「+」を正の符号、「+」をつけた数を正の数
「-」を負の符号、「-」をつけた数を負の数 という。
0は正の数でも、負の数でもない。0には、+も-の符号もつけない。



《丸んしゅう》 次のことから「+」「-」の符号を用いて、例のように表せ。

例 3000円の利益 → $+3000$ 円
5000円の損失 → -5000 円

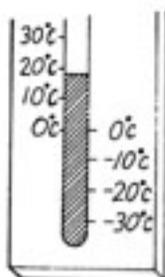


① 12点の得点 →
8点の失点 →

② 3時間後 →
5時間前 →



P.4 で先に答え合わせをして、次に進め。

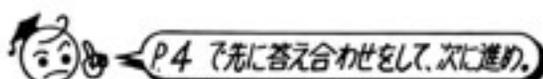


温度計はふつう左のようになっている。0°Cより上を見ると、10°C、20°C、30°Cとなっていて別に符号はついていない。ふつう、0°Cより低くなる場合は多くないので、+13°Cとわざわざ符号をつけないで13°Cとだけしているのだ。このように、正の数は符号をつけないで表すことが多い。

$$+5\text{ cm} \leftrightarrow 5\text{ cm}, \quad 6 \leftrightarrow +6$$

問1 次の数の中で、正の数を○で、負の数を□でかこめ。

+7 -15 9 +0.4 + $\frac{2}{3}$ 500 -0.01 0

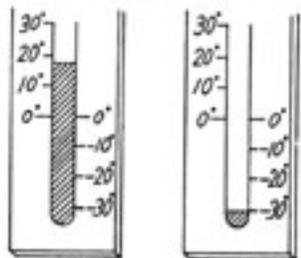


2 正負の数の大小

覚えておこう・不等号 大>小, 小<大

「3は-2よりも大きい」を不等号を用いて、 $3 > -2$ あるいは $-2 < 3$ と表す。
 「-5は-3よりも小さい」を不等号を用いて、 $-5 < -3$ あるいは $-3 > -5$ と表す。

気温プラス18°C(以下、Cは省略)と、マイナス30°では、どちらの気温が高いだろうか。ふつう、18と30という数字だけみると30の方が大きい、当然プラス18の方が気温は高い。

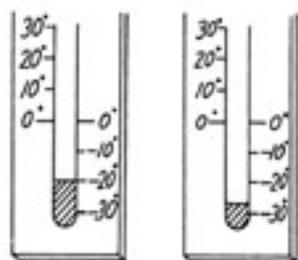


問2 次の温度はどちらが高いか。>や<を用いて表せ。

- ① プラス6° [] マイナス20°
 ② +16° [] -35° ③ -24° [] 5°
↑ プラス5°

では、次の場合はどうだろう。

-20°と-28°では、どちらの気温が高いだろう。



この場合も、数字だけみると20より28の方が大きい、量としては、-20°の方が-28°より気温は高い。

問3 次の温度はどちらが高いか。不等号を用いて表せ。

- ① マイナス8° [] マイナス6°
 ② -14° [] -19°



ここまでの答え合わせをせよ。まちがっていたら答えだけを直さず、やり直せ。

P.2

【増しゆす】

- ① +12点, -8点 ② +3時間, -5時間

P.3

問1

- ① $+7$ ② -15 ③ 9 ← +9 ④ $+0.4$ ⑤ $+\frac{2}{3}$ ⑥ $+500$ ⑦ -0.01 ⑧ 0 ← どちらでもない

問2

- ① > ② > ③ < 問3 ① < ② >

チェックテスト

次の数はどちらが大きいか。不等号を用いて表せ。

- ① -4 [] $+2$ ② -9 [] -16 ③ 6 [] -3

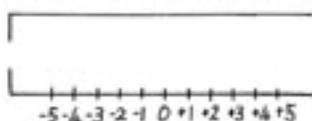


P.6 で先に答え合わせをして、次に進め。

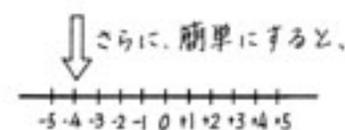
3

数直線

3ページの温度計を横にして小さな目もりをみていってみよう。



このような正・負の数の目もりをつけてある直線を、数直線という。



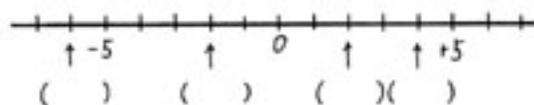
① 右へいくほど、数が大きくなる。

② 反対に、左へいくほど、数が小さくなる。

基準になる0を
原点という

……-5 < -4 < -3 < -2 < -1 < 0 < +1 < +2 < +3 ……

問4 数直線上にある数を()にかけ。



問5 次の数を大きい順にならべよ。

-3, -5, +3, +1

問6 次の数を+, -を用いて表せ。

- ① 0より5小さい数 ② 0より3大きい数 ③ 0より $\frac{2}{3}$ 大きい数 ④ 0より0.6小さい数
() () () ()



P.6 で先に答え合わせをして、次に進め。

学んでいて気がついたことがあるだろう。時間があつという間に過ぎたと感じるときや、何度時計に目をやっても時間が少しも過ぎないときがあることに。

学びとは自分が変わったことに気づくことだ。ここでは、気づくことと、何がどう変わったかについて、自分の変身もリポートしていこう。

発展1 身のまわりにある数について気づく

例1

「海溝」ということばを知っているだろうか。「溝」は「みぞ」とか「ほり」という意味だ。「海のみぞ」だ。溝といっても水深6000メートルを超えるものをいう。地球を見てみよう。

世界のおもな海溝のうち9000mより深い海溝、上位6つは、

- 10920m マリアナ海溝(太平洋)
- 10800m トンガ海溝(太平洋)
- 10057m フィリピン海溝(太平洋)
- 10047m ケルマディック海溝(太平洋)
- 9780m 伊豆・小笠原海溝(太平洋)
- 9550m 千島・カムチャッカ海溝(太平洋)

確かめてみよう

すべて太平洋にある。理科年表などで確かめてみよう。
これらは最近起こった大地震と関係が深い。

ところで、海面より6000m深いというのは、ふつうマイナスで表されている。したがって、マリアナ海溝は、負の符号を使って、mと表される。これと反対なのは、海面より上の量、つまり高さだ。世界でいちばん高い山は、エベレストで、こちらは正の符号を使って8848mと表される。



P66で先に答え合わせをして、次に進め。

問61 次の数量で、正の符号で表されるものには正の符号+を、負の符号で表されるものには負の符号-をにかき入れよ。

- ① 北海道の2月ごろの平均気温
- ② 東京の毎月の平均気温
- ③ 日本海の秋田沖にある火山の高さ(標高) ※深さ3320mにある。
- ④ 琵琶湖の深さ、水面からの深さを示す水位



ここまでの答え合わせをせよ。まちがっていたら答えだけを直さず、やり直せ。

P.65

例1

問61

-10920, +

① - ② + ③ - ④ -

発展2 時差

インターネットやテレビを通じて世界が広がってきた。以前は遠くに感じたのが、最近では近いように感じる。世界の人々の生活時間の過ごし方が見え始めたということだ。

私たち日本で生きている人間と別の地域で生きている人たちとの暮らしのちがいを知る上で大切なことがある。私たちが何げなくかける電話でも大迷惑になることがある。例えばキミが8月9日の午前11時にアメリカのニューヨークにいて、日本の友だちに“いい朝だ”と電話したとする。日本の友だちの第一声は何だと思う？よっぽどのお人好しでなければ、みんな“いったい何の用？”と質問し、“電話しただけ”と聞くと怒り狂うと思う。なぜなら、その時日本では8月10日の午前1時の寝入りばなの時間なのだから。相手を知るということは、相手の現在の状況を理解することでもある。そのためには、自分と相手のいる場所の時刻の差、すなわち時差を知ることが大切だ。

地球は1日(24時間)で1回自転(360度回転)する。だから、**経度15度**で**1時間の時差**となる。

日本は兵庫県明石市を通る東経135度の経線上の時刻を、全国で使う**標準時**としている。

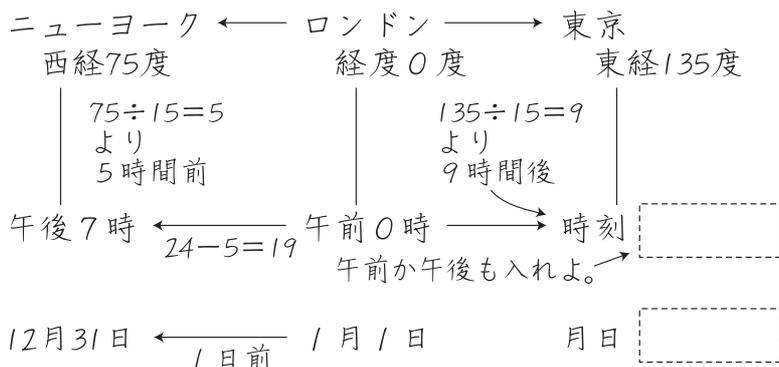
世界各地でそれぞれ使われている標準時とのずれを**時差**という。また、ほぼ**経度180度の経線**を**日付変更線**と決めている。



例2

世界の時間の基準となっているロンドンと東京とニューヨークの時差について考えてみよう。

ロンドンを中心にして考えてみよう。



学習しよう

- ▶ 経線……北極と南極を結ぶ線。
イギリスのロンドンを通る経線を経度0度。
- ▶ 経度……ロンドンから東へ東経180度。西へ西経180度まで。
- ▶ 緯線……赤道に平行な線。
赤道が緯度0度。
- ▶ 緯度……赤道から北へ北緯90度。南へ南緯90度まで。

イギリスの旧グリニッジ天文台の跡を通過する子午線を**本初子午線**といい、ここを0度として世界の時間の基準としている。



P.68で先に答え合わせをして、次に進め。

問 62 東京が1月1日午前0時のとき、ロンドンとニューヨークの月日と時刻を求めよ。

ロンドン

ニューヨーク

 P68で先に答え合わせをして、次に進め。

発展3 累乗

累乗ということばを初めて耳にする人も多いと思う。しかし、次の表現には小学生のときに出会っている。 $[cm^2][m^2][cm^3][m^3]$ などだ。この記号の右肩にある小さな数字が「累乗」であり「指数」とよばれる。 cm^2 は $cm \times cm$ と同じものを2回かけたことを表しており、 cm^3 は $cm \times cm \times cm$ と同じものを3回かけたことを表している。キミたちがふだん使っている数のうち整数は「10進位取り記数法」とよばれていて、10をひとまとめにしたものでできている。例えば、 $100 = 10 \times 10 = 10^2$ 、 $1000 = 10 \times 10 \times 10 = 10^3$ 、

$10000 = 10 \times 10 \times 10 \times 10 = 10^4$ というように。すなわち、私たちが生きている世界では「くり返し」がよく起こり、それによって、さまざまな数が生まれているのだ。ここではこの累乗について少し突っこんで考えてみよう。

例3

3^{2005} の一の位の数を求めよ。

(海城高校)

$3^1 = 3$ より3 $3^2 = 9$ より9 $3^3 = 27$ より7 $3^4 = 81$ より1

以下すべての一の位は3, 9, 7, 1のくり返し。

$3^5 = 243$ より3
 $3^6 = 729$ より9
 $3^7 = 2187$ より7
 $3^8 = 6561$ より1
 $3^9 = 19683$ より3

⋮

3の1乗の一の位は
 3の2乗の一の位は
 3の3乗の一の位は
 3の4乗の一の位は

数の規則性に注目しよう。



ここでは3の累乗の数の一の位の数字ね!



と4つずつでくり返されていく。2005乗を4乗ずつに区切っていくと、 $2005 \div 4 = 501$ あまり1。

あまり1より、くり返しの最初にもどっていることがわかる。

したがって、2005乗の一の位は

 P68で先に答え合わせをして、次に進め。

問 63 3^{25} を7でわった余りを求めよ。

 P70で先に答え合わせをして、次に進め。



ここまでの答え合わせをせよ。まちがっていたら答えだけを直さず、やり直せ。

P.66

例2

午前9時
1月1日

P.67

問62

東京
1月1日
午前0時
 $135 \div 15 = 9$
9時間前
1日前

ロンドン
12月31日
午後3時
0時-9時
($24 - 9 = 15$ より)

ニューヨーク
12月31日
午前10時
↑
 $75 \div 15 = 5$
ロンドンの
5時間前

例3

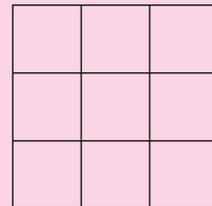
1乗の一の位は3
2乗の一の位は9
3乗の一の位は7
4乗の一の位は1
2005乗の一の位は3

発展4 魔方陣

もとのことは「方陣」。方陣とは、戦う兵士を方形(正方形)に並べる陣立て、いまのことばでいえばフォーメーションのこと。スポーツでも選手たちがうまく対応できるように前もってどう動くかを考える。とくに戦争のように、命をやりとりする戦いでは、一丸いちがらんとなって動けるように方陣についていろいろなパターンが研究されてきた。

例4

右の正方形のマス(方陣)9つの中に1~9までの9個の数字を並べて、縦、横、斜めどの線にそってたしてもその合計が同じになる魔方陣について考えてみよう。



思考1

9つのマスの中に1~9の数字を入れる。

1~9の数の和は?

$1+2+3+4+5+6+7+8+9$

思考3

3つの数のかたまりについて考えよう。

縦、横いずれも3組ずつできる。1組の和はいずれも同じ。

全体の和が45だから、 $45 \div 3$ より、1組の3つの数の和は□となる。

これをもとに他の数を決める。

まず縦、横、斜めのそれぞれのまん中にあるEから決める。

思考4

$$\begin{aligned} A + E + I &= 15 \\ C + E + G &= 15 \\ B + E + H &= 15 \\ D + E + F &= 15 \end{aligned}$$

60

したがって $A + \dots + I$ と E

の3つ分の合計が□

$\rightarrow 45 + E \times 3 =$ □

$E \times 3 =$ □ - □

$E \times 3 =$ □

したがって

$E =$ □

方針が見えはじめたかな。



思考2

ところで、縦、横、斜め3個ずつをたすと合計いくらになるだろうか。まず文字を入れて考えてみよう。

A	D	G
B	E	H
C	F	I

あわてて45と答えてはダメだよ。



P.70で先に答え合わせをして、次に進め。

思考 5

キーになるのは、まん中にある数が5、
3つの数の和が15ということ！

	5	

→ 残りの2数の和
は15-5より、10
組み合わせは
1+9, 2+8
3+7, 4+6

この4組をどこに入れるか。
入れるところは、^{かど}角を判断の始めとする。

1) まず1を左上の角に入れてみよう。

右下の角は□。

$ア + イ = 14$

14になるのは6と
8か9と5の組み
合わせ。5は決ま

っているので、6と8しか成り立たない。
右下の角の9をたすと、6でも8でも
15以上になるので、ア、イともX。
1の角は成り立たない。

1	ア	イ
	5	

2) 1が5の上の場合。

1のとなりは



	1	
	5	
	9	

14

3) 残りの数は、2, 3, 4, 7の4個。

2つの数が決まっ
ているところから考
える。①または②がわ
かれば、うめていく
順は、縦でも横でも
よい。

6	1	8
	5	
	9	

① $15 - (8 + 5) = \square$

② $15 - (6 + 5) = \square$

4) 残りは5の左と右

6	1	8
	5	
2	9	4

5の左は、

$15 - (6 + 2) = \square$

5の右は、

$15 - (8 + 4) = \square$



← P70で先に答え合わせをして、次に進め。

問 64 次の問いに答えよ。

① 下の魔方陣で、あいているマスに
あてはまる自然数を入れよう。

4		
3		7
8		

② マスの中に入れる数を、0や負の整
数を含めて考えてみよう。

右の魔方陣で、
あいているマス
にあてはまる整
数を入れよう。

0		-2
	1	
4		

③ 下の魔方陣で、あいているマスに
あてはまる整数を入れよう。

8		
	3	
-5		-2

④ 下の魔方陣で、あいているマスにあ
てはまる整数を入れよう。

-9		5	6
	4		
2		0	-5
-2			-1



← P72で先に答え合わせをして、次に進め。



ここまでの答え合わせをせよ。まちがっていたら答えだけを直さず、やり直せ。

P.67

問63

$$3^1 \cdots 3 \div 7 = 0 \cdots 3$$

$$3^2 \cdots 9 \div 7 = 1 \cdots 2$$

$$3^3 \cdots 27 \div 7 = 3 \cdots 6$$

$$3^4 \cdots 81 \div 7 = 11 \cdots 4$$

$$3^5 \cdots 243 \div 7 = 34 \cdots 5$$

$$3^6 \cdots 729 \div 7 = 104 \cdots 1$$

$$3^7 \cdots 2187 \div 7 = 312 \cdots 3$$

余りのパターンは指数が6つ
ずつふえる毎にもとにもどる。

$$25 \div 6 = 4 \cdots 1$$

答. 3

P.68

例4

思考1

1~9の数
の和は45

思考3

1組の3つの
数の和は15

思考4

A + ... + I と
Eの3つ分の合計が60

$$45 + E \times 3 = 60$$

$$E \times 3 = 60 - 45$$

$$E \times 3 = 15$$

$$E = 15 \div 3$$

$$E = 5$$

P.69

思考5

1)

1		
	5	
		9

2)

6	1	8
	5	
	9	

3)

6	1	8
	5	
2	9	4

4)

6	1	8
7	5	3
2	9	4

発展5 小町算

数の表し方においても見た目の美しさというものがある。図形の形に美しさがあるようにである。この小町算もそうである。小町算とは、1から9までの数字を順番に並べて、数字の間、または数字そのものに数学の記号をつけて、計算結果が100になるような計算式のことをいう。小町は、平安時代の歌人である小野小町からきており、絶世の美人として知られている。小町算は彼女の美しさからきている。

例5

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の数字の順序を変えないで、この間に+, -, ×, ÷を入れ、計算の結果が100になるようにしたい。次の式の□の中にどの記号を入れたらよいか考えよう。

$$12-3 \square 4+5-6+7+89=100$$

$$12-3 \square 4+(5-6+7+89)=100$$

$$12-3 \square 4+95=100$$

$$-3 \square 4=100-12-95$$

$$-3 \square 4=-7$$

↑
□ と考えられる。

答. □

左辺にある+12を
右辺へ移項すると
-12

注意



P.72で先に答え合わせをして、次に進め。

問 65 例5と同じように、□にあてはまる符号をかき入れよう。

① $1+2 \square 34-56+78+9=100$

② $12+3 \square 4+5+6+7 \square 8+9=100$

③ $1+2 \times 3 \square 4 \times 5 \square 6+7+8 \times 9=100$

④ $-123-4+5 \square 6 \times 7 \square 8+9=100$

⑤ $-12 \square 34+5-6 \square 7+8 \square 9=100$



P.72で先に答え合わせをして、次に進め。

気づき

「正負の数」を学んでいて気づいたことや、自分を取りまいている世界の何かが変わったことなど、自分の変化を文章にしてみよう。

A：新しく学んだことは

B：自分の変化



ここまでの答え合わせをせよ。まちがっていたら答えだけを直さず、やり直せ。

P.69

問64

① $4+3+8=15$
合計の数は15

4		
3		7
8		

$15-(5+1)=9$
 $15-(5+8)=2$
 $15-(3+7)=5$
 $15-(8+6)=1$
 $15-(2+7)=6$

② $0+0-2=3$ より○=5
 $-2+1+4=3$ 合計の数は3

0		-2
	1	
4		

$-1+1+0=3$ より○=3
 $0+0+4=3$ より○=-1
 $4+0+2=3$ より○=-3
 $-2+3+0=3$ より○=2

③ 3つの数の和は $8+3-2$ より9

8		
	3	
-5		-2

$8+0+11=9$ より○=-10
 $8+3-2$ より9
 $-5+3+0=9$ より○=11
 $6+3+0=9$ より○=0
 $8+0-5=9$ より○=6
 $-5+0-2=9$ より○=16

④ 斜めより4つの数の和は $-9+4+0-1=-6$

-9	5	6
	4	
2	0	-5
-2		-1

$-9+0+2-2=-6$ より○=3
 $-9+0+5+6=-6$ より○=-8
 $5+0+0-4=-6$ より○=-7
 $6+0-5-1=-6$ より○=-6
 $2+0+0-5=-6$ より○=-3
 $-2+1+0-1=-6$ より○=-4
 $-8+4-3+0=-6$ より○=1

P.70

例5

$-3 \square 4 = -7$

答. -

P.71

問65

① $1 + 2 \square 34 - 56 + 78 + 9 = 100$
 $2 \square 34 = 100 - 1 + 56 - 78 - 9$
 $2 \square 34 = 68$
 $2 \square 34 = 68$

$1 + 2 \square 34 - 56 + 78 + 9 = 100$

② $12 + 3 \square 4 + 5 + 6 + 7 \square 8 + 9 = 100$
 $3 \square 4 + 7 \square 8 = 68 \leftarrow 100 - 12 - 11 - 9$
 $3 \square 4 + 7 \square 8 = 68 \leftarrow$ かけ算しかない

$12 + 3 \square 4 + 5 + 6 + 7 \square 8 + 9 = 100$

③ $1 + 2 \times 3 \square 4 \times 5 \square 6 + 7 + 8 \times 9 = 100$
 $2 \times 3 \square 4 \times 5 \square 6 = 20 \leftarrow 100 - 1 - 7 - 72$
→ \square を入れると $2 \times 3 \times 4 \times 5 \square 6 = 20$
 $120 \div 6 = 20$
→ \square を入れると $2 \times 3 + 4 \times 5 \square 6 = 20$
 $6 + 20 \square 6 = 20$
 $20 \square 6 = 14$

$1 + 2 \times 3 \square 4 \times 5 \div 6 + 7 + 8 \times 9 = 100$

$1 + 2 \times 3 \square 4 \times 5 \square 6 + 7 + 8 \times 9 = 100$

④ $-123 - 4 + 5 \square 6 \times 7 \square 8 + 9 = 100$
 $5 \square 6 \times 7 \square 8 = 218 \leftarrow 100 + 123 + 4 - 9$
→ \square を入れると $210 \square 8 = 218$

$-123 - 4 + 5 \square 6 \times 7 \square 8 + 9 = 100$

⑤ $-12 \square 34 + 5 - 6 \square 7 + 8 \square 9 = 100$
 $-12 \square 34 - 6 \square 7 + 8 \square 9 = 95$
→ \square を入れると-が大きくなりすぎて不適。したがって \square か \square

\square の場合

$-6 \square 7 + 8 \square 9 = 73$

→ 70に近づくのは \square のとき

$-6 \square 7 + 8 \square 9 = 73$

→ \square を入れると成り立つ

\square の場合

$-6 \square 7 + 8 \square 9 = 141$

→ \square を入れても成り立たない

$-12 \square 34 + 5 - 6 \square 7 + 8 \square 9 = 100$

PART5は、ここで終了。「正負の数」は卒業だよ。



rowing power of thinking 国語バージョン

成長する思考力

読解力特化



【このテキストの特色】

このテキストは、一般的な問題集のように、問題を解いて、できたかできなかったかを判断するだけのテキストとは違います。一言でいえば国語の読解力と表現力の訓練をする教材で、社会に出たときに必要となる力、他人の意見や考えを自力で理解し、取り入れる力、自分の考えをわかりやすく文章で表現する力をつけることを目的としています。

【このテキストの構成】

このテキストの最も特徴的なことは、同じ文章に二度ふれるということです。「トライ1」～「トライ3」で短めの文章を読み、最後にそれらの文章をまとめた長い文章をもとに「文章の読解・要約演習」を行います。

●「トライ1」～「トライ3」

文章を読解しやすくするため、文章を短く区切っています。漢字問題、文法・語句問題、読解問題を取り入れていますので、問題に取り組みながら、集中して文章を読むことができます。

●「文章の読解・要約演習」

このテキストの中心になる部分です。「トライ1」から「トライ3」までの演習で、ある程度、文章の流れ、文意をつかんだうえで、三つの文章をまとめた長めの文章をもとにして、本格的な読解と要約演習を行います。長い読解・要約問題については、その読解文・要約文をまとめやすいように、簡単な問題をいくつか答えした後、自分で答えたその解答をもとに作文するというステップ方式をとっています。

【取り組み方】

「トライ1」～「トライ3」の問題には、確実な答えがありますが、「文章の読解・要約演習」の問題については、定まった答えはありません。大切なことは、正答かそうでないかではなく、自分の考えを自分の言葉で書こうと努力することです。慣れないうちは、わかりづらい文章を書いてしまうこともあると思いますが、国語の基礎訓練だという意識をもって、十分な量を書くことができるように努めてください。このテキストを使い、「読むこと」「書くこと」に対する苦手意識をなくしてくれることを希望しています。

※ ルビに関しては、原文に示しているルビだけつけています。読めない漢字に関しては、辞書で調べて下さい。調べることによって、言葉の表現力が上がります。

〈目次〉

第一回	物語文①	1
	トライ1	1
	トライ2	2
	トライ3	2
	文章の読解・要約演習	3
第二回	物語文②	7
	トライ1	7
	トライ2	8
	トライ3	9
	文章の読解・要約演習	10
第三回	物語文③	13
	トライ1	13
	トライ2	14
	トライ3	15
	文章の読解・要約演習	16
第四回	説明文①	19
	トライ1	19
	トライ2	20
	トライ3	21
	文章の読解・要約演習	22
第五回	説明文②	25
	トライ1	25
	トライ2	26
	トライ3	27
	文章の読解・要約演習	28
第六回	説明文③	31
	トライ1	31
	トライ2	32
	トライ3	33
	文章の読解・要約演習	34

読解力特化 第一回 物語文①

トライ1 次の文章を読んで、それぞれの問いに答えなさい。

あけぼの家政婦①シヨウカイ組合から、私が初めて博士の元へ派遣されたのは、一九九二年の三月だった。瀬戸内海に面した小さな町のその組合に登録された家政婦の中で私は一番②ワカかったが、キャリアは既に十年を越えていた。その間どんなタイプの③雇い主ともうまくやってきたし、家事のプロとしての誇りも持っていた。他の皆が敬遠する面倒な顧客を押し付けられても、組合長に不平など漏らしはしなかった。

博士の場合、顧客カードを見ただけで、④手強い相手だと予測できた。先方からのクレームにより家政婦が交替した場合、カードの裏にブルーのインクで星印の判が押されるのだが、博士のカードには九つものマークがついていたからだ。かつて私が関わったうちで、最高記録だった。

面接のため博士の家を⑤オトズれると、応対に出てきたのは、上品な身なりの痩せた老婦人だった。栗色に染めた髪を⑥結び上げ、ニットのワンピースを着て、左手に黒い杖を突いていた。

「世話をしてほしいのは、ギテイです」
彼女は言った。最初、博士と老婦人がどういう関係なのか分からなかった。

「どなたも長続きしなくて、私もギテイも大変困っております。新しい方が来られるたび、また A 一からやり直して、手間ばかり掛かります」

ギテイとは義理の弟のことを言っているのだと、 B 私は理解した。

(小川洋子「博士の愛した数式」より)

1 ①、⑥のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みがなをひらがなで答えなさい。

- ① () ② () ③ ()
④ () ⑤ () ⑥ ()

2 A、B にあてはまる語として正しいものを、次のア、イから一つ選び、記号で答えなさい。

ア とにかくイ ようやくウ さらにエ すべてオ かなり

A () B ()

3 この文章の内容について、次の質問に答えなさい。

(1) 「私」はどのような人物ですか。次の I、II、III にあてはまる言葉を答えなさい。

I としての誇りを持って働き、II を押し付けられても決して不平を言わない、III を職とする女性。

(2) 「博士」が手強い相手だと予測できた理由はどのようなことですか。

次の I、II、III にあてはまる言葉を答えなさい。

顧客からの I により家政婦が交替した場合、顧客カードの裏に青いインクで II が押されるが、博士のカードにはこれまで「私」が見た中で III となる九つのマークがついていたこと。

(3) 「私」が面接で会った人物はどのような人物でしたか。次の I、II

III にあてはまる言葉を答えなさい。

ニットのワンピースを着た I の痩せた老婦人で博士の II にあたる人物。

- (1) I () II () III ()
(2) I () II () III ()
(3) I () II () III ()

トライ2 次の文章を読んで、それぞれの問いに答えなさい。

「特別にややこしいお仕事をお願いしているわけではありません。月曜から金曜まで、午前十一時に来て、義弟にお昼を食べさせ、部屋の中を①セイケツに整え、買物をし、晩ご飯を作って夜の七時に帰る。たった、それだけです」

彼女の口から発せられるギテイという言葉には、**A** ためらうような響きがあった。②丁重な物腰にもかかわらず、左手だけは落ち着きなく杖をいじっていた。時折、私と視線が合わないよう注意しながら、警戒心に満ちた目でこちらを見やっつた。

「細かい取り決めは組合に提出している③ケイヤク書にあるとおりです。とにかく義弟に、誰もがやっている、ごく当たり前の日常生活を送らせてやる方ならば、私には **B** 不足もございません」

「弟さんは今、どちらに？」

私は尋ねた。老婦人は杖の先で、裏庭の先にある離れを指した。きれいに刈り込まれたレッドロビンの生け垣の向こう、生い茂った緑の④隙間から、小豆色のスレート屋根が覗いていた。

「離れと母屋おむやを行き来はしないで下さい。あなたのお仕事場は、あくまで義弟宅です。北側の道路に面した、離れ⑤センヨウの玄関がありますから、そちらを使って出入りしていただければ⑥ケツコウかと思えます。義弟が起こしたトラブルは離れの中で解決して下さい。よろしいですね。それだけは守っていただきます」

老婦人は杖を一度、コツンと鳴らした。

1 ①、⑥のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みがなをひらがなで答えなさい。

- | | | | |
|---|-----|---|-----|
| ① | () | ② | () |
| ④ | () | ⑤ | () |
| | () | ⑥ | () |

2 **A**、**B** にあてはまる語として正しいものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア さつぱり イ どこか ウ 割と エ ほんの オ 何の

A () B ()

3 この文章において、老婦人は「私」にどのような仕事をして、どのようなことを守ってほしいと依頼していますか。次の **I**、**II**、**III** にあてはまる言葉を答えなさい。

平日の午前十一時から夜の七時の間、義弟にごく当たり前の **I** を送らせてほしいが、離れと母屋は **II** はせず、義弟が起こした

III は離れの中で解決すること。

I () **II** () **III** ()

トライ3 次の文章を読んで、それぞれの問いに答えなさい。

「弟さんに、お目にかかれますか？」

「必要ありません」

あまりにも **A** 否定されたせいで、取り返し①のつかない **シツ** **ゲン**をしたような気分になった。

「今日あなたと顔を合わせても、明日になれば忘れてしまいます。ですから、必要ないのです」

「と、おっしゃいますと……」

「つまり、②端的に申せば、記憶が不自由なのです。惚ぼけているのではありません。全体として脳細胞は③ケンゼンに働いているのですが、ただ、今から十七年ほど前、ごく一部に故障が生じて、物事を記憶する能力が失われた、という次第です。交通事故に遭って、頭を打ったのです。義弟の記憶の④蓄積は、一九七五年で終わっており、それ以降、新たな記憶を積み重ねようとしても、すぐに⑤崩れてしま

ます。三十年前に自分が見つけた定理は覚えていても、昨日食べた夕食のメニューは覚えておりません。⑥カンケツに申せば、頭の中に八十分のビデオテープが一本しかセットできない状態です。そこに重ね録りしてゆくと、以前の記憶はどんどん消えてゆきます。義弟の記憶は八十分しかもちません。きつちり、一時間と二十分です」

もう何度も同じ説明を繰り返してきたからだろう。老婦人は何の感情も込めずに **B** 喋った。

八十分の記憶について具体的なイメージを持つのは難しかった。もちろん病人の世話をしたことは何度もあったが、そうした経験がどんな役に立つのか、見当がつかなかった。今更ながら、カードにずらずらと並ぶブルーの星印が思い出された。

1 ①⑥のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みがなをひらがなで答えなさい。

- ① () (2) () (3) ()
④ () (5) () (6) () ()

2 **A**、**B** にあてはまる語として正しいものを、次のア、オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア ぼんやりと イ 淀みなく ウ きつぱりと エ さつぱりと
オ つかえながら

- A () B () ()

3 この文章に書かれている博士がかかえる問題はどのようなものですか。次の **I**、**III** にあてはまる言葉を答えなさい。

交通事故に遭って、頭を打つたことが原因で、**I** を積み重ねることができなくなった状態である。それを例えて言うなら、頭の中に八十

分の **II** を一本しかセットできない状態で、そこに重ね録りしているくと **III** はどんどん消えていくという問題。

- I () II () III ()

文章の読解・要約演習

【あけぼの家政婦紹介組合から、私が初めて博士の元へ派遣されたのは、一九九二年の三月だった。瀬戸内海に面した小さな町のその組合に登録された家政婦の中で私は一番若かったが、キャリアは既に十年を越えていた。その間どんなタイプの雇い主ともうまくやってきたし、家事のプロとしての誇りも持っていた。他の皆が敬遠する面倒な顧客を押し付けられても、組合長に不平など漏らしはしなかった。

博士の場合、顧客カードを見ただけで、**A** 手強い相手だと予測できた。先方からのクレームにより家政婦が交替した場合、カードの裏にブルーのインクで星印の判が押されるのだが、博士のカードには九つものマークがついていたからだ。かつて私が関わったうちで、最高記録だった。】

面接のため博士の家を訪れると、応対に出てきたのは、上品な身なりの痩せた老婦人だった。栗色に染めた髪を結び上げ、ニットのワンピースを着て、左手に黒い杖を突いていた。

「世話をしてほしいのは、ギテイです」

彼女は言った。**B** 最初、博士と老婦人がどういう関係なのか分からなかった。

「どなたも長続きしなくて、私もギテイも大変困っております。新しい方が来られるたび、またすべて一からやり直して、手間ばかり掛かります」

ギテイとは義理の弟のことを言っているのだと、ようやく私は理解した。

【**C** 特別にややこしいお仕事をお願いしているわけではありません。月曜から金曜まで、午前十一時に来て、義弟にお昼を食わせ、部屋の中を清潔に整え、買物をし、晩ご飯を作って夜の七時に帰る。たった、それだけです】

彼女の口から発せられるギテイという言葉には、どこかためらうような響きがあった。丁重な物腰にもかかわらず、左手だけは落ち着きなく杖をいじっていた。時折、私と視線が合わないよう注意しながら、警戒心に満ちた目でこちらを見やつた。

「細かい取り決めは組合に提出している契約書にあるとおりです。とにかく義弟に、誰もがやっている、ごく当たり前の日常生活を送らせてやれる方ならば、私には何の不足もございません」

「弟さんは今、どちらに？」

私は尋ねた。老婦人は杖の先で、裏庭の先にある離れを指した。きれいに刈り込まれたレッドロビンの生け垣の向こう、生い茂った緑の隙間から、小豆色のスレート屋根が覗いていた。

「離れと母屋を行き来はしないで下さい。あなたのお仕事場は、あくまで義弟宅です。北側の道路に面した、離れ専用の玄関がありますから、そちらを使って出入りしていただければ結構かと思えます。義弟が起こしたトラブルは離れの中で解決して下さい。よろしいですね。それだけは守っていただきます」

老婦人は杖を一度、コツンと鳴らした。

(中略)

「弟さんに、お目にかかれますか？」

「必要ありません」

あまりにもきつぱりと否定されたせいで、取り返しのつかない失言をしたような気分になった。

「今日あなたと顔を合わせても、明日になれば忘れてしまいます。ですから、必要ないのです」

「と、おっしゃいますと……」

「つまり、端的に申せば、記憶が不自由なのです。惚けているのではありません。全体として脳細胞は健全に働いているのですが、ただ、今から十七年ほど前、ごく一部に故障が生じて、物事を記憶する能力が失われた、

という次第です。交通事故に遭って、頭を打ったのです。義弟の記憶の蓄積は、一九七五年で終わっております。それ以降、新たな記憶を積み重ねようとしても、すぐに崩れてしまいます。三十年前に自分が見つけた定理は覚えていても、昨日食べた夕食のメニューは覚えておりません。簡潔に申せば、頭の中に八十分のビデオテープが一本しかセットできない状態です。そこに重ね録りしてゆくと、以前の記憶はどんどん消えてゆきます。義弟の記憶は八十分しかもちません。きつちり、一時間と二十分です」

もう何度も同じ説明を繰り返してきたからだろう。老婦人は何の感情も込めずに淀みなく喋った。

八十分の記憶について具体的なイメージを持つのは難しかった。もちろん病人の世話をしたことは何度もあったが、そうした経験がどんな役に立つのか、見当がつかなかった。今更ながら、カードにずらずらと並ぶブルーの星印が思い出された。

(小川洋子「博士の愛した数式」より。文章を一部省略しています。)

課題1

文章中の【 】で囲まれた部分は、主人公である「私」が博士と出会うこととなるきっかけを示しています。【 】で囲まれた部分の要旨を、次のようなステップをふんでまとめなさい。

《ステップ1》

次の各質問に答えなさい。

- ① 「私」の仕事は何ですか。()
- ② 「私」は仕事に対してどのような思いを持っていますか。()
- ③ 「私」が博士の元へ行ったのはなぜですか。()

読解力特化 第二回 物語文②

トライ1 次の文章を読んで、それぞれの問いに答えなさい。

立派な母屋に比べ、離れは①シツソを通り越して見すばらしかった。素っ気ないコンパクトな平屋造りで、止むを得ず A そこに建っているかのような気配を②漂わせていた。その気配を覆い隠すためか、離れの周囲だけ、手入れをされていない③ジユモクが伸び放題に茂っていた。玄関は日当たりが悪く、呼び鈴は壊れて鳴らなかつた。

「君の靴のサイズはいくつかね」

新しい家政婦だと告げた私に博士が一番に尋ねたのは、名前ではなく靴のサイズだつた。一言の挨拶も、お辞儀もなかつた。どんな場合であれ、雇い主に対し質問に質問で答えてはならないという家政婦の鉄則を守り、私は問われたとおりのことを答えた。

「24です」

「ほお、実に④潔い数字だ。4の階乗だ」

博士は腕組みをし、目を閉じた。しばらく⑤チンモクが続いた。

「カイジヨウとは何でしょうか」

何故かは知らないが雇い主にとつて靴のサイズが意味深いものであるなら、もう少しそれを話題に登らせておくべきではと考え、私は質問した。

「1から4までの自然数を全部掛け合わせると24になる」

目を閉じたまま博士は答えた。

「君の電話番号は何番かね」

「576の1455です」

「5761455だつて？ 素晴らしいじゃないか。1億までの間に

⑥ソンザイする素数の個数に等しいとは」

B 感心したふうに、博士はうなずいた。

(小川洋子「博士の愛した数式」より。)

1 ①、⑥のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みがなをひらがなで答えなさい。

① () ② () ③ ()
④ () ⑤ () ⑥ ()

2 A、B にあてはまる語として正しいものを、次のア、エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア めきめき イ いかにも ウ 全然 エ さらに 才 洪々
A () B ()

3 この文章の内容について、次の質問に答えなさい。

(1) 博士が暮らす離れはどんな様子でしたか。次の I、II、III にあてはまる言葉を答えなさい。

素っ気ないコンパクトな I で、周囲には手入れをされていないジユモクが II に茂り、玄関は日当たりが悪く、III は壊れて鳴らないというように、シツソを通り越して見すばらしかつた。

(2) 博士は、新しい家政婦である「私」にどのような応対をしましたか。次の I、II、III にあてはまる言葉を答えなさい。

一言の挨拶も、I もせず、突然、「私」の II を尋ねて、その答えに対して、潔い数字だという感想を述べた。次に「私」の電話番号を尋ねて、その数字が、1億までの間にソンザイする III の個数に等しいことに感心した。

(1) I () II () III ()
(2) I () II () III ()

目 次

第1節 文の種類

中学までの学習事項	2
高校からの学習事項	5
必修テスト問題	10

第2節 文 型

中学までの学習事項	13
高校からの学習事項	15
必修テスト問題	26

第3節 動詞と時制

中学までの学習事項	29
高校からの学習事項	32
必修テスト問題	38

第4節 助動詞

中学までの学習事項	41
高校からの学習事項	43
必修テスト問題	48

第5節 進行形

中学までの学習事項	51
高校からの学習事項	53
必修テスト問題	56

第6節 完 了

中学までの学習事項	59
高校からの学習事項	62
必修テスト問題	73

第7節 受動態

中学までの学習事項	76
高校からの学習事項	78
必修テスト問題	87

第8節 不定詞

中学までの学習事項	90
高校からの学習事項	96
必修テスト問題	107

第9節 動名詞

中学までの学習事項	110
高校からの学習事項	112
必修テスト問題	120

第10節 分 詞

中学までの学習事項	122
高校からの学習事項	126
必修テスト問題	131

第11節 名詞・冠詞

中学までの学習事項	134
高校からの学習事項	136
必修テスト問題	143

第12節 代名詞

中学までの学習事項	146
高校からの学習事項	148
必修テスト問題	155

第13節 形容詞・副詞

中学までの学習事項	158
高校からの学習事項	160
必修テスト問題	167

第14節 比 較

中学までの学習事項	170
高校からの学習事項	172
必修テスト問題	181

第15節 接続詞

中学までの学習事項	184
高校からの学習事項	186
必修テスト問題	198

第16節 関係詞

中学までの学習事項	201
高校からの学習事項	203
必修テスト問題	212

第17節 前置詞

中学までの学習事項	215
高校からの学習事項	217
必修テスト問題	225

第18節 否 定

中学までの学習事項	228
高校からの学習事項	230
必修テスト問題	237

第19節 強 調

高校からの学習事項	240
必修テスト問題	245

救急ドリル	248
-------	-----

DAILY TRAINING	268
----------------	-----

第1節

文の種類

中学までの学習事項

品詞と文の種類

REVIEW

次の文の下線部の品詞を下からえらんで記号でかき、訳を完成せよ。

- 1 He speaks English well. ()
彼は上手に英語を _____ 。
- 2 You have a pretty doll. ()
あなたは _____ 人形を持っています。
- 3 My father is a doctor. ()
私の父は _____ です。
- 4 Yesterday we went to the park. ()
_____ 私達は公園に行きました。
- 5 Is this Nancy's racket? Yes, it is hers. ()
これはナンシーのラケットですか。はい、それは _____ です。
[ア 名詞 イ 代名詞 ウ 動詞 エ 形容詞 オ 副詞]

▶KEY POINT▶▶

基本的性質 英単語はすべて名詞・代名詞・形容詞・副詞・動詞・前置詞・接続詞・間投詞の8つの品詞に分類できる。

解法の基礎 主な品詞

名詞・・・物や人の名を表す。Tom, book, pen など

代名詞・・・名詞の繰り返しをさける。he, she, it, they など

動詞・・・人や物の動作・状態を表す。like, live, play など

形容詞・・・(代)名詞の性質・状態を説明する。big, small など

副詞・・・形容詞や動詞を修飾する。fast(速く), high(高く) など

ここを覚えよ ① 動詞は時制によって変化する。過去形になっていけばそれは動詞。

② 形容詞と副詞のちがい

He jumped high. (彼は高く飛んだ) <副詞> 動詞を修飾

This is a high mountain. (これは高い山です) <形容詞> 名詞を修飾

1 () 内の正しいものを○でかこめ。

- 1 She has a big (eggs, egg) in her hand.
- 2 This dog is (three, third) years old.
- 3 (Who, Where, What) are you doing? I'm reading a book.
- 4 He drives a car (carefully, careful).
- 5 (My, I, mine) name is Akira Suzuki.
- 6 You (likes, are, like) baseball very much.

2 日本文に合うよう、_____ 線部に下から適当な語をえらんでかき入れよ。

- 1 _____ kind to the old people.
(老人に親切にしてください。)
- 2 Ken wrote the letter, _____ he?
(ケンは手紙を書きましたね。)
- 3 I don't know who _____ .
(私は彼が誰なのか知りません。)
- 4 _____ three apples on the desk.
(机の上にはリンゴが3個ありました。)
- 5 _____ she walk to school with Kathy?
(彼女はキャシーと一緒に歩いて学校へ行きますか。)
- 6 He _____ sing this song _____ English.
(彼はこの歌を英語で歌うことができません。)
[can't, were, is, didn't, in, there, be, he, does]

3 日本文に合うよう、() 内の語を正しくならべかえて全文をかけ。ただし、不要な語が1語ある。

- 1 急ぎなさい、さもないとバスにおくれますよ。
Hurry up, (be, will, and, you, or, late) for the bus.

- 2 彼は先生ですか、それとも科学者ですか。
(or, does, he, teacher, is, a) a scientist?

- 3 私の父は明日ロンドンに出発します。
My father (going, is, leave, will, to, for) London tomorrow.

4 あとの() 内の語を必要ならば形をかえて、_____ 線部にかき入れよ。

- 1 Please buy _____ a new bicycle. (I)
- 2 My aunt _____ to that museum yesterday. (go)
- 3 _____ umbrella is this? (who)
- 4 Your sister is _____ than my brother. (tall)
- 5 I know those _____ over there. (child)
- 6 Tom _____ Japanese hard, doesn't he? (study)

救急ドリル 1. 文の種類

1 次の文を訳せ。

- 1 Let's bake cookies, shall we?
- 2 Stay with us, will you?
- 3 Weren't they at home then? Yes, they were.
- 4 Can't he go to the party? No, he can't.
- 5 What a tall boy he is!
- 6 How fast he can swim!

2 日本文に合うよう、_____ 線部に適当な語をかき入れよ。

- 1 _____ busy your father is!
(あなたのお父さんはなんて忙しいのでしょうか。)
- 2 _____ open those windows, _____ we?
(窓を開けましょうね。)
- 3 _____ a lucky player she _____!
(彼女はなんて幸運な選手なのでしょうか。)
- 4 Help me with my work, _____ ?
(私の仕事を手伝ってくださいね。)
- 5 _____ that man from America? _____, he isn't.
(あの男の人はアメリカ出身ではないのですか。はい、ちがいます。)

3 日本文に合うよう、() 内の語を正しくならべかえよ。

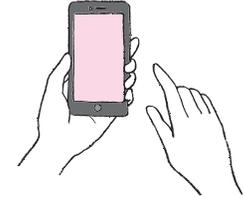
- 1 ナンシーはなんて大きな犬を飼っているのでしょうか。
(a, what, Nancy, dog, big, has)
- 2 明日の朝野球をしましょうね。
(morning, we, baseball, play, let's, tomorrow, shall)
- 3 この映画はなんておかしいのでしょうか。
(this, is, funny, how, movie)
- 4 あなたのおじさんはフランス語を読むことができませんね。
(can, French, he, can't, your, read, uncle)
- 5 あなたの妹はテニスで得意ではないのですか。いいえ、得意です。
(tennis, good, your, is, yes, sister, isn't, at, she)

4 指示通りにかきかえよ。

- 1 You don't know how to use this machine. (否定の疑問文に)
- 2 This park isn't famous for the garden. (否定の疑問文に)
- 3 Didn't they wash their car? (「はい、洗いませんでした」と答えよ)
- 4 Show those pictures to us. (付加疑問文に)
- 5 That is a very old library. (感嘆文に)
- 6 Father gets up very early. (感嘆文に)
- 7 How wonderful that idea is! (what を用いた感嘆文に)



学林舎



○教材に関するお問い合わせ

教材出版 **学林舎**

〒669-3574 兵庫県丹波市氷上町朝阪 157-1

電話：0795-78-9567 FAX：0795-78-9568

URL <https://www.gakurin.co.jp>

e-mail info@gakurin.co.jp

※お電話での受付時間 月～金(平日) 午前10時～午後5時です。

※e-mail・FAXは24時間受付しています。